

2-4001 【愛媛県、50代】

県外から失礼します

いつもあきたこまち、美味しくいただいております。

この度、放射線米への転換を検討と聞き、びっくりしております。

当方、従来通りのお米を希望しています。

もし、放射線米への転換を広げられるなら今後一切秋田のお米を買わないようにしようと思っております。

世の中はオーガニックやナチュラルな方向に向かっていると主婦目線で感じる今日この頃、放射線米への以降はこの流れに反していると思います。

是非、全量転換はやめてください。

昔なからのお米の良さを守って欲しいです

2-4002 【埼玉県、50代】

本来の伝統のままの米作りでいいです。

体に悪い放射線を使う意味が分かりません。

何がしたいのでしょうか???

2-4003 【滋賀県、50代】

秋田県の主力のお米が「あきたこまちR」という品種に変えられることを知りました。

農家さんのお話では このお米は放射線照射した稲でお米を作るのだと伺いました。

その放射線量が問題であると。

人間が7グレイの放射線を浴びるも絶命するそうです。

ですが この稲、お米を作るのに照射する放射線量は7グレイの何十倍だそうですね。

そんなとてつもない量の放射線を浴びたお米を私たち人間が食べれば…当然お米を介して体内に入ります。

体内の免疫やら消化システムに異常をきたすのは想像できます。

秋田県さんはなぜそんなお米を国民に食べさせようとするのでしょうか？

自然、人間の身体に対して このお米を作ろうとしている方たちは感謝のお気持ちがないのでしょうか？

断固反対します。

2-4004 【北海道、50代】

あきたこまち R への全量転換に反対です??

秋田が誇るあきたこまちを、どうしてわざわざ危険な遺伝子操作をするのですか?

秋田の農業を壊滅させるつもりですか?

秋田県民を、日本国民を病気にさせたいのですか?

いつまでも県民、国民をバカにするような政策をしないでください。

誰のための政策ですか?

利権のため?金のため?

ちゃんと未来を考えた政策をしてください。

お願いします。

2-4005 【愛知県、40代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

そもそもからして、カドミウム吸収を減らしたとしても、カドミウムその物を減らせているものではないので意味を成していないと思います。

2-4006 【潟上市、40代】

私は、潟上市にて農業を営んでいます。今回、「あきたこまち R」のことを知ったときとても驚きました。私たちにとって種は人間が創造することのできない重要な資源だと考えていますが、その種子が人為的に改造されることへの不安、しかも県によるこの種子の導入が、議論ではなく決定ということ通達されたことに脅威を感じています。データの誤りや勉強不足の内容もあるかと思いますが、県議会で細かく取り扱っていただくとともに、関係部署からのデータ開示と説明を求めていただきますようお願い申し上げます。

1. 説明不足と承認手続きへの疑問

令和5年度2月の報告、県はその前にも報告しているとしていますが、開示情報が少なくしかも議論ではなく報告である点は疑問です。内部資料によると平成24年(2012年)から開発されてきているようですが、まず本計画の発案時から決定までについての経緯を明らかにしていただきたいです。

2. 改正種苗法時の説明との整合性

改正種苗法が令和4年(2022年)4月1日に完全施行されていますが、それよりも10年前に「あきたこまち R」ほかカドミウム低吸収性品種の育種が秋田県にて行われていたこととなります。このことは周知されていたのでしょうか。少なくとも私は知りませんでした。

改正種苗法では、それまで原則可能だった自家採種が、「登録品種」の自家増殖には、育成者権を持つ育成者権者の許諾が必要になっています。農研機構や一部の県が育成者権を持つ品種では、許諾の手続きや許諾料が必要とされていますが、改正法案時にはほとんど影響がないとされながら、秋田県の7割以上のシェアを占める主要米を登録品種に改変することが裏ですすめられていたとすれば、大きな問題ではないでしょうか？

3. あきたこまちR以外のカドミウム 低吸収性品種について

「秋のきらめき」「めんこいな」「ゆめおぼこ」の3品種は戻し交配が終了済み、品種の特性調査を実施中、「つぶぞろい」「ぎんさん」「サキホコレ」「淡雪こまち」「ササニシキ」「たつこもち」「きぬのはだ」「秋田酒こまち」「美山錦」「百田」「一穂積」「秋田63号」については低吸収品種化を進めているという資料を見ましたが、県民(生産者、消費者、事業者)に説明されたのでしょうか？それとも県民への理解は必要ないという考えですすめられているのでしょうか。あきたこまちR以外の品種も含めて、カドミウム 低吸収米移行へのこれまでの計画プロセスと決定者について時系列を追って明らかにしていただきたいです。

4. 表示など

「あきたこまちR」が、販売段階あるいは検査段階で「あきたこまち」と表示されたら、他県産あきたこまちの扱いはどうなるのでしょうか。あきたこまちは秋田県開発の品種ですが、他県でも広く栽培されています。その場合、他県産「あきたこまち」と秋田県産「あきたこまちR」が、同時に市場に存在することになりますが、どのように混乱回避するのでしょうか。また、どのように農産物検査法の中にある産地品種銘柄における品種群設定を進める見込みでしょうか。そのスケジュールを含めて明らかにしてもらいたいです。表示義務の点からも、「あきたこまちR」を「あきたこまち」としてこれまでと同様に一般呼称する、流通することには無理があると思いますが、なぜ販売上は『あきたこまちR』と名乗らないのでしょうか。他県産あきたこまちとは品種上あきらかに違い、同じ米として消費者に流通するには無理があると思いますので、説明の必要があると思います。

5. 全量切り替えの成功の論理と失敗時の補償

そのようにして「あきたこまち」として表示された「あきたこまちR」は、消費者の信用を失う(市場を混乱させる)ことにつながらないでしょうか。秋田の食の安全性全般を脅かすことはないでしょうか？米関連製造業、酒類製造業、販売、飲食、流通、観光..とその影響は多岐におよぶと思いますし、秋田県全般のブランド力低下を招く恐れもあると思います。安全の根拠を国に委ねていますが、全国に先発するならこの根拠を県が示す責務があると考えます。もし、信用を失った場合、米価下落時の従来あきたこまちとの差額補償措置や多方面への県による経済的損失を被ることへの責任の所在を明らかにしていただきたいです。これは担当課だけの話ではなく、秋田県の多くの県民と業種に関わる重大な政策だと私は思います。せめてもう少しシェアの少ない品種から試せないのでしょうか。

6. 許諾料

先に示した通り、「あきたこまち R」は秋田県で育種開発品種だとしても、「コシヒカリ 環 1 号」農研機構育成品種を先代に使用していますが、許諾使用許可、使用料などはどうなるのでしょうか?その費用は秋田県(県民税)が負担するのでしょうか?それとも栽培する農家全員の負担となるのでしょうか?

7. カドミウム 対策と風評被害 カドミウム汚染地域だけで作ると「風評被害になる」から県内全域(全面切り替え)で作らせるとしてありますが、秋田県だけで作ると全国に比べてなぜ秋田だけ?という「風評被害」にならないでしょうか?汚染地のみでカドミウム 汚染対策をするのが望ましいと思います。そもそも鉱山開発によって発生されたカドミウム汚染の実態を知らされていませ んので、鉱山開発によるカドミウム汚染についての土壌、健康等におけるすべてのカドミウム汚染関連データを明らかにし、その実態を説明していただくことを求めます。

8. 有機認証

県はこれまで同様有機認証可能、世界にも販売できるとしてありますが、その根拠とロード マップ、コメだけでなく関連商品についても詳しく説明をお願いします。

9. カドミウム 再生利用

汚染地で収穫された米やワラには高カドミウムが含まれていると思いますが、この汚染カドミウム米からカドミウム を抽出する再生可能エネルギー開発ができればカドミウム 低 吸収米は必要なく、むしろ高吸収される稲を開発する発想も生まれませんか。再生可能エネルギーを重要視する本県の再生エネ開発案に加えていただくことを望みます。

10. 固定種利用

私は 3ha にも満たない小規模農家です。米麦大豆、その他野菜についても固定種を自家採種することを基本に生産販売しています。毎秋、実った作物から種をいただくことは私が 自然とつながっていることを確認する重要なイベントでもあります。私にはこれまでも自家採種してきた種がありますし、これを継承していくことはできますが、県の奨励品種の扱いが自家採種可能から、禁止となれば大きなルール変更と感じます。関係者すべてにわかるよう、オープンな場で丁寧に説明していただく場を継続的に用意していただくことを切に願います。

2-4007 【茨城県、50代】

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。R米は食べたくありません。

2-4008 【愛知県、30代】

食を守るという事は命に直結します。

放射線に晒すという事は遺伝子を触るという事です。

すぐには影響ないかもしれませんが。

わかりやすく原因にはされないかもしれませんが。

しかしこのような事は決してしてはいけません。

あきたこまち R への全量転換、断固反対です。

されるような事があれば秋田のお米、あきたこまちは絶対に買いません。

2-4009 【大分県、40代】

放射線米を全国に広めようとしているように聞こえますが、放射線という言葉自体に違和感を感じませんか？さらに表示義務を無くすようなことでもあれば明らかに国民にこっそり毒を盛る行為と捉えられてもおかしくないと思います。

自分事で考えてください。あなたの愛する息子や娘が？日この米を食べるのを黙って見ていられますか？

これを作ってしまう農家も農家で、もはや尊敬する対象ではなくなってしまいます。農家の尊厳はどこに行ったのやら。

これが上から指示されていることは分かりますが、秋田県として、あきたこまちと言うブランド。ここまで築き上げてきたことはとても素晴らしいです。

しかし今こそその尊厳を堅守する瞬間だと。

秋田は全国に広がらないための堤防です。是非強き NO をお願いいたします。

2-4010 【秋田市、40代】

あきたこまち R について説明が不十分です。

生産者の方々、消費者に対し説明行ってください。

子供が小さいので食の安全について不信感を持っています。

このままではあきたこまち自体食べない選択もあるかと思っています。

2-4011 【東京都、30代】

転勤族で、3年前まで7年間秋田市中通に住み、出産子育てをしていました。

今回、はじめて秋田が最初に取り入れる県の一つに決まったとき、反射的に「あ、これはもう秋田の米は買えないなって人出てくるだろうな」というものでした。

カドミウムについても、照射米についても、十分な知識があるとは言えないので、誤解していることもあると思います。ですが、学びの場もなく不安なままでは「とりあえず選択枝から外そう」となってしまいます。子育て世代は特に。

東京に出てからも、秋田が大好きで毎年夏には秋田に帰り（親族などありませんが）大好きな仲間と秋田の豊かな自然や田畑で楽しく過ごさせてもらっています。

そんな素晴らしい秋田の宝を守れるよう、これからも応援していきたいです。

最終決定の前に、小学生にも説明できるよう、なぜこの切り替えが必要なのか？どのように安全性を判断しているのか？周知して頂きたいです。

大好きなあきたこまちの問題を静観できず、他県民ですがコメントを送らせていただきました。

お読みいただきありがとうございます。

2-4012 【宮城県、50代】

あきたこまちRは

いままでと違う特殊な種を使うと聞きました。

放射線育成米。

しかも、そのような特殊な種から育てたと言う表示がパッケージにはされないとか。

消費者は悩みます。

あきたこまちを買うのはやめよう、となるし

いつも親戚に贈っているのも

あきたこまちはやめて

ちがう銘柄にしようとなってしまいます。

あきたこまちRは

遺伝子組み換えのお米とも聞きました。

子どもたちへ食べさせたくありません。

どうか一度立ち止まり

もう少し情報を集めてください。

反対している人の意見にも耳を傾けてください。

よろしく願いいたします。

2-4013 【京都府、40代】

遺伝子組み換えによる米の生産に強く反対します。

安全性の保障が本当にあるのか疑問です。

安全性が確認されたデータを全国民に公表するべきです。

一消費者として、あきたこまちRになれば購買を控えたいと思っています。

2-4014 【新潟県、50代】

あきたこまちRへの全量転換について、秋田県議会にお伝えしたい意見です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。以下に挙げさせていただく理由から、「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

- ・ 遺伝子を破壊され、マンガンを吸収しにくくなった稲が、今年の盛夏に世界中で見られているような気候危機の中で生き延びられるかには不安材料が大きく、全量転換はリスクが高すぎます。従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 今回の全量転換の理由となっているカドミウム汚染が残る地域は全国でもたった3%。重要なのはカドミウム汚染地をなくすことであり、汚染地域に対し、国が徹底調査と補償を行うことです。今回のあきたこまちRへの全量転換は、「米にさえ入らなければいい」という問題の矮小化の片棒を担ぐものとなってしまいます。低カドミウム米の栽培だけでは、地域のカドミウム汚染はそのまま残り、さらに下水汚泥肥料などによって、カドミウム汚染が高まる可能性すら指摘されています。

- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。私の周りでも、あきたこまちを長年食べてきたファンが多く、「放射線育種を行なわないで」「遺伝子の鎖の破壊が行われたあきたこまちは不安で食べたくない」「あきたこまちブランド自体をもう買わない」という人は多いです。

- ・ これまで世界で行われてきたガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっており、施設は閉鎖されています。しかも、今回使われているのは従来ガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームで、その安全性を裏付けるデータや実験は存在していません。加えて、ガンマ線照射された種の米「ばかりを」食べることになった国はこれまで存在しません。いわば、臨床実験の行われていない薬のようなものです。日本民族の今後に大きく関わる問題です。拙速にすすめていい事案ではないと考えます。

- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換をするというのが農水省の言い分ですが、全国民の主食を遺伝子操作された食べ物に切り替えるというのは、日本民族の未来永劫に関わるレベルの歴史的な大問題です。

これだけの大事を、消費者にも生産者にも情報が行き渡らない中で全量転換を決めてしまうことは、それ自体が大問題です。秋田県だけが先行して行うのは時期尚早です。農水

省と農水省関係の学者・研究者の意見を鵜呑みにするのでなく、様々な専門家や生産者からの意見を聴いて、どうぞ議論の場を広げて下さい。なぜ世界ではガンマ線照射された種が広がらなかったのかには、理由があるはずです。検証して下さい。

・加えて、おそらく多くの生産者が知らないままになっている問題があります。放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」は、OsNramp5 という遺伝子が破壊されることで、生物の成長にとって欠かせないマンガンも吸収しにくくなっています。そのためこの品種は、ごま葉枯病になりやすいです（農水省も確認済み）。マンガンが豊富でない水田では、余計にマンガン不足を足してやらなければならないようになります。肥料や燃料費の高騰と人手不足に苦しむ生産者が、さらに重い負担を強いられます。このことを周知せずに全量転換を決めたのは、生産者さんたちに対してフェアではありません。周知の上、もう一度本当に必要な転換なのか、議論して下さい。

・カドミウム汚染は、低カドミウム米だけでは全く解決できません。低カドミウム米の施策の広がり、カドミウム汚染に苦しんできた地域への救済問題の矮小化に繋がり、政府や農水省の責任を回避させる手助けになります。同じ日本の国民として、カドミウムに苦しんできた地域の人々の助けにならない施策に手を貸さないで下さい。

・後々、日本国内外で上記のような後々の健康被害や経済・人手不足の負担が起こった場合、この大転換を議論を尽くさず拙速に全国一番に行った、という意味で、秋田県議会は歴史に名を残すことになりかねません。ただでさえ大きく減少している日本国の人々の健康は、良質な食べ物と環境で守られなければなりません。偏りのない幅広い専門家や生産者・関心の深い消費者を含めての再議論と決断を、どうぞよろしくお願いいたします。

従来の「あきたこまち」は、日本国内外の人々に愛されてきた素晴らしいお米です。あきたこまちを生み出し広げてきた秋田県の皆さま、あきたこまちと日本の食を、どうぞ守ってください。

2-4015 【兵庫県、40代】

放射線育種米は食べたくありません。

体にどのような影響を及ぼすかは随分先にならないと分からないと思います。

放射線育種米かどうかの表示義務もないと聞きました。

消費者は選択することもできず、

今はあきたこまちを買わなければいいだけですが、

今後これがうまくいけば他の品種にも広がっていくと安心してお米が食べられなくなります。

どうか見直しをお願いいたします。

2-4016 【千葉県、30代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4017 【埼玉県、50代】

日本を代表するあきたこまちの放射線育種に反対です。

私達が口にする物の安全性が失われている中で

主食であるお米まで安心して食べられないのは悲しいです。

秋田県で許可すると、日本のお米がすべて放射線育種米に

なりかねません。従来安心安全な美味しいお米を願います。

2-4018 【鳥取県、40代】

放射線で突然変異した作物が、身体にとって良い物とは思えませんので、全量転換はやめていただきたいです。

せめて、育てる方も消費する方も選択が出来るようにすべきだと思います。

2-4019 【東京都、30代】

日本の大事な米に余計な操作はいりません。日本の米を守ってください。子供たちに食べさせるものがなくなります。どうしてもやるならまずはご担当の方が数年食べて安全性をしっかりと検証してからにしてください。

2-4020 【茨城県、40代】

昔ながらのあきたこまちを守って下さい。安全なお米を食べさせ

て下さい。

2-4021 【福岡県、50代】

遺伝子を破壊した米は、本当に安全なのでしょうか？健康への影響を危惧しています。あきたこまちRになったら、あきたこまちは食べません。

2-4022 【東京都、60代】

あきたこまち、大好きな銘柄のお米です。
もしRが実際につくような事が本当に起こったら、
二度と購入することはありませんし、
その他の秋田産農作物、製品も不買いたします。
どうぞ日本の食をこれ以上壊さないで良識ある
決定をお願いいたします。

2-4023 【青森県、60代】

あきたこまち消費者として、
「あきたこまち」から全面切替に反対します。
消費者、生産者にも情報がほとんどない中、もっと広く情報を伝え議論して欲しいです。
従来品種をぜひ守ってほしいです。

2-4024 【兵庫県、50代】

結論は『大反対』です。
私は技術の進歩は否定しません。
日本の高度経済成長は、日本人による技術開発のその能力の高さ所以と思います。
しかし昨今、その秘術進歩が果たして？と疑問に思うことが多々あります。
特に生物科学の分野での遺伝子組換え、クローン技術、など、超えてはいけない一線を
超えてしまった様に思えてならないのです。
私の周りには『自然農法』による作物栽培されている方が多数います。無農薬、無肥料
は勿論、水も与えませんしかし、作物は年々と元気になり虫もつきません。連作障害もあ
りません。慣行農法でずっとやってこられた農家さんが信じられないと驚く程です。百聞
は一見にしかずです、一度自然農法を見学されてお話を聞いてください。この度の全量を
放射線米に切り替えるなどは、自然（じねん）に対する冒瀆です、将来必ずその報いを受
けます。そして日本の食料自給率38%の問題もあります。日本の食を守りたい一心です。
以上

2-4025 【湯沢市、50代】

小さいですが農業を営む者です。すでに自分の周りではこまちRになったら、あきたこまちは食べたくないという方がかなりいます。もし全量転換してしまい、何年か後でも放射線あてたことの問題点が明らかになり世の中で騒がれたら、わたくしたち農家はどのように生きていけばいいのでしょうか。後になっていろいろな問題がわかってしまいそんなことを今、急に決断しないでください。秋田の農業を守ってください。おねがいします。

2-4026 【東京都、40代】

あきたこまちRになったら残念ながら購入しません。
日本のソウルフードお米をととても大切に思っています。
強く反対します。
美味しく安全なお米を未来の子供達にも引き継ぎたいです。
どうかよろしくお願いします。

2-4027 【埼玉県、60代】

「私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

現代生物学を勉強していないと、この種の米が「単なる放射線によって生み出された新種」のように感じるかも知れません。

しかしながら、それとは異なり、何十年にも渡り、現代生物学のDNAエンジニアリングを使って米国で生み出された新種の可能性があります。

この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があります、

(あ) F1種子であること、

(い) 不妊遺伝子や様々なDNA変異が施されている、

等々の有害な遺伝子変化が秘密裏に行われている可能性があります。

「あきたこまちR」に変える前に、この種でできたお米の安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきです。

上記不妊遺伝子やSV40癌誘発遺伝子が組込まれている場合、

風評被害では無く、完全な毒物米となります。

それでも、秋田県は、「あきたこまちR」を推進する予定なののでしょうか？

2-4028 【大阪府、40代】

反対します。絶対にやめてください。

2-4029 【埼玉県、50代】

日本人の大切なお米をこれ以上、人間の勝手に本来自然界にあるべく姿でないモノにしないでください。人為的に自然の法則を壊す事をしないでください。私たち人間の命を守るために科学的な作用をしないでください。

2-4030 【愛知県、20代】

秋田こまちの生産者の皆様、いつも美味しいお米を作って下さりありがとうございます。私達世代だけではなく、これから生まれてくる全ての子供達にも美味しく安全なお米を食べて育ってもらいたいです。

日本の代表的なお米を守って下さり感謝しています。

2-4031 【大阪府、30代】

放射能をあてた「あきたこまちR」を生産・流通・販売、国民に食べさせようとしている事に反対します。

放射能を当てた米を食べたらどうなるか…検証されてますか？

また、国民に放射能をあてた米についてお知らせをしっかりとされましたか？

世界で唯一の被爆国が放射能の恐ろしさや怖さを理解しているはずなのにこの様に製品化しようとしている秋田県にはがっかりです。

放射能をあてた米を売り出したら秋田県の米は間違いなく食べなくなります。

放射能をあてた米の生産を一刻も早く止めていただき、今まで通りのあきたこまちを食べさせて下さい。

2-4032 【神奈川県、50代】

Twitter でゲノム編集のあきたこまちの情報を知りました。科学的な難しい事はわかりませんがこのようなお米を消費者は求めていません。たしかに農家の方の高齢化、人手不足、昨今の米価格の暴落、気候変動等問題は沢山だと思いますがこのゲノム編集米を作ってしまったら後で取り返しのつかないような事になるのではないかと素人ながらに危惧しております。どうか日本の米を守って下さい。よろしく申し上げます。

追伸

農家さんいつも世界一美味しいお米を作って頂きありがとうございます。世界一美味しいお米を作って下さる方がいるから私たちは生きていけます。本当に感謝の言葉しかありません。もう一度、どうもありがとうございます。

2-4033 【石川県、40代】

県外者ですが、米どころの北陸のものです。

放射線育種米への全量転換に反対致します。

・消費者の選択の余地を奪う

遺伝子組み換え作物を子供たちに食べさせないようにしています。放射線育種は遺伝子組み換えとは異なりますが、遺伝子の一部欠損した作物であっても口には入れたくありません。また一部欠損が許容されれば、そのうち遺伝子組み換えになることは容易となります。それらの技術は安全性は確立されておらず、遺伝子組み換えにおいては、輸入や育てることを禁止する国もあります。秋田県におきましては、是非とも全量転換は控えていただきますようお願い申し上げます。でないと秋田県のお米を食べることはできません。

・農家さんへの縛り

おそらくですが、放射性育種米を育てることとなると、会社と契約が必要になるのではないのでしょうか？自家採種を禁止することからも推測されます。指定された農薬、すべて契約に基づく農業となるのでしたら、反対です。

農家さんの不利益になることについて反対致します。

以上の2点の観点から放射線育種米への全量転換について大変懸念しており、反対の意をお伝え致します。

2-4034 【東京都、40代】

そんな馬鹿な話があるか。主食の安全性をどう考えているのか。国民を殺す気か

2-4035 【福岡県、50代】

今、秋田のお米を美味しくいただいています。

が、あきたこまちRは絶対食べたく有りません。

日本人の主食となるお米です。

長期的な身体への影響はまだ分かっていません。

どうか全量転換だけは踏みとどまっていたきたいと切に願っています。

よろしく願いいたします。

2-4036 【東京都、50代】

お世話になります。

わたしは東京に住む者です。お米は秋田の農家さんから「あきたこまち」を購入させて

頂いています。

今回、「あきたこまちR」への全量転換がなされるとのこと、こちららに反対します。

遺伝子破壊されたお米をこれから毎日食べ続けて、長期的に身体にどのような影響があるか不安です。カドミウムが理由のようですが、それは土壌で検出される区域の田んぼだけで十分だと思います。数パーセントにもならない土壌のために、全量転換は不自然です。風評被害というなら先ず被害対策をしっかりと行ってください。

先ずは国民から生産者の方々の意見もしっかり聞いてください。

「あきたこまちR」への全量転換の政策は、食の安全を脅かしていると思います。反対します。

2-4037 【東京都、40代】

自分はお米が好きでほぼ毎日のように食べています。

ただ今回のこのあきたこまちRのことを知り不安を拭い切れません。

放射線という言葉に疑問を持ったからです。

しかも表示する必要がないとのことさらに不安を感じています。

是非一度立ち止まって議論をしておしてほしいです。

2-4038 【香川県、30代】

「あきたこまちR」の安全性は全くないと思う。

農水省は重イオンビーム照射して育種（＝「品種改良」）した「コシヒカリ環1号」の安全性は問題ない、さらに秋田県は「コシヒカリ環1号」と「あきたこまち」を戻し交配して作った「あきたこまちR」の安全性も問題ないとしています。

その根拠として、放射線育種は長く、広く行われてきたので安全性は証明されているというわけです。

でもまず、今回の「あきたこまちR」は別に考えるべきです。というのもこれらは従来の放射線育種品種と異なり、重イオンビーム照射を使っているからです。重イオンビームは従来の放射線育種でよく使われたガンマ線と異なり、集中的に狭い領域にはるかに強い威力の放射線を当て、DNAの二重鎖を破壊します。そのようにして作られた農作物は世界では他に例がないと思われます。それが安全であるという根拠、知見は確立していません。

「あきたこまちR」やその親の「コシヒカリ環1号」ではOsNramp5という遺伝子の1塩基が壊されていますが、そのためにフレームシフトが起きて、これまでにはないタンパク質が生成され、それが毒性やアレルギーとなる可能性は否定できないでしょう。

さらにこの遺伝子は生物にとって不可欠なマンガン吸収に関わるもので、それが壊されたことで、その吸収能力が3分の1未満に落ちてしまっています。マンガン不足が原因に

なって稲も病気になりやすくなっているため、栽培上でも特別の配慮が必要になっています。マンガンは成長期のこどもを含め、人にとっても重要なミネラルです。

また以前の従来放射線育種（ガンマ線）で作られた農作物の安全性が保証されているかという点、こちらもその農作物を食べたグループと食べないグループにわけて長期間の影響調査をしなければ本当の意味での安全性は確認できませんが、そのような研究やデータも存在していません。推進派は自然放射線と同じことだと言いますが、自然放射線に比べて、放射線育種場の放射線は比較にならないほど強く（人があたれば死ぬほどの強度）、自然ではおきない変化が生み出されています。

これまでの放射線育種品種と、今回の「あきたこまちR」など「コシヒカリ環1号」系の問題は分けて考える必要があると思います。

その理由の1つは、従来ガンマ線による放射線育種はもう終わった技術で、世界のほとんどの施設は閉鎖されており、日本でも放射線育種場（ガンマ線照射）は屋内施設のガンマールームのみで行われていましたが、2022年に閉鎖されました。今後、まったく新たな品種が登場することはまずないでしょう。

でもイオンビームによる放射線育種は今後も続く可能性があります（もともと、効率の点で、実験・研究のみにして、今後は「ゲノム編集」に代わっていく可能性も高いとは思いますが）。

また、これまでの放射線育種品種では従来市場を完全に置き換える形で導入されたものはありません。まだ選択の余地が存在しており、作らない／食べないという選択は可能でした。しかし、特に今回、「あきたこまちR」では全量転換という話になっています。

「あきたこまちR」でない品種を選べばいいではないか、と言われるかもしれませんが、その「あきたこまちR」以外の品種でも同様に放射線育種の後代交配種への全量転換が予定されているのです。秋田産のお米を避ければいい、と思われるかもしれませんが、農水省では北から南までこの「カドミウム低吸収性品種」（＝重イオンビーム育種米）への転換に向けて補助金を出して、転換を働きかけており、試験栽培はすでに各地で始まっています。秋田県の問題だけに留まらない可能性が高いのです。

これがもし実現してしまえば、私たちの選択の余地はなくなってしまいます。まずは「あきたこまちR」の全量転換を思いとどまらせること、そして農家や消費者が選択できるようにすることが最低線不可欠なことだと思います。

これらを公開しないのはどうしてでしょうか。

どうか本当の日本人であれば、日本古来からの大切なお米を守っていただきたいです。

2-4039 【愛知県、20代】

「あきたこまちR」に関してはDNAエンジニアリングを使って米国で生み出された新種の可能性があります。

この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があり、不妊遺伝子や様々なDNA変異が施されている等々の有害な遺伝子変化の懸念があります。

「あきたこまちR」への全量転換を行う前に、この種でできたお米の安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表をお願いします。

2-4040 【秋田市、50代】

よくわからないので、1から3について丁寧に説明してほしいです。4は意見です。

1 カドミウム低吸収米を開発されるにはかなりの高い必要性があるのだと思います。今、米に限らず、カドミウムの汚染状況について、秋田県ではどれほどのものなのか、それは全国ではどうなのか、全国に比べて秋田はどうかを説明してほしいです。

それによっては県産の他の作物の栽培や販売にも影響があるのではないのでしょうか。

2 全国で人気品種の一つであるアキタコマチが全量アキタコマチR となって売られる場合、これまで話題になっていなかったカドミウム対策が、全県において必要な危険な県で作られたものとして、秋田県産のアキタコマチはもちろん秋田県産の作物がむしろ全く売れなくなるのではないかと危惧します。1に記載した内容に加えて、カドミウム汚染に対する対策の状況と現時点での危険性について丁寧に説明してほしいです。

3 低カドミウム吸収という特性を得たアキタコマチRについて、他の必要な成分まで吸収しないような、マイナスの特性はないのでしょうか。アキタコマチRの留意点やデメリットについて説明してほしいです。

4 情報開示と消費者各自の選択を確保することの重要性が求められている今、全量アキタコマチRとし、しかもこれまでと同じアキタコマチという表示で生産、販売する必要を教えてください。違う特性の米なのにこれまでと同じ名で売ること、違いを隠蔽するように取られるとひどくマイナスになる気がします。2で記載した理由も含めて、他県のRでないアキタコマチばかりが選択されるようになるのではないのでしょうか。秋田でも汚染が進んでないところなどではRでないアキタコマチを栽培、販売したい人もあります。アキタコマチとアキタコマチRについて、生産者も消費者もそれぞれの状況や考えで選ぶようにしてほしいです。

2-4041 【大仙市、40代】

放射線米で数年後どのような影響があるのかすらわかっていないのに、このまま推し進

めるのは止めてください。

家も農家ですが、このままではあきたこまちを止める事も検討しています。

子供達の次世代に胸を張って渡せない、そんな農作物を作りたくない、作ってはいけない、そう思っています。

秋田はサキホコレ等、米に関してはどこよりも思い入れを持っている県だと思っています。

他のどの県にも負けない熱量で良い米を作ろうと頑張っている農家にこれ以上圧をかけないで欲しい、

次世代のために安全なあきたこまちを続けて欲しいです。

ゲノム編集されたトマトが国民の大多数からバッシングを受けているのをご存知ですね。

このままではあきたこまちも受け入れられなくなります。こめどころ秋田から米を奪わないでください

。

2-4042 【羽後町、30代】

全量転換反対です！自分も食べたくないし、特に子供たちには食べさせられません！

せっかく美味しいお米たちが、なんだかよくわからない安心して食べられないものになってしまうのは悲しいです。

2-4043 【大阪府、40代】

おかしな事です。

日本人をモルモットにするつもりですか？

外食もしますので、知らず知らずのうちに口にするなど、耐えられません。

新型コロナワクチンのように、体に異変があった場合、どのように責任を取るのでしょうか？

断固反対です。

2-4044 【宮城県、60代】

あきたこまちRへの切り替えは、中止してください。

人間の致死量の何倍も放射能を浴びせた米を秋田県人、日本国民に食べさせるのですか？

秋田県には、家族も友達もたくさんいます。遺伝子を破壊するような、カドミウムは吸収しないかもしれませんが、他のミネラルも吸収しない、栄養のないスカスカの米作らせ

るのですか？

放射能何回当てたのかも分からない、表示しない米、なんのため作るのですか？

秋田県人、国民を生きていけない、病気だらけにするかもしれない、食、人を殺す米づくりはやめてください。知事はやらないと脅されているのでしょうか？本当に中止してください。心から秋田に住んで育って来たものとして、秋田県の未来のためにも、お願い致します。

2-4045 【千葉県、60代】

あきたこまちを守って下さい。

放射線を照射することで、遺伝子が破壊されてしまいます。

そうすることで、今までのあきたこまちでは、なくなってしまうという事です。

生産者や消費者にも情報を知らせない中での決定は、とても危険だと思います。

もう一度、立ち止まって考えて下さい。

よろしく願いいたします！

2-4046 【福岡県、50代】

「あきたこまち」の名前は誰もが知っていると思います。今回の「あきたこまちR」への全量転換の情報にびっくりしています。そのような操作を行なった不自然なお米は正直に言って食べたいとはおもいません。「あきたこまちR」を摂取して、どのような身体の変化があるのか、等の検証はなされているのでしょうか？食糧危機や食の安全性が問われる現在、とにかく不安です。

2-4047 【愛知県、60代】

放射線のかかったお米はほんとに安全？

ご一考願います

日本の美味しいお米を守って下さい

2-4048 【千葉県、60代】

秋田の素朴で素直な県民性、農業を大切に育てて国民の職を支えてきてくれたことなど素晴らしい地域だと思っていますが、今回のあきたこまちRへの全量転換は愚策中の愚策、一国民として思いとどまっていたたくことを切望します。放射線等を利用した技術、遺伝子操作等の技術の長期的な影響は科学的に検証できているとは言いがたく、先のCovid ワクチン（m-RNA）でも明らかになってきているようにデメリットも多いのが新技術です。まして全量切り替えでは後戻りできない。何かあった時のこと、将来の子孫に対する責任

を取れるのですか？誰がこの愚策を押し進めようとしているのか全国民が注視しています。

2-4049 【埼玉県、50代】

遺伝子組み換えのお米を食べたくないし、家族にも食べさせたくないです。日本人が昔から食べているお米を守りたいと思っています。

2-4050 【東京都、50代】

こんなことをして私たち国民の主食をどうするおつもりですか。
これがどう言うことか、お米に放射線をかけて言い分けないでしょ。
そこまでして国民を殺したいのですか？
體に言い分けないし普通に考えればわかることだと思えます。
いい加減にしてくください。

2-4051 【福島県、50代】

福島県で放射能汚染で苦しんできました。
身体に影響がない訳がないと思います。
今良くてこの先、子供達・孫達が危険なお米を
食べ続ける事に反対します。
全国に拡大する事も大反対であります。
安心安全なお米を作って欲しいし、
食べたいとおもいます。
秋田のお米美味しいんですから！

2-4052 【千葉県、50代】

私の父は亡くなりましたが秋田の生まれで、親族は秋田におります。
美味しいお米のあきたこまちも大好きです。
一部の風評被害の為にあきたこまちを犠牲にするのは狂っておいでだとしか思いません。
秋田は素晴らしい米の産地です。
こんな事をしたら全国民はあきたこまちを買わなくなるでしょう。
私ですら買わないでしょう。
どうか食の安全を守る秋田であってください。
日本のお米を守って下さい。
世界的な食糧不足が今後懸念されます。

米があれば日本は何とかなりますが、それを叩き潰すための政策であるとはしか思えません。

秋田を殺そうとしているとはしか見えません。

2-4053 【埼玉県、50代】

こんにちは。

世界に誇るあきたこまちの、安心、安全をどうか守って下さい。

色々と手を加えずにいままで通りの、秋田小町でいて下さい。

そして、後世にも安全なお米を繋いで行きましょう。

宜しくお願いします。

2-4054 【静岡県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由はあきたこまちは今では日本中の人々に愛され、

なくてはならないお米だと思います。

全量転換することはあきたこまちの歴史を覆す事になると思います。rは食べたくありません。

このことを消費者の意見や議論もなく決定することは大問題です。

どうか期間の延長、議論の場を設けて下さい。

2-4055 【大分県、60代】

米のR化に反対です。

少し考えれば、分かると思います。

これがどんな日本の未来へと繋がるのか。

そのさきがけを米どころの一つである秋田県が最初にやってよいのでしょうか。

きちんと学ぶことが大切です。

なぜこのことに、利益相反なく、むしろ自らの身を危険にさらしてまで反対する農学者たちが居るのか。

そこのところを県議の皆様には、それこそ利益相反なく深く思考されて頂きたいと、他県に住む日本人同胞として、また秋田県内に大切な親友を持つ者として、強く望みます。

2-4056 【岡山県、60代】

農家もはっきり理解出来ていないところで放射線米の導入も決まっている。まして表示の必要もなく消費者も何も知らされついな入。まして、消費者も知らない。安全性は？不安が残る。

2-4057 【東京都、60代】

『県議会への意見』

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4058 【石川県、30代】

今後の私たちの身体への影響、暮らしへの影響を鑑みてあきたこまちRへの全量転換に反対します。

なぜ、そんなことをする必要があるのでしょうか？

2-4059 【東京都、40代】

いつも美味しいお米をありがとうございます！

あきたこまち、玄米も白米も美味しく大好きです。

Twitterでこの話題を知りました。

放射線育種米という言葉に正直抵抗を覚えています。

農家さんのご負担を考えると軽々しく言えることではないですが

子供には安全なものを食べさせたい、放射線育種米という長期的影響がわからないものを取り入れたくはないです。カドミウムが減っても、同じ病気にかかりやすくなったら？収量が減ったら？気温変化に弱くなっていたら？試験的導入ならまだしも、一斉転換はリスクがあるのではないのでしょうか。美味しく、安全なお米を、安定して供給いただくのが消費者としての望みです。一斉転換は時期尚早と考えます。ご一考よろしく願いいた

します。

2-4060 【埼玉県、40代】

日本の大切な宝である米を守りたいです！
破滅させるようなことをやめてください。
子どもたちに安心して食べられるお米を残したい。
放射線米なんて誰も食べたくない。
日本人がら目を覚ます時です。

2-4061 【千葉県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。
その理由としては

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

日本の今まで作り方を大事にしてほしいです。

2-4062 【奈良県、40代】

「あきたこまちR」は食べたくないです。
県議会の皆さんの手で、食の安全を守って下さい。
日本が続いていくためには、食の安全が第一です。
よろしくお願いします。

2-4063 【和歌山県、30代】

今色々なことが結果が分からない（10年後20年後の安全性）のに、国や行政として半ば強制に薦めていっているものが多過ぎます。これは誰の意見なのか考えなのか知りませんが、一つずつ立ち止まり慎重になっていかないと、数年後、バタバタと人が死んでいたり、病気になっている日本になった時、結局は日本という国を苦しめ、存続の危機をもたらすこととなります。

今私たちが何かを選択することは、未来を決めることだと思っています。

その中で、あきたこまちRが果たして、本当に必要なのか、私は必要ではないと思うし、私たちはあきたこまちRという、もうもはや、あきたこまちと似て非なる異質なものを食べさせられると思っています。

今一度、この選択が未来にとって良いのか、ということを再考してもらえればと思います。

それほど、安全性が確立されていないものだと思います。

2-4064 【大阪府、50代】

放射線を当てて変異を起こす事に反対です。今や消費者は有機や自然農への関心が高く、放射線米は子どもに食べさせる事は絶対にありません。土地や肥料のカドミウムが心配ならば土壌改良し豊かな土壌にするほうが商品価値も格段にあがります。諸外国からも日本の米は汚染米のレッテルを貼られるでしょう。表示義務がないので、放射線米を流通させてしまえば我々消費者は知るよしもありません。そうすると「あきたこまち」と表示があるものは不買運動の代表となるでしょう。放射線を当てる事で必要な栄養素が減れば、その分農家は追加肥料を購入するという悪循環にもなり、だれがあきたこまちなんか作るか！食べるか！と両方が不幸になります。議員の皆さん、誰が得をするのですか？利権でしかなく、県民の健康を農家を踏みにじる事になります。それでも県民の代表なのですか？そんな原爆や原発事故にあったような放射線を当てた米は食べたくありません。

2-4065 【千葉県、40代】

あきたこまちRを食べたくありません。

全量転換に反対します。選択する余地がないなら秋田の米は不買します。

そもそもカドミウム対策は大元の汚染源でやるべきことと考えます。

その対策なしに低カドミウム米を育成しても土壌のカドミウム汚染が進むだけです。

またもし、一部やるにしても食べたい米を選べるように少なくとも表示を義務付けてください。

2-4066 【熊本県、60代】

国民を殺す気ですか？安心安全な暮らしができない日本を作るのですか？遺伝子組み換え米で、私たちにどんな影響があるか知ってますか。日本の主食を遺伝子組み換えするなど、狂気の沙汰です。あなたの手で家族や子供孫を病気にしたり、殺したりするのですか？

遺伝子組み換え米、絶対反対です

2-4067 【愛知県、50代】

あきたこまち米が放射線放射されるのに反対です。

これはどちらにしてもあきたこまち米が売れなくなる
んじゃないかと思います。

2-4068 【兵庫県、60代】

メリットとよりもデメリットの方が多いのではないでしょう
か。

品種改良が人体に及ぼす影響より
遺伝子組換えはどう考えても大きいと
考えられます。
全量転換は反対です。

2-4069 【東京都、30代】

お米を遺伝子組換えにすることには反対です。

2-4070 【埼玉県、30代】

農業は国防です！
放射線米などと
自分や日本の子々孫々のためになりますか？
後悔しませんか？
やったことは必ず自分にかえります
悪をした、上の指示だから従った、
この罪は永遠に因果応報として残ります
日本人として良識ある選択をお願いいたします

2-4071 【富山県、50代】

このニュースを聞いてビックリです
しかも、なかなか皆さんに届いていません、
知らない人が沢山います、おかしいですね！
日本人の主食である大切なお米、目先の事情で放射線を照射するなんて、信じるられま
せん
そんなことしたら、あとには戻れないですよ
後世の事までよく考えてほしいです

2-4072 【福岡県、60代】

あきたこまち、1番好きなお米です。
放射線あてて、品種改良などしないでください。
健康的な食の安全を守るのか、議員さんのお仕事ではないんですか？

2-4073 【大阪府、60代】

何のための放射能育種が必要かがわかりません。放射能の恐ろしさは何世代にもわたって人類に影響を及ぼすという事実を経験済みの日本で、米どころである秋田県が狙い撃ちされるということに怒りすら覚えます。

秋田県から遠いところにいるからこそ、恐ろしさの方が際立ちます。

毎年、小さな畝を借りて、自家栽培の野菜をとって食べている側からすると、主食であるコメがこんなことになっていくことは恐ろしいです。

秋田の議員の方々の情報公開、先日の線状降水帯発生に伴う秋田県の水害、ハワイの山家事など、遠くにいると余計におかしさを感じます。

私は開発が進む「指向性兵器」の影すら感じます。

日本人が健康で胆力があつたのは健康なコメがあつたからです。

守ってください。

2-4074 【神奈川県、60代】

自然なままのお米にして下さい。怖くて食べられません。

2-4075 【愛知県、40代】

テーマ2】「あきたこまちR」への全量転換

放射線育種米反対です

2-4076 【愛知県、30代】

わざわざ食品に放射線を当てて遺伝子異常にして食料危機にする意味がわかりません
全量転換されたらもうあきたこまちは食べないと思います

2-4077 【東京都、40代】

放射線育種米の安全性に関して強く憂慮しています。

同じ思いの人が沢山いますので、このままでは名高い

「あきたこまち」に「放射線」というマイナスイメージが付き、ブランド価値を毀損すると思います。

食の安全に逆行するようなことはやめてほしいです。

むしろ、秋田県から無農薬や無添加といった安全性を
アピールするブランド構築を始めていくべきです。

2-4078 【兵庫県、40代】

安全性が確立されていない技術への全面変更は今後どのような被害が現れてくるかわからない。危険だと思います。ハイリスクです。このような流れを全国的に進めていくことに断固反対をいたします。

2-4079 【鹿児島県、40代】

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4080 【東京都、60代】

食の多様性を無視し、農家の方々の自立自営を妨げます。また食の安全性が気になります。

農家で自家採取できないということは、伝統的な植物や、その土地に根差したその土地の栄養を内在する種を消滅させることにつながりますし、ひいては他の動物・人間にも多大な影響を与えることがあります。西洋では、ジャガイモの品種を一つに絞ったため、気候変動で全滅して、大飢饉になった例もあります。再考を願います。

2-4081 【東京都、50代】

あきたこまちRへの転換に強く反対します。

あきたこまちRとは、放射線照射により突然変異をおこさせ、カドミウムを吸収しない品種を作るためだと聞いています。カドミウムを吸収しないだけで、他にもマイナスの変化はないのでしょうか？あると思います。既にわかっているだけでも、マンガンが不足しないという点があります。マンガンは人間にとって大切なミネラルです。マンガンが不足すると、子供を受胎できなくなります。その他にも、まだ分かっていない多くの害があるはずです。

また、私たち消費者がそのようなお米を避けようとしても、販売される際には表示されない予定だと聞いています。

こんな不自然な食べ物は食べたくありません。もし、あきたこまちRへの転換が可決されるようなことがあれば、今後、あきたこまちと表示されているものは一切買わないことにいたします。

2-4082 【広島県、40代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」
に変えることに対して強く反対します！

日本の食の安全を守り、子ども達の未来を安心できるものを
残してください！

2-4083 【由利本荘市、40代】

逆に秋田県だけ全量転換してしまうと、
風評被害であきたこまちRを買ってもらえなく
なるのではないのでしょうか？

2-4084 【北海道、50代】

放射線を照射した種からのお米を作る事に反対です。
農業従事者の方が気の毒でなりません。
風評被害も心配です。
どれだけ危険か不安でなりません
秋田県の良いところを守り続けて欲しいです

2-4085 【福島県、30代】

放射線育種米にするのは反対です。今まで通りおいしくて安全なお米を作って欲しいで
す。お願いします。

2-4086 【福岡県、60代】

あきたこまちの放射線米にする事を、
絶対、絶対、絶対、何がなんでも、
反対いたします。
せっかくの安心なお米が、不安なお米にして欲しくないです。
全く放射線米にする必要は無しです。

絶対反対です。

2-4087 【鳥取県、30代】

遺伝子組み換えした食べ物の長期安全性が確認されていないものを、自分や家族、これ
からの未来に生きていく子どもたちへ食べさせたいとは思いません。

もし遺伝子組み換えされるようになったら、怖くて遺伝子組み換えされたものは避けま

す。

日本人の大事な主食であるお米を今まで通り守って行ってほしいです。

2-4088 【神奈川県、40代】

放射線を浴びせて突然変異したものが人体にとって、どのような影響を与えるのかが全く考慮・実験されていないものに切り替えるなど言語道断です。摂食し続けた者、その子供、そのまた子供まで影響がないことを証明するのは難しいとは思いますが、検証する気すらなく世に広めようとする事事態異常です。生産者も消費者もこの事について知らずに決定する事も異常です。

食品を使った侵略という印象さえ感じています。

なぜ、生産者や消費者が知らないうちに進めようとするのか。反対する人が多い事が簡単に予測でき、既に作ってしまった苗が無駄になるからではないでしょうか。大抵、このような事が推し進められる背景には利権構造があり人々の命を担保に儲けようとする輩がいます。調べて下さい。私は一消費者として反対します。

2-4089 【佐賀県、30代】

放射線米なんて食べたくない。

賛成した人は何を考えているのですか？

自分達の家族、子、孫たちが食べる事になりますよ。

お金のためではなく日本の未来のために考えてほしいです。

2-4090 【大阪府、40代】

放射能米、気持ち悪いので絶対に食べたく無いし

日本にいないです。

2-4091 【千葉県、60代】

いつも秋田県の健全な行政を行って頂きありがとうございます。今回のあきたこまちRへの切り替えについて意見させていただきます。カドミウム吸収抑制するというメリットはあると思いますが、秋田県でどれくらいカドミウムが影響する地域があるのでしょうか？全国的にもどれくらいあるのか、は調査されているのでしょうか？

カドミウムのお米への吸収抑制よりも毎日食べるお米が被爆することの方が食の安全には問題があると感じます。出来るだけ安全なお米を購入するようにしている自分としてはあきたこまちRになったらあきたこまちはもう2度と購入しません。あきたこまちが好きなだけに残念な事です。再度、全量転換は考え直しして頂きますようお願いいたします。よ

ろしくお願いいたします。

2-4092 【大阪府、70代】

気持ち悪い。食べたくない。

2-4093 【潟上市、50代】

県議会への意見書

あきたこまちRは、放射線育種米であると今朝知りました。

全てを、放射線育苗米にするように進めていくという事。

私はたまたま知りましたが、周りのほとんどの人はそれを知らないと思います。

それが、全国に先駆けて秋田から試験的に始まる…そのような事だと理解しました。

知ったばかりなので、まだ私も詳しくは調べてないのですが

これから、いろいろ勉強したいと思いました。

日々、人口が少なくなっている秋田県で、それでも生まれてきてくれている子ども達に

放射線育苗米という物を食べさせたくありません。

今までのお米ではダメなのでしょうか？

県議会の先生方も自分の子供や孫たちに、食べさせたい物なのでしょうか？

今からでも立ち止まって検討していただきたいと願います。

よろしくお願いいたします。

2-4094 【東京都、60代】

日本で作られている300品種のうち、すでに200品種以上の放射線育種後代交配種が準備されつつあります。

このままでは日本のお米がすべて放射線育種米になってしまい、お米の安全性もさることながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのか、わかりません。また、その自家採種も禁止になりますので、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまいます。

カドミウム汚染地域は全体の3%未満ですが、汚染地域だけでなく、すべての水田で同じお米を作るべきという方針が作られました。汚染地域だけで作れば「風評被害」が生まれるからだというのです。でもこの「あきたこまちR」や「コシヒカリ環1号」はカドミウムをほとんど吸わないので、地域のカドミウム汚染を減らすことには役に立ちません。

この放射線育種米はいつの日か、ゲノム編集に代わる可能性が十分あると考えます。そして、壊している遺伝子などなく、この壊された遺伝子は実際には稲の成長にも子どもの

成育にも重要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子でした。それが壊されるためにマンガン吸収しにくいお米になっており、ごま葉枯病などの病気になりやすいことがわかっていますし、ミネラル不足のお米になることも不安材料です。これから成長していく子供たちの栄養面でも弊害が出ると予想されます。そう考えるとすべての農家にマンガン不足にならないようにマンガンを追加するという新たな負担が課されることになるかと思えます。

これは日本の農と食に多大な影響を与えざるをえません。ですので、秋田県が突出して転換を進めてしまえば、追従する動きが必ず出てくるでしょう。その意味でも秋田県の動きをいったん止めて、慎重な検討をしていただく必要があります。どうかご考慮のほど、よろしくお願いたします。

2-4095 【熊本県、70代】

何故 放射線にて品種改良してモンサント社の都合の良いように、農水省の指導で行動されるのか判りません 又秋田県の県議会には今回の品種改良に付いての説明は成されていないのに 県議会で何故可決しようとする県議会議員の方は、何故解らないのですか

今後この法案が可決されれば農家の方は今迄長年に渡り種を確保されて来た事自体が無意味に成ります 私達はその様な放射線で改良されたお米を食べたく有りませんし未来の子供達の事を考えると絶対に止めて欲しいです、秋田県が日本で最初にこの法案を可決すれば農水省は全国の県に随時同じ様な事をして行くと思います、日本国民のこれから先の事をどうぞ良く鑑み、この法案を今一度検討成されます様にお願申し上げます

2-4096 【愛知県、30代】

こちらの開発をすることになったのはカドミウム汚染がそもそもの原因であり、カドミウム低吸収性品種を流通させれば解決する問題ではありません。

汚染要因を洗い出し、再点検し、根本的な解決を目指す姿勢をしめすことが必要になります。

まず汚染させない、汚染した地域は分離して、徹底的に汚染をなくす計画を実施するという原則を打ち立てることだと思いま

また今回の「あきたこまちR」「コシヒカリ環1号」という小手先の対応は本来、特定の責任者の責任を曖昧にし流通させることで日本列島の住民すべてを巻き込もうとするものです。その推進には反対せざるをえません。

2-4097 【宮城県、50代】

放射線育種米となる、あきたこまちの米、そんな米を作るなんてありえない！

そして、遺伝子特許が取られて自家採種もすべて禁止されるとは、これまでの日本の米をどうしたいと考えているのか？

これまでの、あきたこまちしか作らないで欲しいです！

操作された作物で人間が健康で居れる訳がない。

安心安全な物を今後は考えて行くべきです！

2-4098 【東京都、50代】

お米は今まで「あきたこまち」が好きで、

「あきたこまち」を購入し続けていました。

「あきたこまちR」は、購入したくないです。

「あきたこまちR」のことは、よく調べてください！

よろしくお願い致します。

2-4099 【千葉県、50代】

県議会への意見

あきたこまちから全面切替に反対します。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ マウス等の実験（もちろん次世代への影響も実験）をし、その結果をきちんと公表してからにしてください。

2-4100 【宮城県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていたら嬉しいですよ。

2-4101 【東京都、40代】

あきたこまち R への転換に反対します。

放射線を照射したお米を食べたくないですし、安全性も確かめられていない状態での全量転換は危険すぎます。

わたしは秋田県在住ではありませんが、スーパーや生協等であきたこまちをよく購入しています。

もし、秋田県があきたこまち R へ転換することを決定したら今後我が家はあきたこまちを購入することはないですし、知り合いや親戚などにもあきたこまち R は危険だと伝えるでしょう。

県議会議員の皆様、ご検討よろしく申し上げます。

2-4102 【神奈川県、50代】

おかしな事だという事は分かっているのでしょうか？

種子法種苗法に続き、あきたこまち R

全く知らない人は R にさえも気がつかない。

農家さんを辞めさせるための政策ですか？

それとも食べた人をおかしくさせる為でしょうか？

ともかく違和感でしかありません。

こういうものを作り出すなら賛成した人たちとその家族が

その米を 1 日 3 食食べ 30 年続けて、子孫がどうなるのか

血液やその他データはどうなのか？

白血病にはなっていないのか？

癌になってないかなどの臨床試験得た上で初めて決めて欲しいと思います。

あまりにもおかしな事だらけ

ワクチン打って思考停止している人が増えている中強行突破やめてください！

日本を！子どもたちを！未来を守ってください！

2-4103 【神奈川県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる

か不安であり、従来 of 品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来 of 「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4104 【埼玉県、50代】

『県議会への意見』

県外から失礼致します。

いつも美味しいあきたこまちをどうもありがとうございます。

今回の件を知り、大変驚きました。

これはちょっとした品種改良の域を超えているように思います。

「放射線」「遺伝子欠損」という気掛かりなワードに目を瞑っても、マンガン不足を解消するため、わざわざマンガンを投与しなければならない負担や、そんなひ弱な作物ばかりを大々的に作っても今後の気候変動に耐えられるのかどうかなど、色々心配は尽きません。

どうか拙速なご判断は避けて、慎重に考え直して頂けないでしょうか？

よろしくお願ひ致します。

2-4105 【東京都、40代】

こんにちは

わたしは母方 of 実家が米りんごなどの山奥 of 農家です。

季節ごとに農作物を送ってもらい、スーパーなどで買う米や野菜も濃さが全く違いすごく美味しいです。

わたしも秋田に帰ると自然 of 豊かさ、空気 of おいしさ、井戸水など良さは言い尽くせないほどで大好きです。

さて、あきたこまちについてですが、ハッキリ言います。

その計画やめてください。

自然な米をたべさせてください。

毎年 of 新米を家族で本当に楽しみにしているのです。

どうかお願ひです！

おかしな米にしないでください！

長く年月が経てば必ず歪みが表れ始めます。
嫌な気持ちで大好きなあきたこまちを食べたくは無いです。
どうか、再考お願いします！

2-4106 【愛知県、50代】

安全性のある食を求めています。

「あきたこまち」から全面切替に反対です！

遺伝子を破壊された稲がこれから先無事に成長するのか人の体に食べ続けてどう影響出るのかとても不安です。遺伝子を操作された食物を食べている人はいません。本来の食物が持つ原種が日本人の体にあります。遺伝子操作は神への冒瀆です。

- ・ 私達国民は「あきたこまちR」は食べたくありません！

- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4107 【神奈川県、40代】

新種というものが放射線育種米なら、安全であることを示すデータをいろいろと公開してください。また、伝統的な米を守って欲しいです。もし、県が安全性を無視して新種への移行を強引に推進するなら、私は今後あきたこまちを買いませんし、周囲へあきたこまちの危険性を伝えていきます。慎重に考えてください。よろしくお願い致します。

2-4108 【大分県、50代】

お米は日本の宝です。健康に害するものには反対です

2-4109 【徳島県、50代】

他県に住まう者ですが、他人事とは思えませんので意見を述べさせていただきます。

あきたこまちRへの全量転換の見直しを要望します。

放射線は人体に限らず有害です。安全性も確認されての事なのでしょうか。

万が一人体に深刻な影響を及ぼすと後に判明した場合、その責任を負えるのでしょうか。

人の身体は食べ物で再構築されます。

放射線を照射した米が無害とは思えません。

秋田は日本の米所でもあります。

安心安全な米を食卓に届ける義務があるのではないのでしょうか。
見直しをされる事を強く要望します。

2-4110 【宮城県、70代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。
また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのにな
と思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていたら嬉
しいです。

2-4111 【熊本県、50代】

熊本県民ですが、今後の日本の行く末を考えた時重要なことですのでコメントさせてい
ただきます。

将来、この改悪は秋田から始まったんだよと不名誉な勲章を貰わないためにも、中止を
強く求めます。

・自然界は完璧なバランスで成り立っています。それを崩すのは常に人間で、そのツケ
を人為的に更に自然界に手を加えて歪めていくという愚かさ。

・人間も自然の一部。不自然に加工された食物は絶対に食べたくない。それなのに選択
する権利もなく食べさせられるという人権侵害。

・自国民の生命線である主食の米までもが外資の影響下に落ち、日本国民の生命が更に
リスクに晒される。

このような懸念から、秋田県が改悪の先駆けとならぬよう、あきたこまちRへの全量転
換を断固反対いたします。

2-4112 【兵庫県、70代】

放射線育種後付交配種 あきたこまちR

に変える事に対し強く反対します

2-4113 【山形県、50代】

生産者・消費者が「あきたこまち」か「あきたこまちR」か選択できると良いかと考えま
す。

安全性等の考え方は多種かと思imasuので。

2-4114 【愛知県、50代】

奉仕者の育成米への転換は大反対です。日本を代表する米所秋田県が、このような方針で米作りをすると、他県も追従すると思われmasu。ゲノム編集につながるこのような放射線育成前は環境への懸念もあり、生産中止を申し入れます。

2-4115 【沖縄県、60代】

安全な米は、我々日本人の命に直結します。我々の命を危険に晒すことになる、遺伝子操作を米に対して行う事は、断固反対します！秋田は米どころ昔からの知恵どころ、人の当たり前の良心を取り戻して下さい。お願い致します。

2-4116 【福井県、40代】

人工的に放射線を照射した変異起こしたお米は、断固反対。自主自立を考えるならば、米国の農薬に依存した農業から、日本の古来からある自然農へ回帰してほしい。ロシアのオーガニック政策を見てほしい。事実を見てほしい。先祖から受け継いだこの国を、次の世代へと少しでも良い状態で伝えるのは、我々の責任だと思ふ。秋田県だけの問題ではない。少高くても、丹精込めて育ててくれた農作物は、ぜひ購入したい。農薬に、化学肥料は土を汚染し、回復には何十年と時がかかる。本当に止めてほしい。

2-4117 【愛知県、30代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

※お米と言ったら秋田。そのブランドを守ってください。

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さ

ないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4118 【大阪府、30代】

全量転換の件は、県民の皆さまが等しくご存じなのでしょうか？

米どころとして名高い秋田県の方針転換は、他の産地にもインパクトを与えます。

行政寄りの専門家の皆さまが、例え安全だと主張されていても、反対意見を持つ有識者の方も数多くいると考えます。

その方々の意見はどの程度反映されていますか？

食への冒涇が止まらない昨今、今回の件も例に漏れず、我が子には食べさせたくない品種となりました。

2-4119 【大分県、30代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただけたら嬉しいです。

2-4120 【千葉県、40代】

ゲノム編集された米ばかりになることに危機感を感じます

これから先の未来、あきたこまちを避けて食べるようになってしまわないように、していきたいです

よろしく願いいたします

2-4121 【鹿児島県、50代】

日本の財産であるお米を大事にしたいです。

従来のおきたこまちの存続を希望いたします。

2-4122 【福岡県、50代】

あきたこまちをそのまま残してください!

2-4123 【福井県、50代】

米どころ福井県民より。

利権や、長い目でみて健康を害する不自然な食べ物にする事を反対いたします。

人間の自然治癒力を崩すような食べ物を作ってはいけないと思います。

自然の力、植物の力は偉大です。

どうか、秋田の誇れる稲作を

日本を守る事を

長い歴史を守る事を

これ以上自然を壊さない事を切に切に希望いたします。

秋田県だけの問題に留まらない、この危機的な状況。

どうか、ストップをかけてください。

これは、日本を守る事につながるのです。

これからの未来へ繋がる農業を是非考えていただきたいです。

2-4124 【愛知県、50代】

放射線育種米に反対です。

食は命の基本です。お米は日本人の大事な宝です。

安心安全な日本のお米作りを望みます。

2-4125 【愛知県、40代】

食の安全が注目されている今。

あきたこまちRの概要もすぐに情報が流れてきます。

生態系への追跡調査のないものを使用する。

選択の余地をなくす。

県への信頼性をなくしてしまう行動につながるのでは？

今一度、何のための国内産なのか。

健康や未来のためにと真に必要なことを考えてもらえませんか？

2-4126 【愛知県、40代】

放射線育種米なんて絶対反対。

日本人を終わらせる気でしょうか。

絶対反対。

2-4127 【神奈川県、70代】

「あきたこまちR」の使用、全量転換に反対です。

理由は、主に次のようなものです。よろしくおねがいたします。

1 放射線育種、特にイオンビーム使用は、遺伝子DNAの2本鎖を一挙に切断するので、従来のガンマ線育種より強烈であり、安全性は確認されていない。戻し交配だけでは、未知の物質、隠れた形質が除去されるという保証にはならない。

2 自然突然変異と人為突然変異（放射線育種による）は峻別すべきである。安易な同一視は科学的ではない。本来、自然界にはない高線量の電離放射線を使う、食品への放射線育種は行うべきではない。ましてや、主食のコメ（稲）に対する品種改良技術として使用すべきではない。これは、品種改良ではなく、改変、改悪である。

3 食の安全は、人類の長いあいだにわたる食文化により形成されたものである。放射線の発見、その利用という「核」利用を食べものに及ぼすことは、自然の摂理から逸脱するものであり、本来守るべき食の安全、安心、食と農の文化に反する。秋田県のように自然環境にめぐまれた豊かな米作地帯のおいしいコメどころという地域イメージをこそ、守るべきである。

4 主食のコメに対して、そうした遺伝子改変を起こした登録品種に全面転換していくという、2018年改訂の「コメ中のカドミウム低減のための実施方針」（農水省消費・安全局）の方針そのものが、そもそも間違った方向性を示したものである。しかも、全面転換を正当な裏付け・根拠がないまま説いている。例えば、カドミウム低減データでは試験栽培農地のカドミウム汚染程度の数値が公表されていない。

秋田県は、自治権を発動して再考し、「風評被害」などの理由で、全面的に全量転換することを直ちにやめるべきである。

5 「風評被害」と言うのであれば、「秋田県のあきたこまち」は「R」であるとして、避ける事態が起こるやもしれず、それこそ農家にとっても、秋田県産業、とりわけ稲作にとっても“風評”がそれにとどまらず、「実害」になる恐れが強い。県は、そのあたりのところまで考慮に入れて、転換を中止すべきである。

6 新品種で対応したいのであれば、岡山大学馬建鋒（ま・けんぼう）教授が2022年8月22日に同大学プレスリリースで発表した、インド古来のPokkaliから育種した遺伝子カドニウム／マンガンに関わるOsNRamp5が（「R」品種のように欠失したのではなく）重複している品種の可能性こそを探るべきである。高濃度汚染地域などで共同の栽培試験等を行い、こちらに切り替えるべきである。

7 6のOsNRamp5重複品種を使用する場合も、全量切り替えではなく、カドミウム高濃度汚染地域のみでの使用とし、こうした登録品種、自家採種がむずかしい品種に全面転換

すべきではない。

8 「あきたこまちR」の使用、全量転換への反対は、カドミウム汚染農地対策を看過するものではない。カドミウム汚染への対策、汚染低減、コメ中のカドミウム低減は、重要である。「あきたこまちR」による対応は、現代科学技術を駆使した特効薬のように見えるかもしれないが、今、立ち止まって、総合な観点から、カドミウム汚染対策のあり方を再考すべきである。

「あきたこまちR」への全量転換計画は、いったい、どれほどの県民のあいだで認識されていたのだろうか。農家は、どうだろうか。そしてまた、消費者も重要な関係者であるはずだ。

今、必要なのは、カドミウム汚染低減対策の総体について、中長期的な総合的な視野の下に、多様な観点から、多方面からの関係者、とくに、反対している市民・住民、農業団体、県外を含むところからのこの問題に批判的な科学者・研究者などを集めた、「開かれた議論の場」ではないだろうか。(賛成派だけの検討会は逆効果である。)

そしてまた、こうした総合的な見地からの検討には、「あきたこまちR」についての科学的データの公開が必須である。さらには、「R」の詳細な品質等について、栄養素などの詳細な成分変化などの試験がなされていないので、それらの実施とその結果報告の公表、検討も行われる必要がある。

いずれにしても、農水省・秋田県が狭い範囲の関係者で進めてきた「あきたこまちR」への全量転換の問題については、より総合的な、中長期的視野にたった、詳細なデータ作成と結果公表による多方面からの関係者による検討が必要である。

一旦、立ち止まり、そうした総合的な視野からの再検討を行うことを要求します。

以上、よろしくご検討のほど、おねがいたします。

2-4128 【宮城県、60代】

放射線育種米の将来にわたっての安全性は不明瞭なので、反対です。情報が明らかになれば、秋田県産米の敬遠、売上げ減に繋がると思います。情報隠蔽や説明回避はもつてのほかです。

2-4129 【神奈川県、40代】

あきたこまちRは怖くて食べたくありません。
従来なあきたこまちが食べたいです。

2-4130 【兵庫県、60代】

あきたこまちRへの転換に反対します。放射線育種米ということですが、健康にどんな

影響があるかわかりません。特に子どもたちへの影響が心配です。

従来通りのあきたこまちを作ってください。よろしくお願いします。

2-4131 【大分県、40代】

「あきたこまち」を食べて育ちました。大好きなお米です。

日本中で愛される「あきたこまち」をどうか守ってください。

2-4132 【北海道、40代】

実家の両親があきたこまちが大好きで毎月注文して送ってました。

慣れ親しんでいたあきたこまちが、2025年に放射線育種後代交配種のあきたこまちRに変わると聞き居ても立っても居られなもいられなくなり意見を言わせていただく形になりました。

時代の変化と共に色々な物が便利になり、それに伴い受け継がれてきたものも人の手によって消え去ろうとしています。便利になる分何処かで皺寄せがやってきます。それは目に見えないもの、例えば健康被害など様々だと思います。

現に虫や動物、植物も自然破壊によって行き場を失い死んでしまっています。人間も同じです。遺伝子組換えの食品やゲノム編集の食品を食べることによって今までにはなかったような病気や症状が出てくるかもしれません。

先人から受け継いできたものをこの先にも少しでも多く残せるように、慣れ親しんできたあきたこまちをこの先の未来の子供達に食べさせていきたいです。説なる願いです。

宜しくお願い致します。

2-4133 【愛知県、50代】

あきたこまち、訳のわからない事を説明と情報も分からないに等しい事をしないでください

普通の今までのあきたこまちで充分です

日本のためになると思いますか

農家さんも一生懸命に育てているお米を疑い深い物にしていけません

2-4134 【三重県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。私も本当につい先日、この情報を知り、驚きました。日本人の古来からの主食である、米について、放射線を使用するなどといった操作を軽々に選択するべきではないと考えます。不安と心配のあまり意見させてい

ただきました。

2-4135 【北海道、50代】

放射線という人体にも影響する事を分かっているのにわざわざかけるなんて馬鹿な行為を止めるべき。

育種米わずかな汚染地対策のためにすべての地域で汚染対策米を栽培させるかというのと、そうしないと「風評被害になるから」という理屈は明らかにおかしい間違いだ

カドミウムは自然に存在する元素だが、人体に入ると腎臓に影響を与え、カルシウム分が体外に出され、骨や神経に影響が出る。イタイイタイ病の原因ともなる。特に女性に深刻な影響が及ぶ可能性がある。主に鉱山活動によって地中のカドミウムが大量に地上に出て、汚染につながった。そんな事も知らずに勝手に決めるな

政府は放射線育種は問題ないと言っているが、これまで世界で行われてきたガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっていて、施設は閉鎖されている。やっているのは日本くらい(中国の動向は不明)。そして今回使われているのは従来のガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームである。その安全性を裏付けるデータや実験は存在していない。

確かにかなり前から「原子力の平和利用」という名目のもとで、放射線をあてて突然変異させた品種は作られて、市場に出回ってきた。しかし、その品種ばかり100%になった事例はなく、毎日そればかり食べてきた人もいない。もし、放射線育種米だけしかなくなると、それを毎日食べ続けるということ、10年後、20年後、続けたらどんな影響が起きるか、誰も予想できない。

放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」はOsNramp5という遺伝子が破壊されたことによってカドミウムを吸収しないと同時に生物の成長にとって欠かせないマンガンも吸収しにくくなっている。そのためこの品種はごま葉枯病になりやすい(これは農水省も確認済み)。マンガンが豊富でない水田では余計にマンガン不足を足してやらなければならない。「あきたこまちR」でなければ不要な対策を多くの農家が負担しなければならない。

遺伝子が1つ壊れていて、人の手を使ってマンガン不足を足してやらないと育たない生命力の弱い品種がこの気候変動が激化する今後の気候に耐えられるという保障はない。ごま葉枯病以外の病気も出てくる可能性がある。その品種を100%にするというのは食料保障の観点からもありえない。

「遺伝子の1塩基しか壊れていないので安全」というが、1塩基を壊すことでその遺伝子はそれまでとは異なるタンパク質を作る(フレームシフト)。長期的に食べた時に健康にどんな影響をもたらすか、実験は行われていない。安全は確かめられていない。

「あきたこまちR」は自家採種禁止。他の秋田県品種もすべて放射線育種の後代交配種と

する計画であるため、秋田県ではほとんどのお米が自家採種禁止となる。県から提供可能なのは遺伝子特許が取られた米だけになり、その中での選択の余地はなくなる。

放射線育種米を作るのは日本くらいだから、世界の消費者はそんなお米は受け入れないだろう。農水省は放射線育種米も有機認証 OK だと言っているが、EU では種苗に放射線かけることは有機としては認められない。

そもそも人びとは安心するために有機を買っているのだから、日本の有機がそうになってしまえば有機に対する信用はがた落ちになるだけ。また世界の消費者の理解も得られないので、日本米は海外市場も失うことになる。すべての有機農業関係者にとっての脅威となる。

放射線育種は効率は「ゲノム編集」に劣り、この放射線育種米がいつの日か知らぬ間に「ゲノム編集」に代わってしまうというのは十分ありうるシナリオだ。

この一連の決定は農家も消費者もまったく関わることなく、農水省一秋田県の独断で行われた。一部の農産物検査機関や流通企業の同意のみが求められ、農家や消費者は蚊帳の外である。

秋田県だけで動けば、農水省のロジックでいえば秋田県産米への「風評被害」必至となる。それを考えれば今回の秋田県の動きは拙速が過ぎる。切り替えの延期は不可欠だろう。

低カドミウム対策米は放射線を使わなくても、在来種を活用することは可能。

2-4136 【京都府、50代】

遺伝子組換えの秋田小町が出荷されるとのこと、

国民の安全性を真摯に考え認可する方が数年渡って食べてからにしてください。

真摯な開発者は皆自分が実験台になっておられます。

役所努めでしたらなおのこと、国民からの税金によってあなた方の雇用が成り立ってるわけですから。

食は命で、しかも主食の米です。

経済に頭やられてる場合ではないです。

2-4137 【佐賀県、40代】

どうか安全なものを選ぶ権利を奪わないでください。

2-4138 【東京都、40代】

あきたこまちは日本の大切な米という宝です。

長期的な人体や環境への影響も慎重に考慮せずに、いきなり全量を放射線育種米にする

ことは日本に住む人間のみならず、それを餌にする家畜や輸入する国の人々にも大きな影響を与える可能性があります。どうか未来のために慎重かつ賢明な判断をお願いします。秋田県にとってもそれが必ず後に利益をもたらすはずです。

せめて一部のみに限る、そして今後の影響を検証する時間を取っていただきますように、お願いをいたします。

2-4139 【群馬県、40代】

あきたこまち R への全量転換に断固反対いたします。

理由としては、今までの有機無農薬栽培あきたこまちで健康上の問題は全くないこと、一部転換ならまだしも、全量転換の必要性が無いことです。

全量転換の停止をよろしくお願いいたします。

2-4140 【京都府、60代】

3%のカドミウム汚染の為に秋田こまちの遺伝子の一部を壊す事は絶対にやってはいけない事です。

植物が本来持っている遺伝子を人間が操作する事は許されません！

どうか、秋田こまちを守ってください。これ以上、日本を壊さないでください。

2-4141 【静岡県、50代】

県議会への意見

「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に全量転換することを決定されたということをお聞きいたしました。

放射線育種後代交配種については賛否両論あり、それぞれの立場での主張がなされていると思います。放射線育種後代交配種を食事に取り入れたくないという方もいらっしゃると思いますので、全てを放射線育種後代交配種に置き換えるのではなく、それ以外のお米を購入する選択肢も選べる様にして頂きたいです。

2-4142 【千葉県、50代】

全量転換することは一つの問題。

長期的にどのような影響があるのかわからないのにそのような事をするのはおかしいと思います。

ようは遺伝子組み換えに近い米ではないのでしょうか？

そのようなお米は食べたくありません。

中止をお願いします。

2-4143 【東京都、40代】

日本の伝統食であるお米。

従来のまま、これからも国民に届けて欲しいです。

2-4144 【東京都、60代】

あきたこまちRは絶対買いません。

こんな農政止めていただきたい。

2-4145 【東京都、50代】

放射線育種米の安全性と、今後の環境変化に耐えられるのか疑問が残ります。

また放射線育種米で壊される遺伝子は、子どもの成育にとって重要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子です。

遺伝子改変はゲノム編集、将来的にお米ではなく種々の食物に行き渡ることにつながりかねません。

従って、「あきたこまちR」への全量転換には反対です。

東北出身の私としては非常に危惧しております。

2-4146 【兵庫県、50代】

あきたこまちR…秋田県で作られるお米が、全て放射線育種米に変えられようとしていると知りました。

種となるお米に放射線照射をしたものを使うのは、

実ったお米も放射線照射の影響を多分に受けている…

そんなお米を食べたら、食べ続けていったら、

わたし達の身体にどう作用していくのでしょうか？

考えてみただけで気持ち悪いですし、

未来を担う子ども達にも、そんなお米を食べさせたくないです！

あきたこまちRに全量転換するなんてあり得ません！

「あきたこまちR」への全量転換、断固反対いたします！！

2-4147 【島根県、40代】

全国的な問題である鉍毒問題からの脱却への進歩であり、他県住民としても大変期待しております。

今回の品種入れ替えは、科学的視点に立脚した正しい選択肢だと思います。

一方で世代を追うことで、変異が蓄積し、カドミウム吸収能の再上昇が起きないか、継続的な観察は必要だと思います。放射線育種と聞くとアレルギーを持つ人が少なからずおられますが、科学的視点から引き続き推進されることを祈ります。

2-4148 【東京都、30代】

不自然なものは食べたくありません。
どうかやめてください。

2-4149 【東京都、70代】

テーマ2、「あきたこまちRへの全量転換」に絶対反対です。

2-4150 【東京都、60代】

放射線による稲の遺伝子操作に反対します。どの様な健康被害が出るかわからないお米は食べられないし周りの人に薦められません。あきたこまちが全て「あきたこまちR」になるのであれば、二度とあきたこまちは食べられません。

2-4151 【広島県、50代】

他県在住の者ですが、これから数年後、人体にどんな悪影響を及ぼすものかわからない「あきたこまちR」への全量転換を断固反対します。

他県在住ではありますが、秋田県民の皆さんの健康（特に子供達の健康）が心配されますし、これから秋田県がこのようなことを始めることにより、日本全国にこのようなお米しか栽培できなくなることが嫌だからです。

なぜ、全量転換なんなのでしょうか？選択制にして「あきたこまちR」を全量転換はせず、やりたい農家さんだけにしていただきたいと思いますし、それを食べたい人にだけ売るべきだと思います。自然に反するお米に全部転換するのはおかしいと思います。

秋田県の賢明な判断をお願い致します。

2-4152 【京都府、60代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して強く反対します。

現代生物学を勉強していないと、この種の米が「単なる放射線によって生み出された新種」のように感じるかも知れません。しかしながら、それとは異なり、何十年にも渡り、現代生物学の DNA エンジニアリングを使って米国で生み出された新種の可能性があります。この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があります、

(あ) F1 種子であること、

(い) 不妊遺伝子や様々な DNA 変異が施されている、等々の有害な遺伝子変化が秘密裏に行われている可能性があります。「あきたこまち R」に変える前に、この種でできたお米の安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきです。上記不妊遺伝子や SV40 癌誘発遺伝子が組込まれている場合、風評被害では無く、完全な毒物米となります。それでも、秋田県は、「あきたこまち R」を推進する予定なのではないでしょうか？

秋田県は日本でも素晴らしい自然に目生まれた土地だと思います。私自身秋田県の大ファンです。その素晴らしい秋田県がこのようなお米の全量転換を推進予定というのは大変に残念なことです。このお米を食べたらどうなるのかを秋田県の県議の皆様はじめ、多くの方が自分事として再考していただくよう、切に要望いたします。

2-4153 【愛知県、40代】

あきたこまち R は 令和7年から 切りかえ、
カドミウムに 配慮してとの事、 そうする事により
必要な栄養が とれない事も あると 言われているでは
ないですか！？

カドミウムも 心配される農地は 一部と 言われていますが、
どうなのでしょう。

自然に逆らい 変わった事をすると どうなるかの
予測は されていますでしょうか？

食とは 何であるか 考えるきっかけに なると思います。
全国に 知らない人が 沢山いますので、デメリットも
伝えなくては いけないのでは ないでしょうか。

2-4154 【茨城県、70代】

十数年前に初めて秋田へ旅しました。自然と共生している県民の皆さんの生き方に感銘を受けました。そして食べ物が何でも美味しい良い土地だと好印象を持ってそれ以来稲庭うどんのファンになり、お遣い物にも利用させていただいています。

漢方薬のツムラが秋田の植物を原料としているのも納得でした。福島原発事故以来関

東東北とも広く放射能に汚染されましたが、幸いなことに秋田山形は被害が少なく胸を撫で下ろすものです。

食の安全に実践的に関わっている秋田県が、今回アキタコマチに放射線処理をするというしかも一斉にという信じられない方針を表明したことはこれまでの秋田県の定評を完全に覆すものです。福島では若者のがんが増え大問題になっていることは当然ご存知のこととおもいます。自然と偶然に守られた宝物を自ら棄て去るような愚策には断固反対します。秋田県は選べるのです。県民のそして全国の子どもたちの未来のために今回の方針は撤回して下さるようお願いいたします。

2-4155 【千葉県、40代】

米に放射線を浴びさせるのには断固反対致します。これ以上日本の農業を壊さないでください。安全安心なお米を作ってください。お願い致します。

2-4156 【横手市、60代】

まず、あきたこまちRは安全性が確保されているとは思えません。

農業県として秋田県はなによりも健康に良い安全な農産物作りを目指していかなければならないはずです。

もし今ここで放射能によって遺伝子を組み替えられたお米を生産し、それを県民が食した何年後かに皆病気が発生したら県はどのようにその責任をとるのでしょうか。知らなかったでは済まされません。訴訟問題になるのは目に見えています。

本当に心から県民の事を考え、まだその影響が未知のことに県全体をあげて取り組む必要があるとは絶対に思えません。

種苗法も伝統野菜を守ると言いながら、その種を自家採種できないようにしたり、全ての政策が間違っていると私は思います。

県の職員、県会議員、勿論知事も、もっと、もっと、もっと、県民の事を考えて、ただ国の方針に従うのではなく、本当に調べて欲しいです。

県民に知らせることなく事を勧めるのは卑怯なやり方です！！！！

<https://ameblo.jp/ayacyan-nakamise/entry-12817086378.html>

2-4157 【栃木県、70代】

放射線によって遺伝子を壊した 米など絶対に食べません

2-4158 【神奈川県、30代】

潟上出身者です。

放射線米に全面的に反対します。

国から補助金が出るのやも知れませんが、今皆さんが守るべきものを履き違えてしまったら国民は皆秋田への不信感しか持たなくなります。

秋田の農産物を始めとした全てのものの不買運動に繋がります。

先祖代々の土地を大事にしてください。現代を生きる私達だけで決めて良い事ではありません。

現政権の言いなりにならないでください。

秋田県人の誇りを捨てないでください。

2-4159 【東京都、50代】

あきたこまち R への全量転換について。日本を代表するお米である「あきたこまち」

「あきたこまち」だけでなく、他の秋田県が提供しているすべての品種が放射線育種後代交配種、遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されるとのこと。このままでは日本のお米がすべて放射線育種米になってしまい、お米の安全性もさることながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのか、わかりません。また、その自家採種も禁止になりますので、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまいます。

放射線育種の目的は人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることですが、重イオンビームを 3000 近いコシヒカリにあてて、その中から 3 つだけカドミウムをほとんど吸収しなくなったお米ができました。ある遺伝子が放射線で壊されていて、その遺伝子がカドミウムの吸収に関わっていたことがわかりました。遺伝子を破壊するとなるとゲノム編集の得意分野です。この放射線育種米はいつの日か、ゲノム編集に代わる可能性が十分あると考えます。そして、壊していい遺伝子などなく、この壊された遺伝子は実際には稲の成長にも子どもの成育にも重要なマンガン吸収する上で役立っている遺伝子でした。それが壊されるためにマンガン吸収しにくいお米になっており、ごま葉枯病などの病気になりやすいことがわかっていますし、ミネラル不足のお米になることも不安材料です。なお、人体への健康被害も考えられます。

カドミウム汚染地域は全体の 3% 未満ですが、汚染地域だけでなく、すべての水田で同じお米を作るべきという方針が作られました。汚染地域だけで作れば「風評被害」が生まれるからだというのです。でもこの「あきたこまち R」や「コシヒカリ環 1 号」はカドミウムをほとんど吸わないので、地域のカドミウム汚染を減らすことには役に立ちません。また、すべての農家にマンガン不足にならないようにマンガンを追加するという新たな負担

が課されることとなります。

これは日本の農と食に多大な影響を与えざるをえません。ですので、秋田県が突出して転換を進めてしまえば、追従する動きが必ず出てくるでしょう。その意味でも秋田県の動きをいったん止めていただきたいと思います。私たちの體は食べ物でできています。慎重なご検討をしていただく必要があると思います。よろしく願いいたします。

2-4160 【広島県、50代】

秋田県民ではありませんが、テーマ2は私たち日本人の主食に関する事なので意見を送らせていただきました。

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換を辞めてほしいです。

従来なあきたこまちを食べ続けたいです。消費者が従来なあきたこまちを選び続けられるように

全量転換に反対します。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、

議論する場を設けるべきです。

あきたこまちは広島県内でも有名なお米です。秋田県民の方々だけで決めてしまうのではなくて、

広く全国からの意見も取り入れて議論を重ねて、慎重に決断すべき問題だと思います。

従来からのあきたこまちを守ってってください。

2-4161 【他県、30代】

全量転換はどう考えてもおかしいです。

長期的な影響は何もわからないので慎重に進めるべきです。

あとで健康被害があるとわかったらどうするつもりですか？

2-4162 【神奈川県、30代】

秋田の米農家の実家をもつ者です。放射線育種米が本当に安全なものなのか、秋田の環境を変えてしまう恐れは本当はないのでしょうか？私はこのあきたこまちrという米の栽培を、始めるので有れば秋田のお米は全て買いません。

そんな事を勧める前にもっと安全な食を守る事を考えてください。農家さん方にも失礼です。

2-4163 【群馬県、50代】

放射線育種米に断固反対します。

食の安全を守って下さい。

2-4164 【千葉県、40代】

●購入者が「あきたこまちR」とわかる形で販売されるのか不安です。

●米粒が放射線を出すわけではないが、自然界の微量の放射線と違い、原爆や原発の濃縮ウラン並みの強い放射線を当てて突然変異を起こしたものを30年40年食べ続けた結果どうなるのか、議論検討が足りているようには思えず、不安です。

●EUでは認められていないとのことで、国際市場を失いかねません。

●3%のカドミウム汚染地のために、国民皆が毎日食べる米を変えるのではなく、汚染地への対策でとどめるべきです。

3%のカドミウム汚染地の風評被害と、議論検討が足りていない米を大多数の国民が何も知らされずに食べることを天秤にかけたら、もっと議論検討を尽くして、国民への情報公開と周知を徹底すべきです。

●受胎できずに流産の可能性が上がると言われており、女性が子供が出来づらい体になっては少子化を促進してしまいます。

●リンを握っているのは3カ国で80年分とされ取り合いが始まっていますが、リンが採れない日本は下水汚泥を使うためにカドミウムを吸わない米を開発したと言われるが、なぜ農水省は説明して国民に理解を求めないのか疑問です。

●10年くらい研究にかけていると聞きましたが、急がず、もっと広く国民に周知して、じっくり議論検討が尽くされてからにすべきで、厚労省のワクチンのような強引な進め方をするべきではありません。

●生産者も知らずに作って出してしまうことがあるとのことで不安です。

●人工的に突然変異を起こして作った結果、マンガン他ミネラルが不足していて稲が病気になるやすいとのことで、環境が厳しくなる中、強く生き残れる稲になるのか、不安です。

●現段階で通ってしまっただけでは、安心してあきたこまちを食べることができなくなります。以上の理由から、あきたこまちRへの全量転換は時期尚早と思いますので反対します。

2-4165 【埼玉県、30代】

毎年秋田のお米を買っていますが、放射能米は切り替えられた際には絶対に買いません！何の安全性も確立されていないまま、人体が浴びたら死んでしまうほどの放射能を浴びたお米を、大切な家族に、子ども達に食べさせたいと思いますか？絶対に許してはいけません。風評被害どころの話ではなくなります。どうか健全なご判断をお願いします！

2-4166 【埼玉県、50代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

放射線によって生み出された新種は人体に影響はないのでしょうか。また、遺伝子組換えが施されている可能性はないのでしょうか。

県民に対して、この種の米が、本当に安全であることを証明してから、実施するべきです。いきなり、米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変える前に、この種でできたお米を、動物（マウスなど）に与えて安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきです。

科学的な証明をしないまま、放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに強く反対します。

2-4167 【大阪府、50代】

日本のお米を守ってください！

DSの言いなりにならないでください！

子供達のためにも、日本の素晴らしいお米を作り続けていって欲しいと思います。

今の政府は、国民の事を考えていません。

全て統一協会の言いなり、ダボス会議等で強制させられているのか知りませんが、もっと日本の事を真剣に考えてくれる人が行政を行うべきです！

日本人のDNAが壊されてしまう恐れがあります。

日本のお米が食べられなくなってしまいます。

きちんと理解して、現状把握して下さい。

国民は、馬鹿ではありませんよ。

しっかり調べています！

どうか、こんなおかしい政策は辞めていただきたいです。

よろしくお願いします。

2-4168 【東京都、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・何がこの国の食を守る事になるのか？

子や孫に何を残すべきなのか？

熟慮をお願い致します。

2-4169 【岡山県、30代】

・従来の「あきたこまち」を食べたいです

Rは食べたくありません

2-4170 【愛知県、40代】

あきたこまちは日本で一番美味しいお米だと思っています。

しかしあきたこまちRに切り替えると伺いました。

それを聞いて私はお米にの安全性について不安を感じました。

もし切り替えることが決定した場合は、今後はあきたこまち以外のお米を購入します。

美味しさも大切だけど、安全性が最も重要です。

日本古来の種を大切に育て守って行ってほしいと思います。

2-4171 【北海道、60代】

自分の家族や大切な人に、自信を持って

食べてもらえるお米を作ってもらいたいです。

2-4172 【神奈川県、50代】

本来の日本の米を滅ぼす気か？

美味しい美味しい日本の米！

秋田県はお米農家を護る為

県民が一致団結して取り組むべきことです！

輸入に輸出に頼り切って来た日本は

今こそ断ち切り内需に転換しなければ

自ら滅びてしまいます！

日本のあらゆる農家を護る覚悟で

秋田県の将来を明るく照らして行ってほしいです。

2-4173 【埼玉県、40代】

安全なお米が食べられなくなるのは本当に遺憾です。

全量転換中止を求めます。

2-4174 【神奈川県、20代】

まず、このようなご機会をいただきました事、誠に感謝申し上げます。

さて、件の進め方は、いつもの事ではありますが、政府側の強行の意思を感じざるを得ません。

生産者や消費者への説明があまりにも少なく、存在すら知らない国民が多数です。

風評被害を恐れるのであれば、それを払拭するような説明などの活動をされてはと存じます。

また、全量転換により、水道水に引き続き、日本の食の安全が脅かされます。

遺伝子の変化の影響はは親から子へと時間の流れに伴って表へと現れてきます。それが突然変異や進化ということです。

46億年の地球の歴史的に見て、人類の遺伝子学の歴史・治験期間はほんの500年もないです。遺伝子組み換え作物の安全性も、結局は歴史2000年の人間の作った物差しで、地球規模で見たら何の根拠にもなっていません。未知です。

それを、日本を代表するお米に施そうとしている事が、どのような影響を及ぼすのか、科学とはなかなか縁のない政治家の皆様には想像が難しい事は無理もないことかもしれませんが、よろしければまた、研究者の方々と、このような意見があったと、私を含めたいろんな反対意見をご提示いただけたらと思います。

また、政治的に言えば、お米のブランド・付加価値の低下につながり、輸出や消費の低下も考えられます。歴史的な価値の低下も考えられると思います。

もう一つ食の安全として、農家への放射線育種の有無が知らされない事により、販売する際に表示ができないことから、「選択の自由」が奪われます。

また、カドニウム汚染の解決策に、日本の主食であるお米を絡ませていくのはいかがなものかと思います。

お米を食べる人が減り、愛着も無くなってきているとはいえ、政治家の皆様の中にもお米が好きな人もあまりいなくなってしまったのかもしれませんが、今やっと、グルテンフリーや腸活など、お米が見直されているところなのです。

どうか、もう一度保留にさせていただき、再検討していただけないでしょうか。

2-4175 【大阪府、50代】

安全性を確かめず米に放射線を浴びせることに反対します。

2-4176 【福井県、50代】

カドミウム接種は非常に怖いものだと思いますが
遺伝子操作にはそれ以上の恐怖を感じます。
大局的にみて国民の健康を考えるならば
すべてを放射線育種米に変えてしまう必要性を感じません。
自家採種禁止ということも含めて全体主義的な匂いがして
恐怖感がつのります。
他の方法を検討していただきたいです。

2-4177 【福井県、40代】

テーマ2 あきたこまち育種方法に関して
従来の育種方法をなされた、安全なお米の栽培をお願いします。
風評被害云々で、カドミウム汚染地域以外で、放射線育種された品種を育てるのはやめてほしいです。
またカドミウム汚染地域でそのような品種を作付けすることで、土地の汚染がなくなりません。
本当に安全なのか、本当に後世のためになるのか、今一度再検討していただくことを希望いたします。

2-4178 【北秋田市、40代】

秋田県があきたこまちを放射線育種後代交配種「あきたこまちR」に全量転換方針決定されたとのことで自分なりに調べてみましたが、安全性に疑問がありとても食べたいとは思いませんでした。このお米を毎日食べる事で、長期的にどのような影響が体にあるのか不明ですので、子供に食べさせるのは特に心配です。給食でも使用される事になるでしょう。本当に安全だとは言いきれないのではないのでしょうか。カドミウムの問題がある土壌を改良する事は難しいのでしょうか。富山県では汚染農地の復元工事を行ったそうです。せめて今までのあきたこまちとあきたこまちRを選択して購入できるようにしていただきたいですし、農家でも栽培の選択ができるようになればと思います。

2-4179 【京都府、70代】

米は日本人の命の支えです。米を育て、酒を醸し、米を食べて今日まで生きてきました。
放射能、放射線の危険性は、農薬の比ではありません。
大切な米の、遺伝子まで放射線で操作することは絶対にしないでほしいです。

まして、あきたこまち R への全量転換はなんとしてもやらないでください。
心からお願いします。

2-4180 【神奈川県、40代】

放射線育種米に反対致します。あきたこまち R から始まり、放射線育種米が全国展開されるようになるのではと危惧しております。日本の食の安心を守るためにも中止して頂きたいです。

2-4181 【神奈川県、40代】

放射線放射して遺伝子構造を破壊したお米を食べるのは絶対嫌です。私達は自然の一部です。人工的な加工に敏感に反応する肉体を持っています。体内に蓄積したり、原因不明の不調や病気になり肉体は欲望に汚染された頭よりもっともっと賢く、自然を取り戻そうとしています。行政は何故危険なものを国民に食べさせるのですか？ミオパチーの子供に会ったことありますか？染色体異常の病気です。その原因の一端が化学だとしたら、めちゃくちゃ残酷だとは思いませんか？何故未来が先細る環境破壊をするのですか？人間の尊厳てなんですか？生命を大切に思う政策していただきたいです。

2-4182 【三重県、30代】

日本のお米を守りたい。

遺伝子組み換えや放射線育種、このようなお米を食べて、私たちの体への影響はゼロではないはず。

どう考えたら、このようなことが推進、実行されるのか理解できません。

昔ながらの種、品種を大切に守っていくことが日本国民の健康にも繋がり、次世代へ繋いでいかなければならないことだと思う。

2-4183 【京都府、50代】

種籾に放射能をあてる事は、どう考えても間違っています。

すぐに撤回をお願い致します。

2-4184 【埼玉県、40代】

県議会への意見

2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に全量転換することを決定されたことにつきまして、放射線育種米について人体への影響につきまして十分な研究がなされたのでしょうか。

放射線育種米につきましては、ただ単純にそんな物は食べたくない、そしてそれを食べ

ることによって引き起こされる人体への短期的・長期的な影響が分からないため、全量転換につきまして一度立ち止まって頂けますようお願い申し上げます。また、人体への影響が出た際に、御県議会でその責任は取られるのでしょうか。責任の所在も含めて、改めて頂けますようお願い申し上げます。

2-4185 【三重県、30代】

日本のお米を大切にしてほしい

2-4186 【富山県、40代】

あきたこまち から 全面切替に反対します。

理由として 「あきたこまち」は秋田県が作り出し 日本中で愛され 31 都道府県で生産される日本を代表するお米です。その「あきたこまち」を守って下さい。

2-4187 【千葉県、50代】

今まで『あきたこまち』を購入してきました。美味しくいただきだいてきました。が、『あきたこまちR』に転換されたらもう購入はしません。カドミウムの吸収を減らすという建前で失わせるものがどれだけ大きいかご存知で決めた事なののでしょうか？

取り返しがつかなくなる前に再考をお願いします。私は東北生まれです。秋田県、こんなことで有名になってほしくありません。

2-4188 【三重県、20代未満】

僕たちの主食のお米はどうなってしまうのだろう。

心配です。

2-4189 【大阪府、40代】

放射能と聞くだけで、人体や環境に悪影響があるのではないかと心配しています。そのような悪影響が全くないということが証明されるまで、市場に出さないでください。

2-4190 【東京都、40代】

土壌の改善が先かと思われます。

下水汚泥肥料などを使ってますます土壌が悪化しないか？

PFAS の問題も気になるところです。

現時点では元に戻す方法もはっきりしていません。

また、全量もやり過ぎです。

小規模から始めてアレルギーの調査なども含め徹底した安全性の検証をするべきです。
自家採種禁止も問題です。
今後の環境変化に耐えられるのか病気や冷害などに弱くないか心配です。
慎重かつ安全な未来ある検討を願います。

2-4191 【三重県、20代未満】

これからもちゃんとしたお米が食べたいです。

2-4192 【千葉県、30代】

放射線を照射したお米なんて絶対に食べません。
日本だけ癌が突出して多いのは食の安全への意識が低いからだと思います。
放射線米はさらなる日本人への病気を増やすのではないですか？
毎日食べるお米が被爆しているなんて考えただけでおそろしいです。
たくさんの人に放射線米について知らせていきます。

2-4193 【東京都、60代】

遺伝子組み換えは絶対反対です！

2-4194 【大阪府、60代】

安心安全な米に悪影響の出る施策は止めてください。少なくとも風評被害は出るでしょう。

2-4195 【神奈川県、70代】

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

2-4196 【福岡県、40代】

福岡に住んでいますが、あきたこまちRという放射能育種というお米に変換することに、違和感を覚えて送らせていただきます。

私たちの先祖が繋げてくれたお米が、遺伝子を変化させたお米に変わってしまう。

その選択ははたして、100年後の子孫たちにどう影響するのでしょうか？

目の前のカドミウム汚染を解決せずに、小手先で未来に問題を複雑化して先送りにする時代は終わりにしたいと思っています。

まずは一度立ち止まって、根本的原因に向かいあう、負の遺産を私たちの世代で絶つんだという気概が私たち大人には必要なのではないのでしょうか？

秋田県で放射能育種が始まってしまえば、あっという間に全国に広がっていくでしょう。本当にいまそうすることが未来の幸せにつながるのか、今一度考えていただきたいです。

2-4197 【静岡県、50代】

農家による自己採種が禁止されることは農家への負担を増やし、日本の第一次産業、自給率を低下されることになるのではないのでしょうか？反対します、

2-4198 【鳥取県、40代】

放射能転写米に反対です。あり得ません。

2-4199 【神奈川県、50代】

いつも家ではあきたこまちを食べています。

遺伝子組換えしたあきたこまちRは食べたくありません。微量のカドミウムを吸収しない為に、米の大切な栄養素マンガンが取れなくなっては仕方ありません。あきたこまちRを補助金などで優遇すると以前の固有種を使った稲作を農家さん続けていくのが難しくなりますし、全量転換などもってのほかだと思います。

農家さんが固有の種を守って農業を続けていけるようにしてほしいです。

2-4200 【京都府、60代】

私は安全安心なお米を食べたいです。

今まで通りの安全な食事をしたいただけなんです。

あきたこまちRへの全量転換を廃止してください。

2-4201 【群馬県、40代】

あきたこまちRへの全量転換について、秋田県議会にお伝えしたい意見です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。以下に挙げさせていただく理由から、「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

- ・ 遺伝子を破壊され、マンガンを吸収しにくくなった稲が、今年の厳夏に世界中で見られているような気候危機の中で生き延びられるかには不安材料が大きく、全量転換はリスクが高すぎます。従来品種を作り続けることが大事です。

・今回の全量転換の理由となっているカドミウム汚染が残る地域は全国でもたった3%。重要なのはカドミウム汚染地をなくすことであり、汚染地域に対し、国が徹底調査と補償を行うことです。今回のあきたこまちRへの全量転換は、「米にさえ入らなければいい」という問題の矮小化の片棒を担ぐものとなってしまいます。低カドミウム米の栽培だけでは、地域のカドミウム汚染はそのまま残り、さらに下水汚泥肥料などによって、カドミウム汚染が高まる可能性すら指摘されています。

・従来の「あきたこまち」を食べたいです。私の周りでも、あきたこまちを長年食べてきたファンが多く、「放射線育種を行なわないで」「遺伝子の鎖の破壊が行われたあきたこまちは不安で食べたくない」「あきたこまちブランド自体をもう買わない」という人は多いです。

・これまで世界で行われてきたガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっており、施設は閉鎖されています。しかも、今回使われているのは従来のガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームで、その安全性を裏付けるデータや実験は存在していません。加えて、ガンマ線照射された種の米「ばかりを」食べることになった国はこれまで存在しません。いわば、臨床実験の行われていない薬のようなものです。日本民族の今後に大きく関わる問題です。拙速にすすめていい事案ではないと考えます。

・「風評被害」が起きるから全量転換をするというのが農水省の言い分ですが、全国民の主食を遺伝子操作された食べ物に切り替えるというのは、日本民族の未来永劫に関わるレベルの歴史的な大問題です。

これだけの大事を、消費者にも生産者にも情報が行き渡らない中で全量転換を決めてしまうことは、それ自体が大問題です。秋田県だけが先行して行うのは時期尚早です。農水省と農水省関係の学者・研究者の意見を鵜呑みにするのではなく、様々な専門家や生産者からの意見を聴いて、どうぞ議論の場を広げて下さい。なぜ世界ではガンマ線照射された種が広がらなかったのかには、理由があるはずです。検証して下さい。

・加えて、おそらく多くの生産者が知らないままになっている問題があります。放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」は、OsNramp5という遺伝子が破壊されることで、生物の成長にとって欠かせないマンガンも吸収しにくくなっています。そのためこの品種は、ごま葉枯病になりやすいです（農水省も確認済み）。マンガンが豊富でない水田では、余計にマンガン不足を足してやらなければならなくなります。肥料や燃料費の高騰と人出不足に苦しむ生産者が、さらに重い負担を強いられます。このことを周知せずに全量転換を決めたのは、生産者さんたちに対してフェアではありません。周知の上、もう一度本当に必要な転換なのか、議論して下さい。

・カドミウム汚染は、低カドミウム米だけでは全く解決できません。低カドミウム米の施策の広がり、カドミウム汚染に苦しんできた地域への救済問題の矮小化に繋がり、政

府や農水省の責任を回避させる手助けになります。同じ日本の国民として、カドミウムに苦しんできた地域の人々の助けにならない施策に手を貸さないで下さい。

・後々、日本国内外で上記のような後々の健康被害や経済・人手不足の負担が起こった場合、この大転換を議論を尽くさず拙速に全国一番に行った、という意味で、秋田県議会は歴史に名を残すことになりかねません。ただでさえ大きく減少している日本国の人々の健康は、良質な食べ物と環境で守られなければなりません。偏りのない幅広い専門家や生産者・関心の深い消費者を含めての再議論と決断を、どうぞよろしくお願いいたします。

2-4202 【広島県、50代】

遺伝子操作米に全面転換しないでほしいです。

どうしてもしたいなら一部転換して消費者の判断を仰いではどうですか

農家が自家採種できないようにして

種の利権を得ようとする人たちの思惑に騙されないで正しい判断をお願いいたします。

カドミウム汚染されている土地の浄化や

今後どの地域も汚染されない工夫が必要だと思います。

今私が住む広島県三原市は産業廃棄物処理場が水源に作られ全国三位の受け入れ量となっています。

まだ1年たっていませんが、泡立つ悪臭のする水

重金属汚染水が垂れ流されています。深刻な問題になるでしょう。

ですが、私は放射線育種米は食べたくありません。

不自然な遺伝子をもった米だからです。

汚染の浄化を進める方法は必ずあると思います。

全国の米を変える前に微生物による浄化や中和をする方法があるのではないのでしょうか？

専門家ではないのでわかりませんが

もっと土地の浄化方法をする手立てを模索するべきではないのでしょうか
よりよい地球を作るために、

放射線育種米に転換しないで土壌の浄化へ進んでいただきたいです。

2-4203 【東京都、60代】

お米は、肥料も農薬も使用せずとも栽培出来ます。

自家採取に関しても、規制は必要ないと考えます。

2-4204 【愛知県、50代】

反対です。

お願いします。安全な美味しいお米孫に安心して食べさせたい。

2-4205 【神奈川県、50代】

日本の食に欠かせない大切なお米を作ってくださる農家さんとの意見交換や議論がまだたりないように思えます。

県議会やさらに政府も、安全で美味しいお米をこれからも残していこうと思う おもいは

同じだとは思っているので、実際お米づくりしてる農家さんの方々と、もっと現状を調査してからの判断をのぞみます。

現段階の決定が、未来の日本の食、健康にどう影響するか、目先の判断材料だけでなく、どうか

いま一度、国民のみなさん問うほどに、堂々とすすめていただきたいと考えています。

どうぞよろしくお願いします。

2-4206 【兵庫県、40代】

あきたこまちRの全量転換に反対します。

カドミウムから身を守るために安全なお米にするためにという考えは良いのですが、重イオンビームを当て遺伝子を破壊して種を育てることに対し、将来への環境や健康上の不安を感じます。カドミウム汚染地域は全体の3%未満のにもかかわらず、汚染地域だけでなく、すべての地域に適応するというのは理解が付きません。また、遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止される点についても疑問が残ります。これまでのように、その土地で育った「あきたこまち」を大切にし次に繋げていくことが大事なことで考えます。

2-4207 【埼玉県、40代】

お米に放射線が残っているかの有無が問題ではありません。

自然放射線からの突然変異を説明していますが、今回は意図的な放射線ですから、自然ではありません。なぜそれを同じものだと認識させるような説明をするのでしょうか。

自然界ではありえない人為的変異は、多様な生物との共生概念から外れています。

他の野菜や果樹でもやっているから。それが理由では、右へ習えで今回の対応にどれだけ価値があるか疑問です。

「あきたこまち」としてのブランドをどのように作り上げるか、検討ください。

2-4208 【北海道、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

私の祖母は秋田県出身で以前から秋田に親しみを感じています。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-4209 【岩手県、40代】

秋田で生まれ育った者です。

国から何を言われたかわかりませんが、長期的な目で考えてください。

食べ物が私たちの体を作ります。

長期的に安全かどうかもわからないものを主食にするなんて、怖すぎるし、とても悲しいです。

米どころ秋田が実施すれば、日本中が実施するでしょう。

安全でないと判ってきた時の、秋田のリスク、責任も想像してください。

あきたこまちRへの全量転換の廃止を求めます。

2-4210 【広島県、50代】

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4211 【京都府、40代】

こちらについて、何を考えてらっしゃるのか意味が分かりません。

日本人をなんだと思っているのでしょうか。

お米を食べて、放射能に汚染されるなんてあり得ないです。
絶対反対です！

2-4212 【福岡県、40代】

私は、純粹に、日本人が昔から食べてきたお米を原種に近いかたちで食べられる環境を、子どもたちの代に繋げたいです。まだ、長期的に食べられていないお米が、なぜ「安全」と言えるのか、不思議でなりません。どうぞ今一度慎重な話し合いをお願いいたします。

2-4213 【愛知県、60代】

安心なお米を食べたいので、絶対反対です。
市場に出回るなら秋田こまちは買いません。

2-4214 【福島県、50代】

放射線育種米が、どれほどのメリットを人類にもたらすのかわかりませんが、主食である米を、放射線によって遺伝子の一部を破壊されたものに「全量」替える必要は全くないと思います。やめてください。

2-4215 【大阪府、50代】

いつも美味しいお米をいただいています。
どうかRにしないで今まで通りでお願いします。
Rにしないで？

2-4216 【福岡県、30代】

昨日、あきたこまちを購入しましたが、あきたこまちRに転換されたら購入を控えようと思います。
せっかく全国的にブランド力のあるあきたこまちのブランド低下を招くような施策は再考いただきたいです。

2-4217 【滋賀県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。
その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる

か不安であり、従来 of 品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

以上ご確認の程、宜しくお願い致します。

2-4218 【神奈川県、60代】

絶対に反対。このような米は食品とは言えない。人体だけでなく、全生命体への長期に渡る影響を本当に考えられているのでしょうか。操作されていることが明記されないのであれば、この銘柄の不買、そして一切の外食をやめる等で身を守る以外無くなります。

2-4219 【東京都、40代】

放射能転写米絶対反対！！

なぜ自然の恵みに要らぬ手を加えるのでしょうか。

それを食べて健康になるのでしょうか。

日本人代々継がれて来た大切なお米への冒瀆です。

あきたこまちは全国に流通するありがたい大切なお米です。

ましてや選択の余地なく放射能を浴びたお米しか栽培できないなど

民主主義に反します。

日本の良さを損なう愚策はやめて下さい。

県外の者ですが、これは日本国民全員に関わる問題です。

目先の利益や圧力に屈しては政治ではありません。

どうか県議会議員の皆さんの善意がこの窮地を救ってくださる事を切に願います。

2-4220 【神奈川県、50代】

放射線育種代交配種に断固反対します。素人でもこの危険性は情報を得ることができません。日本にとって日本人にとって主食の大切なお米に不自然で危険な事をしないでください。情報を個人がリサーチして騙されない人が増えている時代に、人間の健康を脅かす食料は廃れると思います。安心、安全の食の管理をしてください。

利権や利益を優先しても結局はばれて信用を失うだけだと思います。
宜しくお願い致します。

2-4221 【東京都、50代】

放射線米の安全性は大丈夫なのでしょうか？

我々国民の口に入る食物…命、健康に直結する食物の安全性は担保されているのでしょうか？

是非慎重な議論を求めます…未来ある子供たちに安心安全な食べ物をお願いいたします。

2-4222 【広島県、20代未満】

J Aバンクが 45 兆円融資した中国の大手不動産会社が破産したそうでお米の種籾から利権が得られるように
全国の米を順次、放射線育種米に切り替えようとしているのではありませんか
放射線育種米の種に特許がとられて自家採種できないようにして
だれが得をするのでしょうか
カドミウムを吸収しない米に風評被害があるとわかっている
なぜ全国でそんな危険な米を普及させようとしているのでしょうか？
危険なのがわかっているのに普及させるなんておかしいです。

ワクチンのように、数年たってやっぱり危険だったと分かっても
遅いと思います。ターボ癌や心筋炎など深刻な問題になっています。
今まで通り先祖代々守ってきた米、不自然なゲノム編集をしていない米を
食べたいです。放射線育種米は
ぜったいにやめてほしいです。採用しないでください。
利権を持った人たちの言いなりにならないでください。
お金を渡されて賛成するように脅されても、採用しないでがんばってください。
あきたこまち 応援しています。
採用されたら秋田の米や米を原料とした食品がどうなるか
全国に広められたら、秋田県議会の議員さんたちの責任だと思います。
日本の未来を
しっかり考えて安全だとか大丈夫だとか、だまされずに判断をしてほしいと思います。
お願いします。

2-4223 【埼玉県、60代】

日本の在来種を守りたい…日本人が昔から食べてきた、安全な種を守りたい…中でも、お米は基本中の基本。

私たちの身体の土台を作る大事な稲が作れなくなるとは、絶対にしてはならない事です。

秋田県のような米所が、在来種を守る、選択肢として自分の所で取れた米の種籾から、同じ志の仲間と共に、日本人の昔から大事にされてきた、米作れるようにする事は、今だけでなく、未来においても、大事なこと。

世界的に種を管理しよとする動きの中で、一律にするのは、大事な宝を失う事になります。

是非、選択肢としての、在来種保護をお願いします。

2-4224 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも検討してください。

2-4225 【京都府、40代】

放射線を浴びた米を毎日食す恐怖がわからないのか。

わざわざ全面切り替えをする意味が全くわかりません。

内部被曝者を増やすような事は絶対反対です。

日本の主食、あきたこまちのブランドをしっかりと守って下さい。

2-4226 【愛知県、40代】

我が家は、ササニシキなどの昔からある安心安全なお米を毎日いただいています。

秋田県のお米がすべて何物か分からないお米になってしまうなんて

考えたくもありません。

こんなことがもし行われてしまって、日本のお米が

日本の人の体を壊していく。

ただでさえ、日本のお米離れが進んでいるのに安全安心も

なくなるなら、秋田のお米を買うことは一生なくなってしまいます。

安全性とはなんですか??育てやすいこと??

ではなく、人がその食べ物を食べて元気に暮らせることですよ。
遠い県からの一意見ですが、日本全体の問題だと思っています。
世をこれ以上混乱させる事はやめてほしいです。

2-4227 【宮城県、50代】

『あきたこまちRについて』

あきたこまちは世界一になれる、素晴らしい米です。

今回の転換で、風評被害やブランド価値の低下になるのでは、と思っています。海外は安全に厳しいです。せっかくここまで価値を上げてきて、美味しい米としてブランドできたのです。

他のブランドが伸びるチャンス与えないで下さい。

今までの努力が無駄にならないようにして下さい。

秋田県出身として、強く再検討お願いいたします。

秋田県民の自慢の米です。

将来もっと自慢出来る米になるよう、安心、安全な米であるように議論よろしく願い
いたします

2-4228 【沖縄県、50代】

日々、美味しいお米を作ってくれて

いる秋田の農家の皆さんへは感謝しかありません。

人手不足や天災等、色々と問題があると

思いますが、お米の人工的栽培は

どうかやめてほしいです。

お米は日本人の心です。どうかよろしく願いいたします。

2-4229 【神奈川県、60代】

そのような米を食べた人間はどうなるのか?

せめて、(議員さん達が)10年間食べ続け、健康被害は無い。

という結果を持って進められるならいざ知らず、放射能処理されていると
分かっているのなら、残念ですが、今後は不買するしかないと思います。

最後をお願いします。

ご自分の子ども達に安心して食べされる物を作して下さい。

大好きなあきたこまちを汚さないで下さい。

2-4230 【京都府、60代】

次の理由から「あきたこまちR」への転換に反対する。

1 イオンビーム使用は、遺伝子DNAの2本鎖を一挙に切断するので、従来のガンマ線育種より強烈であり、安全性は確証されていない。戻し交配だけでは、未知の物質、隠れた形質が除去されるという保証にはならない。

2 主食のコメに対して、そうした遺伝子改変を起こした登録品種に全面転換していくという、2018年改訂の「コメ中のカドミウム低減のための実施方針」（農水省消費・安全局）の方針を受け入れるかどうか再度検討すべきであり、全面転換することを直ちにやめるべきである。

3 「風評被害」のリスクについては、「秋田県のあきたこまち」は「R」とであると認識される事態が起こる可能性さえあり、それこそ農家にとっても、秋田県産米イメージにとっても“風評”がそれにとどまらず、「実害」になる恐れが強い。

4 新品種で対応する場合も、全量切り替えではなく、カドミウム高濃度汚染地域のみでの使用とすべきであり、こうした登録品種、自家採種がむずかしい品種に全面転換すべきではない。

2-4231 【神奈川県、30代】

「あきたこまち」から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。日本が誇るべきお米、その「あきたこまち」を守ってください。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4232 【福岡県、60代】

私は日本のお米を放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

重イオンビームという放射線をあてて、遺伝子の1塩基を破壊した低カドミウム米を今後の日本の主要な品種にしていこうという農水省の方針は、カドミウムが米に入らなければよいという問題を矮小化した考え方だと思います。

壊している遺伝子などなく、この壊された遺伝子は実際には稲の生育にも子どもの成長にも重要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子であり、それが壊されるためにマンガン吸収しにくいお米になっており、ごま葉枯病などの病気になりやすいことがわかっていますし、ミネラル不足のお米になることも不安材料です。

1塩基を壊すことでその遺伝子はそれまでとは異なるタンパク質を作り出し、長期的に食べた場合健康にどのような影響をもたらすかの実験は行われておらず、安全性は確かめられていないのは、やはり不安材料です。

「あきたこまちR」に変える前に、この種でできたお米の安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきだと考えます。

また、放射線育種米を作るのは日本くらいですから、例えばEUなどでは種苗に放射線かけることは有機として認められず、日本米が放射線育種米に変われば日本米の国際競争力を低下させ、有機農業を推進する農水省の意に反して海外市場を失うことにも繋がりがかねません。

私は「あきたこまちR」ではなく、これまで通り今までの美味しい「あきたこまち」を食べ続けたいと思います。

是非とも、秋田県議会におきましては、「あきたこまちR」推進につきまして、時間をかけて様々な起こり得る問題点を再検討されることを強くお願い致します。

2-4233 【富山県、50代】

放射線育成米について

本来の安全なあきたこまちをこれからも食べ続けたいと思います。どうか、あきたこまちを護ってください。何卒よろしく願いいたします。

2-4234 【長野県、50代】

嫌な予感しかしません。

もし、実行されるのであれば秋田県のお米も、秋田こまちという品種も不買するしかないと思います。

何のために、誰のためなのか？と思わずにられません。

個人的に自然をあまりいじくらないものを食べていきたいです。

2-4235 【宮城県、20代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由としては、

これまでお世話になって来た「あきたこまち」が食べたいからです。

あきたこまちRは食べたいとは思えません。

このように思っている人はおそらく他にもたくさんいると思いますので、そうするとこれまで通りと同じだけの消費者を確保するのは難しくなり、それにより秋田県の経済破綻につながる可能性もあります。

また同じ東北民として、「あきたこまち」という日本中で愛される代表的なお米が無くなることは、とても悲しいです。

長い間地域の人が誇りを持って作り、人々に届けてきた「あきたこまち」をどうか今後も守っていただきたいと思います。

どうぞよろしく願い致します。

2-4236 【香川県、40代】

普通のお米を作ってください。

体に安全な物を。

あきたこまちRは反対です、

2-4237 【宮崎県、50代】

日本の未来の子供達のため、安全安心なお米を後世に残すため環境汚染されたお米への転換は望ましくないと考えます。日本の農業（できるだけ自然食に近い）を消滅させないようお願いいたします。日本の誇り光を絶やさぬよう守ってくださるようよろしくお願いいたします。このままでは日本国民は減んでしまいます。あきたこまちRへの全量転換に

は断固反対いたします。

2-4238 【大分県、70代】

「あきたこまちR」

私は 今迄どうりが良いと思っています。
カドミウムの事は聞いていましたが
これを 吸収しないものより
元のカドミウムの対策を望みます。
日本人の事を1番に考えて下さい。
遺伝子特許 何ですか？
利権？ 放射線育種後代交配種
やめて頂きたいです。

2-4239 【宮崎県、60代】

体に害を及ぼす放射線育種米の推進
やめて頂くようお願い致します！

2-4240 【埼玉県、40代】

「あきたこまち」を放射線育種後代交配種「あきたこまちR」に全量転換することに反対
します。

食の安全を守るどころか遺伝子を破壊するゲノム編集に変わる可能性があるものは断
固と反対します。こんなのが罷り通ってしまえば、これは秋田県の問題ではなく、全国の
今美味しく食べているお米の安全が失われる危機があります。

従来品種を作りつづけることが大事だと確信しています。

あきたこまちRなんて絶対食べたくないです。絶対食べません。体に異常をきたした場
合誰が責任を取るのですか？

今後の食の安全のためだと何を根拠に言っているのか？

県議会であらためて議論をし直して、全量転換することを考え直して頂くことを強く要
望いたします

2-4241 【神奈川県、50代】

親が秋田出身です、なぜ、すべてを替えることを議会で決めるんでしょうか、必要ない
と思います、同じ人がずっと食べても何も影響がないか、少なくとも15年や20年、それ
以上で調べる必要があります。毎日健康のことを考えてご飯を作って食べさせる人の身に

なっていない、ふざけないでいただきたいです、。健康にどの程度影響があるのか、しっかりデータを出して、表示も必ずして下さい、私たちの健康を壊しても補償する気もないんでしょう、食事を作る女性としてはカドミウムよりこの考え方を推奨する男性がもっと怖いのです、ご飯を提供している店やご家族に聞いてみて下さい。あきたこまちのRへの全量転換をしないでください。

2-4242 【熊本県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

私達日本国民をモルモットにしないで下さい。

2-4243 【岐阜県、60代】

あきたこまちRへ全面転換を進めていることに対し、このような意見を求めていただける県議会に対し、感謝申し上げます。

あきたこまちという品種のお米には、本当に長い年月と毎年の育種のご苦労、多くの国の予算が投入されたおかげで、日本人が命と元気を守れるお米を食べることができました。

放射線育種という技術は、世界的にみた時、その安全性や持続可能性を証明する段階になく、

その副作用による、お米の劣化も出てくることは予想されています。

放射線育種を、日本の魂を形成するお米にされることに対し、心より反対と危惧疑念を持っていることを、

お伝えいたします。

どうか、議会では、このような市民の意見を十分に検討されて、

次世代に向けて持続可能性が立たれるような判断をされないようお願いいたします。

私は、農家で、あきたこまちも栽培させていただいたことがあります。

早稲のために、本当に助かりました。

どうか、すばらしい秋田の宝を過小評価されず、先祖代々の仕事を大切に守ってくださいますようお願いいたします。

2-4244 【秋田市、60代】

・放射線をかけて改良した米の安全性に疑問を持つ。

「安全だ」と謳って数年後に健康被害が出でていることは枚挙にいとまがない。

・全量転換することを議会で決めるのではなく、生産者の選択、消費者の選択するものである。

国民の自由を尊重する政治を行うことが、公の奉仕者のすべきことである。長い

ものに巻かることは止めていただきたい

・日本初の転換をあきたこまちから始めて、風評被害を被り秋田の農産物が売れなくなる可能性もある。

・転換するのは、カドミウムが含まれている土壌の田んぼだけでよい。

・食料危機が叫ばれている昨今、農産物を買上げ農家さんを守る政策やできるだけ自然な栽培を支援し、県民の健康を守る政策を作っていただきたい。

2-4245 【青森県、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・消費者にとって「あきたこまちR」が安全なのか情報公開がされていません。以前はなかった「お米アレルギー」の原因は行き過ぎた品種改良の結果に由来しているという指摘もあります。「あきたこまちR」について、タンパク質（アミノ酸の組成）やでんぷん質の変化の有無などの情報をわかりやすく開示してください。消費者への情報がないなかでの全面切り替えは時期尚早だと思います。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4246 【福岡県、60代】

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

- ・日本の食を日本人の命ともいうべきお米を危険にさらさないでください。
日本の未来である子どもたちの命や健康を考え、秋田県でどうぞ止めてください。

2-4247 【愛知県、30代】

遺伝子に予期せぬ変異が起こり健康被害がでたら誰がどう責任を取るのか明確にして下さい。無理なら責任の取れない不明確な事はしないで下さい。自分や家族は遺伝子をこねくり回された米は絶対に食べません。全量転換は絶対に反対です。あきたこまちが二度と食べられなくなります。選ぶ権利を奪わないで下さい。

2-4248 【京都府、50代】

放射線育種米ですって??あんたら狂ってんの?自分で自分の首絞めることになるのわかってんのか!

金のため、魂を売る

今後あきたこまちは買いません!みんなにも注意喚起します!

秋田県はDSに国を売る自治体だと

2-4249 【東京都、40代】

東京の一消費者ですが、X(旧Twitter)にてこちらの件を知り投稿させて頂きました。

放射線を照射したお米、と聞くと食べたくありません。お米への信頼が損なわれるようなことは考え直して頂きたいです。外食産業に流れてしまえば知らずに食べてしまうかもしれません。

カドミウムの問題を放射線照射でとりあえずある程度凌げても、根本の問題を解決しないままでいつまで持つものなのでしょうか?

お米の消費が減り、パン人気の状況がありますが、グルテンフリー、輸入小麦のグリホサートの問題で小麦を避ける動きがあることも確かです。子供達にお米の良さを伝え、おいしいお米を食べ続けてもらうために、一考をお願いいたします。

2-4250 【宮城県、40代】

どうしてわざわざ放射線を浴びせなきゃいけないのか、怒りを乗り越えて震えが止まりません。人間が浴びて危険なものを、人間が食べるお米に浴びせる…結局人間が被爆するのと同じだと思います。決して賛成出来ません!反対です!

2-4251 【福岡県、40代】

反対致します。

理由は下記リンク先です。

<https://shanti-phula.net/ja/social/blog/?p=342622>

<https://okseed.jp/news/entry-179.html>

<https://project.inyaku.net/archives/9357>

<https://youtu.be/iV044zT3NMA>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/tits/15/12/15_12_12_76/_pdf/-char/ja

2-4252 【東京都、30代】

あきたこまち、から全面切替に反対します。

いままでどおりの、あきたこまちを食べたいです。

Rは食べたくありません。

2-4253 【大阪府、40代】

従来の「あきたこまち」が全量、放射線育種の「あきたこまちR」に切り替えるとは、
どういう理由があるのですか？

なぜ、害を及ぼす、死なせるかもしれない放射線を入れたものを食べさせるのですか？

人口を減らす目的ですか？

これを決定された方、あなたはこれを食べられるのですか？

やってはいけない事と思いながらやるのは、やめてください！

あなたの大事な方が苦しみ、悲しむことになりますよね？

本当にお願ひします。健やかに生きられる世の中を目指してください。

よろしくお願ひします。

2-4254 【大分県、70代】

私は、遺伝子組み換えのお米食べたくありません。全面的に変えることは良くないとおもいます。自然なお米を食べたいです。

2-4255 【神奈川県、50代】

あきたこまちを残していただきたいです。お願ひします。

2-4256 【北海道、60代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

放射線育種米にすることによって、カドミウム汚染を減らすのを目的としていますが、

遺伝子が壊されマンガンを吸収しにくくなった稲に、単純に、ならばマンガンを加えて育成すれば良いという簡単なことでしょうか。安心して食べることが出来るお米ですか。安全性はしっかりと確認されているのでしょうか。今までのあきたこまちより、安心、安全な美味しいお米でしょうか。慎重な検討をお願いいたします。

2-4257 【兵庫県、70代】

放射線を浴びたお米は食べたくありません。
不自然に作られた米は安全だとはおもえない。
中止して下さい！
どうしても食べさせたいならば、表示して下さい！
絶対に私は食べません！
農水省にも断固抗議します！

2-4258 【兵庫県、40代】

放射線照射して遺伝子を破壊した不自然極まりない米を毎日の主食にはしたくない。品種改良は仕方ないとしてもカドミウム云々の為にそこまでしないといけないとは思わない。

2-4259 【湯沢市、50代】

令和7年、あきたこまちRが全量作付けになると最近知って大変おどろいております。まわりの農家で知っている方はほとんどいないと思います。高齢の農家が多いので関心も低いと思いますが若い消費者、子育て世代には抵抗ある方が多いと思います。ますます米離れが進むかとおもわれます。現代の食は人工的に操作されたものが多いです。せめて日本の主食だけでも選ぶ権利を与えてください。

よろしくおねがいします。

2-4260 【愛知県、60代】

放射線育成米を秋田小町に照射することを最近知りました。
食べて安全性が確率していない不確かなものを栽培するのは反対です。種も自家採種は出来なくなることも知りましたが日本の農業を是非守って欲しいです。
よろしくおねがいします。

2-4261 【山口県、50代】

あきたこまち R への全量転換に全面反対します！

放射線を照射することで、必要な遺伝子までもが破壊される可能性があり、人体にとって安全とは言えなくなります。

2-4262 【千葉県、50代】

こんな消費者や生産者を無視した制度実施は理解不能です。

今まで祖母の故郷のお米である秋田小町を選んで食べてきましたが、遺伝子をいじったものは安全性の面から見ても

食べる気がしません。少なくとも子供や孫には食べさせたくない。

100歩譲ってあきたこまち R を流通させるなら、表示をしてほしい。

また、全量ではなく 10%までにしてほしい。

このまま行くと祖先から大事に受け継がれてきた在来種が食べられなくなる。

未来の子供たちに禍根を残さないでほしい。

あきたこまち R への全量転換は白紙撤回してください。

2-4263 【東京都、40代】

あきたこまち R に全面的に反対します。放射線を当て作られたお米を食べることは危険性を感じます。すぐには健康に影響が

ないように見えても、長期的な影響はわかりません。被害が出てからでは遅く、私たちの子ども世代、孫世代が心配です。

なぜ今のままではいけないのでしょうか？

またそういったお米だという表示義務など、消費者が知る権利は保証されるのでしょうか？

少なくとも一消費者として、あきたこまちは買わない選択をせざるをえません。またこれを機に、この流れが全国のお米に広がることも危惧します。食の安全を守ってください。

2-4264 【高知県、50代】

放射線という安全が完全にわからないものを直接身体に入れる食べ物に使うことに対して不安を感じます。なぜいきなりすべて切り替えるのか納得できません。十分な理由をまずは説明するべきかと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

2-4265 【神奈川県、60代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4266 【北海道、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対いたします。

飲食事業者です。将来にわたり人体にどのような影響が出るか分からない遺伝子改良した食物を自分の子や孫に食べさせることは出来ませんし購入もしません。グローバリズムに乗っ取られかかっているこの日本を秋田県議会から声を上げ県民や国民の為の政治に期待致します。

グローバリストは自分達しか人間と思っていません。

それを救うのは日本の国家だと思っています。

秋田県議会がその先鋒に立って頂けたら日本の未来が開けると確信しています。

2-4267 【奈良県、60代】

あきたこまちRに全面変わったら秋田の米は食べません

2-4268 【福井県、50代】

率直に言って、遺伝子操作が怖いです。

長きに渡り米を主食にしている日本で、その土地に適した品種を今後放射線育種米に統一する方向にある事、

またそれに伴い自家接種禁止となる事は、食の根本を揺るがしかねないと危惧しております。

2-4269 【福岡県、60代】

「あきたこまち」は、好きな銘柄の1つです。それを失くさないでください。
また、放射線育種米に対しては不安しかありません。
導入は考え直してください。

2-4270 【東京都、40代】

あきたこまち全量が、遺伝子組み換えのものに変えられることに反対します。
私は遺伝子組み換えの食品を口にしたいくはありません。
あきたこまちが遺伝子組み換えのものとなることは非常に残念です。
こちらを発起点として、日本全国に遺伝子組み換えのお米が広がることも非常に懸念しています。
安全性が保証されていないものが、県に、国に広がっていくことを、秋田県議会の方たちは本当に望んでいらっしゃるのでしょうか？
ご再考をご検討いただきたく、意見をお送りします。
よろしくお願い致します。

2-4271 【茨城県、50代】

この件は、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4272 【茨城県、40代】

秋田県の生んだ「あきたこまち」を全量放射線米にする必要があるのでしょうか？品種改良することでは問題が解決しないのでしょうか？ 私は反対します。

2-4273 【埼玉県、60代】

あきたこまちRに関して
さいたま市在住ですが、「あきたこまち」が大好きで
毎日いただいております。
あきたこまちRは食べたくありません。
表示もなく、販売されると聞き、不安なので、
別のお米の購入も考えています。
「あきたこまち」を無くさないでください。
お願いいたします！

2-4274 【福島県、20代】

放射線を利用した品種改良品は、果たして自然の恵みと言えるのでしょうか。

遺伝子操作された農産物が、今後人体や大地にどういった影響を与えるのか不明ですし、次世代への影響も懸念されます。

私は自分や私たちの子供世代が安心して食べられる健康な食品が増えてほしいと思っています。

もっと市民に対して情報を公開して議論を重ねていただきたいです。

2-4275 【東京都、40代】

安心安全なお米を食べたい、食べさせたい。

「あきたこまちR」は食べたくないです、食べさせられません。

人間のからだは柔軟なようできて、非常に繊細です。

大切な家族や仲間達、未来の人類のからだを守って下さい。

2-4276 【福島県、60代】

遺伝子が破壊され、マンガンを吸収しにくくなった稲が、人体に与える影響が非常に懸念されるため、従来の品種を作り続けることが大事だと思います。是非、ご検討頂きたいです。

2-4277 【佐賀県、30代】

放射線育成米に反対です。

日本の農家の方々が守ってきた食物に手を加えて不自然なものに変えるなんて考えられません。

食の安全を守ってください。子供達の未来を考えてください。

もっと当たり前のように安心して食べ物を食べられる国にしましょう。

安心、安全な食物の栽培をお願いします。

ヒトの体は食べたものでできています。

不自然な食べ物を作らないで下さい。

子供達の未来をしっかりと考えていただきたいです。

放射線育成米について調べました。

カドミウムを吸収しない為かと思いますが、

人に必要なミネラルであるマンガンも吸収しなくなり、

子供ができなくなってしまうと知りました。
放射線をかけ、遺伝子を破壊し、栄養もないスカスカのお米を
国民が食べることになります。
こんなものを家族に食べさせたくありません。
このようなことを決定してほしくありません。

2-4278 【千葉県、40代】

Rへの全量転換に反対します。放射線育種米を食べ続けることによる人体への安全性が不明だからです。日本の食を守るために再考をお願いします。

2-4279 【神奈川県、50代】

「県議会への意見」
秋田こまちを守って下さい！
日本人、日本虐待でしかない！
狂っているとしか思えないです、どうか辞めて下さい

2-4280 【横手市、70代】

前略。

あきたこまちを産直している首都圏の消費者から次のようなメールをいただきました。

「今 秋田県は秋田こまち放射線米導入の話が持ち上がり、これからの日本全国の問題ですね。

色々と問題は後を断ちませんが、日本人にとっての主食は一層大きな課題を突きつけられています。

パブコメを送ることくらいしか出来ませんが、一人一人が考える課題ですね！」

そして、これが強行されるならば購入を考え直さざるを得ない、とありました。

こうした問題は、科学的に正しいとか、論理の問題でないような気がしています。

かなりの消費者にとって感覚的に拒否反応を示す問題だと思えます。

遺伝子組み換え作物に対する抵抗感が強いことでもわかります。

風評被害が怖いです。

サキホコレへの間接的な影響も気になるところです。

せめて全面切り替えはやめた方がいいと思いますが、いかがでしょうか？

2-4281 【兵庫県、50代】

カドミウム汚染が問題ならば、カドミウムそのものを除染しないといけないのではないですか。米だけがカドミウムを吸収するわけではなく、土壤に染み込み、水を汚染し続けます。重金属汚染された土地を、未来に押し付けてよいものか。今出来る限りの土地の浄化をして次の世代に渡すのが、ヒトとしての役割じゃないでしょうか。また、長期的な影響を調べたこともない突然変異的な米に切り替えるより、昔ながらの信用のおけるお米を食べたいです。全量転換されたら、絶対にあきたこまちは買いません。

2-4282 【千葉県、50代】

千葉にも美味しいお米がたくさんあります
個人的にはコシヒカリ大好きです
同じようにあきたこまちも大好きです
去年は檀蜜さんのCMのせいか
頻繁に近所のスーパーで購入しました
今のままのあきたこまちを食べたいです
この先Rになれば購入はしません
あきたこまちでお願いします

2-4283 【愛知県、60代】

小麦じゃなく、コメでしょ。縄文時代からの伝統文化、壊さない、今あるのは、先人からの受け継がれ。

2-4284 【島根県、40代】

あきたこまち」から全面切替に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本を代表する大切なお米です。

その土地の大切な品種をもっと大事に守っていく必要があるのではないのでしょうか。

きちんと知らされないまま「あきたこまちR」への全量転換を進めるべきではないと考えます。

放射線育種による人体への影響、環境への影響はどのようなのでしょうか？

安全性についてもとても不安に思います。

もっと慎重に考えていかなければならないことではないのでしょうか。

日本のもの、その土地のものをもっと大切に守り続けていく政策を願います。

2-4285 【岩手県、30代】

今まで私たちが食べてきた、あきたこまちを無くしたくないです。
あきたこまち R への全量転換をやめてほしいです。

2-4286 【愛媛県、70代】

今まで通り安心安全な米を食べたいです。

もしこれが実施されたら秋田県産の米は食べません。

米どころの秋田県がなぜ率先して放射線で処理した米を作るのですか？日本は原爆を2回、福島での原発の爆破により3回も放射線汚染を経験しています。他のどの国より放射線に敏感にならなければならないとは思いませんか？

2-4287 【佐賀県、30代】

県外より失礼いたします。あきたこまち R の転換について非常に危機感を感じましたので意見を述べさせていただきたいと思います。

放射線育種後交配種のあきたこまち R への全量転換に関しては、強く反対いたします。

あきたこまち R へ転換された場合に、この後どのような展望になっていくのか、消費者や農家の方々に正しく説明されているのでしょうか？皆さん知っているのでしょうか？

放射線育種米には遺伝子特許がとられており、今後自家採種がすべて禁止されてしまいます。

そして、他の都道府県も追従することを農水省は考えていられるでしょうから、これが全国へ進めば、全ての都道府県で自家採種が禁止となるかと思えます。

放射線育種の目的は、人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることだったと思います。そのためにカドミウムを吸収する遺伝子を放射線で破壊しています。

しかしながら、その破壊された遺伝子は、稲の成育と子供の成育にも重要なマンガンを吸収するうえで重要な遺伝子です。

では、マンガンが吸収されなくなったために、今度は農家の皆様にマンガンを追加してくださいと新たな財政負担となる指示をだされるのでしょうか？

あきたこまち R やコシヒカリ環1号はカドミウムをほとんど吸わず、地域のカドミウム汚染を減らすことには役立ちません。なのに農家の皆様の負担だけ増えるのでしょうか？

あきたこまち R の現時点で判明している状況を、食育として秋田の子供たち、全国の子供たちに自信をもってお伝えすることはできるのでしょうか？秋田が誇る素晴らしいお米なのだ自信をもって地域の皆様にお伝えできるのでしょうか？

素人の私が拾った情報だけで、もしかしたら間違いがあるかもしれませんが。しかしながら、これだけ不確実なあきたこまち R の情報を見知った時、私は未来の子供たちにお米を与えたくないと考えてしまいました。

議会の皆様も、これは将来の子どもたちのためになり得るものなのか、素晴らしい食文化をもつ日本の明るい未来へとになり得るものなのか、いかがお考えでしょうか？

ご自身のご家族が近い将来訪れる未来です。ご再考をお願いいたします。

2-4288 【埼玉県、40代】

あきたこまちRについて

率直にあきたこまちRを食べたいとは思いません。

消費者に選択肢があるのであればまだよいですが、全面切り替えということには断固反対いたします。

もし何かの状況で、あきたこまちRが育たない年があれば、食糧確保としても、農家さんにとっても非常に危機的な状況になることは想像にたやすいです。

単一な作物を育てることの不自然さ。

そして自家採取ができなることへの、漠然とした不安。

食べるものを管理されるという理不尽さ。

日本人にとってお米は神様のようなものです。

どうか議会の先生方には、色々なことを多角的にご検討頂き、

真の意味での日本の食の安全を守って頂きたいと思います。

何卒よろしくをお願いいたします。

2-4289 【福岡県、40代】

「あきたこまちR」への全量転換を反対します！

これからの子どもに必ずや安全と保証されていない

「あきたこまちR」に早々に転換するのはどうかと考えます。昔から継いでる種が1番人間にとって寄り添っていて生体的にも強いものだと思います。どうかどうかこれかはこの自然環境、人間にとっての健康を第一に考えて頂きたい。

今すぐの目先のことよりも数年後先の未来、地球環境がとても大切だと思います。

2-4290 【東京都、40代】

放射線育種米には不安があるので食べられませんし、もう秋田のお米は買えません。

2-4291 【埼玉県、30代】

何故こんな形で対処しなければならないのでしょうか。

食の安全は人や生き物にとって、最重要課題です。

他の道があるのに人体に影響を与える可能性がある方法をとる必要はありません。

1度その道に入ってしまうと、未来を生きる子供たちに安全な食を残していく道が無くなるとは思わないのでしょうか？

絶対的に反対します。

2-4292 【東京都、70代】

ご飯が大好きです。新潟米のほか、秋田のお米もよく買っています。

長く受け継がれてきた、大切な稲の遺伝子を壊さないでください。

一度舵を切ってしまったら、取り返しがつかなくなると思います。

「長期的な悪影響」は全く分かっていないのではないのでしょうか。

全量転換されたら、秋田のお米はもう買えません。

以上、意見させていただきます。

2-4293 【大阪府、60代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題

毎日食べるものなので慎重に議論するべき

2-4294 【佐賀県、50代】

お米の安全性は保証されますか？

今後の地球環境変化に耐えられますか？

上記のことは誰も絶対とは言い切れないと考えます。

よって、全量転換は危ないと考えます。人のすることは間違いがあっても当然です。

あきたこまちRも一品種として取り扱うべきであり、個人個人が情報を得て選択するかどうかを判断すべきと考えます。

2-4295 【埼玉県、50代】

全量転換に反対です。

大事な食事に関することですから慎重になるべきです。

2-4296 【新潟県、60代】

1. はじめに

現在、温暖化対策（農地からのメタンガス放出削減）として中干の長期化が推奨されています。しかし、この対策は、土壌中のカドミウムを可動化させる可能性が大です。

2. 水稻の重金属対策

水稻のCd吸収抑制には、有機質肥料の施用と、ゆるい中干（または無中干）が大切であることが解明されました*。水稻のヒ素吸収抑制には、カドミウムのそれと逆の水管理、しっかりとした中干が必要です。つまり、カドミウム対策とヒ素対策は、土壌水管理のバランスが大切で、〇×では議論できません。水田一枚一枚で個別に対応するなどきめ細やかな農法の検討が大切です。それは水田の保水性、透水性、地下水位、地形等の物理条件が一様でないためです。

3. あきたこまちR

秋田県内で作付けする水稻の全量を「あきたこまちR」に切り替えるのは、気候危機の時代に危険すぎます。多様な品種を作付けることでリスク（冷夏、酷暑、病虫害など）を回避できます。

4. まとめ

あきたこまちRへの全量切り替えの政策決定の前に、科学的な知見を集約することが何よりも大切です。科学を無視した政策で納税者は納得しません。冷静な判断を望みます。

*引用

栗生田忠雄，小林由花，稲葉一成（2006）：カドミウム吸収抑制対策としての湛水管理稲作について—中干し，有機質肥料の影響評価—，農業土木学会論文集，243号，pp. 9-13（英文要旨付）。

2-4297 【山梨県、60代】

「あきたこまちR」の説明を御サイトで見ましたが、「コシヒカリ環1号」について説明が全く足りないと思います。他さまざまなサイトの説明を見ましたが、これは遺伝子操作をしているお米と考えて間違いないでしょうか？

カドミウムの問題があることは理解しますが、自然変異ではなく人工的な突然変異を起こしたことに違和感を感じます。自然のサイクルに逆らうと、期待した効果とともに予期しない弊害が起こる可能性も否定できません。

それも見越して導入するということであれば、もし弊害が起こった時に誰がどのように解決していくのでしょうか。福島のように、「当時は想定外だった」のでしかたがないとなり、被害者の救済は十分ではなく、土地も水も使えない、ということにならないようにどのような対策を考えていらっしゃいますか。

全量転換は、秋田県のみならず、他の米産地への影響もある責任の重い決断だと思います。決める前に全国の米の消費者に対してぜひ詳しい説明を行ってください。

これは自分のためではなく、将来この社会の一員となるであろう子供や孫たちのために書いています。

2-4298 【岡山県、40代】

私は「あきたこまち R」への全量転換に強く反対します。

安全性が確認されず、また、表示義務がないものは、特に子ども達には食べさせたくありません。

秋田県の美味しく安全なお米がこれからも食べられることを切に願います。

2-4299 【茨城県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

関連情報

河田昌東さん「放射線照射による品種改良 何が問題か」 学習会報告

<https://okseed.jp/news/entry-179.html>

あきたこまち R にももの申す！

<https://project.inyaku.net/archives/9357>

2-4300 【兵庫県、80代以上】

不自然に作られた米は食べたくありません。

どうしても食べさせたいならば、表示して下さい！

私は買いたくありません。

土や水に影響はないのですか？

丈夫な米は私達の身体にも優しいですか？

農水省にも断固抗議します！

2-4301 【和歌山県、50代】

日本の宝である「あきたこまち」が放射線米「あきたこまちR」に変わろうとしていると聞き衝撃を受けました！！

「あきたこまちR」を食べ続ける事によって自己免疫疾患になったり不妊症になると言われています！

秋田県民や農家の方はその真実をご存知なのでしょうか？

秋田県民に真実を伝えた上でまず議論をするべきだと思います！！

また、これは秋田県だけの問題ではありません！！全国に広がる危険性があるという事です！

日本の大切なお米を守るために政治家の皆様の方が問われます。

どうか大好きな「あきたこまち」を守って下さいます様心よりお願い申し上げます

2-4302 【埼玉県、60代】

日本人に長らく愛されてきた「あきたこまち」を放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換する計画に反対いたします。

「あきたこまち」は大好きなお米でこれまで沢山食べてまいりましたが、不自然な交配による安全性も確かめられていないお米に転換されたのでは、これから安心して購入することができません。

どうか日本人が先祖代々守り続けてきた伝統的なお米を、これからも守り続けてください。

2-4303 【福岡県、40代】

ビックリしました！あきたこまちをこれまで食べていたのですが、まさか、こんなことになっているとは。

友人に聞いて驚いて、

福岡在住ですが、書かせていただいております。

食べることは体をつくること、心を育むこと。

子供たち、大人たちの体が壊れてゆく可能性があるものに、

不自然なものにわざわざ変えてゆくことは、どうかとおもいます。

自然のものを不自然にしないようお願い申し上げます。

2-4304 【熊本県、70代】

「あきたこまちR」への全量転換、断固反対です。

放射線を照射した米など食べられません。身体に害する物を国民に食べさせるのですか？

子供が食べて将来身体にどのような影響を及ぼすか分からない事は止めて下さい。

身体に害する物をお身内の方に食べさせられますか？

あきたこまちも風評被害で売れなくなるのでは？

国民の為になる思いやりのある政治をお願いします。

2-4305 【福島県、30代】

稲を育てる土壌や肥料のカドミウム汚染が深刻化していることを理由として、放射線育種米のあきたこまちRに

全量転換する計画だそうです、どうか止めていただきたいです。

土壌や肥料がカドミウムに汚染されているのであれば、そちらを安全にする方策を取るべきだと思いますが、

いったい何故、放射線育種米に全量転換するという飛躍した大転換に繋がってしまうのでしょうか？

そもそも放射線育種米の安全性は確実に担保されていますか？大量の放射線で稲の遺伝子を損傷させる

事で望む機能を獲得する技術だそうです、その稲から実るお米を長年に渡って毎日食べて、確実に影響が

ないと言い切れますでしょうか？

しかも、放射線育種米である表示義務もないのですよね。消費者自身、選択する事も出来ない

なんて本当に驚いております。

放射線育種米を推し進めたいのであれば、安全性を確認するための大規模で長期的な調査は

必須だと思います。

秋田県から口火をきり、全国で同様の流れになることを危惧しています。

どうか、安全性に関する大規模な調査を行い、秋田県民のみならず全国民に対してそのデータを

公表した上で、慎重に慎重を重ねた議論をしていただきたいと思います。

2-4306 【三重県、50代】

「あきたこまちR」への全面転換に反対の意見を申し上げます。

作物の品種改良には、世代を重ねる必要があります、長い年月と大変根気のいる作業である

事は容易に理解できると思います。「あきたこまち」は日本を代表する美味しいお米ですが、この品種を作るため要した年月とご苦労は、並々のものではなかったことでしょうか。従来の「あきたこまち」を大切に守り、誇りをもって転換に意義をとらえるべきではないでしょうか。今回の「あきたこまちR」は、放射線育種米ですが、農家はもちろん消費者にもそれが、放射線育種であることは知らされていないと聞きました。情報提供の公正公平性から見ても大変問題があり、期間を延期の上、議論する場を設けるべきではないでしょうか。放射線育種は、作物に放射線を照射して一部の遺伝子を破壊することで特定の性質を改変する行為ですが、作物に変化が出て初めて何が起きたか分かるという精度で、意図しない悪影響が出る可能性も否定できないと知りました。カドミウムを吸収しにくいお米を作ることを目的に放射線育種は作られたようですが、「あきたこまちR」はカドミウムをほとんど吸収しないだけでなく、遺伝子破壊に伴いマンガンも吸収しにくくなるそうです。科学は万能ではなく、自然に反し人の都合で作られたものが、今後の地球規模の気候変動を生き延びるか不確定です。数億年の自然の中で生き延びてきた、従来の品種を作り続けることが現在、最も重要な事だと思います。人は、自然の恩恵の中で命を繋いできました。作物も様々な環境の変化に対応する力を遺伝子に備え、人に寄り添い、命を育み繋ぐ役目を担ってくれました。遺伝子は、複雑な相互作用があり、全ての解明までは至っていません。人の都合だけで単体の遺伝子操作する事には、人智を越えた負がある事が予想され、全面転換は未来に多大な不安を残します。また、人体への影響も完全否定できない遺伝子操作された「あきたこまちR」転換後の「あきたこまち」を子どもたちに食べさせたくはありません。この問題は、秋田県にのみならず、全国的な影響も考えられます。早急な「全面転換」は行わず、慎重にご審議頂くよう議員の皆様のご理解とお力添えを切望致します。

2-4307 【兵庫県、60代】

今まで通りの秋田こまちが食べたいです。日本人が、古来より守り、食べてきたお米を改良する必要性を感じません。種を守り続けてきた日本の主食を大事にしていきたいです！

2-4308 【高知県、50代】

県外在住ですが、意見の送付失礼いたします。

米どころの秋田が、放射線照射育種米への全量転換とのこと、なぜ全量なのでしょう。農家のみなさんは、この件についてきちんと理解し、同意されているのでしょうか。これがこの先の日本の農業を守ることにつながるのかどうか、疑問ですし不安です。これからは、お米の産地を信頼ではなく、避けるために確認しなければなりません。日本人として、とても悲しいことです。お米も安心して食べることができなくなってしまえば、これからの子ども世代が心配です。ぜひ賢明なご判断をよろしく願いいたします。

2-4309 【佐賀県、60代】

あきたこまちを全て転換していくことには、私たちの健康や遺伝子に悪影響与えていくことになると思います。未来の安全安心な食を確立目指すためにやめて欲しい。

2-4310 【群馬県、40代】

県外の在住ですが、秋田は父の出身地であり所縁のある者です。
意見を失礼いたします。

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に対して反対の意見です。
食の安全保障の観点から、日本において、お米・稲は、食を支えている根幹の農作物の一つであると捉えております。

また、文化的側面からも非常に重要な農作物であることでしょう。

そんな大切なお米・稲が、『安全性』や『環境への影響』の懸念の残る状態で、周知や議論の未熟な中にあるにもかかわらず、放射線育種に置き換わってしまうことに非常に強い危機感を覚えます。

再度申し上げますが、『安全保障』なのです…。

中長期的(『子々孫々』まで)な視点で慎重に論を進めていただきたいと思います。

『全量』転換である必要はないのではないのでしょうか？

それは『今』ではないとならないのでしょうか？

また、貴県のこの農政の行方は、他都道府県にも影響をもたらすことにも懸念しております。

貴県は、食においても、私たちの安全保障の一翼を担う責任ある県です。

私たち国民に寄与し生活を支えてくれていることに感謝しております。

ありがとうございます。

そんな貴県を代表するお米である大切な「あきたこまち」をどうか手放さないでください。

どうか宜しくお願い致します。

2-4311 【宮城県、50代】

私は秋田で生まれ育ちました。今でもお取り寄せ、帰省した時は野菜やお肉をたくさん購入して家で楽しんでいます。

恥ずかしながら秋田が鉱山由来のカドミニウム汚染に悩まされている事、汚染米の買い上げも停止となり、自治体の大きな負担になっていること等を知りませんでした。

今回縁あって重イオンビームによる品種改良米の件を知り、意見を言いたくてコメントさせていただきます。

◆ガンマ線、重イオンビームにより品種改良された植物の食の安全性が不明である。実質、放射線育種米は日本しか行っていない。

◆有機農業で遺伝子組み換えや放射線使用は禁止されており、EUでは種への照射も含まれている。今後EUの基準並みに厳しくなることが予想され、いくら日本国内で有機野菜だと認めても世界基準ではなく、輸出に大きな打撃。

◆カドミニウム汚染地は数%しか無いのに、なぜ全国一律に放射線育種米に統一するのか全く分からない。しかも秋田県で約7割を占める主力のあきたこまちで試そうとするのか

◆消費者が放射線育種米かどうか知る術がなく、不誠実

◆低カドミニウム米に置き換えたとしても土地のカドミニウム除染には全く意味がない

◆R系は自家採種禁止なので、農家は毎年種籾を購入しなければならない

簡単にまとめただけですが、それでも問題点がたくさんあります。我々消費者にとっては主食の米が将来の影響も分からないモノへ変わってしまう不安、農家にとっては自家採種禁止という新たな経費の発生、国としては日本米のブランドと輸出量の低下の可能性。

良い点が見当たりません。

素人の私が調べただけでこれですから、米に携わる方々はもっと危機感を感じていると思います。

秋田県で試し、成功すれば(おそらく既定路線)すぐ全国で始まってしまいます。秋田で止めなければならないと強く思います。秋田はお米の国です。お米は日本の土台です。

鉱山開発を主導したのは国ですから、カドミニウム除染も国が責任を負うべきだと考えます。汚染米の買い上げ等を国に強く要望しましょう。

ご一考よろしくお願ひします。

2-4312 【東京都、60代】

テーマ2について

全面的にあきたこまちRだけにするのは反対します。

生産者がそれぞれの農法や農地にあった種籾を選べる自由を残しておいていただきたいと思ひます。

放射線放射して遺伝子構造を破壊したお米を食べるのは絶対嫌です。

2-4313 【福島県、60代】

「あきたこまち」は美味しいお米です。今回すべての「あきたこまち」を放射線育種した「あきたこまちR」に全量転換すると聞いて驚き他県在住者ですが意見を提出します。放射線育種をしたお米と消費者がわかるように表示して販売してください。分からずに「あきたこまちR」を購入して食べたくはありません。

2-4314 【兵庫県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・ 遺伝子を破壊させるようなゲノム編集などされた危険な物を入れないでください

・ 今自分のことだけ考えても人は死はありません。嘘ではありません。悪いことに加担すれば永遠に地獄をさまようことになります。自分も大切な人の来世はありません。今この悪をたたないとダメです、どうか心を悪に加担するようなことはやめてください

2-4315 【大阪府、30代】

人間が確実に死亡する量よりも多くの放射線を浴びたお米が、私たちの身体に悪影響が無いとは考えにくいです。

遺伝子操作で奇形品種になった米は食べたくありません。

日本人の主食である米を、危険に晒さないでください。

よろしくお願いします。

2-4316 【兵庫県、50代】

不自然に作られた米は食べたくない。

どうしても食べさせたいならば、表示して下さい！

買いたくない。

兵庫県の米にあてるのは止めて欲しい。
コウノトリが死にます。
土や水に影響はないのですか？
丈夫な米は私達の身体にも優しいですか？
農水省にも抗議します！

2-4317 【京都府、40代】

他府県からですが、秋田の有名お米…まずは秋田の人が大切に守って下さいますように、心からお願い申し上げます。全てをRに変えるのではなく、今のお米を残しながらRがどのような品種になるのか？をよく調査して下さい。主食となるお米です。食の安全が第一と思います。

日本の食文化をどうか守ってください。

2-4318 【東京都、30代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

安心安全なお米が食べたいです！

2-4319 【熊本県、30代】

あきたこまちRへの全勝転換に反対します。

理由は下記の通りです。

①農家にも放射線育種の有無は知らされない。「コシヒカリ環1号」や「あきたこまちR」などの品種名は伝わるので何が放射線育種が知らない限りわからない。知らないうちに放射線育種米を育ててしまうかもしれないこと。

②消費者には知る術がない。消費者には「コシヒカリ」「あきたこまち」などの銘柄しか伝えられないこと。

③種の利権で「コシヒカリ環1号」系の品種はすべて自家採種は禁止され、毎回、種籾は購入しなければならなくなるため自家採種していた農家にとっては負担になること。

④水生生物や環境に影響。ヒ素対策として、中干し期間を長くする農法が推奨されれば、淡水生物の生存に影響を与えること。カエル、トンボなどがいなくなれば書虫被害が多くなり、農薬散布量が増えることから生態系への影響も懸念される。

⑤低カドミウム米の栽培によって、水田からカドミウムが減ることは期待できなくなること。他の方法を使って、カドミウム低減に務めないと、地域のカドミウム汚染は減らな

い。土中のカドミウム現象の解決法が別に必要となること。

⑥有機農業で遺伝子組み換えや放射線の使用は禁止されている。ただし、明示的に放射線を照射した種子の使用を禁止しているのはEUの有機認証基準のみ。放射線育種米だけになってしまえば、日本では有機米の生産はできなくなるが、農水省は放射線育種でも有機認証可能だとしている。果

たして、それが世界的な支持が得られるか？懸念される。

最後に、

一旦初めてしまうと自然交配で地域内に広まる可能性はないか？人間の都合でゲノム編集したものが一度ばら撒かれると取り返しのつかないことになった場合、行政、国はどう責任を取るのか？食料安全保障の観点からも自然の摂理に背いた不自然な米を栽培流通されることと断固反対する。

2-4320 【鹿児島県、40代】

あきたこまちからあきたこまちRへの全量転換について反対です。

種子に放射線照射し、品種改良されたあきたこまちRに全量転換することが不安です。自然界、人体に影響ないとの判断は早すぎると感じます。まずは全部ではなく、部分的に転換し、時間をかけて観察、判断していくなどしていただけたら、不安が和らぎます。

種子に放射線照射。品種改良とは耳障りが良いですが、しっくりきません。

以上、よろしく申し上げます。

2-4321 【東京都、60代】

「多死社会」NHK ニュースで使われた曖昧な表現。放射線育種米のことを聞いて思い出しました。近所の友人が高熱が続くので、近くの病院に付き添いでいったときのこと、待合室の壁に貼られたポスターを見て苦い気持ちがしました。この病院は近いからここに連れてきたのですが、できればやめたほうがよかったですと思いました。そのポスターは帯状疱疹ワクチンを推進するものでした。ここ数年、帯状疱疹、心筋炎、梅毒、癌の急速な進展、そのほか増加傾向にある症状のデータを見て、何が原因なのか、何が起きているのか、それを突き詰める議論がなされないまま、何か症状が出たらそれに対してワクチンを進める、それは行き過ぎた医療ビジネスだと思います。免疫抑制というワクチンの副反応の結果ではないかと、冷静な検証もなく勧められていくことの不可解な流れに、苦い苦い気持ちになるわけです。カドミウム汚染対応という名目の放射線育種米、それはいろんな「症状」を生む原因となる可能性を恐れます。

2-4322 【福島県、60代】

一度に全品種変更というのは、乱暴過ぎると思います。

県民の意見は反映されているのでしょうか。

2-4323 【福岡県、30代】

現行のお米から変えた後の環境、人体、後世への影響を思うと決して賛成できません。消費者が取捨選択できるようにするなど対策を取っていただきたいです。

日本の文化である、お米、日本酒を考えると、安心できなくなる未来が残念です。

2-4324 【宮崎県、50代】

放射線育種米に反対します。

カドミウムどうのこうのと言っていますが、一体何を考えているのか、あきたこまち、そして秋田の農産物はもう購入しません、

2-4325 【京都府、30代】

人々の安全を第一に。世界が平和で安全でありますように。

2-4326 【沖縄県、50代】

南の沖縄からお願いいたします。

秋田を皮切りに日本全国に広げて行く事を予定している事と思います。

これは秋田だけの問題ではなく、日本全体の問題なのです。

日本と言う国は、そこに住む日本人に正しいものを提供して来たでしょうか？

答えはノーです。

他の国で禁止になっているようなものでも、平気で日本国市民に与えるような国になっている。

この国はどうかしていると思います。

放射線放射、遺伝子組み換えと言ったものは、今すぐ、人体に影響が出るものではありませんが、どれだけ恐ろしいものかを知ってか知らずか、それを実行しようとしている。

長崎の被爆5代目の小さなお子さんに、臓器のどの部位だったかは忘れましたが（腎臓だったか、脾臓だったか・・・）、欠損して生まれてきました。これが被ばくと関係ないとは言えないと思いませんか？

私たちは今後、健康な体を維持できる事を子々孫々に約束できるのでしょうか？

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中、全量転換を決めてしまったことは大きな問題です。

期間を延期の上、議論する場を設けなくてははいけません。

秋田県民の問題は日本全国民の問題でもあります。

2-4327 【東京都、30代】

安全なお米が食べたいです。遺伝子組み換えのお米が主食になるのは怖いので反対です。昔からの良いお米が食べたいです。

2-4328 【神奈川県、50代】

遺伝子を操作された作物、ましてやお米が普及すると、ますます日本人は根絶やしが増えるのではと心配です。

2-4329 【埼玉県、30代】

日本人にとっては宝とも言えるお米を遺伝子組み換え米になんてしないでいただきたい。断固反対！！

2-4330 【東京都、50代】

時代と共に変わる、変える必要があるものもあると思いますが、お米は私たちが祖先から受け継いでいる大切な生きる糧です。遺伝子組み換え食物の長期的な安全性が不確定な中、全ての種を『あきたこまちR』にしてしまうのはやめて下さい。表示方法など消費者が安心出来る取り組みの仕方で全国の先駆けとなって下さい。

2-4331 【大阪府、70代】

放射線育種米！ 反対です。

こんな不自然なお米を国民に食べさせるのですか！

2-4332 【宮城県、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べる余地を残して欲しいです。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただきたいです。

2-4333 【神奈川県、60代】

放射能で汚染されたお米を食べたらどうなるのか、危険性もわからないのに安易に転換はやめてください。そのようなお米は、絶対に買いません！

2-4334 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米です。その「あきたこまち」を後世へ受け継いでください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4335 【神奈川県、30代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換は、反対です。

遺伝子が崩壊された稲が、この不安定な気候の真ただ中で生き延びられるかどうか、正直言って不安しかありません。その上、そんな情報を消費者や生産者にろくに伝えてないまま決めるのは大問題です。出来れば、従来「あきたこまち」そのままの品質と品種を作り続けて欲しいです。

2-4336 【熊本県、60代】

直ぐに廃止して欲しい

理由

1. 放射線を大量に浴びた米 人体への影響が心配
米の安全性への懸念
2. 消費者に安全がどうか判断材料が皆無である

2-4337 【秋田市、40代】

農業法人に勤める者です。先祖代々の土地を守り田畑を管理していくことは意義のある仕事だと思って日々頑張っています。国や県から様々な支援を受ける中で、県の方針には基本的に従う立場にあると理解しています。ただ、農業従事者のなかでは、若手でありま

きたこまち R」全量転換については、なぜカドミウムの被害が少ない地域でも「あきたこまち R」を使うことが適当なのか、伝わってきません。たとえそれが効率の重視や国の方針だとしても、県内で議論が尽くされたものであるとは思えません。全量転換というメッセージがネガティブに働いてしまっているように感じています。決定されたなら、我々は作るしかないのですが、生産するなら誇りをもって作り消費者に届けたいです。「あきたこまち R」全量転換という印象は、消費者にどのように映るのでしょうか。ただただ、心配しています。最終決定をする前に、どのような経緯で全量転換に至ったのか、説明や対話の機会があると大変ありがたいです。

2-4338 【東京都、30代】

なぜ米を放射線育種米にするのでしょうか？
そんなお米は買わないし、食べません。
友人やsnsでも拡散していこうと思います。

2-4339 【奈良県、50代】

「あきたこまち R」は自家採種が認められません。農水省などは自家採種をやっている農家は少ないとして、影響はないと考えているのかもしれませんが、しかし、自家採種は日本の農業にとって不可欠な技術と言わざるをえません。

農業の基本をなすのは種であり苗です。戦後、手間がかかる種採りをする農家が減っていったことは事実でしょう。しかし、その基本技術であるがゆえに、農業技術の真価が発揮される分野でもあり、また地域の多様性のある種苗を守っていく上でも、鍵となる活動でもあります。

実際に現在、世界で地域の農業が発展しているところを見ると、そこでは地方自治体などが積極的に関与して、在来種の種採りを奨励し、種採り農家に補助金を出し、地域に合った種苗を豊富に確保できていることがその地域の経済発展の背景にあります（イタリアや韓国、ブラジルなど）。つまり、自家採種は農業の発展、特に地域の有機農業の発展では欠かすことができないものです。

「あきたこまち」をはじめとする品種を自家採種不可能な品種に全量転換してしまうということは秋田県の農業の発展を困難にする方策であるといわざるをえません。

従来とは異なるお米が作られようとしていることを、多くの消費者はまだ知りません。開発側の農水省や秋田県が積極的に情報公開はしていないですし、マスメディアも報道していませんので当然でしょう。

しかも、消費者には放射線育種品種なのかどうかを知る術がありません。「あきたこまち R」は従来の「あきたこまち」という銘柄名で売られる方針だからです。

これは消費者の知る権利を踏みにじるものであり、またその十分な情報開示をしない

全量転換の決定プロセスはまったく受け入れることができないと言わざるをえません。

また農家にとっても「あきたこまちR」が放射線育種であることは伝えられていないので、このままでは多くの農家が単に新しい「あきたこまち」として栽培することになってしまうでしょう。そして全量転換にしてしまうということは実質的に農家にも選択の自由を奪うこととなります。

まず、これまでの一方的な秋田県の決定を白紙に戻し、秋田県議会で今後のプロセスをどうすべきか、再度審議し、農家、消費者にしっかりと情報を知らせた上で、その政策のあり方をもう一度、検討しなおすことが不可欠です。

安全安心な米を選ぶことができることは国民の権利です。

国民の健康、また自由を害して押し進める政策ではなく、将来ある日本の子供たちのことを考えた政策をとっていただけるよう、強く希望します。

ありがとうございます。よろしく願います。

2-4340 【神奈川県、60代】

私達は、これからも「あきたこまち」を食したいのです。

安心&安全な米を食べたい。

「あきたこまちR」拒否します。

2-4341 【大阪府、60代】

長年、美味しい秋田小町のお米を購入してます。

秋田小町Rのお米は、食べたくないです。

なので、今まで通りの秋田小町を続けてください。

切に願います。

2-4342 【兵庫県、60代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への早急な全面切り替えに反対します。

放射線照射による品種改良にとても懸念を感じます。

あきたこまちは、秋田県だけでなく日本全国で信頼され親しまれているブランド米です。

まずは全国の消費者に対して、全面切り替えの必要性や利点・問題点など幅広く情報公開をして、議論の場を設けるべきではないか、と思います。

2-4343 【千葉県、50代】

あきたこまちの放射線米はやめてください。

もし、作るのでしたら表示をしっかりと明記して下さい。

2-4344 【福岡県、60代】

あきたこまちが放射線を照射するまたはしているというニュースを知りました。とんでもない事です。人体に安全なお米作りをぜひお願いしたいです。

食べものが身体を作ります。

次世代の為にも安全なお米作りを農家の方をお願いしたいのです。安全でなければ、不買です。

秋田県応援しますので、ぜひお願いします。

2-4345 【福岡県、70代】

食料が一番大切！

人に害を及ぼすような米は作らないで下さい。

あきたこまちは怖くて買えない。

2-4346 【秋田市、50代】

あきたこまちRは重イオンビームの照射により遺伝子の一部を破壊し、人体に害のあるカドミウムの吸収を抑えた品種である。カドミウムの吸収を抑えるというメリットはあるものの、どのようなデメリットがあるかということは十分に検証されていない。明らかになっていることはこの放射線育種によってマンガンの吸収も抑えられてしまうというデメリットがあることである。この遺伝子の破壊により人体にどのような影響出るかは長期間における実証的に研究が必要であると思われる。しかるにどうもそのような実証的な試験は行われていないようだ。これでは治験をしないうちにワクチンや薬を摂取させるような物である。しかも、全面切り替えとなれば、今までのあきたこまちを選ぶ選択肢は生産者にも消費者にもない。もし、放射線育種米に不安を感じる人がいるならば、あきたこまちを購入するのを回避するしかない。あきたこまちRの安全性が検証されていない以上、不安は広がり、あきたこまちのブランド力は低下するであろう。しかし、放射線育種米があきたこまちRの成功によって全国の米に広がっていくならば、日本のお米に対する海外からの信頼は損なわれるだろう。また、外国から入ってくる穀物などは安全性の面で信用できないから、なるべく日本で生産されたお米を食べようと思っている日本の消費者にとってみれば、大きな失望になるだろう。また有機農法を進めて安全な食材を作ろうとしている生産者からその可能性を奪ってしまうことになるであろう。

一般消費者にはまだほとんど放射線育種米についての情報が与えられていない。そのよう

な状況の中で行政が一方的にあきたこまちRへ切り替えを決定してしまい、ひょっとすると何らかの健康被害をもたらす可能性があるにもかかわらず、消費者に選択の余地も与えないのは大変な人権侵害だと思う。

また放射線育種米への転換は将来、より技術的に簡単なゲノム編集による品種改良への道を開く可能性もあるので慎重に検討すべきあり、広く情報を公開すべきである。

2-4347 【北海道、30代】

「あきたこまちR」が導入されましたら、秋田県のお米は避けます。

家族はもちろん、周りの友人達も子育てで世代ということもあり、最近は特に食に気を使っています。

みんな秋田県のお米を避けると思います。

外国人は日本よりも健康意識が高いです。秋田県のお米は避けるでしょう。

お米といえば秋田県でしたが、先人達が長年かけて築いたブランド、信用が、一瞬にして崩れるでしょう。

東北周辺のお米への影響も心配です。

一度失った信用や、安心安全な土壌は、何百年かけても戻ることができるかどうかわかりません。

秋田県でモデルを作ると、他の東北の都道府県にも横展開しないかも心配です。

今の秋田県議会議員の皆様が、秋田県及び日本全体の、数十年、数百年先の影響まできちんと考え直していただけますことを期待しております。

偏った科学の意見だけを聞いていませんか？反対さらている方々の意見を聞いていますか？自然農をされている方を講師にお招きして、勉強会や意見交換会を開催されたらいかがでしょうか？

これは秋田県だけの問題ではないと考えます。どうぞよろしくお願い致します。

2-4348 【由利本荘市、50代】

放射線育苗米は食べたくないと思っています。

自然の摂理から離してしまったものへの対応で身体も心も働き続け疲れていると感じています。まだまだわからない事がたくさんある中で、出来るだけ特別な操作などせずにも回復力・治癒力で穏やかさを維持増幅していく生活を望んでいます。

知らないうちに変えられてしまい望まない物を知らないうちに摂ってしまうようにしないでいただきたい。風評被害などあっても本当の事・真実は変わりません。風評被害を恐れて本当の事を伏せるのは真実ではないという事です。

消費者にわかるようにしてほしい。わからないうちに食べてしまった消費者は被害者で

す。

目先の経済にばかり目を向けていては本来の生命としての本質から離れてしまいます。そんな事を続けるのは辞めていきませんか。あきたこまち R 全面切替には反対いたします。

2-4349 【山形県、50代】

よりよい県政運営のためにご活動いただきありがとうございます。

テーマ2についてですが、安全性を危惧する声も聞こえてきます。どのような危険性があるかをもっと精査してけんとうするべきではないでしょうか。県議会で再度検討いただくようお願いいたします。

2-4350 【茨城県、60代】

安全性が十分に検証されていないものにいきなり全量を切り替えるのは反対です。自家採種が出来ないようにする政策を自ら進めるのは食料自給率が低い日本がやるべき事ではないと思います。

2-4351 【大阪府、40代】

日本の食の安全はどうなっているのでしょうか？放射線の照射されたお米に置き換えられる意味と、販売に関しては、購入者が分かるように明示して頂きたい。私は放射線の照射したお米に置き換えると決定されたすべての関係者の方に聞きたい。あなたがそのお米を選択して食べますか？あなたの大切な家族にそのお米を毎日毎食食べてもらうことに喜びを感じますか？あなたはそのお米に誇りや日本人としての食の魅力を感じますか？ただそれだけなのです。私たちが毎日の食事で知らないところで沢山の添加物や加工品を口にしています。特に日本人は、こんなに食に誇れる国にも関わらず、添加物大国です。私たちが進むべき道は、安全な食品と健康の道であり、決して安易なことで食品や食生活を危険に晒すことではありません。どうか、人を愛し、食品が一人一人の口に届くまでの過程に愛を持って励んでいただきますように、日本人がどうか正しい愛の力で物事を考えられますように。

2-4352 【茨城県、60代】

放射線育種米の認可に反対です。

放射線育種技術は古い技術ですが、これを簡単に行おうとするとゲノム編集技術を容認することになります。

さらにこのようにして開発された種は、特許により保護されることになるので種苗法との関連で自家育種できなくなります。

また、遺伝子改変は種の保有する多様性を抑制する技術で、将来的な環境変動に対応できなくなるリスクを含んでいます。

以上により「あきたこまち R」への全量転換は時期尚早と判断して反対します。

日本のコメは食糧安全保障の根幹なので、農家の自家育種を阻害するような政策を実施することは容認できません。

2-4353 【東京都、60代】

あきたこまちから全面切り替えに反対します！

秋田県が作り出し日本を代表する米 あきたこまちを食べ続けて行きたいです。

異常気象になった今遺伝子を破壊された稲より従来 of 品種を作り続けていく事が大事だと考えます。

どうか慎重に議論していただきたいです。

2-4354 【佐賀県、30代】

未来を担う子供たちのために、これまでのお米作りを守ってください。

2-4355 【大阪府、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

転換してもカドミウム汚染問題は解決しないどころか、新たな風評被害が出かねません。

何よりも、従来 of 「あきたこまち」を食べたいです。

2-4356 【埼玉県、50代】

「私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して強く反対します。

お米が好きで毎日欠かさず食べています。日本の食文化であるお米を壊さないでください。未来の子どもたちへの食を壊してほしくないです。若い頃から「あきたこまち」が大好きで食べていますが、おかしなお米になってしまったら食べたくないです。

2-4357 【京都府、50代】

このままでは日本のお米がすべて放射線育種米になってしまい、お米の安全性もさるこ

とながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのか、わかりません。また、その自家採種も禁止になりますので、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまいます。

ことは、秋田県だけの問題ではありません。

食用としている日本人全てに説明責任があると考えます。

2-4358 【兵庫県、40代】

「あきたこまちR」への全量転換へ不安を感じています。

生産者や消費者、食べ物のを扱う関係者への説明が不十分ではないでしょうか。

また、「あきたこまちR」を食べたくないと思っても選べない事にも不満です。

国の政策でみどり戦略の中に国産オーガニックを目指すと思いますが、

ヨーロッパ基準と同等な基準であることを望みます。

ゲノム編集、遺伝子組み換え、育種米の放射線照射はいずれもオーガニック基準に反するものなので反対いたします。

2-4359 【東京都、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由は

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・私は今「あきたこまち」を秋田県の農家さんから購入して食べています。

とてもおいしく無農薬で育てているので知人にも紹介して複数の知人が年間購入しています。

もし R になったら、購入をやめます。知人にもこのことを伝え、やめることを勧めるでしょう。

・どうか日本を代表する「あきたこまち」を守ってください！

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

2-4360 【滋賀県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

2-4361 【愛知県、40代】

従来のあきたこまちの種を守ってください。

日本の誇りである。美味しく、安心なお米を食べ続けたいです。

何かひとつ変えるごとに利権団体にお金が入ります。

農家さんも声を上げて欲しいし、お金と引き換えに

魂と、国民の健康を売らないでください。

断固として反対します。

宜しく願いいたします。

2-4362 【千葉県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は日本中で愛され、安心して食べられる「あきたこまち」を守ってください。
- ・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rはどのような影響があるかわからず、食べたくありません。
- ・未来を担う子ども達に、安心して食べさせられる「あきたこまち」を守って下さい。
- ・日本人の大切な「あきたこまち」をこれからも食べていきたいです。

2-4363 【福島県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。
- ・従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・「風評被害」が起きるから「全量」転換というのは拙速で、全量は必要性が無いと思います。
- ・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4364 【茨城県、40代】

あきたこまちが美味しくてよく購入しています。

今後、放射線育種米へなる可能性があるとしてネットで見て意見を送ろうと思いました。放射線育種米の安全性が長期的に不明なので今後は購入の対象から外れると思います。

どうか日本の主食を守ってください。

よろしく申し上げます。

2-4365 【大阪府、70代】

何のための米の放射線照射なのか？

こんなお米

買いません

食べません

やめてほしいです

2-4366 【香川県、40代】

遺伝子組み換え食品は中長期的に見ると奇形が生まれたり、細胞が癌化したりと色々な弊害が報告されています。中長期的な安全性が担保されないものはそもそも政府や地方行政主導で行うべきではありません。ましてや全体を見ると問題の対象は数%しかないと聞きます。

なぜ、全量転換が必要なのかの理由とそのメリット、デメリットを全国民に周知してから行わないと行けないと思います。懸念されている中長期的な安全性は完全に担保できているのでしょうか？

農家や全国の消費者、有権者がこの「あきたこまちR」には警鐘を鳴らしています。

私も SNS で多数の有識者の人達の記事でこの事件を知りました。

私はこんな遺伝子組み換え米は食べたくありませんし、食べ続けた人の健康に不安を覚えます。

- ・何故選択制にしないのですか？
- ・何故全量転換なのですか？
- ・何故有機農業は遺伝子組み換えの作物は当てはまらないのに有機農家の人達を無視するのですか？
- ・何故少数の農家や消費者のニーズを満たす為に大多数を巻き込むのですか？
- ・何故安全第一にしないのですか？
- ・これは日本政府の意向だとしても、秋田県民と、秋田県産穀物で胃袋を満たす準秋田県民の食の安全を守れるのは地方行政でしかないのではないのですか？

これは、現在と未来の子ども達への人権侵害につながる判断である事をご存知ですか？
まだ生まれて来ていない未来の子孫達の安心して暮らす権利、(基本的人権)を奪
い取るような

政策だと思えます。

アメリカや諸外国の圧力があつたとしても、
それを護り切る事ができるのは地方行政です。

秋田県議会議員、そして、秋田県知事を筆頭に秋田県農水局の皆様
今一度問題を整理して何が本当なのかを洗い出し、
地方自治体の主権自治を示していただける事をお願い申し上げます。

日本は国民主権です。

日本政府と対峙できるのは地方自治体です。

政府が狂った判断をした時に国民を守るのは地方自治体です。

その為に地方自治体があるはずです。

種子法廃止の後の種子条例制定のように

グローバリストの圧力による国法の改悪を地方条例で食い止めるという働きが
今、地方行政に特に求められています。

全量転換はやりすぎです。

人権無視です。

未来の子ども達の人権も無視です。

計画の廃止、見直しを求めます。

みなさまの判断が全国の米農家の未来を示唆します。

何故なら秋田で導入が成功するとそれを根拠に政府は全国に波及させる計画だと思われ
るからです。

活発な議論と経済的判断ではなく、愛による判断をよろしくお願い申し上げます。

〇〇〇〇〇〇〇〇 〇〇〇〇

2-4367 【兵庫県、50代】

あきたこまち、からの全面切り替えに反対します。

理由は放射線育苗米の安全性に不安を感じるからです。

切り替えられると自家採取も禁止になるのでしょうか？

今までの種は手に入らなくなるのでしょうか？

我が家は小さいながらもお米作りをしています、この事はずっと知らずにいました。

もっと周知すべきだと思います。住んでいる兵庫県でも放射線育苗米になるとか、不安でしかありません。
遺伝子組み換え作物とか、F1の食べ物だとか。
これからの食について不安でしかないのです。

2-4368 【千葉県、60代】

「あきたこまち」からの全面切替に反対いたします。理由は、「あきたこまち」は秋田県が作り出し、大切に育て、日本中で誰もが知っていて、全国の人に愛されています。その「あきたこまち」を絶対に守ってください。遺伝子を破壊されてマンガンを吸収しにくくなった稲が、現在の気候異常の中、生き延びるかとても不安です。従来の品種を守って頂きたいです。消費者も生産者にもほとんど情報が無い中で全量転換を決めてしまうのは問題だと思います、延期の上、議論の場をもうけて頂きたいです。未来ある子供達の為にも、是非考え直してください。従来の「あきたこまち」を笑顔で食べ続けたいです、どうぞよろしくお願いします。

2-4369 【福岡県、30代】

意味の分からない遺伝子組み換えは絶対にやめて下さい！

2-4370 【東京都、50代】

「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換する、とのことですが、これが、後世に自信を持って残して行けるのか、残すに耐えるのか、拙速な決定をすることなく、慎重に議論を重ねるべきではないでしょうか。

そもそも、何故そのような人工的な改変を行う必要があるのでしょうか。

放射線育種の目的は、有害な物質を吸収しにくいお米を作ることだったそうですが、それを実現するために破壊された遺伝子が、他では有益な働きを持っていたと、後からわかったとのこと。

悠久の歴史の中で培われてきた遺伝の情報を、目先の利益のために、安易に破壊して改変することは、大変危険であると感じます。

一見、何の役にも立っていないと見える遺伝子も、必要必然として存在していると考えれば、それを破壊することで全体のバランスが崩れ、ある対象に対しては耐性を持つが、別の面で脆弱になってしまう、という可能性は、常に考慮されるべきだと思います。

自然環境の改変や破壊は、基本的に人間しか行いません。

そのような営みによって乱れた環境に合わせるために、更に作物への改変にも手を出す、というのでは、改変に携わる一部の存在には持続可能な方法かもしれませんが、自然的地球的には、とても持続可能なやり方とは思われません。

秋田には、自然栽培という、環境に適した方法でお米を生産されている農家さんもおられます。

種は自家採種で、それこそが、環境に最適な品種を継続的に栽培するためには重要なポイントだと思われます。

寒冷地には寒冷地に、温暖な地には温暖な地に適した種があります。どこもかしこも同じ種という訳にはいかない筈です。

このような農家さんや農法を支援して広げて行くことこそが、環境にとっても、ひいては人間にとっても有益であり、後世に伝え残して行くに相応しいことだと思います。

ぜひ、大きな時間軸で物事を俯瞰し、何が最適なのかを、良心を持って議論されることを切に望みます。

秋田は、私の両親の出身地であり、他人事とは思われないので、意見させていただきました。

2-4371 【千葉県、50代】

あきたこまちRについて。全国の、ニュースや新聞でえる知識よりも本当のことを知り見抜いている人たちが見守っています。

なぜこのような遺伝子組換えのお米への切り替えをするのか、誰が先導しているのか。私の住むいすみ市は学校給食オーガニック化で有名ですが、それにともない移住車も増えていますので、秋田のこの動きが退化を選択していて驚きます。非売運動がらおきたら、本当にこの動きを先導しといた人は誰なのか調べていくことにもなります。しっかり議論して、決して農家さんに強いたりしないこと。全ての真実はかならず晒される時代です。

より本当の意味でよいものをつくる土地が生き残ると思うのです。経過を全国で見守っています。よい政治をお願いします。

2-4372 【大阪府、40代】

「あきたこまちR」への全量転換したら、もうあきたこまちは買いません。

2-4373 【東京都、30代】

Rへ全量転換することには反対です。まだ議論がまったく足りていないと思います。風評被害が起きるから全量転換すべきというロジックなのであれば、日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行しても意味がありません。

「あきたこまち」は、日本でもっとも食されている品種のひとつであり、日本の食を支える屋台骨のような存在です。これは秋田県だけの問題ではありません。消費者にも生産

者にもほとんど情報がない中で、秋田県だけの判断で、全国民の食生活に多大な影響をもたらす決定をされているという印象です。カドミウムの問題を、Rのことを、十分に知っている消費者がいったいどれだけいるのでしょうか？マグネシウムの少ない米が、これからの気候変動にどれだけ耐えうるのか、十分に研究されているのでしょうか？あまりに拙速だと思います。慎重な議論を求めます。

2-4374 【茨城県、50代】

日本が誇る伝統ある『あきたこまち』を守り続けるのが、秋田を守るトップのあなた方の使命ではないのですが？ あなた方々の代で、志高いご祖先達が永年命をかけて一番大切にしていた物を今 絶やす事は、末代までの恥です。
それが分からない方々は議員でいる資格はありません。
今すぐに辞めて下さい。
あなた方に期待して貴重な一票を入れてくれた県民の声を聞いて下さい。
議員になった時の初心を思い出して下さい。

2-4375 【東京都、50代】

食の安全性が問われます。放射能汚染されたお米は食べたくありません。被害者が出て取り返しがつかなくなる前に中断して下さい。

2-4376 【愛知県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。
理由として

- ・従来の品種の「あきたこまち」を守ってください。
- ・Rに全量転換するのであればあきたこまちを買うのを今後やめます。
- ・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題だと思います。

2-4377 【佐賀県、30代】

安心安全美味しい物を壊さないでほしい
国民の大切な命を守る為にこのような事をするべきではない
間違っている事を強く訴えたい

2-4378 【千葉県、40代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのでは、と思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただきたいと思います。

未来の日本の子供たちのために、どうぞ早急に決定することを、考え直していただきたいと思います

2-4379 【福岡県、50代】

お米に放射線を当てるとというのは、それを食べた人には健康被害がでるのではないですか？普通にかんがえてもわかりそうな事ですが何故それを推し進めるのでしょうか？

2-4380 【神奈川県、30代】

安全性も分からない上にごま葉枯れ病にかかりやすい品種に転換するのは無謀ではないですか？

普通のあきたこまちで十分です。

2-4381 【静岡県、50代】

人為的に手を加えた食品は、とても怖いのです。日本人の主食であるお米を、そして秋田の大切なブランド米である

あきたこまちを守ってください。放射線を充てたお米を食べるなんて、長期的に人体にどんな影響が出るのか考えると恐ろしいです。

2-4382 【秋田市、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・秋田県の自然を守るべく県が、環境破壊を推し進めるといふのはいかなるものでしょうか。

・断固として反対します。

2-4383 【鹿児島県、40代】

放射線を利用した種は本当に私たちの体にいいのでしょうか。

それとカドミウムを吸収しにくいお米ではありますが、他の病気に弱ければ農薬の量も多くなってしまふのではないのでしょうか。私たちは安心安全なお米を食べたいと思います。まして子供達に対してもどのような影響があるか分かりません。

お願いですから放射線を利用しないお米に戻してください。

お願いいたします。

2-4384 【宮城県、40代】

稲の遺伝子を変化させるという自然の流れを変えることは、私たち人間に様々な弊害をもたらすでしょう。そして子供や孫の世代以降も、取り返しがつかないことになるでしょう。

カドミウム汚染への対応に必ずしもなっているわけではないとのことで、短絡的な考えではなく、中長期的、そして全体を見渡し問題解決を図ることが何事にも大切だと思います。

自然に沿わない、人工的な食べ物が多く流通する今日、アレルギーや種々の病気が増加しています。

食べ物は人間の命をつくる源であり、それらを人工的に、経済合理至上主義的に変容させてしまうと、人間の自然な健康も大いに損なわれてしまいます。

米どころ宮城県としてもこのような前例を作られてしまうことは人ごとではありませんし、そして日本全体として、農業を本当にグローバル資本主義から守るためにも、どうか自然に沿った生産を続けていただくことを希望します。

2-4385 【東京都、60代】

放射線育種米について全国民に説明をお願いします。自家採種の禁止！とは、その本当の目的は何なのでしょう？科学の力でリスクの伴う小手先の操作をしてしまったら元に戻るのは極めて困難になります。未来の子供たち、みなさんの子孫の健康への保証の得ら

れない不確かな事を始めないで下さい。

2-4386 【兵庫県、50代】

放射線を浴びた育種米は体にとって危険

だと思います。しかもかなりの放射線量です。

正直私は食べたくないです。

また、お米を購入するときはこの区別ができないのは選択の余地がなく消費者にとって不利益です。

さらに、栽培時に放射線を浴びていないお米にも花粉が飛んで交配してしまうとのことで、危険がさらに広がります。

この育種米栽培を次は兵庫県で行うとのことで、反対表明するために県外からですが意見させていただきました。

秋田県議会議員さんたちは育種米について、どうお考えでしょうか？日本の未来、子どもたちの明るい未来のために、どうか正しい判断をよろしくお願いします！

2-4387 【東京都、40代】

放射線育種された品種のお米は、絶対に反対です。何十年先の子供の健康を保証できないものを、平気で認可するのはこんな国は日本だけで、恐ろしく後進国家しています。海外では禁止されているものが日本では平然とたくさん売られています。

2-4388 【群馬県、50代】

風評被害とか意味がわかりません。登録品種がなくなるということは、農家さんがどれほど辛い目にあうのかわかっているのでしょうか？農家イジメですか？日本つぶしですか？従来のあきたこまちを存続してください！！

2-4389 【兵庫県、60代】

絶対やめてほしいです

あなたは、ご自身の家族にたべさせたいですか？

それとも議員さん達だけは特別な安心安全な食品が

手にはいるようになってるのですか？
あきたこまち が出来たとき県外の私が食べてみたく
魅力的なネーミングでかいました。コシヒカリに
おされてたのを見事にあきたこまちを
かいつづけました。それが、純粋なあきたこまちがおそろしい放射米を
あびたやつなど食べません。悲しい世の中なるんですね
秋田県のイメージがすべてくずれます
是非！これからの世代の為にやめてください！

2-4390 【東京都、60代】

放射線毒入りお米は食べたくありません。
日本人を殺す気ですか？
あきたこまちR への転換は、断固反対します。
本来なら、あきたこまち 安心白米を守るべき米どころが一体何を考えているんですか？
やはり、利権なんですね？
お金のために国民の健康を売るのはやめて下さい。

2-4391 【由利本荘市、30代】

放射線育成米反対です。
今のあきたこまちを守ってください。

2-4392 【大阪府、30代】

友人からこの話を聞いて衝撃を受けたので意見を述べさせていただきます。
結論から言うと断固として反対です。
放射線が人体に悪影響を与えることは、原爆が投下されたあの日から日本国民は広く認知しているはずです。
それを稲に照射してそのお米を口にすることは、間接的に人体に放射線を浴びさせることと同様に捉えます。
どれだけ利便性を唱えようと、「放射線を浴びたお米」と知って口にしたい人間がどこにいますでしょうか？
少なくとも自分はそうなった場合「あきたこまち」を一生口にすることはしないし、周りにもそうさせません。

日本国民にとって「お米」は非常に重要な食糧です。
これ以上日本国民を苦しめないでください。

2-4393 【愛媛県、50代】

あきたこまちRになったら、もう秋田県産のお米を安心して食べられなくなります。
どうか日本を代表するお米を危険なものにしないでください。

2-4394 【千葉県、40代】

私達は 安心安全な食を選択する権利があります。あきたこまちrは 安心安全とは言えません。あきたこまちrに全量転換を反対します。

2-4395 【愛知県、40代】

あきたこまちとあきたこまちRを一緒にするのは反対です。
消費者に選ばせろと思います。

2-4396 【アメリカ、70代】

『県議会への意見』

米国・〇〇州・〇〇〇〇〇70代

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・「あきたこまちは」日本の誇りです。

・米は古来から神様に捧げられもする、大変尊いものです。日本人には米を守り通す役目があります。

・世界では遺伝子組み換えの弊害について論議され始めて久しいです。米は日本人の主食です。日本国を守るための貴重な生命線です。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 自然に反するものを口にしたい人間がどこにいますか？

・ 私たちは、ご飯を食べる前にお米に手を合わせます。作ってくださった農家の方々にも手を合わせます。お米は日本人の精神なのです。

・ 私たちは食によって命をいただいています。不自然なものを体に入れたくありません。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

・日本人は世界でも優秀で知られています。もっといい解決方法が必ずあります。不自然な方向に走らないで欲しいです。

・現在の世の中の流れに全く反するようなことが、どうして今から始められてしまうのか分かりません。

・アメリカでは、自然なもの、有機の物を消費者は優先して買いたがります。不自然なものはこれから淘汰されていく流れにあります。

・日本は先進国なはずなのに、どうして後退するような政策を選ぶのかが理解できません。

・日本を支えているのは、素晴らしいお米の力です!!

よろしく願いいたします

2-4397 【千葉県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

日本の食の危機と感じます。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4398 【長野県、20代未満】

はじめまして。

あきたこまちをあきたこまちRに全面切り替えなさるようですが、

元あった遺伝子を壊したお米を普及させるのは長期的にみて危険だと思います。

人間の勝手な都合で遺伝子を壊したりしてしまえば、摂取した際への影響がどうなるかもわかりません。

どうか、「あきたこまちR」には切り替えないでください。

2-4399 【神奈川県、60代】

あきたこまちの全面切り替えに反対します。

放射線を当てると米の遺伝子破壊されます

その様な食物は食べたくない 食べさせたくない。

秋田からそのような不要なお米作りはしないで下さい。

先行で行う必要はないです。

従来品種のお米を作ってください。作り続けて

美味しく栄養あり 古来からのお米を守ってください。

2-4400 【東京都、40代】

日本のお米が大好きな家族です。

秋田県から日本全国へ安心安全ではないお米を届けるなど、秋田県の偉い人たちは何を考えているのでしょうか？米どころの秋田県の誇りとして、あきたこまちRへの全量転換は絶対にやめていただきたいです。日本の食の危機です。

2-4401 【青森県、50代】

あきたこまちに放射能を当てたりするのはやめてください。

原種で育てるやり方をずっと続けてください。

安全性のないやり方はやめてください。日本人は元々の米農家さんの栽培方法で美味しいお米をたべてきました。

絶対に無くさないでください。

よろしく申し上げます。

2-4402 【群馬県、60代】

いつも生協であきたこまちを購入して美味しくいただいております。お米農家の方にはお世話になっております、

あきたこまちRにしないで下さい。

安心安全なお米を今までどうり購入したいです。

どうぞ宜しくお願い致します。

2-4403 【東京都、60代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」への全量転換には反対です。

なぜなら「あきたこまちR」を食べ続けた場合の健康への影響など十分に検証されていない段階で拙速に全量転換を進めるのは危険であると考えられます。

この段階で進めるのは人体実験と言っても過言ではないでしょう。

この放射線育種の目的は人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることと聞きました。

しかしながらそのために壊された遺伝子は子どもの成育にも重要なマンガンも吸収する

上で役立っていたという研究結果が発表されています。

これは稲の成長、土壌の状態にも影響を及ぼすものと考えられます。

私は東京に住んでいますが「あきたこまちは」味や食感も気に入っていてよく食べています。それがなくなってしまうのは非常に残念です。

また、秋田県から突出してこれを進めることで十分な検証は必要ないという考えを他の自治体にも広めてしまうことになりその影響は大きいと考えられます。

是非是非、慎重な検討をお願いいたします。

2-4404 【大阪府、50代】

お疲れ様です。いつもご活動ありがとうございます。

これは何としてでも阻止しなければならない案件です。私も放射線育成米に断固として反対です 日本人を大切にしたいです。

2-4405 【宮城県、40代】

絶対やめてください

2-4406 【群馬県、50代】

従来にあきたこまちを残してください！

2-4407 【兵庫県、50代】

あきたこまち R への全量転換に反対します。

2-4408 【湯沢市、50代】

全良転換の実行は、延期、できれば中止を求めたい。

消費者はもちろん、農家さん方がどれだけ

「あきたこまち R」について理解しているのか

大きな疑問が残る。

消費者が不安を訴える中で

秋田県の顔とも言える「あきたこまち」を

議論も無いままに

全面転換しなければならない理由が分からない。

2-4409 【茨城県、40代】

放射線米には大反対です。

先代の方々が築き上げた
あきたこまちと言うブランドを潰さないでください。
後々、健康への被害等多数出てくることと思います。
値段が高くても自然に作られた今までのあきたこまち
を購入したいと思う人はたくさんいると思います。
お願いします。

2-4410 【愛知県、60代】

秋田県の皆さまへのお願いです。
放射能育種米は食べたくありません。
日本の米所の秋田県は、国民の命を支えて下さっていると思
います。
農家の方々は先日の水害で大変な状況だと思いますが、
どうか、これまでのお米を日本のために守って下さい。
遺伝子を操作された種は私達の体にどのような大きなダメージを
与えるかわかりません。
先日の秋田県の水害に気持ちばかりの寄付をさせて頂きましたが、
遺伝子組換のお米のためではありません。
これから日本を担っていく子々孫々の健康を守っていく
ためにも、どうかどうか、秋田の皆さま、放射能育種米は
ストップしてください。心から強くお願いいたします。

2-4411 【京都府、30代】

兵庫県で学校給食に関する活動をしています。
食について勉強していく中で、放射線育苗種について知りました。
令和7年度からあきたこまちを全面的にあきたこまちRへ転換すると言
うことは、これからの食の安全が脅かされる危険性があると感じていま
す。
お米は日本人の主食であり、最も大切な食糧源です。
カドミウム対策との事ですが、それだけのために全面転換するというの
はなぜでしょう？
市民がどちらか選択できるよう、しっかりと選択権を残してください。
一部あきたこまちRを導入するとしても、消費者が選べるように表示を
しっかりしていただくようお願いいたします。

2-4412 【埼玉県、60代】

純粋な日本のお米の純潔種を守らなくて何が「食の安全」か？！

自治体が先導して日本の食を破壊してどうする？！

子々孫々迄美味しいお米を伝承する義務が我々にはある！！

猛省して再考されよ！！

「あきたこまち」は食堂やレストランでも重用され、日本の誇るブランド米である！

2-4413 【東京都、60代】

(県議会への意見)

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4414 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

【理由】

まず従来の「あきたこまち」を食べたいです。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米です。その「あきたこまち」を守ってください。

放射線による突然変異で作られた品種は食べたくありません。

「風評被害」が起きるから、という理由で全量転換は理にかなっていません。日本全国で慎重な対応が求められる案件であり時期尚早です。

私はいち消費者ですが、このように進められるとまるで全量切り替えを知られたくないかのような印象を受けます。生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めることはもっと大きな問題であると考えます。なぜ急いで全量切替をしなければならないのか、理に適った説明も理由もないと感じます。

カドミウム汚染については他の農作物も含め、口にする食物を育てる上で解決すべき問題です。低カドミウム米だけで全てが解決するようなものではありません。

以上のことから、このような「あきたこまちR」への全量切替は時期尚早であり、むしろ秋田県より農林水産省へ問題提起すべき案件だと思います。

2-4415 【千葉県、30代】

お願いします！

2-4416 【栃木県、50代】

そんなお米食べたくないの、秋田県産の米は、もう食べません
間違った対処療法で、食の安全がどんどん失われる事に、恐怖を感じます
土地からカドミウムを除去する根本的対策をすべきです

2-4417 【兵庫県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ マンガン不足の稲の耐病性が低くなり、結果として農薬の使用量が増えるなどすれば、さらなる環境汚染にもつながるのではないかと懸念します。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 消費者にとって「あきたこまちR」が安全なのか情報公開がされていません。以前はなかった「お米アレルギー」の原因は行き過ぎた品種改良の結果に由来しているという指摘もあります。「あきたこまちR」について、タンパク質（アミノ酸の組成）やでんぷん質の変化の有無などの情報をわかりやすく開示してください。消費者への情報がないなかでの全面切り替えは時期尚早だと思います。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4418 【兵庫県、60代】

あきたこまちRへの転換は絶対反対。

神から与えられた動植物を、現在の下等な科学によっていじくり、本来のものとは別物へと変えてはいけない。転換させる勢力の圧力に耐えてください。政治家であるなら良心に基づく判断力を持ち、命をかけて正義を護って頂きたいと心から願います。

2-4419 【山形県、20代】

あきたこまちを全量、放射線育種米に転換することを断固反対します。

農家、消費者にも放射線育種米について知らされないそうですね。食べたくない人たちが知らず知らずの間に汚染された米を食べなくてはなりません。また、長期間の安全性は確証されていません。私達の先祖が長い歴史の中で大事に守ってきた米を放射線で汚染されて、食わされる日が来ると思うとゾッとします。もう秋田の米は食べません。隣県に住んでいますが、放射能育種米の飛んできた花粉が山形の稲と受粉してしまったらと思うと怒りが込み上げます。

2-4420 【千葉県、50代】

あきたこまち R に前回切り替えに反対します

私たちが安心して食べられてる美味しい「あきたこまち」に放射線を当てる意味とは？

秋田県民は理解してカドミウム汚染を問題視しているのでしょうか？

情報が行き渡らない中 県民の知る権利 知らされる権利を議会に求めます

2-4421 【東京都、60代】

日本の美味しいお米を、放射線育種後代交配種の、あきたこまち R、に変えることに対し、強く反対いたします。安心安全な食に対する危機感を覚えます。安全なデータを提示していないし、した、としても、それが本当なのか疑ってしまうくらい、政府や企業のやってきたことに不信感があります。なぜ、今までと同じではいけないのでしょうか？全く理解不能です。

2-4422 【由利本荘市、50代】

あきたこまち R はへの全量転換は反対します。

秋田、そして日本の未来を脅かすものと考えます。

どうか撤回していただけますようお願いいたします。

2-4423 【岡山県、40代】

秋田県のお米農家さんから、困窮の状況を知り、僭越ではございますが、ご意見を送らせて頂きたく存じます。

「あきたこまち R」が、放射線を浴びせて作られた交配種ということ、そしてこのような同じ取り組みが他の県でも行われようとしてされていることを知り、大変危機感を抱いています。お米は日本人の命です。どうか、日本の未来のため、放射線を浴びて遺伝子がおかしくなった品種が未来へ及ぼす危険性を分析して頂きたく存じます。また、更には、どうか日本の未来のため、全国で人気の高い「あきたこまち」を守って頂きたく存じます。「あきたこまち R」への転換は危険と不安しか感じません。どうか、この件について、ご方針を

再度ご検討していただけますよう、お願い申し上げます。このことを切にお願いさせていただきます、ご意見とさせていただきます存じます。

2-4424 【広島県、50代】

農作物（お米）の安全性が失われる様な悪事はやめて頂きたいです。

同じ国民として（命に対して最低限の）安全、誠実でいて頂きたいです。

2-4425 【埼玉県、40代】

あきたこまちに余計なことはするな！

日本人なら伝統のある米を守れ！

汚染するな！

汚染された米を食べさせて病気にさせるのが目的か！

いい加減にしてくれ！

2-4426 【徳島県、30代】

県外から失礼致します。

ありがたいことに徳島にもあきたこまち流通しており、おいしく食べさせていただいております。

「あきたこまちR」全面切替に反対します。

どうして今のお米ではいけないのでしょうか？

今のお米でも十分美味しい素敵なお米ではないですか？

秋田県が試行錯誤の上作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米だと思います。

子どもや孫、この先ずっと安心して食べられるお米であってほしいです。

また、素人ながら調べましたが、遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲は本当に安心で安全なのでしょうか？ほんとうに食べたいお米でしょうか？

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大きな問題で、慎重に議論する場を設けることをお願い致します。

2-4427 【神奈川県、40代】

「全量転換に反対します」

お米は日本国民の命綱です。

ほんとうに農家と消費者である国民を守る判断なのでしょうか？

いままでの従来のおきたこまちの継続をよろしくお願いします。

政治的な判断は、ほんとうに日本の国民のことを考えてない、ほかの力が働いてるなどおもう今日この頃です。

自家採取に関しましても、お米だけは最後まで可能にしてほしいです。

2-4428 【高知県、50代】

「私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

あきたこまちはよく食べていますが、全量転換の必要性は全くありません

この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があり、

(あ) F1 種子であること、

(い) 不妊遺伝子や様々なDNA変異が施されている、

等々の有害な遺伝子変化が秘密裏に行われている可能性があると聞きます。

聞くもおぞましいこんな改良がなされるなど信じ難く、到底納得することはあり得ません。

あきたこまちRが売られるようになれば、米を食べるのを止めようと思います。もしくは外国の米を買い求めます。

2-4429 【鹿児島県、60代】

現在住んでいるのは、鹿児島県ですが本籍は秋田市で家も秋田市新屋にあります。「あきたこまちR」への全量転換は、とても心配です。せめて農家の方が選べるようにして下さい。

2-4430 【由利本荘市、60代】

放射線育種米に関して反対します。

未来ある子供達、人類の安全安心を守って下さい！

2-4431 【和歌山県、30代】

私はあきたこまちが好きです。

遺伝子組換えになっては健康被害が心配で食べられません。

やめて頂きたいです。

2-4432 【にかほ市、40代】

小学生の子どもがいます。

未来の子供達のために、食の安全のために、あきたこまち R への全量転換に反対します。

2-4433 【岡山県、40代】

地中に含まれるカドミウムを吸い上げない米を放射線による突然変異で作り出し、従来の「あきたこまち」から「あきたこまち R」に変えていくようですが。

一つ目、カドミウムを吸い上げないだけでなく、他の養分を吸い上げない、従来の米では吸い上げなかった物質を吸い上げるようになっていないのか？健康への大きな影響が出る可能性があります。

二つ目、放射線により突然変異させたということは、遺伝子に異常が出てるということでしょう。カドミウムを吸い上げないことだけが判断基準になっていないか？他に変異している箇所は必ずあるはずです。そしてそれを解明することは不可能と思います。これは、コロナワクチン後の超過死亡率超増加と同じようなことも起こりかねません。解明することは不可能となので、行政、政府は因果関係がありませんといい続けるでしょう。遺伝子レベルで何が起こるかわからないということです。何かが起こったら取り返しも付かないでしょう。何か対策案はあるんでしょうか？

三つ目、名称が「あきたこまち R」で、何も知らない人は特に何もわからず購入するでしょう。放射線米ということを買う前にわかるようにするべきではないですか？知らない内に食べてたなんて、詐欺と同じと思うのですが。消費者に本当の情報を与えず、販売者(自分たち秋田県)の利益を優先してるようにしか思えません。

以上の理由で反対します。

最後に放射線等で遺伝子レベルで物をいじるような不自然な方法ではなく、時間はかかっても一昔やっていたことに戻るべきと思います。日本を代表するお米が放射線で作られました、と胸を張って言えますか？

2-4434 【大阪府、40代】

あきたこまちも最近も結構食べさせていただきありがとうございます。しかしながら放射線を充てて安全性などはどうなのでしょう。私たちは今まで通り、従来通りの自然の中で生まれたお米、作物を食べたいと考えています。国の安全基準は年々緩和され、安全と謳われるが本当にそうでしょうか？年数が経たないと見えてこない現状があるのではないのでしょうか？

ですので、放射能 R あきたこまちの農法改善に反対して、従来のお米を残して栽培していただきたいです。よろしくお願い申し上げます。

2-4435 【群馬県、70代】

あきたこまちを食べています。安全なお米をこれからも利用したいと思います。これからの時代を担う若い人達が健康で過ごせるよう、安全で美味しいお米作りができるように考えて下さい。

2-4436 【神奈川県、40代】

放射線だけに限らずですが、
植物に人間が手を加えることは
冒涇だと思います。
米アレルギーの人でも
品種改良されていないお米は
食べられたり、
今多い小麦アレルギーもそうです。
昔からある品種が見直されて
出回るようになりました。
余計なことをしないことが
一番なのです。

「足さない」ことです。
植物は人間がいなければ
真っ当に生きられるのですから。
どれほど自然界の虫や動物に食べられても
大丈夫なようになっているのですから。
自然界を人間の手で汚すのは
もうやめましょう。
植物がその植物らしく生きられるように
することが人間がやるべきことです。
どうか植物をお守りください。
人間は植物のおかげで生きています。
植物を育ててやっているんじゃないんです。
植物をいただいているんです。
人間の都合の良いように変えていいものではありません。
植物にも感情があることはご存知だと思いますが、
あきたこまちRを推しているみなさんも
突然あんたは今のままじゃダメだから
矯正すると腕を切断されたり

舌を切られたり髪が一生生えないようにされたら
。それと同じことです。
どうかも植物に手を加えないでください。
よろしく願いいたします。

2-4437 【宮城県、50代】

あきたこまち R は組み換え種の別種
なのであきたこまちという
名称はつけない方がよいと
思います。

2-4438 【北海道、50代】

こんにちは。初めて意見を書かせて頂きます。
北海道在住ですが、「あきたこまち」が好きで購入しています。
ですが、「あきたこまち R」への変更のお話を聞き、
残念ながら今後は購入できない思いになりました。
食は命。
その食の栄養価の低下や安心安全から遠のいていく話を
聞くにつけ、日本人の命が蝕まれていく恐怖が広がります。
日本人が日本人の為に心を込めて作っているものの安全神話が
どんどん崩れていく事は、これから子供を産む女性の体への影響や
若者達の肉体的・精神的な影響を考えるといたたまれなくなるのは私一人では無いと思
います。
命に直結している「食」だからこそ
有名ブランドの名に恥じないものを提供し続けて頂きたく
お願い致します。

2-4439 【埼玉県、40代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して強
く反対します。
現代生物学を勉強していないと、この種の米が「単なる放射線によって生み出された新
種」のように感じるかも知れません。
しかしながら、それとは異なり、何十年にも渡り、現代生物学の DNA エンジニアリング
を使って米国で生み出された新種の可能性があります。

この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があり、この種でできたお米の安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきです。

上記不妊遺伝子やSV40 癌誘発遺伝子が組込まれている場合、風評被害では無く、完全な毒物米となります。

それでも、秋田県は、「あきたこまち R」を推進する予定なのでしょうか？

2-4440 【大阪府、40代】

お米は日本の食糧自給の生命線です。その生命線は様々な困難が発生した際にそれらに柔軟でしなやかに対応できる体制であるべきです。ですが今回の「あきたこまち R への全量転換」はそれに逆行していると言わざるを得ません。

多様性は困難が起きた際に種としての柔軟性を発揮します。今回の決定はその柔軟さを無くすこととなります。

また、遺伝子操作は未だ未知の部分の多い技術です。1つのメリットを求めた変化が実は隠れた多数のデメリットを起こしていた、というようなことも確認されています。その際に全量転換しては取り返しがつきません。いつでも回帰出来る環境は残して置く必要があります。

環境的に従来の「あきたこまち」の栽培が難しい農家のみ「あきたこまち R」に切り替え、それ以外の農家には「あきたこまち R」以外の選択肢を残す、例え、もし、すべての農家が「あきたこまち R」の切り替えを希望したとしても、安全策として県から農家に依頼して「あきたこまち R」以外のお米を作る農家を残す、そこまでの対応を行い「もしも」に備えないと、何かあった際に1種依存は本当にとっても危険です。

例え種籾だけを保管していたとしても、栽培法が失われたら取り返すのにはとても時間を要することになります。栽培を継続することが大切です。

多様性の失われた種はやがて滅びます。素晴らしい秋田のお米の「あきたこまち」にそのような運命をもたらさないよう、どうか今一度再考をお願いいたします。

2-4441 【福岡県、50代】

あきたこまちに放射線をかけると聞きました。

お米を頂く消費者からみて、人体に影響が無いとは、考えられません。

もう少し、実験とデータを揃えてからでも良いのではないのでしょうか？

よろしく申し上げます m(_ _)m

2-4442 【東京都、50代】

長期でどのような影響が出るか分からないゲノム編集の分野を、安易に導入して欲しくない。あきたこまちというブランドへの信頼が崩れる事を危惧します。

2-4443 【千葉県、60代】

あまりにも情報がないことに驚き憤りでいっぱいです。日本で今この秋田こまちRの事をどれだけ報道しているのでしょうか？ 早急に決める前に安全性 これからの子供達への影響などをもっと検証してからでもいいのではないのでしょうか？ 後からでは遅いのです。

今までの日本がつくり続けてきたお米 秋田こまちをこれからも食べて行きたいのです。変えてしまったら取り返しは付かないのです。全国に先駆けて秋田県がやろうとしていることに責任は持てますか？

もう一度真剣な議論をのぞみます。きちんとした情報公開もないまま大切な事が決まって行って欲しくないです。未来の子供達には安全な食を残して行きたいと切に願います。

2-4444 【愛知県、60代】

あきたこまちRへの転換に反対します。

誰でも、放射線をふりかけたお米など、食べたくありません。

効率化や生産性ばかり追求して、人の気持ちというものを無視していますね。

放射線を当てて、遺伝子がめちゃくちゃになった物を食べて、健康に良いはずはありません。

ちょっと考えれば、分かることです。

利潤ばかり追い求めて行くと、良いことは起きません。

あきたこまちRへの転換は、全量、一部に関わらず、絶対反対します。

2-4445 【秋田市、70代】

下記の理由にて全量転換に反対します。

理由1：美の国秋田ネットでは放射線育種の安全性について「…自然界でも宇宙線や大気、大地などからの自然放射線で突然変異が発生しています。放射線育種は、このような自然放射線による影響と同じ種類の効果を放射線の照射によって短期間で得る手法…」と表記しているが、安全性について述べるのであれば、影響ではなく突然変異と表記するのが適切と考える。何故なら、前段で「自然放射線で突然変異が発生」と表記しているからです。影響と突然変異の表記の違いは、読み手が抱く危険性・安全性に大きな開きがありミスリードとなり、意図的に不適切な判断基準を読み手に与えていると考える。

理由2：交配育種「あきたこまち」と放射線育種「コシヒカリ環1号」を交配している

ものを消費者に「あきたこまち」として進めるのは消費者を欺く事になる。人体に取り入れられる食物であるので、適切精確に表記すべきと考える。

理由3：奨励品種採用理由として「カドミウム吸収性は極めて低い特性が認められた」とあるが、秋田県の全水田のほとんど(仮に8割以上の水田)がカドミウム汚染の高いのであれば、採用理由として理解はするものの、カドミウム高汚染水田が2割以下であるならば、令和7年度に全面切替える理由としては根拠薄弱であり、採用利用の理由としては無理であり、理解出来ない。仮に採用するのであれば、カドミウム汚染の高い水田のみと限定すべきであると考ええる。

理由4：全量転換は放射線育種のみを生産者に強要・強制使用することであり、農家の自由(品種選択の自由)を侵害すると考える。また品種の多様性を維持する観点からも全量転換させるのは整合性が取れず、これを進めるのは多様性の破壊行為と考える。交配育種「あきたこまち」は、多くの米を愛する先人が守り育ててきたものであり、次の世代に残し継承すべき財産と考えます。交配育種「あきたこまち」を食べられなくなることは、米を愛する先人の思いと業績を破壊することであり、絶対にしてはならないと考える。

理由5：生産者が美味しいお米を作るためにいろんな研究の自由があるのは望ましいと思うが、消費者にも何を食べるのかの選択の自由も担保されるべきと考えます。令和7年度に一般作付開始(全面切替)されれば、交配育種「あきたこまち」がなくなり、選択の自由がなくなるのではないかと。何を食べるのかは個人の自由であり、誰かによって強制されてはならないのは自明の理であると考えます。

2-4446 【オーストラリア、30代】

米の表示を変えるなんて言語道断、放射線の有無は知らせるべき。その上で消費者が選ぶようにするべき。人々が安全に食べられるように頑張っている農家さんを軽んじるような事をしては行けないとおもう。

農家の負担を増やすような自家栽種を禁ずるのにも反対。

2-4447 【大阪府、30代】

秋田県議会の皆さま

こんにちは。私は秋田県民ではありませんが、日本を代表する米どころの秋田で、あきたこまちRへの全量転換が行われようとしていることを知り、これからの日本全体の農業や食の安全を左右する重要な決定事項であり、大げさではなく国民全体の命に関わることであり、ぜひ慎重に議論し踏み留まっていた

だきたくコメントさせていただきます。

これまで日本の食の中核である稲作を担い守ってこられた秋田の皆さまに感謝を伝えるとともに、日本の安心な未来を守るためにもぜひよろしくお願い致します。

【全量転換に反対する理由】

全量転換のあきたこまちRが「放射線育種米」であること。

長期的に安全性は〈本当に〉確かか。子どもに食べさせて、その子どもの老後まで安心と言えるのか。安心を犯してまで、全量転換する意味はあるのか。

遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されていること。秋田農家の皆さまの、そして日本の稲作を、利益優先の企業の手明け渡してしまうことにならないか。

表示義務が無いため、米を購入する際に消費者にも見分けがつかないこと。

オーガニックへの関心が高まる今、有機栽培をしてもあきたこまちRでは有機米と認められないこと。(eu基準に違反)

日本を守るための大事な変換期、どうかどうか踏み留まっていたきたいです。

よろしくお願い致します。

〇〇

2-4448 【大阪府、40代】

私は、従来品種、「あきたこまち」を守りたいです！

放射線育種の品種は食べたく無いし、今後の人、特に子どもたちへの健康面への悪影響も未知の領域なので断固反対です！

放射線育種のお米を長期的に育て、食べ続ける事で、人に、動物に、環境にどんな影響が生じるかはまだ誰にもわからないことです。何かあってからでは遅すぎます！もっと慎重になってください！責任が問われないからといって無責任なことをしすぎです！

また、生産者にも消費者にも、その品種がどういうものなのか詳細な説明がされないのも納得できません！

本当に安心して安全な食品を、農家の方々が作り続けることができ、輸入品に頼らず、日本の食料自給率を回復することができるよう考えてください。

2022年8月に、岡山大学が「低カドミウム集積イネの育成に成功した」というプレスリリースを発表しています。馬建鋒（ま・けんぼう）教授グループが研究開発したもので、その論文が科学学術誌『Nature Food』に掲載されています。

その報告によると、カドミウムは根に留まり、地上部分には移送されない。お米の部分には低カドミウムで安全に食べることができて、根を収穫後に適切に分離処理できればカドミウム分を土から取り去る（植物浄化）という2つのことを同時に実現できる可能性がある。との事です。

是非、こちらを検討いただきたいです！

2-4449 【沖縄県、60代】

放射線育種米に反対です。

カドミウムを吸収しにくいお米になると同時にマンガンも吸収しにくいお米になります。マンガン不足で、ごま葉枯病などの病気になりやすいこともわかっています。

さらに、マンガン不足で、稲穂や子供の成育にも影響し、ミネラル不足のお米になることも心配です。

あきたこまちRやコシヒカリ環1号はカドミウムをほとんど吸わないので、汚染地域の問題解決にもなりません。

以上の理由から、あきたこまちRへの全量転換に反対します。

2-4450 【愛知県、40代】

あきたこまちR善良転換に反対します。

従来 of 安心安全なあきたこまちを食べたいです。

私は物心ついた時からズットあきたこまちを食べて育ててもらいました。今も大好きです。

ですが、あきたこまちRはとてもじゃないけれど怖くて食べたくありません。

このような食の安全を脅かす可能性をはらんだ考えが良しとされ、議題に上がること事態とても哀しいです。

どうかどうか秋田人の誇り、日本の誉れ、あきたこまちを守り続けてください。

従来 of 安心安全で栄養豊富な完璧な“あきたこまち”だからこそ私達は食べたいのです。遺伝子を破壊したお米は食べたくないです。

現在、そして未来の子供たちにも従来 of あきたこまちを繋ぎ、食べさせてあげてください。心からよろしく願いいたします。

2-4451 【大阪府、50代】

米そのものの問題もありますが、今後の環境汚染などについてご説明をして頂きたく思います。水質は確実に汚染されると思います。

2-4452 【由利本荘市、70代】

全量転換に反対します。

2-4453 【東京都、30代】

こんにちは。

あきたこまち R はいらないです。

人体にも環境にも将来にも、どんな影響が出るか分からないものを簡単に大丈夫だと結論づけて押し付けしないで下さい。

どうしても進めるのであれば、きちんと従来のものと判別出来るように表記をして下さい。

消費者には選ぶ権利があります。

そもそも、あきたこまち R をわざわざ作る意味が分かりません。

現状必要ないです。

大好きな “あきたこまち” が食べられなくなるのはとても残念なので、是非全量転換はやめていただきたいです。日本のためにも秋田のためにも。

よろしく願いいたします。

2-4454 【広島県、30代】

米の放射線米を作るのに反対。

絶対やってはいけない事をしています。

自然に、作った米が一番良い。

放射線など当ててはいけない。

貴方は、日本人ではないのですか??

日本で自然に作った米が食べられなくなって平気なのですか?

放射線米、絶対反対

そんな物作ったら、死んでも地獄にしか行かないし、

地獄に行ってから後悔しかない。

2-4455 【沖縄県、40代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して反対します。

動物や人間が長期間接種し続けた結果データがない、もしくは公表されていないため、人体に害を及ぼす可能性が大いに考えられるからです。

2-4456 【福岡県、30代】

稲への病害影響などを考慮した案かと思いますが、食べ物は将来に渡って、私達も子ども達も口にし、体を作っていくものです。特にお米は主食としてほとんどの日本人が口にします。国としても健康志向、地産地消、国民食として推すのであれば、なおさら遺伝子を破壊し、添加したお米の健康への影響を徹底的に考慮し、全部転換はやめていただきたいと思います。

食べ続けることによる安全性、世代を越えて身体への影響の検証など課題もあるかと思っています。一律的に転換するのではなく、そうでないものも選べるようにしていただきたいと思っています。決して選ばないことを排他的にするのではなく、口にするものを自分で選ぶ権利は国民すべてにあると思いますし、将来の世代は決められてしまえば選ぶこともできません。

遺伝子を破壊する影響、カドミニウム添加の影響や農家さんの負担増など考えるとほかの手段もあれば、と思います。

2-4457 【岡山県、40代】

Rへの転換をネットニュースで知り驚きました。美味しくいただいていたお米がこのように転換されることにショックです。子供も小さく転換に不安があります。従来のおきたこまちが食べたく、転換後のお米は不安がありこのままRが市場に出るならばもう食べないかと思っています。

まだこの転換を詳しく知らない人も多く消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまうことに不安が大きく期間を延期の上議論する場を設け再検討を望みます。米所である秋田県でこのような事になっていること自体が悲しいです。ぜひ従来米で安心してお米をいただきたいと思っています。

2-4458 【東京都、40代】

食べたくありません。

放射線の危険性を学びに

広島の平和資料館に行ってください。

2-4459 【茨城県、50代】

放射線育種米に関して非常に大きな懸念を抱いております。

放射線で無理やり遺伝子を変えたお米の影響は数年では出てきません。

ならばそれで良いのかと言いますと、我々の子供や孫の世代で悪影響が出てくる可能性が高いわけです。

安全性に関する確認には長い時間がかかります。

次の世代にそのような重荷を背負わせるのはあまりに不憫ではありませんか？

またアメリカで開発されたDNAエンジニアリングを使った場合、日本の農家は種もみを毎年海外（おそらくアメリカ）から購入するしかなくなります。

そうすると、我々日本人は安全かどうかもお米を海外にお金を吸い上げられながら食べないといけないという恐ろしい構造が出来上がるわけです。

今までお米は東北の物をなるべく購入するようにしていましたが、これから放射線育種米のみになるというのであれば考え直す必要がありそうです。

秋田県は日本屈指の米どころでもあり、秋田県がその方向に舵を切れば他県が追従する可能性が高いです。

どうか日本の未来のために止めていただきたい。

2-4460 【栃木県、40代】

放射能をとにかく嫌う人達は食べられないでしょう。

どう安全なのか消費者に理解してもらってから進めるのが筋だと思います。

私も自分の口に入るとなれば、何シーベルトの放射線量なのかを知りたいです。

2-4461 【東京都、40代】

あきたこまちを放射線育種米にすることに反対です！

「秋田県における水稲のカドミウム汚染の実態とその被害軽減に関する研究」というレポートを拝読しました。珪カルやようりんなどの施用や、適切な水管理で軽減できるとありました。

稲を変えるのではなく、重大な汚染地域は土壌反転などが本質的な対策だと思います。

ヨーロッパは元より、アメリカ、韓国、中国もオーガニックが主流になりつつあります。

日本もオーガニック給食への要望が多い中、あきたこまちを放射線育種米にすることはブランド力の低下となってしまいます。食への信頼が失われたら取り戻すのは大変です。

消費者はいつまでも騙されません。

2-4462 【大仙市、60代】

この県の情報は他県の知人から5月ごろに知り、またこれに反対する団体が作成したチラシを8月になってから知りました。

しかし、この「あきたこまちR」が有害、または大変な危険をはらむ施策であることは、農水省のHPでも県のHPでも具体的には明らかにされておらず、この実態がわかった国民は反対するに違いありません。

日本の農業・食料は、海外では禁止または使用を制限しているような、人間には有毒だと評価されている物質を相当量使用して、日本国民の健康を害するような施策を国が先頭に立って行っていることは、世界中で知れ渡っていることです。そのため、欧米の人の中には特に日本の加工食品を購入しない人が大勢います。

秋田県はその有する土地を有効活用して、化学肥料を制限してより健康に適した農作物を作ることができる数少ない県だと考えているのに、それと全く真逆の施策を全国の先頭になって実行しようとしている県の姿勢には大反対です。

また、県議会のサイトにもこの危険性や懸念等が表記されておらず、意見を集めるのもお茶を濁しているだけ・上っ面の活動を正当化しているだけにしか見られません。

結論：

この施策には大反対です。このような健康的人権を無視した 施策を推進している担当者・議員等は必要ない。

2-4463 【長野県、40代】

従来の美味しく安心していただけるあきたこまちを、次世代の子どもたちに残していただきたいです。どうか、よろしく願います。

2-4464 放射線は、地球環境、動植物（人間を含む）を破壊する物質の第一頭です。考えなおしていただけるよう、よろしく願います。

2-4465 【福島県、60代】

あきたこまちも、今までの品種で自家採種ができるのがいいです。放射線処理の種はあり得ないです。転換に大反対です。

2-4466 【滋賀県、30代】

放射線育種米絶対反対です。

この世の為になること、ならぬことがあります
絶対に行ってはならないこと罪です。

秋田を守る方々今一度なさろうとしていることが本当にこの世の為
人の為になることかならぬことか

やっていいことか？やってはならないことか

今一度しっかり学び心に聞いて改めて頂きたいと思

願います。人を内側から壊すことは何が起こるか？

どういうことか？学び考えて頂きたいです。

2-4467 【香川県、50代】

秋田県での放射線育種米への全量切り替えはやめて下さい。秋田県のお米もお酒も大変美味しいです。今のままのあきたこまちを大切に育てていただきたいです。大量の放射線被曝を受けて遺伝子まで取り除く様なことをしてしまえば、あきたこまちを食べた健康被害が出る可能性も十分に考えられます。そうなればあつという間にあきたこまちの風評被害が広まることは避けられないのではないのでしょうか？秋田県として、その様な大変リスクがある農家潰しにもつながる政策を全国に先駆けて行う必要がどこにあるのでしょうか？

か？

今一度県議会でお考えいただいて、大切に育ててきた秋田県の宝物であるあきたこまちの種子を変えないでください。どうぞよろしく願いいたします。

2-4468 【にかほ市、70代】

あきたこまちRへの全量転換に食の安全を守る為反対します

2-4469 【茨城県、60代】

秋田こまちへ大量の放射線を浴びせ放射線米にし、新秋田こまちにすることに強く反対します。放射線により米に含有されている人間にとって必要なマンガンやマグネシウム等が破壊されてしまいます。ごく微量なカドミウムを無くすためと言っていますが、自然界に存在するごく微量な量が本当に害をもたらすのかの検証もやっておりませんよね？これまでも秋田こまちを食べてきてそのような害の話も聞いておりません。

これは米国で行われていた遺伝子組換え実験と同じではないでしょうか？

自分なりにいろいろ調べてみましたが不妊の危険性もあると聞いております。

また種籾がF1になると次の時も購入しなければなりませんよね。貴重な在来種を無くすような、この行為は日本の食糧危機を加速させるものとなるでしょう。F1種は元々強い農薬にも耐えるような目的で作られ

…外国企業が種を独占し、それ用の農薬も売りつけ利益をあげていますよね。日本は食糧を握られてしまっています。

放射線米は長期的に人体にどんな悪影響を与えるかわかりません。今でさえ不妊、癌などなどの人体への悪影響の恐れが言われています。また在来種を守り日本の食を守る点からも放射線米に強く反対します。絶対に止めていただきたいものです。日本の米全てがそういう流れになったらと、大変恐れています。

2-4470 【福島県、30代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切り替えに反対の立場です。

理由としては、「あきたこまちR」は放射線育種米が交配元となっており、放射線育種米の長期摂取に依る危険性が明らかになっていないため、交配種である「あきたこまちR」にも潜在的な危険性があると考えられるからです。拙速に全県、全日本的に拡散させるのは潜在的に大きな危険を伴うと考えます。

ご検討頂きたく、宜しく願い申し上げます。

2-4471 【山口県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

放射線育種米の問題点は、遺伝子の一塩基が欠損する事により、フレームシフトが起こり、これまでに存在しなかったタンパク質がつくられる可能性あるという事です。この事が人体に対してどのように影響するかよくわかっていない現状において、全面切替することに強く反対します。

2-4472 【三重県、40代】

遺伝子操作されたお米は今後人体にどのような影響を及ぼすか明らかになっていません。どうか今まで通り安心して食べれる美味しいお米を守って頂きたいです。

2-4473 【神奈川県、50代】

安心して食べられる秋田こまちを放射能操作しないで下さい
秋田こまちを、日本のお米を守って下さい

2-4474 【大阪府、40代】

安全性について心配でなりません。

これからも有機米を食べていきたいと強く願うばかりです。

なんとか、自然物に人の手を加えないでください。日本の大切な、ご先祖様が残して下さったお米を子孫に残していけるよう、放射線を使用した種などは使わないでください。

あきたこまちのような有名で流通量が多い品種でされると、他の多くのお米にも多大な影響をもたらし、日本中のお米が取り返しがつかなくなる可能性があります。どうぞ、くれぐれ慎重に、今回は見送ってください。

お米の栽培に昔の日本は農薬はもとより殺虫剤もつかわず、強い種を残してきました。

先代の多くの知恵を思い出し、復活するのが、国の民の健康のためです。どうぞお立ち止まりくださあ。

2-4475 【富山県、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。私たちの健康を、こどもたちの未来を第一に考えてください。絶対反対です。

不買運動が始まると思います。

2-4476 【沖縄県、40代】

人体にどのくらいの影響があるのか分からない放射線照射したお米を食べるのは心配です

しかも、全量転換してしまったら、私たち消費者は選択の余地がなくなってしまいます。どうか県議会で審議されるのなら、慎重な議論をお願いします。

秋田県で導入されると、これが前列となり、全国に波及する恐れがあります。また、農家が自家採取出来なくなり、その都度種を買わなくてはならなくなるのは、いつかその種が外国に握られた時、日本人の伝統的主食である米さえも、外国に持っていかれ、私たちの手の届かないところに管理の権限がいつてしまいそうで心配です。国は責任を持って、お米を守らなければなりません。

カドミウム汚染の対策というのなら、全てのあきたこまちを替えてしまう必要があるのでしょうか？必要のない地域でも適用されるというのは、半ば強引な気がします。遺伝子組み換えの食品ですら、いまだ人体にどのような害をもたらすか、正確に解明されていません。ゲノム編集しかりです。もっと、慎重にならなければいけないと思います。

是非、全量転換の中止をお願いいたします。

2-4477 【兵庫県、60代】

秋田県があきたこまちRをR7年から売り出されるみたいですが、
ですので断固反対致します。研究も反対致します。

放射線を浴びた育種米を食べることは
人間の身体に良くないのです。

身体に悪いものを作るのは何故か。

是非、今のうちに撤回していただけるよう

宜しくお願いします。これ以上病人をださない為にも
反対いたします。

2-4478 【北海道、40代】

カドミウム汚染地域でもない場所でなぜ放射線育種米に全量転換しなくてはいけないのでしょうか。

良いところだけを伝え、悪いところは伝えない事になっていないのでしょうか。

今までの農業をつなぐだけでは物足りないのでしょうか。

人体にどのような影響があるかわからないものを体に入れたくありません。私たちの食を守ってください。

2-4479 【和歌山県、30代】

『県議会への意見』

従来の美味しいお米がこれからも食べたいです。

2-4480 【福岡県、60代】

種籾を残せない

放射線をあてる

ゲノム編集すること

これが全国的に行われて行く事を思うと、絶対反対します

日本人にとってのお米大事にしていきたいと思います

お願いします。

2-4481 【埼玉県、50代】

なぜ、あきたこまちRに全て転換しなければならないのでしょうか？

今、いろいろなところで悪い方に変わっていることが増えています。

自分たちの利益、利権などのためにやらなくていいことをして壊していると思います。

もしもあきたこまちRに変えてしまったら

絶対に秋田のお米は買いません。

絶対に反対です！

取りやめてください。

このようなことが計画されていることを

全国の人にも知らせてほしいです。

絶対に反対します。

2-4482 【大阪府、30代】

放射線を浴びせたお米が世に出回ってしまうと人の身体の病気が増え、動物もそれを食べてしまうと身体に悪影響を及ぼして環境破壊に繋がります。

断固反対です。

自然のままのお米の栽培、日本の伝統の食品を壊さないでください。

2-4483 【大館市、40代】

カドミウムを吸収にくい新しい苗ができたことはよいことだと思います。

問題は全量転換するかしないかではないでしょうか。

全量転換にする理由として風評被害の話がありました。以前のあきたこまちのカドミウムの含有量が多いと思われるという意味だと思いますが、一方で遺伝子の変異した特に食材に否定的な意見がある方もいますので、こちらの風評被害も考慮すべきだと思います。

現在、カドミウムの吸収がしにくいというメリットのみで進んでいるような印象です。

やはり、メリット、デメリットを洗い出し、議論するべきだと思います。現状でも言われているように、マンガンの含有量の低下、病気にかかりやすくなるなどあり、また、それらの対策と農家さんへの負担などを総合的に判断するべきだと思います。お米を作るのは農家さんです。そこへ負担がかからないようにするのが一番重要なことだと思います。まだまだ、議論が足りない印象です。個人的な意見としては、どちらも選択できるのがいいかなとは思っています。

2-4484 【大阪府、50代】

他県人が口を出すという以前の問題です

放射能を使うとか余計な手を使ってまで作られるお米は食べれたものじゃありません

豊作にするために、どんな汚い手を使ってでも、て何だかおかしくありませんか

知らず知らずのうちに体内を蝕ませるような、いわば、ヤバい添加物たっぷりの食品を食べさせてようと思えないやり方には、断固賛成致しかねます

撤廃してください

2-4485 【静岡県、60代】

放射線育種米は安全性が確立されているとされていますが、コホート研究などによって長期の安全性は確認されているのでしょうか。そうでなければ、カドミウムを吸収しなければ良いというのは非常に短絡的な発想で、安易に考えるべきではありません。種の切替は生態系全体にも影響が及ぶ問題だと思います。

自家採取できないというのも種を受け継ぐという点で非常に問題です。種は社会の共有財産であるはずなのに、改変した種を囲い込んで、従来種に置き換えて独占するのは、大きな問題です。農家に全面切替を強要するというのは、選択の自由を奪う全体主義的発想で、民主主義の精神にも反します。

風評被害を防止すると言いますが、そもそもお米のカドミウム汚染は一般の人はあまり知りません。日本特有の臭い物に蓋をすればOKという安易な態度がここでも見られます。カドミウム汚染の除去は土壌改良などの違う方法に寄るべきです。

また、ひとつの県でこういう前例が作られると、他県が追従することも考えられ、国民に選択肢がなくなることも大きな問題です。

もし、この政策が実行された場合、秋田県産のあきたこまちは危険だという情報が出回

るでしょうし、産地にかかわらず、あきたこまちは止めようという動きが出るのも当然だと思います。秋田にとっても非常に大きなリスクだと考えます。

放射線育種米の切替は、全面中止とするべきです。

2-4486 【神奈川県、40代】

県議会へのご意見

インドのオーガニック農産物およびその加工品の輸入をしております。

今後、カドミウムを吸収しない米を作る目的で、あきたこまちを始めとする秋田県産の米のほとんどが放射線育種米となり、農家の自家採取も禁止となるとのこと。

破壊される遺伝子は、カドミウムだけでなく、マンガンの吸収にも関わっており、マンガンを追加する加工も必要になる。

そのまえに、こんなに不自然な食べ物を作らなければならないほど、環境中のカドミウム汚染が深刻であるならば、環境中のカドミウム汚染に対する事業者への規制はどの程度徹底されているのでしょうか？

汚染されているのは米ではなく、水や土であるはず。なぜ、元の原因ではなく、対症療法のように末端の結果だけにアプローチしようとするのでしょうか。このやり方では、飲料水をはじめ、水や土から作られるありとあらゆる生産物に、同様に不自然に手を加えなくてはならなくなります。

また、遺伝子レベルで加工した場合に、それが本当にカドミウムとマンガンのみの問題なのかどうかも明確ではないでしょう。

すべての仕組みがわかるわけではないのですから。

後戻りできないリスクを犯す前に、カドミウム汚染の原因を突き止め、それを排除することを議論していただきたいと思います。

また、個人的には、もし秋田県産のあきたこまちが全量あきたこまちRになってしまうなら、今後、あきたこまちを選ぶことはありません。

私だけではなく、世界の消費者の意識はアーティフィシヤルなものからナチュラルなものへと流れております。世代交代とともに、その傾向はますます高まっていくでしょう。放射線照射して遺伝子レベルで傷つけた米は、世間に望まれるとは思えません。

どうか、もっと議論を尽くしてくださるよう、お願い申し上げます。

2-4487 【徳島県、50代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきであると考えます。

ご検討よろしく申し上げます。

2-4488 【東京都、40代】

『県議会への意見』

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に断固反対致します。

私はこれまで「あきたこまち」が好きで、たくさん食べてきました。

あきたこまちは日本を代表する良いお米のイメージがあります。

しかし、このあきたこまちが「放射線育種米」になる事に強い抵抗感があります。

人間の致死量を遥かに超える放射線をあて、遺伝子が壊れたお米を誰が食べたいと思えるのでしょうか。

私はまだ小さい子ども達を育てておりますので、絶対に食べさせたくはありません。

人体への悪影響は無いと言い切れないと思います。

カドミウム汚染は全体の3%未満という事でしたら、その汚染地域のみ

何か別の対策は考えられないのでしょうか。

全てのお米を放射線育種米にして問題解決とは、あまりに短絡的で、

農業の未来も、人の未来も、日本の将来も考慮されていないように感じます。

私はこれまで通りの従来の「あきたこまち」をこれからも食べたいと思っています。

どうか、「放射線育種米」への転換は止めて頂きたいです。

怖くて食べられませんし、買う事は出来ません。

恐らく全国からたくさんの反対の声が届いていると思います。

それでも「放射線育種米」への全量転換を進めていくようでしたら、

もう今後はあきたこまちは購入しませんし、まだこの問題を知らない身近な人達へ

この件を周知して、危険性を出来るだけたくさんの人に理解してもらえるよう努めたいと思います。

お米は日本人にとって大切な主食であり、守られるべき食文化だと思います。

赤ちゃんが最初に口にする食べ物も「お米」です。

これからの未来を担う子ども達にどうか安全で安心して食べられるお米を残してください。

心からお願い申し上げます。

2-4489 【佐賀県、30代】

はっきり言って
意味がわかりません！
安心、安全な農作物を作っている
農家への冒涇です！
絶対にやめてください！

2-4490 【東京都、40代】

あきたこまちRへの全量展開に反対です。
安全なお米を作り未来の子供達を守ってください。

2-4491 【兵庫県、30代】

汚染されたお米は買いません。

2-4492 【佐賀県、30代】

やめて頂きたいです。
これをやってしまうと、古来のものがどんどん無くなり、
地球も変化してしまいます。
良いことがない。
利権だけが良いのでしょうか。
世の中お金なんのでしょうか。
みんなが食べれる為に工夫をされてるかもしれませんが、
工夫をする場所がズレているように思います。
ぜひ全量転換をやめてください。

2-4493 【岡山県、40代】

(1) 全量転換する必要があるのですか？異なる性質のものを残しておくほうが「多様性」を担保し、長期的視点で考えた時に種の保存のリスクヘッジになりませんか？

(2) >>「あきたこまちR」は、「あきたこまち」と形質や品質に差がないため、産地品種銘柄を品種群として設定し、「あきたこまち」として表示できるように手続きを進めております。

→「形質や品質に差がない」というのは具体的にどう説明できるのでしょうか？消費者は見た目や食感だけを大切にしているのではないと思います。カドミウムの吸収だけに焦点を当ててそれを善と設定して改変された性質の米を食べたくない、多少カドミウムの影響があったとしても、まだ解明されていない自然のバランスを崩してしまう悪影響への懸念を考えて、従来のお米を選択したいと考える消費者の選択の権利を阻害することになると思います。

2-4494 【沖縄県、40代】

放射能を使用した姉の種を作るのに絶対反対。

2-4495 【兵庫県、50代】

従来のおきたこまの遺伝子を変えたお米は、本当に私たちの体に安全だと言い切れるのでしょうか。また気候変動が激しい時期に変えてしまって大丈夫でしょうか。結果がはっきりわからない内に事を起こす前にしっかりと検証してください。この問題は秋田県だけの問題ではないと思うので、県外の間人ですが、あきたこまのお米を食べていますので意見させていただきました。よろしくお願いします。

2-4496 【羽後町、40代】

これは放射線照射によるゲノム編集された米に全てのあきたこまがなくなってしまうということだと認識しますが、特定の遺伝子を破壊された食物を体内に入れることは長期的に見て安全性への確証が取れるのでしょうか？未来を生きる子供達のことを考えた時に、遺伝子操作されたものを食すことになるのはとてつもなく未来に不安を残すこととなると考えます。

2-4497 【愛知県、40代】

人間が、子ども達が安心、安全のお米が食べれるように、あきたこまちR反対します。

2-4498 【青森県、40代】

秋田県で取り組まれている食品の品質マネジメントはどのようになっているか明確にし

て頂きたいです。

安全性の検証方法、動物実験での検証期間はどのようにされていますか？
放射線の安全とは何をもって証明しているか不安です。

2-4499 【福島県、50代】

安全性などを確認されていない米は、食べたくないですし、食べてほしくありません
お願いです
決定を急がず、一時保留し、議論の機会をください

2-4500 【鳥取県、40代】

反対です。
放射線育種を使わない安全なカドミウム対策を考えていくことを望みます。

2-4501 【大阪府、50代】

大阪在住ではありますが、全国のお米を口にする立場
として申し上げます。

これまで自然界に逆らった環境の変化を加えたこと
により起こった不協和が多いと感じます。

今回の米に対して科学的な作用で起こりうることに
心配しかありません。

安心な農作物を求める声は多くあります。

主食となる米を安心して食べられなくなるような
ことは断じて許されることではありません。

「放射線育種により育成された「コシヒカリ環1号」
の安全性について」の記事を読みましたが
安心に値しません。

自然の摂理に反する身勝手な決定は断固として反対します。

2-4502 【東京都、30代】

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本
を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる
か不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があ

り、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4503 【兵庫県、40代】

放射線照射による遺伝子改良品種に反対致します。

これからの時代の流れとは明らか逆行でしょう。そんな米食べたく無いですし、これからの未来を担う子供たちに食べさせたくありません。

それよりも古来からの品種を大切にし、自然農法に特化した米を作ることの方が間違いなく需要があると思います。米所の秋田県が全国に先駆けて大々的に自然農法米を商業化してく事の方が間違いなくインパクトありますよ。

2-4504 【神奈川県、40代】

私は「あきたこまち」が大好きです。

その、あきたこまちが放射線照射により特定の遺伝子を壊されて自然なものから変えられようとしていることに反対します。

また、自家採種が引き続きできるようお願いしたいです。

2-4505 【東京都、70代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換には反対です。

効果自体に疑問であるとともに一律適用という方法自体がたいへん問題です。

またとくに自家採種も禁止になることから、その影響は甚大ですので、ぜひ慎重に再検討して下さい。

2-4506 【沖縄県、50代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換に断固反対します。

今まで、あきたこまちの大ファンでしたが、あきたこまちRに変わるのであれば、もう二度と買いません。

2-4507 【大阪府、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

理由は県産あきたこまちの3%に見られるカドミウム汚染の為にあきたこまち以外の県産米全をあきたこまちRに転換

する必要性があるのか疑問であり、そのあきたこまち R は放射能照射、遺伝子操作が施されることについて安全性が不明であり、全量転換後あきたこまちについてそのような情報が一切公表されないことに危惧を感じます。又秋田県でこのような前例ができると全国の農業に影響が出て、私達消費者は食の安全を脅かされることになりかねない恐れがあります。どうかあきたこまち R 全量転換を廃案に、従来通りの栽培を継続していただくようお願い致します。

2-4508 【宮城県、50代】

『県議会への意見』

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由は、以下の通りです。

- ・秋田県の代名詞とも言える「あきたこまち」が大好きです。

多くの国民が食し愛される「あきたこまち」は、31 都道府県で生産される日本を代表するお米です。

この美味しいあきたこまちをこれからも安心して食べられるよう、未来の世代へも残せるよう強く希望しています。

- ・遺伝子を破壊された R は食べたくありません。健康にも環境にも将来、どんな作用が起こるのか誰にも分からないからです。一度始めてしまったら取り返しがつきません。安全で安心して食べられる従来の「あきたこまち」を残してください。

- ・マンガンを吸収しにくくなった稲は、年々激しくなる気候変動の中で生き延びていけるのかは未知です。長い間環境に適応してきた、従来の品種を作り続けることが賢明と思われれます。

- ・「風評被害」を案じて全量転換した場合、未知の R がうまく行かなかった場合、日本のお米は全滅してしまうくらいの危機を招く可能性も考えられます。秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早ではないでしょうか。

- ・秋田県が、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことの重大性を認識してください。これは秋田県だけの問題ではありません。日本の農、食、国民の健康全てに関わる大問題です。このことをよくよく考えて頂き、期間を延期した上で、議論する場を設けるべきです。

- ・カドミウム汚染は安易な低カドミウム米だけで解決できるものではありません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質問してください。

2-4509 【山形県、50代】

あきたこまちRへの転換はおやめいただきたいです。

自家採取ができなくなると、世界的にも徐々に増えつつある有機栽培や、自然農法ができなくなります。私は秋田の知人から自然栽培したササニシキの種籾を譲ってもらい、山形で自然農法をしています。自家採取が基本なので、全国的に放射線による遺伝子操作された品種の作付けが無理やりさせられる事になれば自然農法が続けられず大変困ります。農業の多様性を無くしてしまうことにつながる政策を、秋田県がして欲しくありません。遺伝子操作されて生産される食糧の安全性は不確実です。諸外国に比べて、日本は農薬や遺伝子操作の規制が緩いことも、癌や発達障害の子供の増加と関連があるように思います。どうか、日本の主食の米までも、遺伝子操作された安全が疑問視されるものにしてしまわないように、あきたこまちRにしてしまうことを、踏みとどめさせてくださいますよう、お願いいたします。

2-4510 【熊本県、50代】

あきたこまち大好きです。しかし、今後あきたこまちRは全量転換されるのであれば、2度と購入することはないと思います。食の安全が言われて久しいですが、国の政策や農協、自治体の推進するものは逆行したことばかりだと、皆さん気づいていますよ。私の子供や孫には決して食べさせたくないお米になってしまいます。素晴らしいお米のブランドをみすみす手放すのは得策ではないと思います。どうぞ、廃止に向け再考お願いします。

2-4511 【東京都、40代】

まだ、将来身体にどんな影響を受けるかもわからない放射線照射種に全面切り替える方針なのででしょうか。だとしたら、子どもが3人いる我が家ではもう秋田産のお米は食べられなくなってしまうなど残念でなりません。

義父が秋田出身ということもあり、秋田県には思い入れがあるので、ぜひもう一度このことを県民の皆さんにも詳しく周知し議論をし尽して決めていただきたいという気持ちでいっぱいです。心ある議会の皆さま、よろしくお願いいたします。

2-4512 【埼玉県、40代】

あきたこまちは日本の誇れるお米ブランドのひとつです。

何年先も、何十年先も、是非このまま残して行ってほしい!!!

2-4513 【宮城県、50代】

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その私の好きな「あきたこまち」を守ってください。

・放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」の不具合が検証されていないなか、全量切り替えはリスクが高い。

・秋田県が口火を切れば、他の県にも放射線育種後代交配種の流れが引き継がれ、消費者として

安全なコメを選ぶ権利を喪失してしまいます。

2-4514 【宮崎県、40代】

今までのあきたこまちではどうしてダメなのか、なぜ安心安全と言い切れない物に変換するのか、意味がわかりません。

私は安心安全なお米を食べたいです。

子供達にも安心安全なお米を食べさせたいです。

あきたこまち R への全量転換には不安しかありません。

考え直して下さい。

2-4515 【静岡県、50代】

放射線育種米への全量転換による弊害が細かく検討されている様には思えません。

切り替えた場合の翌年からの種籾、苗の入手の確実性はどの様に議論されたのでしょうか？

補助金などのお金の動きは今後追求されていく動きも出てくると思います。

そちら絡みでの決定であれば考え直し、上辺の金の流れだけでは無く本当の地域にとっての利益は何なのかという根本的などころでの議論を期待します。

2-4516 【三重県、50代】

あきたこまちの放射線育苗米必要ですか？

私は食べたくないし、あきたこまちや秋田県のブランドが下がるからどうか辞めてほしいです。

カドニウムが土壌に入らないように対策するのが先なのではと思います。

放射線あてたものが身体に

どのような作用を及ぼすかは未知の世界。

日本が実験台になる事はありません。

米どころの秋田県。
他の所も動向を眺めているでしょう。
どうか賢明な判断をお願いします。

2-4517 【富山県、60代】

【テーマ2】 あきたこまちRへの全面転換に対して。

あきたこまちRへの全面転換に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

遺伝子操作されたあきたこまちRなどは危険なので、たくありません。

風評被害が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは話しが通じません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論し大々的に公表すべきです。

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

何よりも消費者の健康のことを第一に考えるべきです。

2-4518 【愛知県、50代】

私はニュースであきたこまちRへの全量転換を知り、驚きました。日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

わざわざ、全国から通販でもあきたこまちを買ってきた人達も、転換したら全く売れなくなるでしょう。あきたこまちは健康意識の高い方達が購入しているからです。

そもそも、遺伝子組換えされた食物は虫も食べないと聞きます。地元の農家さんから購入したお米には虫が付きますが、その前に購入したJA直売所で買ったお米には全く虫が付きませんでした。何か違和感を感じるお米だと思いましたので、今後はJAさんで購入しない事にしました。

何故今になって、わざわざ放射線米など人体に負の影響を与えるお米を積極的に導入する意味が判りません。何か国からの補助金でも頂けるからなのではないでしょうか。勿論、人間にとって安心、安全性が確立されている技術に対しての補助金なら納得も出来ませんが、あき

たこまちを今まで来世へと繋いできて下さった先人の方達の努力をマイナスにするどころか、農家さん達も売れないので存続出来なくなるでしょう。それでも秋田県はこの方針に舵を切るのでしょうか。

あきたこまちは日本の最高峰のブランド米なのだという誇りを忘れないで頂きたいです。

2-4519 【東京都、50代】

私の母は秋田県出身で、私も帰省の際には海に川に、素晴らしい自然を体験してきて、今もそれがとねもよい経験となっています。親戚には米農家もいます。

秋田は本当に素晴らしい県です。

あきたこまちRは、お米ではないので、お米という名前であらうないでください。

政府の言いなりになり、秋田の誇りを捨て、

あきたこまちという素晴らしいお米をこの世から無くし

問題ないと平気でウソをついて売るならば、秋田県は日本からなくなるべきです。

公務員の中に秋田の誇りを持っている人はいないのですか？

米作りもやめてしまってください。

2-4520 【福岡県、40代】

あきたこまちRへの転換など、絶対反対！！！！

お米は絶対守るべき！！

絶対絶対反対！！

2-4521 【山形県、60代】

放射線で米の遺伝子を壊した「あきたこまちR」は絶対買いません。

米産地の秋田県が「あきたこまち」の自然性を損傷しようとしていることについて、落胆および信頼がおけなくなりました。

秋田県の他の農産物の信頼性保持のためにも「あきたこまちR」への転換をやめてください。

2-4522 【神奈川県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

いつも大潟村の特別栽培米を農家さんから購入しています。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本

を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4523 【東京都、50代】

県外からですが、日本全体の食の安全、安全保障に大きく関わる問題ですので書かせていただきます。

「あきたこまちR」への全量転換とのこと、これは絶対にやめていただきたい。放射線育種由来のものを流通させるのであれば 明確にそれとわかるようにして消費者が選べるようにして、そのうえで他の通常のお米も一緒に流通させるのが 真に消費者のためであると考えます。

何かしらの「機能」を果たすために 不自然な放射線照射という手法を使い作られた「機能的奇形」とも言える食品は、中長期的に何をもたらすかわからないですし、そもそも後から何か起きたときに「このお米」のせいだということも特定できないと思われます。もし押し通すようなことがあるなら 後世に何かしらの社会問題が起きたときにこの「あきたこまちR」に（にも）原因があることを特定できるようにしてからにしていきたいです。

カドミウムは自然界に存在するものであり、それに高濃度に汚染された地域があるのであればそこでのお米栽培をやめるのが筋であり、農家を守るのであれば、上記のように 他にも流通させる中の1品種という位置づけで当該地域で栽培をしていただくようお願いすればいいのではないのでしょうか？

また 食の安全の面だけでなく 通常の「安全保障」的にも大きな問題を抱えています。自家採取ができない米に全量点画してしまうことで リスクの分散ができなくなること、特定企業や組織ね国等の都合で米の日本の主食である米の流通が危機に陥ることがあることなどが挙げられます。

「あきたこまちR」への全量転換 について 中止を求めます。

2-4524 【神奈川県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

いつも大潟村の特別栽培米を農家さんから購入しています。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4525 【埼玉県、60代】

「あきたこまち」が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対を致します。

海外で生み出された放射線育種後代交配種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があり、「あきたこまちR」にも有害な遺伝子変化が秘密裏に行われる可能性がないでしょうか。

「あきたこまちR」に転換する前に、この種で出来たお米の安全性を確認し、そのデータ日本国民に公表することが必要です。もしも有害な遺伝子が組込まれていた場合には、風評被害などと言うものではなく、完璧に毒物であるものを「米」と偽って食させる行為です。

「あきたこまち」は日本を代表するお米の品種であり、私はもとより日本国民に愛されているお米です。米国やEUでも行われていないのに、そのようなお米が安心して食べられなくなる様なことをどうして推し進めるのでしょうか。

日本国民のためにも、どうかその様なことは止めていただきたいです。

2-4526 【五城目町、60代】

今までのあきたこまちをこれからも食べたいです。あきたこまちRへの全量切替はもっと県民に周知した上で、時間をかけて検討してほしいと思います。

2-4527 【埼玉県、50代】

日本人を潰す氣か

氣という漢字の中に米が入ってるのわかるだろう！

その大切な米まで汚して先人達が黙ってないぞ！

2-4528 【大阪府、50代】

『あきたこまち』大好きで、よく購入させて頂いています。おいしいですよ。

でも、放射線育種後代交配種の【あきたこまちR】には不安があり、残念ですが購入しようと思えません。

【放射線】という言葉だけで、福島原発事故を想起させ、【体に悪い】というイメージしかありません。

そのお米を食べても安全なのか？健康被害はないのか？大丈夫と言えるエビデンスがあるのでしょうか？

また「有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作るため」が目的とのことですが、汚染地域は全体の3%未満だということに、その他の97%を無視したやり方ではないのでしょうか？

カドミウム汚染している土地の汚染除去をする方が良いと思われそうですが、如何でしょうか？

日本人にとって、無くてはならない毎日頂く、大事な主食への脅威を感じています。

すべてを【あきたこまちR】に変えてしまうというのは、生産者様にも新たなご負担があることでしょう。

今まで『あきたこまち』を育み守ってこられた方々のご苦労やご尽力を思うと、慎重にご検討をお願い致します。

今の安全で美味しい『あきたこまち』が食べたいです。

2-4529 【大阪府、60代】

秋田県で、従来の「あきたこまち」が全量、放射線育種の「あきたこまちR」に切り替えられようとしているとお伺いしました。なぜそんなことをお考えになるのか理解できません。自分たちの子供や孫がその様なお米を食べるのかと考ただけでもゾッとします。お米をお作りになっておられる農家の方のお考えはお聞きになったのでしょうか。

利権だけでその様なことを行使されることは、絶対に反対です。

そのお米、皆さんのお子さんやお孫さんに安心して食べさせられますか？今一度お考え頂きたいと思います。

2-4530 【石川県、30代】

同じく「こしひかり R」への全量転換方針が決まった石川県より意見をお送りいたします。

私の住む羽咋市では肥料だけでなく、化学農薬なども一切使用しない自然栽培でのコシヒカリを栽培しております。

生産者は少なく10人未満ではありますが、玄米換算でおおよそ年間30トンほどの収量があります。

少ないです。現状、石川県の総収量の0.025%しかありません。

しかし土地によっては反収あたり5~6俵ほどの実績があります。(もちろん多年度栽培の地で、肥力や地力の残っている初年度ではありません)

遺伝子組み換え米への切り替えの背景については理解しておりますが、長期的に見て、そのお米は本当に安全なののでしょうか？過去の公害や今回のワクチン騒動についても同様ですが、一度そちらの方向に進んでしまえば方針転換は容易ではありません。

後になって害があることが判明したとしても遅いのです。

あなた方の家族が、友人が、子孫が苦しむかもしれない。

その可能性があるにも関わらず、本当に遺伝子組み換え米への全量転換を決めるのですか。

今は日本全体が『真にどうあるべきか？』を問われています。

そして、この文章を読む皆様は、きっと未来への方針を決めることのできる立場にあるはずです。

そんなあなた方の良心に訴えます。

今、進むべきは本当に遺伝子組み換え米への転換なののでしょうか？

肥料を減らす・または使わない品種への切り替え研究ではないのでしょうか？

私の住む地域だけでなく、全国で無施肥・無農薬の栽培実例がはあります。

ぜひ、今一度、立ち止まって見直して見ていただけないでしょうか？

「美の国あきた」という名に恥じぬ決断をお願いいたします。

2-4531 【香川県、40代】

こんにちは。放射線を使ってお米の遺伝子を操作しなくても、十分あきたこまちは日本国民から愛され、日本を代表するお米として認知されています。今のまま、遺伝子操作しないあきたこまちのままで十分だと思います。みんなで水害で大変な秋田県の宝を、守って行きましょう。

2-4532 【兵庫県、50代】

断固反対いたします。大昔からずっと、日本人を支えてきてくれたお米に、なんてことをするのかと怒りがこみあげてきています。人間の勝手な都合で、自然からの恵みに手をくわえてよいのでしょうか？あきたこまちRの、人体への影響も、懸念されます。子供達、後に続く世代への健康にも、関わることです。あきたこまちRのことはあまり世間一般に知らせていません。このような大事なことを上だけで、勝手にきめないでほしいです。とても、心配でなりません。今回の件にかぎらず、現在のせいじに、私はとても不安を感じております。もっと一般国民に情報を広め、みんなの声を聞いてほしいです。あきたこまちRの撤廃をご検討よろしくお願ひいたしますm(_ _)m。

2-4533 【東京都、50代】

あきたこまちへの全量転換を反対します。
自然のままのお米を、どうか生産してください。
安心して食べられるお米でいてください。
県民や市民、しいては国民の為になる政治をお願いします！！

2-4534 【長野県、40代】

根本的な解決策になるとは到底思えません。
カドミニウムの汚染問題を引き起こした原因への対応に疑念がありますし
解決としてあきたこまちRに切り替えればよいという訳ではないことは子供でも分かることです。
汚染が生じてしまった原因は？
汚染を生じさせた責任問題は？
いわゆる被害者である農家への補償は？
あきたこまちRにして検出されなければ終わり。ということでは
そこに住む人たち、日本に住むすべての人たち、子どもたちの未来のことを
考えているとは到底思えないです。
他人事ではないですよ
自分事として関わるすべての人が真剣に考えてください。命の問題です。

2-4535 【大阪府、50代】

これは秋田県だけの問題ではありません。
放射線を当てたお米を食べたくない。
公共の福祉に反します。

国民が健康に生きる権利を守って欲しい。

2-4536 【東京都、60代】

あきたこまちは大変美味しいお米で、日本が誇るお米だと思っています。

この度、あきたこまちRを知りました。

もしこれが実現されたら、秋田県のお米は購入したくありません。

外国の観光客も日本のお米の美味しさにびっくりしています。

日本米は世界に誇れる食で、それを守ってきた生産者の方々にリスペクトします。

是非、日本のお米、秋田のあきたこまちを守ってください！

昨今、ゲノム編集された食べものもでており、安易に自然を変える事は子供達の未来に必要なありません。

農水省は日本全てで放射線米の計画と準備をすすめています。

カドミウム汚染を放射線米で本当に解決できるのか？放射線米になったあとの弊害は？

また、生産者にもほとんど放射線米かどうかがほぼ不明（消費者にも）は前代未聞。

未来に何か大変な問題が起きたとき、誰が責任をとるのでしょうか？

責任回避もあり、不明にしてるのでは？

自家採種も禁止になりますが、これは日本の農業にとって大問題です。

東京在住ではありますが、あきたこまちは最早、日本を代表するお米となっております。

あきたこまちを今までのように安心して購入したい。

秋田県議会に是非とも、あきたこまちを守って頂きたい、お願いしにまいりました。

不安が残る状態、生産者にも消費者にも放射線米か知らせない、

放射線米を即中止してほしいです。

即中止が難しければ、延期をお願いしたい。

日本が誇る、お米、あきたこまちを守ってください！！

2-4537 【東京都、40代】

私は放射線照射して遺伝子を操作し、カドミウムの吸収を抑えたあきたこまちRは食べたくありません。新しい技術でできた米には未知の副反応もあるかもしれず、全部置き換えるのは危険と思いますし

自然界の多様性を重視する考え方からも反対です。今まで農家は、自ら作物を作り、種を取って、繋いできたが、この米は自分で種を継ぐことが出来ないということからも反対です。

カドミウムの問題は、汚染を広げないようにすることが先決です。

どうか全量転換しないようご検討下さい。

2-4538 【愛媛県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4539 【沖縄県、40代】

日本の未来を守りたい！放射線を浴びた米は食べたくない！！！！

2-4540 【大阪府、60代】

県議会への意見

壊して良い遺伝子はなく、他に弊害がでて、それを補うために新しく施策が必要になるとのこと。

神様から頂いた、自然に感謝して、人間が勝手に遺伝子を操作することは良くないのではないかと思えます。

2-4541 【北海道、40代】

わたしは美味しいあきたこまちが大好きで毎日食べています。

従来安全安心なお米を守って下さい。

あきたこまちRは反対です！！！！

2-4542 【東京都、70代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

理由：

1. 遺伝子改変あるいはゲノム編集技術は急速な発展をしており、こうした技術を利用

した作物が一部市場に出回っています。しかし未だ完成した技術とはいえず、また将来どのような影響を人体や生態系に及ぼすかは不明です。したがって、遺伝子改変された作物を一気に市場へ出すことには、慎重な態度をとるべきだと考えます。

2. カドミウムという元素吸収を抑制する作物のことですが、土壤汚染の原因は何にあるのでしょうか。本来土壤汚染を取り除くことあるいは汚染をさせないことを主眼とするべきなのではないのでしょうか。本末転倒の策のように思えます。

土壤汚染が問題なのであれば、カドミウムという一元素だけを対象とするだけでよいのか、また米だけの対策ですむのかどうか、という疑問を覚えます。

3. 「あきたこまちR」への全量転換をはかるとのことですが、単一の種に限定した栽培は、生態系の強靱性の観点からも慎重に対応するべきと考えます。また原種の種苗を維持することが実際上困難になることはないのでしょうか。

4. 放射線育種にしる、ゲノム編集作物にしる、それらの表示の義務がないあるいは実際上表示ができなくなるシステムのようなのであれば、知らせたいと考える生産者の権利および消費者の知る権利を奪うことになるかと思えます。

今回、「あきたこまち」が放射線育種である「あきたこまちR」へ全量転換されることを知り合いの方から報告を受け初めて知りました。「あきたこまち」が秋田県内だけでなく、多くの地域の方々が「あきたこまち」を愛用していることから、県民以外にも多くの方々に知ってもらいたいと思っています。私自身県民ではありませんが、「あきたこまち」愛用者の一人として意見を述べさせていただきました。

新しい技術の導入で大きなメリットがあることはそのとおりです。しかし、技術の進歩に比しその技術の将来への影響に関する検討が追いついていないのが現状ではないのでしょうか。

今回の「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換が、単にカドミウム吸収抑制の観点からだけではなく、食の安全、生態系の維持・保全という観点も含めて、総合的な対策を県議会として検討していただく契機となることを願っています。

2-4543 【東京都、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

遺伝子組み換えの「あきたこまちR」など食べたくありません。

2-4544 【北海道、40代】

なぜ、不自然なものを栽培しなければならないのでしょうか？

昔からある日本の食を見直す時期だと思うのですが、やることが全く逆行しております。

このようなお米を食べることにより人体への影響が何も試験されていないのものを

口にして大丈夫なのでしょうか？

今の時代より美味しいものが消費者が喜ぶため改良が勧められてますが、本当にこれでいいのでしょうか？原種に戻るべき！！

こんなお米絶対に栽培しないで下さい！！！！

2-4545 【東京都、50代】

県議会への意見

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

[全面切り替え}にしなければならない必要性を感じません。

カドミウム汚染が心配される場所に適用するならともかく全面にする（しかも他種の使用を禁ずる）ならば、それ相当の説明が必要だと思われます。

しかも本来販売時に「あきたこまち」と「あきたこまちR」は表記を分けて販売するべきだと思いますが、それをすると「R」の方が売れなくなってしまう、風評被害等が懸念される、だから国民が気付かないうちに強行突破してしまおうと言うのが見え見えです。

利権も何も関係ない。国民の食の安全の為だと胸を張って言えるのであれば、全国民に向けて堂々と説明をして下さい。

米は日本人の主食であり、文化です。

2-4546 【神奈川県、50代】

あきたこまちRはカドミウムの吸収を減らすために遺伝子操作したお米となっていますが、カドミウムの吸収を減らすだけでなくマンガンの吸収も減らしてしまう…マンガンが不足すると不妊になりやすくなるようですが本当に大丈夫ですか？遺伝子操作をしたお米など不安で食べたくありません。

2-4547 【大仙市、50代】

・秋田県内でカドミウム汚染がでるのは、2割程度なのに、なぜ全量転換する必要があるのでしょうか？

・販売する時には、あきたこまちとして販売されるそうですが、現存のあきたこまちを自家採種した人も同じあきたこまち表記になると、消費者は混乱すると思います。あきたこまちRそのものを、違う名前で販売してほしいです。

・あきたこまちRの親のコシヒカリ環1号には、放射線で一番重く強力な重イオンビームがあてられてつくられています、それを自然界にある放射線と同じ程度という説明は、違うと思います。

・あきたこまちRのことを知らない農家や消費者が多く、全量転換するまえに、各自治

体で説明会を持った上で進めてほしいです。

・あきたこまちRはカドミウムをほぼ吸収しないそうですが、そもそも土の中のカドミウムを減らす対策を考えられないのでしょうか？

これからの世代に、種を繋いでいける農作物を望みます。

2-4548 【香川県、30代】

人が死ぬ量の何倍の放射能のを浴びせたお米を作るなんて安心して食べることはできません。自分のお子さんや大切な家族に食べさせれますか？変なお米を作るのはやめてください。どんな利権が働いているのかわかりませんが普通に考えておかしい事が起こっていると思います。これまで通りのお米で十分です。

2-4549 【三重県、30代】

反対です。①安全性が確認されていないゲノム編集米を使うべきではない。

②全てを変えてしまったら、お米の多様性が失われてしまいます。何かの気候変化や病気で全てが失われる可能性が高まります。

③選択肢が失われます。

④農家の負担が増えます。

⑤様々な品種の米が失われます。以上

2-4550 【群馬県、40代】

この世に存在しない不自然なものはいりません。

わけのわからないものを口にしたくありません。

自分が食べても安心なものを作ってください！

2-4551 【東京都、40代】

放射線育種後代交配種は放射能米と言う呼称が広がっています。

秋田のお米＝放射能米と認識されるところになるでしょう。

そうなれば秋田のお米農家様にとっては不幸でしかないと思います。

少なくとも私は絶対に秋田のお米は購入しないです。

そして周りにも購入しないことを薦めます。

議員さんがやるべきは、種の自家採取禁止と言う理不尽に抗って種を守ることではないですか？

他の都道府県が、国の政策に抗い、どのように種を守ろうとしているかご存じですか？

2-4552 【大分県、60代】

秋田県だけでなく、これは今後全国展開する問題として非常に危惧しています。

「あきたこまちR」は放射線を照射し遺伝子を破壊された米で、何年も何十年も後に、人体にどのような影響を及ぼすか全く不明です。

健康のために小麦食から米食に立ち返る人が増えている現在、「あきたこまちR」は消費推進どころか

逆に健康志向の人たちからそっぽを向かれてしまうことになるのは目に見えています。

また、単一の種への全面的な切り替えは「種の多様性」を殺してしまい、

近い未来において予測の範囲外の危険までも伴う危険な選択です。

私は「放射線育種米」ではない、いままでと変わらない「あきたこまち」が食べたいのです。

私たち米の消費者にどうか「選択する権利」を持たせていただきたい。

全面切替を100%取りやめてもらうのが理想です。

最低でもせめて従来種の「あきたこまち」を残し、

新しい「放射線育種米」か、そうでない「従来種」かの表示を明確にして

米の最終購買者に「選択」できるようにしてください。

2-4553 【東京都、40代】

将来的な安全性がわからない遺伝子組み換えを主食の米に行くべきでは無い。

もし行われるなら、今後あきたこまちは買うのを辞めます。

2-4554 【兵庫県、70代】

将来の子供達のために従来なあきたこま치의販売を続けてほしい。将来の日本の子供達のために宜しく願います。放射線米に転換は絶対にしてほしくありません。

また全量転換するということが問題だと思います。日本古来の品種を大事に残して欲しいです。このままRの方向で決定となるならば残念ですがあきたこまちは食べなくならざるを得ません。日本人にとって大きな損失と考えます。

2-4555 【岡山県、50代】

なぜ、このようなことをわざわざ行って、日本の食を壊すのか、わけがわかりません。日本を壊すとしたら、思えません。議員さんたちは誰の味方ですか？どこを見て、仕事をされていますか？食の安全性と国内自給は、武器を持つより大きな大切な国防です。ちゃんと日本を、守ってください。

2-4556 【山口県、50代】

あきたこまち R への転換に反対します。

あきたこまち R は放射線育種米と聞いています。

消費者の健康への影響はないのでしょうか？

消費者へのリスク説明もなく、転換するというのはいかがなものかと思います。

2-4557 【東京都、50代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-4558 【兵庫県、50代】

イオンビーム照射処理の米はタンパク質その他米の栄養素が人間にとって未知で危険性が高く人体に悪影響を及ぼす可能性が高いです。

あきたこまち R への全量転換に反対します。

2-4559 【ドイツ、50代】

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

2-4560 【兵庫県、50代】

昔ながらの秋田こまちを食べたいです。

遺伝子組み換えはいい事ありません。

少子化、病人が増えます。

日本の魅力がなくなります。

カドミウムの解決になりません。

2-4561 【神奈川県、50代】

日本のお米をぜひ秋田県から発信し守ってください。

食糧自給率が低すぎる日本で安全で美味しいお米まで取り上げるのですか？

秋田県からこの腐った日本を変える力を発信して下さい。

どうかお願いです。未来ある子供たちのためにも、そして日本の未来のために、全力であきたこまちを守ってください。そしてRの表示義務が無いことへの嫌悪感。自分達で選ぶ事も出来ないのですか！！狂っています。

2-4562 【静岡県、60代】

人体への影響が不明であり、安全性を確認できるまで実施すべきでないと考えます。又、当該取り組みは「あきたこまち」のブランド力低下を招くことは避けられない。

2-4563 【東京都、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4564 【埼玉県、50代】

「あきたこまち」は大好きなお米です。全国に展開されているブランド米だと思います。

私たち日本国民の主食を遺伝子操作された食べ物に切り替えるというのは、日本民族の未来永劫に関わるレベルの歴史的な大問題です。

これだけの大事を、消費者にも生産者にも情報が行き渡らない中で全量転換を決めてしまうことは、それ自体が大問題です。秋田県だけが先行して行うのは時期尚早です。これまで世界で行われてきたガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっており、施設は閉鎖されています。

しかも、今回使われているのは従来ガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集

中的にあてる重イオンビームで、その安全性を裏付けるデータや実験は存在していません。拙速にすすめていい事案ではないと考えます。

2-4565 【宮城県、50代】

放射線育種米に断固反対します
もうあきたこまちは買いません

2-4566 【岩手県、40代】

秋田県はワクチンをいっぱい射って大変なんですから。またどうなるのかわからない未知のものをお米としてみんなに食べさせるのは止めてください。

2-4567 【大阪府、50代】

食の安全の確保をお願いいたします。
安全に対するリスクを作ることはおやめいただきたいです。
若い人たちのことも考えていただきたく。
県議会の方たちにも、ご家族がいらっしゃるかと思えます。
どうかよろしくをお願いいたします。

2-4568 【埼玉県、50代】

放射線育種のあきたこまちは食べたくないの、買いません。
今まで通り、従来の「あきたこまち」の種粳の提供を継続してください。

2-4569 【京都府、70代】

日本の宝であるお米、何としても守ってください。

2-4570 【愛知県、50代】

「あきたこまち」からの「あきたこまちR」への全量切替に反対します。

日本中で好まれ、日本を代表するお米の「あきたこまち」を今と同じようにこれからも食べ続けていきたいです。放射線育苗種の米の安全性について信用できないこと、現在は気候変動が大きいので、その中で、きちんと環境に適応して育つのかということがはっきりしないまま全量転換を進めて良いのでしょうか。

生産者、消費者にほとんど情報を伝えることもなく、話を決めているのはおかしいと思います。きちんと説明する場を設けて、意見交換をして今後の方向を決めて欲しいです。

購入するお米の銘柄も今後はしっかり検討しないと安全な米を食べられなくなるのなら、他の銘柄を購入することになりかねません。

もう一度検討していただきたいです。

2-4571 【千葉県、40代】

絶対反対です！

米の代表のあきたこまちが、変わってしまったら、その他の米も変えられてしまいます。わけのわからない物など、子供に与えることなど出来ません。安心して食べられない米が無くなってしまいます。絶対反対です。踏ん張って頂きたいです。宜しくお願い致します。

2-4572 【滋賀県、40代】

こんにちわ。

こちらの情報を拝見しまして、急いでお伝えしなければと思いメールしております。

安心安全とはなんだろう、とふと考えます。

昔からずっと食べていたお米のタネでつないできたお米を食べること、タネが安全なことはとても大切なことと思います。今年からお米作りを仲間たちと始めましたが、作ることはとても大変なことを体験しており、農家さん、それを支えてくださっている国の方にはなかなか大きな意見を伝えられないかもしれませんが、今まで通り、お米作りができるように日本でできるようにと個人でも考えてゆきたいと思いますので、どうか、あきたこまちRへの転換を踏みとどまっていただけのことを心よりお願い申し上げます。よろしくお願ひします。

2-4573 【東京都、30代】

あきたこまちRというものに全量転換するという話を私は地元秋田で人づてに聞きました。

こちらについて、安全性は確認できているのでしょうか。県のHPには自然界の突然変異と同じ様なものと記載されていましたが、本当にそうなのでしょうか。

マウスで実験等はされているのでしょうか。

もっと様々な実験結果を公表するべきです。

まず安全性を公表すること、秋田県民に周知すること、秋田県全体で議論すること、これが必要だと思います。

今のまま勝手に進めていくのには私は反対です。

2-4574 【埼玉県、50代】

あきたこまちはもう買いません。

2-4575 【大分県、30代】

あきたこまちRではほとんどの人が今までのと変わらないと思い買ってしまわないでしようか？

これは消費者を騙しているのと変わらないのではないのでしょうか？

何十年も食べて健康被害がないといいきれますか？

お米は毎日食べるものです。

今これを読まれてるあなたの子や孫に毎日食べさせられますか？

すべて同じものを植えてしまうと

枯れたりするのにも気象状況によっては全てだめになるときは全滅して食料危機になりませんか？

わたしは一般人だから知識が足りなくて

稚拙な質問ですみません。

研究されてる方、農業のプロの方、これを上からゆわれて

お仕事で推進されている方

みなさんプロ中のプロの方々におききたいです。

本当にこのお米を毎日何十年も食べ続けて

大丈夫ですか？

カドミウムが吸収されてないお米の方がそれはいいかもですが

そのカドミウムはどこからやってきたのですか？

血税を

カドミウムが土壌にありすぎるところがあること
の

原因究明と対策、元凶を根絶してもらうのに
使っただけいたら有り難いです。

これを読んでくださってる方に

和魂がある方がいることを

信じています。

7代先の子供たちに

秋田こまちRではなく

秋田こまちを

残してあげてほしいです。

今まで

あきたこまちを買わせてもらってました。

美味しく安全なお米をありがとうございました。

非常に残念ですが
今後
Rになるなら
友人知人みんなで
相談して考えさせてもらいます。
最後まで読んでいただき
ありがとうございました。

2-4576 【大阪府、40代】

あきたこまちの全てを放射線育種米あきたこまちRへと切り替えることに反対します。
今までも放射線育種作物は作られています、今回の放射線育種の方法は従来のガンマ線照射ではなく、はるかに強いエネルギーである重イオンビームを使用し、その安全性を裏付ける実験やデータは存在しないとのこと。

毎日主食として食べるお米がそんな方法で放射線育種米になる、しかも全量を切り替えるなんて、暴挙としか思えません。

本当に恐ろしいです。

あきたこまちを放射線育種米に切り替える理由はカドミウム対策とのことですが、現在カドミウム汚染地域は限られていて、3%にも満たないとのこと。

米の全量を汚染対策米に変えるより、土壌の改善に力を注ぐ方が合理的であり、汚染地以外で育てるあきたこまちも含め、全てをカドミウム対策米にする理由が分かりません。

全量を放射線育種米に変えることは風評被害を避けるためだそうですが、逆にあきたこまちへの風評被害、秋田で育てられるお米への風評被害を招くと思います。

少なくとも私は絶対に食べようとは思いません。

安全性が未知数であること以外にも、放射線育種米はマンガンを吸収できなくなるなど、問題点は多々ありますが、あきたこまちに対する決定をされる方々を含めすべての人の健康と安全のために、どうか再考していただければ幸いです。

2-4577 【兵庫県、70代】

0歳と3歳の孫がいます。いつも美味しくあきたこまちをいただいています。今回のニュースに驚きが隠せません。また多くの人がこの事実を知らないまま全量転換に進むのはあきたこまちブランドを軽率に扱いきすぎではないかと思います。どうか今一度検討し、従来のあきたこまちブランドを大切にしてほしいと思いました。このままあきたこまちRとして全量転換されてしまうとあきたこまちは口にすることはないでしょう。安心して孫や子に食べさせられるものとして再検討願います。

2-4578 【栃木県、30代】

テーマ2

放射線育種米への切り替え絶対反対です。

お米は日本人にとって大切な主食です。

なぜ人間が生きる為に必要な“食”の安全を第一に出来ないのでしょうか？

ご先祖様に恥じない生き方をすべきです。

外国の圧力に負けて大和魂を捨てるな。

子供たちの未来を奪わないでください。

宜しくお願いします。

2-4579 【秋田市、40代】

放射線育種米であるあきたこまちRへの全量転換に反対します。

なぜ放射線育種米を希望する農家だけではなく、カドミウムが懸念される地域だけではなく、全量転換なのですか？

なぜ秋田県民に広報もせずに全量転換なののでしょうか。

「放射線」という言葉に良いイメージを持っている方は少ないと思うのですが、風評被害が出た場合、秋田県の農家さんたちを救済出来るのでしょうか。

販売する際、あきたこまちRと記載せずに店頭で並ぶ予定というのは本当ですか？

あきたこまちRを摂り続けて数年後、身体への影響は無いのでしょうか。

疑問だらけです。

お米は日本人には欠かせない食べ物です。

しっかりと秋田県民の意見を聞いて、農家さん、秋田県民、秋田県のことを考えて、放射線育種米の導入を決めていただきたいです。

2-4580 【富山県、50代】

放射線育種米に対して断固反対致します。

様々な問題点があった故のご決断であろうと思われませんが、人が食するお米に人間の100%致死量の7グレをはるかに超える放射線を照射して突然変異を引き起こして新品種を作り出すのはやめて下さい。

よろしく申し上げます。

2-4581 【宮城県、50代】

あきたこまちRをあきたこまちとして流通させることには違和感を感じます。

以前、仕事で秋田に多く出張していました。

その頃あきたこまちを知って、とても美味しく、今でもあきたこまちを選んでいます。

生産者の方が選べるなら良いと思いますが、そうじゃないなら残念です。

少なくとも十分な議論や対話の場を持ってくださることを願います。

2-4582 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守っていただきたいと思います。本質的には、米は秋田県だけの問題ではなく、日本の問題だと思います。十分な情報公開と国民レベルでの議論が欠かせないと思います。何卒よろしくお願い致します。

2-4583 【愛知県、40代】

全てを放射線育種米「あきたこまちR」に切り替えるとなると、

既にごま葉枯れ病などの病気になりやすい事も分かっているため、農薬使用が増える可能性、特許による農家の粃殻購入の負担も増える懸念がある。カドミウム以外の微量ミネラルの吸収も阻害される可能性もあり、栄養のない米になるのではないかと。

マンガンを吸収しにくくなった稲を食べ続ける事で、体内でのさまざまな代謝の酵素活性に関わり、体内の機能維持に必要な元素(生殖能、脂質代謝、脳機能に関わるとされています)であるマンガン不足による健康被害懸念もあります。

また、今後の環境変化に耐えられるかも不安材料である。

英ノーザンブリアン大学のヴァレンティナ・ジャルコヴァ教授によって2030年に97%の確率で太陽の内部にある磁場の変化によってミニ氷河期が訪れる可能性が示唆されており、その事を念頭に環境変化に強い品種にするべきではないかと。

従来にあきたこまちの品種の保存はどうするのか。

上記、様々な懸念材料があるにもかかわらず、全量転換する事は拙速で時期尚早ではないかと。もっとオープンな場での議論を尽くすべきだと思います。

もしこのまま全量転換されるなら、私はあきたこまちの購入は避けるようにしたいと思っています。

2-4584 【熊本県、50代】

放射線育種の安全性があるとは思えない。

種取りを禁止するのは金儲けのためで、農家さんの負担になると思う。

カドミウム汚染は別の方法で削減しなければいけないと思う

う。

放射線育種米が全国に広がる前に止めるべきだと思う。

2-4585 【由利本荘市、20代】

「あきたこまちR」について、もう少しわかりやすく説明してほしいです。

あきたこまちRに全量転換されてしまったら、飲食店や旅館など、外食の際に出されるご飯も、あきたこまちRになってしまいます。殆どの人が、「あきたこまちR」を口にすることになります。

県は「あきたこまちR」について、転換の背景から、誰にでもわかるように説明する必要があると思います。

私は「あきたこまちR」は食べたくないです。ひとつの遺伝子が破壊されているお米を、毎日主食として食べることは違和感があります。破壊された遺伝子の役割など、完全にわかっているわけではなく、毎日食べても安全であるとはとても思えないからです。

稲として、カドミウムのある地ではカドミウムも吸収するし、マンガンも吸収して育つ、そんなあきたこまちが、子どもたち、子どもたちの更に次の世代が生きてゆく秋田に、受け継がれていてほしいと思います。

2-4586 【東京都、30代】

日本に安心安全なものを残して下さい！

2-4587 【北海道、50代】

あきたこまちRは、マンガンの吸収に影響を及ぼすため、不妊に繋がるという情報もありますが、

それは本当でしょうか？

そもそもF1種を米に導入する理由もわからないし、

食料安保の観点からも主食である米を

F1種に置き換えることは、

極めて危険だとも思います。

結局は特許を持っている外国企業にお金を流すだけに

なるのではないのでしょうか？

私はあきたこまちRへの転換に反対です。

秋田県が引き金になり、

全国に広がることをとても危惧しています。

2-4588 【京都府、50代】

数あるお米の種類の中で私が最も好んで頂いているのは「あきたこまち」です。

繊細で素朴なモチモチ食感の「あきたこまち」が大好きなので、今後も安心して頂きたいのです。

「あきたこまちR」への全量転換については、人体への長期的な悪影響を非常に懸念しております。

故に「あきたこまちR」への転換の中止をお願い致します。

2-4589 【大阪府、40代】

遺伝子組み換え作物を長期間食べ続けることによる人体への影響が大変不安です。

米は日本人が毎日食べる主食であり、

安心して子供にも食べさせられるものでなければなりません。

秋田県全体であきたこまちな品種を遺伝子組み換え米になるなら、

今後、あきたこまちは食べることができなくなります。

2-4590 【福岡県、40代】

「あきたこまちRのマンガン吸収阻害と温暖化の関係について予測されることについて」福岡で米穀業を営んでいる者です。新品種である「あきたこまちR」は、カドミウムだけでなく、マンガンの吸収を低下させるそうです。

マンガンの吸収が悪ければ、その対策として、マンガンが多い資材を投入すれば解決するように一見思われます。

しかし、近年の温暖化と針葉樹林の多さが相まって、山々から供給されるミネラル分の低下があるのではないかという懸念があります。針葉樹林は腐植が少なく、また温暖化により成長も早くなっているはずであり、土壌からのミネラル成分の持ち出しが多くなっているはずです。腐植についても温暖化によりもともとの活性が減少している恐れもあります。

仮にそういった現象が起きていた場合、河川のミネラル成分の低下は、里山から平野にかけての水田への栄養供給の低下による反収減だけでなく、海産物にまで影響していきま

す。

もしこのような状況の中で、あきたこまちRのようにミネラル成分の吸収を抑えた品種

を秋田県が拙速に採用した場合、将来的には反収の減少を招き、秋田県議会や秋田県全体の信頼と名誉を傷つける状況に追い込まれてしまう可能性があります。

あきたこまちRが、カドミウムの吸収だけを阻害するといった最初の想定が覆り、マンガンの吸収も阻害していることが解明されています。おそらく他のミネラル成分の吸収も阻害しているはずですし、細胞の機能にも影響を与えている可能性が充分あります。

例えば糖尿病も、インスリンの分泌が悪いために糖の吸収が悪くなる病気だと思われていますが、インスリンはそれだけでなく、カリウムの吸収という働きもありますし、ほかにも色々な役割があり、ほとんどの細胞の成長促進にも関係しています。

そして、インスリンの分泌が悪くなれば、ソマトスタチンやグルカゴンといったホルモン分泌も一緒におかしくなっていくことも、専門医であればご存知なはずです。

生命の仕組みは、相互作用であったり相乗りであったりが基本であり、その相乗りの仕組みを悪用しているのが、コロナウイルスなどのさまざまなウイルスです。そういった状況が生命の基本にあります。

もし、「あきたこまち」から「あきたこまちR」への転換を進めている発案者や責任者が、遺伝子の一部を欠損させることが、単一の機能を失わせるだけだという解釈をしているのであれば、その対応として議会としては慎重さが必要になってくるように思います。

少なくとも河川のミネラル成分の量の変化などを定点観測するような仕組みを作り、生産者への負担の増大が起きていないかを確認することは必要だと思います。

マンガンが多い土壌の圃場であれば、あきたこまちRへの転換により逆に反収が良くなるケースも数年間か十数年間みられるかもしれませんが、供給よりも持ち出しのほうが多くなっていけば、将来的には減収が続くこととなります。元々マンガンが少ない圃場であれば、減収が早いでしょう。

そしてこれは、マンガンだけでなく、他のミネラル成分でも起きる可能性があることは、上述させていただきました。

福岡に住むものとして、秋田県や東北の人々へのイメージは、暖かい地方の者にはない堅実さや慎重さです。想定されるリスクについては、性急さを排し、今一度精査し、対策を整え、それから順次進めていくべきものだと思います。今回意見を提出させていただきました。

2-4591 【神奈川県、60代】

絶対反対

2-4592 【神奈川県、60代】

そんなの食べたくない

2-4593 【神奈川県、30代】

こどもに食べさせられない

2-4594 【神奈川県、20代】

秋田のお米は一生食べない

2-4595 【京都府、70代】

遺伝子組み換えのお米はやめて！

2-4596 【東京都、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

理由

- ・「あきたこまち」は日本中で愛されている、秋田県が生産する、日本を代表するお米です。
- ・東京の私の家でも「あきたこまち」を主食としています。どうか、その「あきたこまち」を守ってください。従来の「あきたこまち」を食べたいのです。「あきたこまちR」は食べたくありません。
- ・遺伝子を意図的に破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機などの中、生き延びるか不安です。
- ・また、遺伝子を破壊した米の食の安全性についても何世代にも渡って十分に確かめる検証が必要と考えます。少なくとも、良好な検証結果が得られるまでの間は、従来の品種を作り続けることが大事です。
- ・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4597 【由利本荘市、60代】

未来を背負って行く子供達の事を考えて居るのかと言いたい
将来奇形の子供や障害を持った子供が産まれて来ないと言う保証は無い！
そんな大事な食の事を県民に問うたのか？
全く知らない人の方が多い、もっとテレビや新聞で意見を募集するべきだ。
ど一せ国からの命令だと思うが、いつまで言いなりになってるのと言いたい！
自分らの身内から奇形や障害を持った子供が産まれて来ても平気なのか？
放射線当てた米なんか買う人いるのかな？
かえって、その方が風評被害になるんじゃないか？
とにかく、即刻この話しは無かった事にしろ。

2-4598 【岩手県、40代】

あきたこまちから全面切替に反対します。
理由としては消費者にも生産者にも情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4599 【熊本県、50代】

あきたこまちが転換した後は、全国に放射線育種米が広まる予定だと聞いて大変不安に思っております。
交配を繰り返した品種は身体に悪い可能性があると感じたとき、やはり人間が手を入れすぎるのは良くないのだと感じ
じましたが、交配どころか放射線照射とか、どんどん健康や自然から遠ざかっています。
しかも表示が義務ではないなら、放射線育種米を避けたくても避けようがなくなります。
自分で購入するお米は値段が張っても在来種にしようと考えておりますが、外出先で食べるものについてはどうすることもできません。お弁当、飲食店、宿泊施設等どんなお米が使用されているのかわかりません。
これは議員であってもこの不安は同様ではないでしょうか。安全かどうかはわからないものを自分や家族、とりわけ子供さんやお孫さんたちにも食べさせていいと思える人はいないはずです。
秋田県議会議員のみなさん、どうかいったん立ち止まって十分な議論をお願いいたします。
全量転換されるのであれば、秋田県産のお米は避けなければならなくなります。

2-4600 【大阪府、70代】

放射線育種した米は食べたく有りません、今迄の美味しいお米でいいです！ご自分達の子供孫達にも食べさせたいですか？私は嫌です！

2-4601 【千葉県、50代】

【1】下記に引用しましたが、マンガン吸収がしにくくなるということは事実でしょうか？

その1点だけでも「あきたこまち」を食している、一人の消費者として、不安を感じ

これ以降は「あきたこまち」銘柄の購入を止めざるをえません。

【2】これ以外にも下記サイト他で、指摘されている多くの不安を払拭される情報が見当たらず、私だけでなく多くの「あきたこまち」のファンが離れることが予想され、

これを強行される秋田県政への不信から、他の銘柄の米であっても今後は購入を控える

ことにつながります。

大きな不買行動につながるリスク抱えてまで「あきたこまちR」を導入される理由が

わかりません。

これが強行されるのであれば、消費者に残された選択肢は「あきたこまち」や秋田県産の米は、買いたくても買えないという行動になってしまいます。

<以下引用文>

放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」はOsNramp5という遺伝子が破壊されたことによってカドミウムを吸収しないと同時に生物の成長にとって欠かせないマンガン吸収しにくくなっている。そのためこの品種はごま葉枯病になりやすい（これは農水省も確認済み）

<引用元> 「食からの情報民主化プロジェクト」

<https://project.inyaku.net/archives/9357#:~:text=%E6%94%BE%E5%B0%84%E7%B7%9A%E8%82%B2%E7%A8%AE%E3%81%AB%E3%82%88%E3%81%A3%E3%81%A6,%E3%81%93%E3%81%A8%E3%81%AF%E5%8F%AF%E8%83%BD%E3%80%82>

2-4602 【千葉県、50代】

県外の者です。20年以上、秋田からあきたこまちを送って貰い、大好きで食べています。秋田からの米が無くなれば、スーパーで買うのもあきたこまちです。今回このことを知り、全面的に行うと知り、とても憤りを感じます。秋田の自然が作り出す美味しいお米を無くして、身体に良くないお米。ビジネス中心のお米に変えて、失うものは大きいと思いますが、わかりませんか？昔からあるものを、大切に残していくのが大人の責任ではないでしょうか。私の住む町も、かつては東京湾につながる川で、たくさんの美味しい魚介類が取れました。

子どもの頃に食べれたものが、今はなくなってしまって、いまの若い人たちはその存在すら知りません。

秋田に遊びに行くと、ずっと見ていることができる、田圃の美しさ。天日干ししてる風景。ここに化学的な操作はいりません。

どうか、やるとしたら、意見を聞いて一部でお願いします。そして必ずその旨をお米に表記してください。

2-4603 【愛知県、60代】

秋田県県議会へご意見を申し上げます。

秋田が誇るあきたこまちにわざわざ放射線をあてて作るあきたこまちRの安全性に問題はないのでしょうか。後で重大な事象が起きた時、もう取り返しがつきません。まだ、はっきりとしないまま見込み発進をしても良いのですか？正直、私達消費者は放射線をあてたお米など食べたくありません。今一度お考え直してください。子や孫たちの未来を守るために圧力に負けないで下さい。どうかよろしくお願いします。

2-4604 【大阪府、50代】

あきたこまちを日頃から頂いています。

今までのあきたこまちが食べられなくなるのが残念です。

Rに変わって消費者、生産者が本当に安心安全で生活出来るのかを考えて頂きたいです。

あきたこまちはブランドです。簡単に変えないで欲しいです。

2-4605 【宮城県、40代】

秋田県外からの意見、失礼いたします。

一部の専門家のような人の話が広まり、あきたこまちRについて必ずしも正しいとは言えないような情報が全国に拡散しております。

品種開発は国主導のプロジェクトとして始まりつつも、品種の件での適応性の試験、栽培方針、種子供給の道筋まで考え、行政の了解を得る。という業務の中で、秋田県職員や農業団体の方がたのご尽力は、多大なものがあったと考えられます。

私も、今までの戻し交配や品種改良の慣例や通例から見るに、「あきたこまちR」を「あきたこまち」と名乗ることに関して、秋田県としての判断が間違っているとは思いません。

また、7回も戻し交配を行っている「あきたこまちR」が放射線育種米でないという事も分かります。

さらに放射線育種に関しても、自然界で起きていたことを理解し、技術として使えるようになったという科学技術の進歩だということも分かります。

ならばなぜここまで、全国に話題が広まってしまったのか。この話題を見た人の内の何パーセントかの人は、実際にパブリックコメントを寄せていることでしょうか。

それは無知からきていると考えています。

無知への恐怖は、人類が反映する強みでありましたが、同時に弱さでもあるのではないのでしょうか。

今まで知り得なかった情報に簡単にアクセス出来るようになり、心に浮かんだ感情を、味わって熟考することなく、反射的に発信することが出来るようになった現代社会。

発信する方も、受け取る側も、まだその理解が追い付いていないだけではないでしょうか。

情報の発信や受け取り方は、秋田県としても、日本国としても、大きく変えていく必要があると考えております。

私の母の実家は秋田で、秋田には多くの親戚がいます。

私は秋田が大好きです。

あきたこまちに対して、さらにはカドミウム汚染のことを発端として、秋田県の農作物の大半に、もう風評被害は起きてしまっています。

今回の件に関しての詳しい経緯の説明や、情報の開示をお願いしたいです。

また、これは品種改良の全体に及ぶ話になり、秋田県ではなく政府や省庁にお願いすべきことかもしれませんが、アレルギーなどの人体への影響というものについての研究はされているのでしょうか？

これもまた一部では、使用している農薬や、品種改良により、アレルギーや発達障害や知的障害が増えているとの話も大きく広まっています。

有機農産物への関心の高さからも、そういう意識が広がっていることは分かります。

健康への影響に対する研究に関しても、研究方法や結果を公表してください。

また、それをせずに議会決定をせず、十分に議論する時間を与えてくれると嬉しいです。

そうすることで、多くの人々が安心して、また誇りを持ってあきたこまちを生産し、購入することも出来るのではないかなと考えております。

お忙しいとは思いますが、なにとぞよろしく願いいたします。

2-4606 【宮城県、60代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させないでください。

また、議会で話し合うだけでなく、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていただくようお願いいたします。

2-4607 【栃木県、50代】

ありえない。

そのような措置をとるということが

食の安全をどれだけ脅かすか？

日本人の未来を暗いものにするか？

わかっての政策でしょうか？

わかりながらやっているのであれば悪魔、

わからずにやっているのであれば無知すぎる。

農薬や除草剤だけでも

土地は痩せて土が死んで

化学肥料無しじゃ作物が育たない。

そのようなお米や野菜は

じわじわと人々の健康を蝕み

生き生きとした人生をうばうかわりに

不健康な思考と行動で

本来の生きる喜びも感じられない

ゾンビのような人間をたくさん作っているじゃないですか？

挙句にじわじわと癌や難病など

昔はそんなにいなかった病気を患う人が

ゴロゴロといます。

これを食べて食中毒になった！などと
急性で原因が分かりやすく確定できるものではないので
ゆっくり蝕み病気になるって
それを引き起こしているのが
安全性を欠いた食品だと気が付きませんか？
私達は食べたものでできています。
その食べるものが安全でないならば
安心安全なものを選ぶか作るか
選択権を持つことができるのは当たり前です。
それすらもないのでしょうか？
あなた達がしようとしていることは
一体誰のどんな事のために進めようとしていますか？
本当に正しいことですか？
もう一度問うてみてください。
私は断固許せるものではありません。
反対です。

2-4608 【東京都、50代】

カドミウム米は
昔から対策がなされており、
土壌改良をしながら、カドミウムの吸収を少なくすることを 農水省の補助事業でやっ
ておりました。

私は 自然界に存在するものは
しょうがないので
土壌検査をやり、基準値をオーバーすれば、既存の方法で問題無いと思います。
放射線を浴びることの恐ろしさについても考えていただきたいです。
淡々と国の補助金でやっていくべきです。

2-4609 【大阪府、30代】

色々と無理矢理な理由をつけては、
違和感や不信感、健康被害の予測される
物を作りだすのをやめて欲しい。
まして国民へ説明はされていますか？
沢山の人に周知されていますか？

知らない人が大半ではないですか？

国民を無視して推し進めているのも
おかしい話です。

一体誰の為、何のために

作られるお米ですか？

健康被害が懸念されるお米を作る必要性は
ありますか？

無駄な事にお金や労力を使わず、
農家を大切にし、手厚い補助金を出して、
昔ながらのお米を栽培しながら
日本の食を守る事に
お金をだして下さい。

国民の目を盗んでやりたい放題で責任は
誰も取らず進めていくのは、
人として大切な事を忘れていませんか、
日本人のプライドはないのでしょうか。

2-4610 【東京都、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

なぜ今までの農法から変えるのか。体への影響がどの程度あるかもわからない手法を
安々と取り入れるのか。意味がわかりません。

本当に県民の、国民のことを考えているのか。良心の呵責はないのか。人として恥ずか
しくないのか。考え直してください。

2-4611 【岡山県、40代】

放射線育種米に反対します。

食品に放射線を浴びせる事は計り知れない危険性を感じさせられます。

マンガンが少ないミネラル不足のお米だと不安しかありません。

昔から食べて来た信頼ある『あきたこまち』が食べたいです。

自家採種出来ない農作物に食料自給の面からも強く反対します。

安全で実績と伝統のある国内屈指のお米を守ってください。

2-4612 【大阪府、70代】

古来よりの原種を保護せず、
全部を放射線米へと変換することに、強く反対いたします。
必要がありません。
食の安全を根幹から揺るがす問題です。
日本の食文化を守るために、
古来から受け継がれてきた米を
守ってください。
日本の有名米産地、
秋田のブライドを
持ってください！

2-4613 【神奈川県、50代】

飲食店経営者です

日々、安心安全な食生活を心がけて商品提供をさせていただいています。
日本人の主食であるお米にまで、余計な事をしないで欲しいです。
せめて今まで通りのものも農家さんが選べ並行して農作できる様に
お願い致します

2-4614 【富山県、30代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
カドミウムを吸収しないということよりも放射線を
当てたお米を体に入れるデメリットの方が大きいのでは
ないでしょうか。日本人の主食であるお米です。毎日
摂取しても安全がどうかの確認が出来てないのであれば
進めるべきではないはずです。
また、メリットを謳うのであれば消費者に伝えた方が
手にとってもらえるのにどうしてそれをしないのですか？
表示しないことで不信感が生まれます。米どころ秋田県の
ブランドが廃れてしまうと思います。どうか正しい食を
広めて下さい。

2-4615 【神奈川県、40代】

人体への影響が出るかもわからないのに放射線米を作ろうとするのはやめてください。遺伝子組み換え作物もやめてください。国民の健康、安全な食物が食べれるようにする必要があります。海外にお金をばら撒くのではなく、日本の農業、酪農など自国で安全な食べ物を作り豊かな国になるようにしてください。放射線米反対です！種子法も反対！遺伝子組み換え米も反対です。

2-4616 【沖縄県、30代】

どうか不自然な事はしないでください

自然を不自然にするのではなく

不自然を自然にしていきましょう

自然無くして健康があるとは思えません

私達の価値ある素晴らしい財産をどうか守ってください

2-4617 【兵庫県、40代】

私は県外なのですが、政府は全ての都道府県で

米をあきたこまちRと同じ放射線育種後代交配種に転換することを計画していると聞いており、

貴県で決定されたことが我々を含め全国に必ず影響すると考えています。

私は以下の理由からあきたこまちRへの全面転換を取り止めるか、改めて慎重に検討していただくことを望みます。

まず、あきたこまちRが異なる品種の米と交雑した場合が心配です。

あきたこまちRは遺伝子特許が取られているそうですが、海外では他の農場で栽培されていた遺伝子組み換え作物の花粉が飛んできて、そこで栽培していた違う品種の作物と交雑し、遺伝子組み換え作物の種を盗んだとして種苗会社から訴えられ、賠償金まで取られたという例があったと聞いています。

そのため、登録品種でなく特許も取られていない品種まで自家採種ができなくなるとか、それによって在来種が消滅しないか気になります。

米の品種の多様性が失われた場合、近年は異常気象が相次いでいることもあり、放射線育種の品種だけになってしまった場合、収量が確保できなくなる可能性があると考えています。

次に、放射線育種は最近出てきた技術であり、それにより作られた作物を食べることで健康への影響が心配です。

さらに、あきたこまちRに転換した場合、新たに田んぼにマンガンを撒く作業が必要になり農家の負担が増えます。

全ての米が放射線育種された品種に変わってしまうと、その弾みで野菜なども次々に切り替わってしまうかもしれないと心配しています。

以上、よろしく願いいたします。

2-4618 【千葉県、30代】

私は千葉県在住ですが、今回の秋田県の動きが全国に先駆けてのものであり、いずれ全国に広がっていくものということで大変関心を持っております。そのため、パブリックコメントをお送りさせていただきました。

私の意見としましては、「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

「あきたこまちR」については、ある遺伝子を破壊してつくられたものということで、これから成長していく子ども達への影響が大変懸念されます。身体は、食べたものでつくられるためです。

通常の新米と異なるものであることから、ゆくゆく生態系への影響もでてくる可能性があるのではないのでしょうか。

また、放射線をあててできたお米は、今後の環境の変化に耐えうるもののでしょうか。そもそも種は、自分の育った環境を覚えその環境に馴染んでいくものという認識です。遺伝子を変えてしまえば、むしろ環境適応力が弱く、病気になりやすいお米になってしまう懸念も考えられるのではないのでしょうか。

カドミウムが問題になった地域は、全体数からするとごく限られたものであると聞いています。

今回の政策の情報がほとんど浸透していないなかで、いきなり全量転換をするという方向性にもとても疑問を持っております。

主食のお米ということで日本の農業政策を大きく変えていくものであり、もっと慎重に議論をすすめていく必要があるのではないのでしょうか。拙速に進めてしまった先の未来が大変気掛かりです。

2-4619 【群馬県、60代】

上記テーマに反対です。

県民、国民の健康を守っていただきたい。

日本の主食である米を、人工的で不自然なものにしないでください。

県議のみなさまの良心が、
秋田の日本の未来を守ってくださると信じます。

2-4620 【神奈川県、60代】

有害物質カドミウムをほとんど吸収しないコメ「あきたこまちR」の名称で農林水産省に2022年に品種登録される見込み。早ければ25年の市場デビューをめざすとのことですが、放射線育種米という観点から愛用している消費者の不安心理は拭えません。

秋田県として県外に向け、科学的見地から安全、安心な品種・品質であるとの証明を更に積極的に発信して頂きたいと考えております。また、最終的に消費者が選択できるよう従来の「あきたこまち」を併存して作付け頂くよう、秋田県としてご尽力願います。

2-4621 【大阪府、50代】

日本を代表する「あきたこまち」は、これまで安心してスーパーで購入し、美味しくいただいていたいました。

そんな日本を誇るブランド米が、本来なら無農薬米にしてほしいところを放射線育種の「あきたこまちR」に切り替えですか？

それはとても残念です。

そんなお米は食べたくありません。

2-4622 【三重県、40代】

どうしてこんな事をするのですか。生きていく為には食べ物が必要不可欠です。日本人の主食のお米を放射線などやめてください！表示すらしないとはどういう事ですか。

2-4623 【熊本県、70代】

あきたこまちからあきたこまちR
への全量切り替えにはんたいします。

2-4624 【インドネシア、40代】

長期的な安全性が不確かなお米は食べたくないです。子どもにも食べさせたくないです。インドネシアでも日本米がたくさん売っていますが、産地や品種、非遺伝子組み換えか否かをしっかりとチェックしていますので、少しでも安全が不確かな食品は避けます。

2-4625 【山形県、30代】

従来のあきたこまちを守って欲しいです
子ども達の未来の為に、市民の健康のために宜しく願います

2-4626 【兵庫県、50代】

不自然に作られたお米は食べたくありません。
販売するなら表示してください。購入しません。

2-4627 【東京都、40代】

流通段階の表示は従来の「あきたこまち」とは区別する必要があると考えます。
消費者へ事前の説明なしに「R」へ変換することは、
あきたこま치의ブランドイメージを甚大に損ねるとともに不信感を抱く原因になり得る。
段階的に変換し、従来の「あきたこまち」も存続させることが重要だと考えます。

2-4628 【東京都、30代】

放射線育種米の安全性について、科学的な検証が不十分であると考えますので、全量転換というのは後戻りできなくなるため、リスク管理として非常に問題があると考えます。

したがって、後から仮に全量転換に問題があったということが判明したときの保険として、リカバリーする選択肢がなくなるとの理解ですが、この点はどのようにお考えでしょうか。

2-4629 【東京都、60代】

今まであきたこまちを食べていましたが、もうやめます。

買いません。あなた方がこれから決められるお米は、私たち日本人の体に良いものですか？

よーく考えてみてください。あなた方はあきたこまちRを食べ続けますか？

私は食べたくありません。儲けとか利権とか関係なしに日本人として体に良いものを作ることが大切なではありませんか？

F1の種、ゲノム編集、農薬、遺伝子組み換え…

ますます恐ろしい食べ物だらけになります。

安心して食べられるものを希望します。

日本のお米を守ってください。

日本人はパンではありません。お米、ご飯です。

あきたこまちは美味しいです。

今のものでも農薬などは使われています。

たくさん作ることや病気に強いものにしたいのは分かりますが、安全、安心からはますます外れていませんか？

儲けではなく、安心して食べられるお米を作ってください。

消費者があきたこまちを買わなくなったら？

これからも食べたいあきたこまちであって欲しいです。

よろしくお願いします。

2-4630 【宮城県、60代】

放射線育種を使ったお米が一般的になってしまうことは、なにかとても不安な気持ちになります。

健康への影響など、詳しく教えていただきたい。

いますぐ議会だけで決めるのではなく、みんなの意見を聞いてもらったり、放射線育種についても詳しく国民に知らせるべきだと考えます。

2-4631 【北海道、50代】

カドミウム汚染地域は全体の3%であるにも関わらず、なぜあきたこまちRに転換しなければならないのか？

不自然なものを消費させられるこのようなことはなし崩し的に拡大する懸念があります。

というか既におかしなものであふれ返っていますが。

日本の農業は瀕死状態で、安全な食糧を後の世代に繋げ後継者育成に全力を注ぐことが先ではないでしょうか。

2-4632 【宮城県、50代】

安心してお米を食せるようにしていただきたいです。

お米農家の方々の思いを受け取ってほしいと願います。

2-4633 【静岡県、40代】

余計な事はやめて、今まで通り安心なお米を生産してください。

2-4634 【福島県、40代】

従来なあきたこまちが食べたいです。Rは食べたくありません。

2-4635 【大分県、50代】

私達日本人はいじくりまわした危険なお米はたべてくないのです。

今のままで十分美味しい秋田こまち。

耳障りの良い言葉で誤魔化すかのようにしていますが、安全性は確立されていません。

日本人に安全なお米を食べさせてください。

日本人からお米を取り上げないでください。

2-4636 【兵庫県、50代】

放射線育種米なんて、やめてください。この操作により不妊になる要因が高くなります。ただでさえ、市食品添加物、農薬使用の異常な日本の食事情。主食の米にも、こんな異常な事をするのは止めるべき。これ以上、日本の食を破壊するな。未来ある若者、子ども達を病気漬けにするつもりですか？一握りの権力者の利権の為に、このような馬鹿なことをするのはやめろ。議員なら金に釣られる事なくまともなことしろ。

2-4637 【福岡県、40代】

お米は大事な日本の食文化です。遺伝子いじったり、不自然なお米で健康になる訳ない。こんな異常な事を続けたら日本は本当に滅びます。
たかがあきたこまちではありません。ずっと大切に農家さん達が繋いできたお米です。選択肢はあってもいいのかもしれないけど、全量転換はありえないです!!!!

2-4638 【大仙市、60代】

なぜ？わざわざムダな時間や税金をつかってまで神代からの日本民族の伝統稲作の米に放射線被曝させるのか？

それを日本民族以外の連中が食べたいなら、やむを得ないが、縄文由来の稀有なる自然物のわれわれ日本民族が、自然物の稲に核物質を使い、遺伝子をいじくり、縄文由来の稀有なる日本民族が被曝稲をわざわざ喰らう必要、理由があるのか？

被曝国の自覚すら感じられないくらい愚昧な連中には世も末…

放射線をいじくり回した被曝米をモルモットじゃあるまいし、なぜ秋田県民…否、日本人が体実験をさせられる？

ふざけるなよ。

しかもいじくる連中だけが放射線米の種で金儲けし三昧できて、本来…自給自足できていた農家が、それすら法律で取り締まられ、取り上げられ、あまつさえお金まで払って不自然な放射線種を買う？

買わせる！法律なぞ、誰が強いているのか？

ほんとうに被曝米推進は秋田県の農家への周知は徹底しての有無なのか？

こんなバカバカしい薄毛ごときの醜態をみるに、どうも体のいい現代植民地主義（かつて徳川幕府が翻弄された、方便屁理屈を駆使した南蛮人由来のぶんどり主義）とお先棒を

かつぐ売国奴となった日本人風味の連中の仕組んだ常習化した忖度と、国民不在の暴挙の一つとしかみえない。

そんな連中の下僕に成り下っては、子々孫々孫末代の恥とを感じる心もないのか？

こんなことに、入力しづらいホームマット（作為的？）に作文するひますらムダ。

もっと大切なことに時間とお金（税金）を使う頭はないのか？

「角を矯めて牛を殺す」なかれ！

日本民族へのこんな醜態には

仏罰、天罰、大鉄槌がくだるぞ！

2-4639 【神奈川県、60代】

あきたこまちに放射線を浴びてあきたこまちR

をあきたこまちとして生産させる事に反対します。

この問題は秋田県の県議だけの問題だけでなく、

国会でも反対します。生産者は安全安全な食べ物を

作って下さい。遺伝子を操作したり、放射線を

浴びた食品を消費者に売り出すのはやめて頂きたい

です。

2-4640 【静岡県、30代】

友人からあきたこまちRのことを知り、県外からですが意見したく投稿します。

日本でお米といえば、3本の指に入るほど有名な品種です。

そんなお米が放射線を浴び、その過程で生まれた変異種に変わってしまうのは、残念でなりません。

放射線というのは、カドミニウムだけの問題では済まない物と認識しています。

このお米を食べ続けたらどうなるのかという、長期的な実験もされていないですよ。

《絶対に安全である》という保証はどこにあるのでしょうか。

不自然に改良された物を口にしたくありません。

次世代にも食べさせたくありません。どうか、慎重に考えて頂きたいです。

2-4641 【愛知県、70代】

安全で安心なお米を食べたいです。

2-4642 【東京都、50代】

【放射線育種後代交配種化】に反対します！

自分だけは助かるとでも思っているのでしょうか？

世界一、陰湿で意地が悪く、他者を助けないと言われる東北人（日本人）そのものです。

2-4643 【東京都、40代】

びっくりしました、主食である育種米に放射線を加え、今後どんな体に影響があるかも分からずに作るの、一体どういうことなのでしょう。

やる必要の無いことに、国の言いなりでやるのは秋田県への不信感に繋がります。今一度思い止まってください。私は絶対に放射能育種米は食べたくありません。

2-4644 【福島県、60代】

消費者も生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で期間を延期の上論議する場を設けるべきです。

2-4645 【大阪府、50代】

国民へ正しい情報も下ろさず、しっかり議論もされず、勝手に決められる日本の民主主義。どれだけ国民を蔑ろにすれば気がすむのでしょうか。転換する意味はありますか？日本の政治に、日本の食に不信感しかありません。断固反対いたします。

2-4646 【東京都、70代】

「あきたこまちR」への全量転換。

令和7年度に「あきたこまち」から全面切替となり、一般作付が開始されるについて。

上記の政策は、健康を配慮する上で、危険な事だと思います。

反対します。

2-4647 【東京都、50代】

放射線照射米を食べ続けるとどのくらいの期間でどんな影響を及ぼすかは研究結果が出てくるのでしょうか。東京在住ですが、全国の産地の米を食べてます。野菜は自家栽培でも米は農家さんに頼ります。が、自身は放射線照射された米を食べたくはありません。

秋田の米がそのような米に切り替わるなら、購入できないです。

2-4648 【兵庫県、50代】

放射線育種米断固反対です。

秋田県の農家の方も是非受け入れないで拒否して行動に移して下さい。

放射線は発がん物質ですし、この育種米を食べることによる被害が多すぎます。この方法を考え始めようとしているのであればその方の説明をメディアで報じて下さい。

まずはみんなに知らせて下さい。

2度と国民を困らせるようなことはしないで欲しいと願います。

2-4649 【長野県、30代】

全量転換反対です。

そして、生産者、消費者にも選ぶ権利があるので表記をしっかりと義務化していただきたいです。

2-4650 【兵庫県、60代】

秋田県議会 様

いつも地元農業の為に検討有難うございます。

・今回のあきたこまちRについては、大変危惧します。

人為的改変はいずれ将来に問題を起こしたりします。

・美味しいあきたこまちは、長年の農家さんや秋田県の技術者の方々に品質向上されてきたと思います。

・自然現象（生育）の一部を人為的に改変したりすると、次世代、孫世代で良きしない事が起きたりします。

・一時のために、一生を失うようなあきたこまちRについては危険性及び秋田県の為にも

実質すべきではないと意見申し上げます。

宜しくお願い致します。

神戸市 ○○

2-4651 【山形県、30代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには消費者として違和感・不親切さを感じます。

私は運良くこの情報を入手できていますが、従来のあきたこまちとの違いを知らないままに

購入する方々も多いと思います。

また、全量を「あきたこまちR」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのにと 생각합니다。

なんでもかんでも反対だ! というわけではありません。

あきたこまちは美味しいです。全国的なブランドとして確立していることも、品種改良や生産者の努力も、私の想像を超えていると思います。

だからこそ、消費者への信頼、生産者への信頼、相互的な信頼をこわさないために、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話ができる機会を作っていたら嬉しいです。

2-4652 【東京都、40代】

これからも、美味しいお米が食べたいです。それが日本に暮らす大きな意味でもあります。

お願いします。「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。これからも日本で暮らしたいです。

2-4653 【神奈川県、60代】

先日、秋田へ行きました。米どころと言われるだけあって、ご飯はどこで食べても美味しかったです。

なのに、米に放射線を照射するって、どういう神経なのでしょう？

もし、それが実行されるようになったら、あきたこまちだけではなく、秋田県で採れる米の評判はがた落ちでしょう。少なくとも、私は秋田産は買わないです。自らのブランドを汚すような議員がいる地区は、消費者の信頼を無くすと思います。

一部なら構わない、試験的なものだから構わないと考えるのは浅はかです。

絶対に止めてください。

2-4654 【秋田市、50代】

秋田県民として、とても大切な宝とも言える「あきたこまち」を全量転換することに反

対します。

とても悲しい気持ちでいっぱいです。秋田のお米はとても美味しく、安全で自慢できるお米なので、家族も大好きですし、県外の友人にも自信を持って送らせていただき、とても喜んでもらっています。もし、放射線育米になったら、まずは自分自身が食べることを躊躇します。買うのを控えるかもしれませんし、友人に送ることもしません。自然なものに対して、わざわざ細工をして、ゲノム編集に繋がるような危険なお米は食べられません。消費者が購入時に放射線育米だとわからないのも、消費者を騙しているように感じます。これまで通りの神聖な、あきたこまちを食べたいです。どうか、日本人の命である秋田のお米、全国のお米を守ってください。宜しくお願い致します。

2-4655 【埼玉県、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

健康第一です。

宜しく申し上げます。

2-4656 【東京都、50代】

放射線育種米の全量転換に反対します。あきたこまちの二十年来のファンで、毎日美味しくいただいています。放射線育種米は病気になりやすいと聞きました。もし全量転換すればちょっとした気象要因でも全県で不作になるおそれがあります。また、人為的に遺伝子が改変されることで田んぼの生態系への影響も心配ですし、長期的に食べた場合の安全性もわかっていません。私は、秋田の農家さんが長年汗水流して手塩にかけて育ててきた従来の「あきたこまち」をこれからもいただきたいです。秋田の、ひいては日本のお米の存亡は秋田県議会の皆様の判断にかかっています。どうか従来の「あきたこまち」を守っていただきますようお願い致します。

2-4657 【宮城県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・消費者にほぼ情報もないまま、知らされないまま、東北だけでなく、日本で愛されるお米「あきたこまち」を知らないうちにどんなものかわからないまま広がり、消費されることに反対です。農家さんは納得して作れるのでしょうか?農家さん、国民の命を守ってください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4658 【岩手県、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4659 【神奈川県、20代】

あきたこまちRへの全量転換を反対します。

先祖代々受け継がれてきた日本人の主食「遺伝子組み換えでない米」を子孫に残したいです。

人間でも害のある放射線をかけたお米は、安全面で不安になり、個人的に食べたくありません。

「従来あきたこまち」を残してください。

全量転換するメリットとデメリットを消費者へ十分に周知するべきです。

私は、「従来あきたこまち」の消費者として、その情報を受け取り、今後も消費を選択します。

「あきたこまちR」が気に入れば購入するでしょうし、気に入らなければ購入しません。つまり、「従来あきたこまち」を残して、消費者の選択の自由と権利を与えるべきです。

以上の意見をご一読頂いても、尚、全量転換を考えているのであれば、せめて表示義務は必要だと考えます。

秋田県として「あきたこまちR」を作り販売する権利はあると思います。

しかし、消費者には選択する自由、権利が与えられています。

すなわち、表示義務は必要であると言えます。

2-4660 【福島県、70代】

従来のあきたこまちが食べたいです。Rは食べたくありません。

2-4661 【沖縄県、40代】

秋田県といえば「あきたこまち」です。

「あきたこまち」が好きです。

「あきたこまち」と「あきたこまちR」では全然ものが違います。

「あきたこまち」を残してください。

消費者や県民にも広く意見を聞いてみてください。

よろしくお願いします。

2-4662 【群馬県、60代】

3%の土地のために、

全ての米を変えるのは納得いきません。

私たちの主食の米の安全性、栄養価を考えると、
十分な議論をして欲しいです。
日本国民の健康に取り返しがつかなくなるのでは？
安全な米を家族に食べさせたいです。

2-4663 【大阪府、60代】

あきたこまちRには大反対です
放射線育種米は安全性が確立されておらず、何よりもマンガンが減少してミネラルが減
ってしまいます。
また、異常たんぱく質が増えてしまいます。
カドミウム対策ということですが、それは自然界には存在しない食べ物になってしまう
ことです。
国から補助金が出る、という事だけで日本人の伝統を本当に大事なものをユダヤ人資本
家に売り渡さないでください
私たちの子供や孫の子孫のために
どうか、どうかあきたこまちRは止めてください
宜しくお願い致します

2-4664 【愛知県、20代】

県議会へ意見
あきたこまちRへの全量転換に反対です。

2-4665 【東京都、40代】

安心して毎日お米が食べられるのが当たり前に思っていました。
娘の酷いアトピーで、添加物だらけの今の国で食べられる物を探し
安全なお水を買ひ。
それはそれは母として苦勞の多い、そして娘は肌のことイジメがあったり
痒みや見た目でも悩まされたりと辛い事も多い15年間でした。
まさか遺伝子組み換え作物が及ぼす影響・懸念を知らずに
日本の伝統・文化を破壊する政策を進めようとしているとは考え難いですが
本当にこの案件を推進しようとしている方々は、安全性のエビデンスもないまま(食べて
数年後、数十年後どうなるかなんて分かりませんが)
自分の家族・子孫にこんな紛い物の米を食べさせていきたいのでしょうか？
自然からかけ離れた物は、人体に影響を及ぼします。

それでもいい人だけ買えばいい。

国民全員が選択の余地なく、リスクな食べ物しか買えない国は先がありません。
そんなもの食べたくない人の意見もきちんと掬い取る、公平な判断を求めます。

2-4666 【奈良県、50代】

あきたこまちRが作られ始めたら、もうあきたこまちは食べません。
逆に未知で怖すぎる。

2-4667 【大阪府、40代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

【理由】

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で
全量転換を決めてしまったことは非常に問題です。
期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
1 塩基が欠損するような変異は、自然の紫外線や放射線
などによって普通に起きていて、その
理屈から安全と言っているが、実際に「あきた
こまちR」などの放射線育種後代交配種を食べ続け
たときの安全性の確認は取れていますか？
国民の健康と安全と財産を守る、行政の仕事を
愚直に行ってください。
また、
食品表示には「放射線育種後代交配種」を
明記して流通し、消費者が選択できる様に
すべきです。

2-4668 【福島県、70代】

放射線照射米あきたこまちRは、安全性が確認されておらず
未来のある子供たちに食べさせる事には反対です。
絶対に流通させることの無い様、お願い致します。

2-4669 【群馬県、50代】

全量ではなく選択出来る方が良くはないでしょうか？
あきたこまち 美味しいですね。
東北のお米、文化、好きです。

是非ご検討下さいませ

2-4670 【大阪府、40代】

今まで通り自然に育成したあきたこまちなら購入しますが、放射線育種と見分けがつかないのであれば、恐ろしくて購入できません。あきたこまちおいしいお米なのに残念に思われます。放射線育種やめてほしい。どうか、今まで通りのあきたこまちであってほしいと切に願います、

2-4671 【福島県、60代】

こんなことはあっては良くありませんので推奨支度ありません

2-4672 【埼玉県、40代】

あきたこまちに、放射線かけて育てる、という話を聞きました。カドミウムの吸収を防ぐ、のはよろしいですが、放射線をかけた米を食べたくありません。私は、地元の米と、あきたこまちを購入していました。放射線かけたものなら、もう買えません。残念です。他の地域も、放射線かけた米は、買いません。なんとか今までどりの米を作ってもらいたいです。そしたらとても嬉しく、助かります。今後も、あきたこまちをメインに買います。地元の米と共に。宜しくお願い致します。

2-4673 【神奈川県、40代】

すでにしっかり作れている「あきたこまち」があり、おいしく食べられているに、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、しっかり議論する場を設けてほしいです。また米農家さんは日本を支える大事な農家さんであり、これ以上費用面でも負担を増やさないでほしい。またお米は添加物が少ない安心できる食べ物であってほしい。体に必要なものだから大丈夫と安易に言わないでほしい。添加物はなるべく取りたくないです。

2-4674 【埼玉県、50代】

あきたこまちが大好きで、
我が家のごはんはずっとあきたこまちです。
安全性に疑問を感じるあきたこまちRに
もしも全量転換されるなら、もう買わないです。
あきたこまちとあきたこまちRは全く違うお米です。
大好きなあきたこまちを食べ続けたいです
あきたこまちRに全量転換に反対します。

2-4675 【奈良県、50代】

世界に誇れる秋田のお米を安全なまま子々孫々に残していくことは、極めて重要だと思います。
秋田県議会の皆様に賢明なご判断をお願いいたします。

2-4676 【神奈川県、50代】

全面切替に反対します。
どうかそのような愚行はやめてください。
秋田県が作り出してきた、日本中で愛されているお米、そのお米のブランドを大事に守ることが
土地を愛することではありませんか。
しかも、違う商品を、名前を「あきたこまち」として売り出すなど、詐欺同然です。
従来品種を守り、愛し続けることが大事です。
売り出すのなら、まずは、両品種を売り出して、消費者に問うことでしょう。
「あきたこまちR」が安全なのかも情報公開すらされていない中、全面切り替えは時期尚早であり、
民主主義を破壊する独裁制だと思います。
万一全面切り替えになれば、絶対に買いません。秋田のイメージダウンにもなります。
目先の利権や便宜性に目をくらますのではなく、どうしたら美しい未来の種を蒔き、育てることができるか、
真剣に考えてください。

2-4677 【東京都、40代】

御多忙中恐れ入ります。
あきたこまちRに強く反対致します。
あきたこまちを都内で購入してきましたが、あきたこまちRへの切り替えは秋田県の食

の安全への意識が低いと判断せざるを得ないかと。そもそもは自民党の売国政治であると皆さんご存知です。

種子法廃止、種苗法改悪はアメリカの操り人形である自民党の売国政治！売国政治反対です。

何故、日本人が日本を売るのでしょうか？言語道断です。米ですよ？神様にも御供えする米ですよ？

日本人の主食ですよ？日本人は日本を、日本の精神を捨てるのでしょうか！？

アメリカの実質植民地状態のこの国。国旗は日の丸ではなく星条旗ですか！？

故安倍晋三さんが行った売国政治によって、日本国民はいずれ有事でも餓死するでしょうね。

アメリカと自民党に追従し、日本の米を秋田県は守らないということでしょうか！？

おおもとの種子法廃止、種苗法改悪が問題であることは理解していますが、あんまりです。

どうか、日本を守ってください！日本人が日本の精神を捨ててしまうのですか？

どうか、あきたこまちを守ってください！よろしくお願い致します。

2-4678 【東京都、60代】

情報が日本中に発信されない中で、「あきたこまちが」「放射線育種米」に取って代わるという話を聞きました。

風評被害以前に「あきたこまち」たを気に入って買っていた一般消費者である私達もこれは絶対買わなくなり、農家さん潰し、果ては日本の農業潰しに繋がると思います。

なぜ秋田県が率先してこのような暴挙に出るのか理解に苦しみます。

撤回して国民に可否を問う責任があるのではないのでしょうか。

2-4679 【千葉県、40代】

生産者と消費者には明確に知らされず、色々進んでく事に違和感と不安を覚えます。

全国に広がる前に、秋田できちんと廃止して頂きたいです。

2-4680 【埼玉県、40代】

あきたこまち R への全量転換に反対致します。

重要な食料である米をカドミウム汚染から防ぐためには流出元や土壌等の環境側で対策をすることが本来やるべきことだと考えます。

低カドミウム米の技術は一見すると素晴らしい技術と受け止められがちですが、私達が口にする食べ物（しかも主食）を人工的な放射線照射による遺伝子破壊された品種のみに

切り替えるということはあってはならないことです。

自然界にも放射線があり、それらによる突然変異もあるので殊更に危険なことではないとの趣旨を目にすることもあります。自然界での変異と人工的に放射線を照射して変異させて遺伝子操作をすることは次元が違うため同列に扱うべきではないと考えます。

食の安全を大切にすべきという風潮が近年ようやく出てきている中で、このような従来のやり方で品種改変をすることは再考いただきたいと思います。

2025年以降、あきたこまちは全て特定の遺伝子破壊がされたものになると知ると、非常に残念ですがあきたこまちは食べなくなると思います。

また、副次的な作用としてこの米はマンガンの吸収もできなくなるため、栽培時にマンガンの補給が必要になるということも問題だと思います。

本来、マンガンは自然の恵みとして存在するため補給の必要性はないはずですが、今後はマンガンも肥料に加えないといけないとなると、米づくりのコストをさらに悪化させる方向に働いてしまうのではないのでしょうか。

世界情勢が変化していく中で、食料や肥料、飼料などは従来の輸入前提の考えから地産地消へシフトしていくべきです。

日本を代表する米の生産地である秋田県から是非、肥料や薬の使用量を減らす方向での農業改革の旗を振っていただきたいと思っております。

2-4681 【新潟県、50代】

秋田県知事は、御自身のお子さんやお孫さんに

「あきたこまちR」を食べさせたいですか？

私は食べさせたくないです。自分の子供にも、

秋田県知事のお子さんやお孫さんにも。

2-4682 【広島県、40代】

カドミウム汚染の原因を対策すべき。

米は従来のままにすべき

2-4683 【東京都、40代】

私は「あきたこまちR」の全量転換に反対します。

今、私は本籍のある秋田県より、あきたこまちのお米を送っていただいておりますが、なんの不自由もありません。

それどころか、家庭でいただいているあきたこまちがどのお米よりも美味しいと思っています。

この素晴らしいお米を日本の文化として絶やすことを絶対に避けたいと思っています。今のあきたこまちこそ、未来の日本に残したい銘柄のお米です。

それから、「あきたこまち R」に変わることは、メディアでも大々的な発表がないこともまた疑問です。

日本の主食はお米ですし、私たち日本人はお米があるからこそ、健康的な暮らしを送ることができています。

そんな大切なお米についての情報を、どうして全国民に知らせる努力を怠っているのかも疑問です。

今もなお、あきたこまちは極上のお米だと私は思っています。だからこそ、今のあきたこまちは絶対に残していきたいのです。

全量転換について、今一度秋田県民、それから国民により積極的に説明し、そしてみなさんの貴重なご意見に基づいた決定をしていただければ幸いです。

2-4684 【東京都、70代】

あきたこまち R への全量転換をやめてください。

ご存知の通り、あきたこまち R ではなく、従来のあきたこまちは求めている人が多くいます。

選択する自由を保障してください。

多様であることはとても大切だと思います。

切り捨てないでください。

2-4685 【東京都、60代】

日本人の命であるお米に、このような変なことをするのはやめてください。これでは秋田の食べ物を安心して食することができません。ちゃんと農家が報われ、いただく人が元気で美味しい幸せと健康を噛み締めるもの、そういうお米であるべきです。放射線育種米となれば絶対に買いませんし、外食でも避けるつもりです。家族や知人、友人など周りの人もそう言ってます。

2-4686 【愛知県、60代】

放射線育種米の健康被害がとても心配です。

やめて下さい。

2-4687 【鹿児島県、30代】

遠く鹿児島から失礼します。そもそも良かれ悪かれ「放射線」の3文字が付く米を「いただきます」と食べる人なんてそうそう居ないでしょう。「あきたこまち R」なんて名前で

隠したとて、所詮 SNS や報道で「あきたこまち R」=「放射線育種後代交配種」だと判明すれば、「#放射線米ヤバイ」などと揶揄され、本来事実とは異なるのに有りもしない風評被害が起きてしまい、秋田県に留まらず、全国的に国内産の米に対して安全性への不信感や恐怖感を感じてしまう。結果、米農家はもちろん飲食店や米を原料とする製造関係は大きな痛手を負い職を失くす方も増加してしまうと思います。自家採種も今後認められない場合、この安全性に疑問を抱えた米ではこれからの子供達に安心して食事を提供出来ない世界になるのでは？カドミウムに汚染された土壌を安全なものにする努力を実行した方が国民の理解得られそうだと思うけど…。どうでしょうか？農水省。

2-4688 【宮城県、30代】

なぜ、全量転換しなければならないのか。

安全面でどうなのか。

まだわからない、実験段階のものなら、安易に全量転換したり、子ども達の給食等に使用するのはいかがなものだろうか。

転勤族で秋田市に7年間住んでいました。

なので、人事ではありません。

もう少しわかりやすくメディアで説明したり

全量ではなく選択制にするなども検討して欲しいです。

2-4689 【埼玉県、50代】

放射線育種後代交配種に反対です。

お米は日本人の主食です。安全で安心できるお米を食べたいと思います。

農業、とくにお米は育てるのに大変労力が掛かるとは思いますが、だからこそ、先人が大事に育ててきた安心な食べ物を大切にしていって欲しいと考えています。

あきたこまちはとてもおいしいお米だと思います。もし今後、すべてが放射線育種後代交配種の R になってしまうのであれば、あきたこまちだけでなく、秋田のお米も我が家の購入の選択肢から外れてしまいます

米を作ったことのない立場から偉そうに恐縮ですが、安心安全なお米はそれだけでブランド力もあり、高くても消費者が選ぶものになるはずです。

どうかご再考いただけると幸いです。

2-4690 【千葉県、50代】

私の周りの農家さんは自然農法による栽培をしており、地球にも人にも優しい作物を作る努力をしています。遺伝子組み換えのものは食べたくありません。昔ながらの安全な食

を失いたくありません。生きる希望を奪わないでください。

2-4691 【岩手県、30代】

今のままのあきたこまちではダメでしょうか？

あきたこまちRの安全性は10年、20年、30年食べ続けても、次世代の子ども、その子どもたちまで安全と言いきれますか？

何かあってからでは遅いです。

せめて生産者が栽培の有無を選べるように、消費者があきたこまちRかどうか分かるように

生産者、消費者の選ぶ権利を残してください。

メリットばかりに焦点が集まりがちですが、デメリットはありませんか？

次世代、さらに次の世代まで安心安全な食を残してください。

2-4692 【大阪府、60代】

長年、あきたこまちが大好きで食べてきました。

迷ったらいつもあきたこまちを選んでいました。

もう、今までのあきたこまちは食べられないと思うと残念です。

不自然に作られたお米は、どこのお米でも食べません。

体への影響、環境への影響は、未知数です。

1%でも安全性がわからないものは食べられません。

2-4693 【由利本荘市、60代】

〇〇〇〇〇と申します。

あきたこまちの稲作が、気候危機の中で、遺伝子が破壊され、マンガンを吸収しにくくなった稲が、

従来なあきたこまちを作れなくなって来て居ると聞きました。

どうぞ、秋田の誇りで有るあきたこまちを守って下さい。

こまちを食べたいです。Rは食べたく有りません。議会で良き検討と、良き方法を考えて頂けないでしょうか。

宜しくお願いします。

2-4694 【宮崎県、50代】

今までの秋田のお米が食べたいです。よろしくお願ひします。

2-4695 【埼玉県、40代】

この度は、日本米である貴重なあきたこまちが放射線米として扱われるようになってしまうという事を知り、ご意見を述べさせていただきたくこちらにお邪魔致しました。

私は毎日あきたこまちを食べています。

炊きたても冷めても甘く、どんなおかずにも合うお米のあきたこまち。

このお米が、放射線米となってしまうたらもう食べることはできなくなってしまいます。

この美味しいあきたこまちを、どうか安全に後世まで残していきませんか。

放射線米にしてしまうリスクを今一度調べて再検討をしていただきたく、意見をお伝えさせていただきました。

2-4696 【神奈川県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4697 【愛知県、40代】

従来「あきたこまち」を食べたいです。

不自然な手を加えることに反対です。

2-4698 【千葉県、50代】

放射線で育種したあきたこまちは、食べません。

未来のある子供たちにも食べさせません。

成長過程の途中にある子供たちに、放射線育種したあきたこまちを食べさせて、子供たちのDNAに影響が出たら、秋田県は責任を取ることができるのでしょうか？

議員さんたちの、子供さんやお孫さんが食べて、何らかの影響が出たらどうしますか？

もっこのれからの未来の事も、真剣に考えてください。

2-4699 【埼玉県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

あきたこまちは美味しいので、家でも積極的に購入しておりましたし、外食でもあきたこまちを提供している、と表示した店を積極的に選択しておりましたが、今後はあきたこまちを買わず、外食の店も変えますし、違うブランド米を買うことにしました。

あきたこまちRについて、農水省のHPを拝見しましたが、特に安全性の具体的な記載が一切なく、なぜ秋田県は人体実験そのものの、あきたこまちRへの全量転換へ向かうのでしょうか？

あきたこまちのブランドを壊す気なののでしょうか？

かなり高額な補助金があるのでしょうか？

ご教示ください。

それは今後、未来のあきたこまちブランドを壊しても十分な金額なのでしょうか。

とても残念です。

2-4700 【福岡県、30代】

秋田県のあきたこまちが危機です

このままだと

2025年には全量が放射能転写米に選択の余地なく移行されると聞きました！

日本のお米、秋田のお米を移行せずに守りたいです！

子ども達に安全安心なものを食べさせたい。

どうか1人で多くの声が届きますように。

よろしく申し上げます。

2-4701 【湯沢市、40代】

お米は毎日食べるものです。あきたこまちRは安心して食べられるお米という認識がもてません。情報が公開されることもなく全量転換が決定されるということは、何か説明すると反対されるかもしれない懸念があるからでしょうか？全量転換された後に問題が起きた時はどのように誰が責任を取られるのでしょうか。秋田のお米をいつまでも安心して食べられるように、安全性が確認されたことを公表してから全量転換していただきたいと思えます。

2-4702 【神奈川県、70代】

おいしいあきたこまちをなくさないでください。

強い放射線で遺伝子を変えたあきたこまちRに全量転換するというのは暴挙です。そうになったら消費者は秋田の米は買いません。

カドミウム汚染農地は1から2%と聞きます。汚染農地での作付けを止めて、米以外に転換するのが賢明です。

2-4703 【熊本県、40代】

県議会への意見「あきたこまちR」について反対意見です。

これまで、生き延びてきたものの強さを守ることが大切だと思います。

壊して良い遺伝子などはなく、この壊された遺伝子はマンガンを吸収する上でも、成育にも役立っているというメリットは宝だと思います。逆に病気になりやすくなると、また、新しい農薬を作り、その繰り返しになるのではないのでしょうか。

危惧致します。わかっていることならば、やはり、従来生き延びてきた品種を作り続けることが

大切だと思います。世界に誇れる「あきたこまち」をどうかもう一度、原点に戻りお守りください。

2-4704 【大阪府、60代】

あきたこまちの玄米を美味しくいただいています。

粘りの強いあきたこまちは、玄米特有のササつきも少なくもちりとした食感でいただけます。

この先も従来秋田小町が食べたいです。

秋田県の宝「あきたこまち」を純粹のまま維持し守って行く方向でご検討くださる事を希望します。

2-4705 【北海道、70代】

絶対反対します

2-4706 【東京都、40代】

私はあきたこまちRを食べたくないの、買いません。周りの人にもそのように伝えたいです。

理由は以下の通りです。

今まで日本におけるカドミウム低減対策は、汚染地域を指定して「客土」（他からの土壌の搬入、盛り土）や栽培方法において湛水を長くするなどにより行われてきました。

しかし、今度、秋田県で使われようとしているのは、人為的にカドミウムを吸い上げないようにした新品種のイネ（米）です。これは、従来放射線育種に使われていたガンマ

線よりも強い重イオンビームという人為的な放射線をイネの種子に照射して「カドミウム／マンガン」の吸収に係る遺伝子の部分を切断、破壊して作出したものです。

秋田県は、種子に放射線を照射するのは一回だけで、その後6回も戻し交配をしているので安全だと主張していますが、安全であるという確証はもてません。

重イオンビームは、遺伝子DNAの二本鎖を二本とも切断してしまうので、予期しないたんぱく質や異変が生じないとは限らないのです。

さらに問題なのは、このようにして作り出した新品種「あきたこまちR」で栽培された米を、これまで私たちが食べてきた「あきたこまち」と区別がつかないように、銘柄名「あきたこまち」の名前で2025年から全量を切り替え、売り出そうとしていることです。

秋田県は2025年から「あきたこまちR」に全量転換し、その他の品種も2029年以降から転換させ、秋田県が提供するお米をすべて放射線育種米にする計画を進めています。

放射線育種の有無は表示されず、消費者は知ることができません。また、これらのお米は品種登録されているので、自家採種が許されません。

この方針は、もともと国（農林水産省）が2018年改訂の「コメ中のカドミウム低減のための実施指針」で打ち出したことで、中でもいち早く秋田県が取り組みました。日本の主食としてのお米がいきなり人為的にカドミウム（及びマンガンも同時に）を吸い上げないお米に全量入れ替えが行われてしまうと、これまでの「あきたこまち」を農家も消費者も選ぶことができなくなります。

私は、あきたこまちRは食べたくありません。

また、食べたくない人が選べないよう、表示をしないという事も嫌がらせだと思えません。

これを進めるようでしたら、秋田県のイメージはかなり悪くなると思います。

秋田の農産物はいいイメージでしたのに、非常に残念に思います。秋田県産のものは不買になるとは思います。

2-4707 【大仙市、40代】

私の周りのお米農家さんの殆どの方が放射線育種米アキタコまちRに変わる事を知りませんでした。

何故しっかりと説明も無く押し進めるのでしょうか。

良い事ばかりを説明し悪いことは殆ど説明をしない行政の在り方何の疑問も持たずに請負う農協にただただ不信感しかありません。

食は何のためにあるのでしょうか？

私達は食べたもので身体がつくれますよね？

健康の為の農業であってお金重視の農業であってはいけないと思います。

アキタコまちRは反対です。

放射線育種米を開発するお金があるなら今頑張っている農家さんにお金を落として下さい。

第一次産業こそ国力では無いでしょうか？

これ以上の国民いじめをやめて下さい。

心からお願い致します。

アキタコマチ R は食べたくないです。

2-4708 【東京都、40代】

県議会への意見

あきたこまち」だけでなく、他の秋田県が提供しているすべての品種が放射線育種後代交配種に代えられようとしており、このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米になってしまいます。

そして、これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されると聞いています。

また、これは秋田県に限られず、日本全ての都道府県でやることを農水省は計画しており、日本で作られている 300 品種のうち、すでに 200 品種以上の放射線育種後代交配種が準備されつつあります。

このままでは日本のお米がすべて放射線育種米になってしまい、お米の安全性もさることながら、今後の激しくなる環境変化に耐えられるのか、わかりません。

あきたこまちを守ってください。よろしくお願い致します。

2-4709 【千葉県、60代】

人間の 100%致死量 7 グレイをはるかに超える放射線を照射しての米の新品種。

放射線を当てて、遺伝子を損傷させることでこれまでにない品種。

放射線を照射することで、ゲノム編集と同様に DNA の二重鎖を破壊します。この放射線育種による品種は安全なのか。

消費者の選択が出来るように、表示義務化してください。

2-4710 【千葉県、60代】

今まであきたこまちを食べていました。

この度、R がつき、あきたこまち R となり、放射線育種米となることは、日本人の食の安全を守る立場から全量転換には、絶対に反対します。放射線育種米を食べることで、人体にどのような悪影響が出てくるのか分からないからです。天孫降臨の際、天照大神から邇邇藝命へ手渡された稲穂、

神のエネルギーが蓄えられている稲穂の米を放射線で壊して行くことは、神に背くことになります。絶対に反対です。

2-4711 【岡山県、50代】

秋田県は県議会に対して、この全量転換を説明する時に放射線育種米であることは説明しておらず、県議会で改めて議論することがとても重要だと思います。

放射線育成米の安全性に疑問を感じています。

全面的に反対ですが、どうしても放射線を照射するなら

全てを転換するのではなく、一部にしてしっかりと放射線育成米である事を表示してください。

その上で消費者が選択できるようにお願い致します。

個人的には今まで美味しく頂いていたあきたこまちがなくなるのは耐え難いので原種を残してもらえるよう、強く要望致します。

全種転換になるのなら残念ですが秋田県のお米はもう買えません。

2-4712 【兵庫県、60代】

お米に不要なものを添加するのはいかななものかと思うから

2-4713 【三重県、60代】

放射線入りの米は必要ありません。

2-4714 【愛知県、60代】

反対です 今までのお米で良いです

何の必要が有ってそんな怖いお米を作るのか理解者できません

ません

2-4715 【愛媛県、50代】

放射線の施された種から育てられたお米は、どのような遺伝子変換がなされるかわからないので、食べたくないです。従来通りの種子から育てられたお米が良いです。

2-4716 【兵庫県、40代】

お米は毎年作っている。もちろん今年も。農薬を少しずつ減らし家族の身体に優しいごはんをと頑張っているのに、その大元の稲を放射線で突然変異を引き起こさせるなど信じ

られない。遺伝子組み換えの食物でさえ摂り続けた時の安全性がわからないのに、放射線の影響を受けたお米を食べ続けたら人の身体は一体どうなるのですか？

安全を無視して放射線育種米にすり替えていくの止めてください。あきたこまちRの件が成功すれば他の品種にも広がり、私の田んぼでもいつの間にか放射線育種米が作られるなんて事になりかねない。とても迷惑です。逆に9月の議会で二度と放射線育種を広めるような事はしないと可決してほしい。

2-4717 【由利本荘市、40代】

県民のためにいつもご活動いただきありがとうございます。

まず、この件に関して、余りメディアには取り上げられず、最近になって耳にして調べた次第です。

食は命につながる大事なことですから、もっと関心を持つような取り上げ方、発表の仕方をしていただきたかったです。

内容について、

①放射線育種米との交配によって、長期的な安全性の確認できていないものを、いきなり全量転換はしないでいただきたいです。

②あきたこまちRのような放射線育種米との交配したものを、有機認定するという話ですが、EUでは認められていないのをご存じでしょうか？そういうものを作って有機認定すると、日本の米だけでなく、あらゆる有機品の信用を失うことになると思います。よって、海外市場は閉ざされる結果となることは自明の理です。

③汚泥肥料を使って育てるということは、単にあきたこまちRがカドミウム低吸収米だから大丈夫という話では終わらないこともすぐわかるはずです。特に、今現在特別栽培米や無農薬米などを作っている方が、ちゃんとした説明を聞けば反対意見が出るはずです。なぜなら、コメはカドミウムをあまり吸収しないのですが、土壌は汚染されるからです。もともと汚染地域でないのに、そんな肥料をまいたら汚染地域は増え、医療保障などの問題も沢山出てくるに決まっています。秋田県を汚染させたいのでしょうか？在来種でも低カドミウム米は存在しています。

国の意見だけを聞き、ちゃんとしたことを県議の方々、県の政治家の方々はお調べになっていて、県民に土壌汚染と病気を勧めるのでしょうか？本当に将来のことを考えているのなら、一刻も早く取りやめていただきたいです。

私の知り合いの農家の方も、秋田の農業を心配しています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

2-4718 【千葉県、40代】

私は秋田県出身で今は千葉県で妻と0歳と1歳の子と暮らしています。数年後には秋田

県に帰ることを考えています。これは秋田という魅力的な地で子育てをしたいと考えたからです。しかし今回このあきたこまちRへの全量転換という話を聞いて、ひどくショックを受けています。このような健康を害する恐れのあるものを子どもたちに食べさせるわけにはいかないと考えています。私は秋田にいたころも千葉に出てきてからの今もあきたこまち以外は食べていません。今は秋田で農家をやっている友達からあきたこまちを買っています。ぜひ安全で美味しい秋田のお米をこれからも守り続けて欲しいと思います。あきたこまちRという得体の知れないものにはしないでいただきたいです。これからの子どもたちのためにもよろしくお願いします。

2-4719 【埼玉県、70代】

放射線育種米にするのはまったくの愚策であり、絶対に反対します。

2-4720 【大仙市、40代】

いつもお世話になっております。

私は大仙市に住む、米の消費者の1人です。

家族は農業も行っております。

今回お伝えする意見は、

秋田県で作付するあきたこまちを

「あきたこまちR」に全量転換をするお話を

一旦取りやめて、今一度議論していただきたいです。

①従来のあきたこまちを種粳で提供していただき育てることができること。

②消費者が選べるように、種粳が従来のあきたこまちか、あきたこまちRかを表示していただきたい。

この2つが確立していなくては、
消費者としてとても不安です。

日頃より、県政にご尽力いただいている

県議会議員の皆様のおかげで、

3人の子どもも元気に育ち、

2人は成人を迎えることができました。

あと1人は高校生で、

将来は有機農法の仕事に携わりたいという目標があります。

農業離れが顕著な世の中、

このように語ってくれる我が子を

とても誇らしく思っております。

有機農法に携わりたいと言う若者は、

放射線育種やゲノム編集などによる、
遺伝子进行操作した作によって育てる作物を
とても不安に思っております。
私も専門家ではないので、
あきたこまち R が、
どこまで安全なのかよくわからないまま口にするのは
とても不安です。
先日大仙市で行われた OK シードプロジェクトの
印鑰智哉さんのお話を伺い、
カドミウム低吸収米を得るために、
インドの古代米を利用する画期的な方法も知り、
そちらなら安心かなと思ってきたところでした。
米農家の方ですら、
あきたこまち R のことをよく知らないと言うことをよく耳にします。
開発された皆様にとってはとても
画期的で素晴らしい発明と、
胸を張って世に出したいお気持ちがおありでしょうし、
ましてや胸を張って出せるものであれば、
なおのこと理解された上で全量転換していかないと、
今後、ありもしない風評被害を助長する元となる事は
否めません。
あきたこまちが売れなくなる危険性もあります。
ただでさえ米消費が伸び悩む現在、
あきたこまちが売れなくなり
自殺者が増えてしまうのではという危機感さえ感じます。
これはインドの綿花栽培で種を独占した企業が
農家の金銭的な負担を増大させ、
自殺者も多数出た話ともつながります。
秋田が誇る「あきたこまち」のブランドが、
これからも日本中、世界の食卓で喜ばれることを
切に願っております。
とても小さなひと声ですが、
どうかご検討のほど、どうぞ宜しくお願いいたします。

こんにちは。私は農家ではありませんが、山梨県で田んぼをしている者です。カドミウム問題のために、あきたこまちRというかなり大量の放射線を照射したお米に転換されると聞きました。大量の放射線を照射することによって突然変異が起こります。しかし自然界の突然変異とは違うものです。このような放射線照射のお米を食べ続けると私たちのDNAに影響を与える可能性があります。放射線の照射した結果、カドミウムだけではなく、マンガンも吸収されなくなり、マンガン欠乏症の症状が出てしまうと聞いています。マンガンがないと子供ができにくくなるという話を聞いています。人間だけではなく、自然に生きる動物たちにも影響を与えかねません。このような不自然なものを私たちが摂取し続けることで本当に健康が維持できるのでしょうか。このような危険な可能性の高いお米を消費者に食べさせることは本当に良いことなのでしょうか？さらに自家採取ができないとなれば、農家の人たちの負担も増え、積極的にお米を作ろうと思わなくなるかもしれません。農家や消費者の立場で考えない残念なことだと思います。放射線を放射してカドミウムに汚染されないお米としても、依然としてカドミウム問題が解決されたわけではありません。まずはカドミウム除去の問題を解決することです。カドミウムの問題点を無視してお米を改造するとはどうなのでしょう。今、より多くの日本人は安心安全なお米を食べたいと願っています。そこで放射線照射のお米を食べたいと思うのでしょうか？このような改造米が体にどのような影響を与えるのか未知なものは食べたくないと思う人もいることでしょう。農家の人たち、消費者に安心して食べてもらうための努力が必要です。その行動を県議会も常に情報を発信して、消費者に安心して食べてもらうことが必要です。農家や消費者の立場になって考えて下さい。お米どころの秋田でそのようなことが行われるのは本当に残念なことです。遺伝子とは環境との膨大な相互作用によって作られた生命の蓄積と痕跡です。それを放射線放射とは、生命に対しても稲に対しても失礼だと思います。不自然なものはなるべく選択したくありません。またこうした放射線米と私の安心安全なお米が交雑してしまったら、私は訴えたいと思います。秋田県議会の皆さんは、どのようにあきたこまちを食べる人たちにおいしくて安心して食べられるお米を作り続けるか？を話し合うべきです。お米作りを経験しているのでわかりますが、お米作りをすれば毎年違う問題が発生します。もう何度もお米作りをやめようと思いましたが、でも安心のお米を食べたいから自分で作っています。でも安心できるいいお米を作ってくれる農家さんがもっと増えたら、私はお米作りをやめたいと思います。いいものを作るには手間がかかります。でもそれが当たり前だと思います。どうか不自然なお米を作ることはやめていただきたい。消費者が安心安全で食べられるお米作りを応援していただけないのでしょうか。お米は日本人の大切なソウルフードです。お米や田んぼを愛する者からの意見を読んで下さりありがとうございました。

2-4722 【愛知県、60代】

あきたこまちの放射線米は
人体に
悪影響があると
思います。ですからそういうお米を
作る事は
人が
病気になる事に繋がり、地域の
活性化に、繋がらないと思いますので
放射線米を
止められたほうが
いいと思いますので。
よろしくご検討下さい、

2-4723 【神奈川県、60代】

『県議会への意見』

私は神奈川県で、休耕地を様々な仲間と共に稲作をしています。
あきたこまちRの存在は初めて聞いたのですが、
恐らく人体への影響を考えての工夫だと言う考え方なのでしょうか？
しかし、遺伝子組み換え問題や農薬、化学肥料と
農業を圧迫することばかりが、起きている様にしか思えません。
恐らく、利権が絡み、お金の流れがあるので、撤回したくないのでしょうか？
まるで、「人間にとって良いこと」の観点がずれている様に思います。
すぐさまこの計画を中止し、未来の人類の為に本当に必要なことを進めていただきたい
です。
よろしくお願いします。

2-4724 【兵庫県、50代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。
放射線育種を毎日食べ続けて、10年後、20年後にどんな影響が起こるか、誰も予想が
できません。
日本人の主食の安全を守ってほしい。

2-4725 【東京都、40代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。
遺伝子を破壊されたあきたこまちはもう食べたくないです。

2-4726 【長野県、40代】

作る人も食べる人も、「あきたこまち」を選ぶ権利が必要だと思います。

また、カドミウムを、土壌に留めておくのではなくて、吸収し安心して作付けができる土壌環境づくりを優先させるべきだと思います。

安易に新しいものに全面切り替えするのではなく、慎重に学び審議して欲しいです。頑張ってください。

2-4727 【神奈川県、60代】

「あきたこまち」からRへの全面切り替えに反対します。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事だからです。

2-4728 【茨城県、30代】

放射線によって変化したお米を食べることによって体に影響については十分な議論はされていますか？

安全性の確認はとれているのでしょうか？

また、十分な告知もないまま全量転換は賛成できません。

我が家は好きであきたこまちを食べていますが、全量転換となれば今後の選択肢からは真っ先に外します。

何かあってからでは遅いのです。

2-4729 【埼玉県、50代】

いつもあきたこまちを食べています。この度の放射線育種米についてですが、私は反対です。秋田から始めいずれは全国のお米を放射線育種米に変えていこうと政府は計画しています。

今まで国がやってきたことは農家さんを苦しめる政策ばかりです。減反政策などせず、日本の自給率をあげるためにも農家さんを応援する政策をしてほしいし、日本の文化伝統を守ってほしいです。種も種苗法によって固定種→F1種にかわってしまいましたよね。

放射線育種米に変更するメリット、デメリットをきちんと国民に説明するべきです。私たちに知る、選択する権利があります。急いで放射線育種米にせず、十分に検証し、国民への説明をしたうえでの検討をお願いします。

2-4730 【にかほ市、30代】

なぜ種の遺伝子を操作してまでもそのようなことを？なにがしたい？病気を増やしたいの？米どころ秋田が台無し

2-4731 【群馬県、60代】

放射線育種米を食べたいか、積極的に買いたいか、消費者に聞いていただければ、秋田県議会の決定が間違っているか会っているかが分かると思います。商品を選ぶのは買う側ですから。県議会の決定が正しいと思うなら放射線育種米と堂々と表示して販売してみてください。(農家が可哀想ですが)

日本国民は遺伝子組換え（一部破壊も含む）に敏感で、それが表示されている食品は選ばれにくいです。日本国は遺伝子組換えや破壊の表示義務を無くし、遺伝子組み換えでないと表示できるハードルを上げ、消費者の選ぶ情報を隠そうとしているのは明確です。

秋田県議会の議員の皆様、このパブコメで変わることが無いなら、秋田県のお米は買いませんし、知り合いにも教えます。

一步譲って、あきたこまちRに変える理由がカドニウムの吸収を下げる目的なら、カドニウム値が高い農場だけ限定的に使用するようにするのが良いのではないのでしょうか。全量切り替えすることに全く納得できません。

もう一度言います、食べたいか消費者に聞いてからにしてください。

2-4732 【熊本県、70代】

県外の者ですが、ネットであきたこまちを取り寄せたこともあります。今回の事に驚きをかんじました。私は遺伝子操作されたものは避けて国内の物を選んできました。将来どのような、影響があるか解らないことを全面的にするのはいかがなものでしょう。全面的にではなくもう一度立ち止まり考えなおしをお願いします

2-4733 【北海道、70代】

1. 安産性

秋田県はあきたこまちRはコシヒカリ環1号を親にあきたこまちを7回も戻し交配を繰り返しているから、直接放射線を照射した放射性育種でもないし安全としているが、あきたこまちRは放射線で破壊されたコシヒカリ環1号のOsNramp5という遺伝子を引き継いでおり、その点コシヒカリ環1号と同等の放射線育種米であり、同じ問題を持ったままである。

安全は確かめられていない。

2. 情報公開の欠如

生産者や消費者、事業者など関係者に情報公開もなく、パブリックコメントもないまま、あきたこまち R への全量転換が決定された。県議会でも十分な情報は提供されず、議論すらされていない。

3. 実害が生じる

あきたこまち R は遺伝子が壊されているため、植物や子どもたちの成長にも欠かせないマンガンを吸収しにくくなっている。農家の負担にもなり、子どもの成長に必要なマンガン（ミネラル）不足による長期的な健康被害も気になる。この転換を秋田県は全国で先駆けて進めている。これは秋田県産米全てに風評被害ならぬ実害を与えてしまう。

4. 自家採取禁止について

あきたこまち R はじかさいが認められていない。自家採取は日本の農業にとって不可欠な技術と言わざるをえない。

農業の基本をなすのは種であり、苗である。

地域の多様性のある種を守っていく上でも鍵となる活動である。

世界で地域の農業が発展している所では、地方自治体等が積極的に関与して、在来種の種取りを奨励し、種取り農家に補助金を出し、地域にあった種苗を豊富に確保できていることが、その地域の経済の発展の背景にある。（イタリア、かんこく、ブラジル等）自家採取は農業の発展、特に有機農業の発展では欠かすことの出来ないものである。

あきたこまちをはじめとする品種を自家採取不可能な品種に全量転換してしまうという事は、秋田県の農業の発展を困難にする方策であると言わざるをえない。

5. 今後、激化する環境に耐えられるか

あきたこまち R は OsNramp5 という稲の生存にとって重要な役割を果たしていると考えられる遺伝子が損なわれている。それによりカドミウムが抑制出来ることは利点とも考えられるが、同時に一つの遺伝子が持つ機能は一つのみではなく、その遺伝子を損なうことにより、その機能が失われてしまい、その結果、今後の激化する環境変化に耐えられなくなる可能性がある。

6. 危険な下水汚泥肥料の使用について

下水汚泥には、除去が困難なカドミウムをはじめとする重金属や PFAS が入っている。

PFAS には自然にはなかなか分解されず、健康被害を引き起こすとして世界では大問題となっていますが日本では規制がほとんど進んでいない。

そのため下水汚泥を肥料に使えば、PFAS と無縁な農地が汚染される可能性が高い。一旦汚染した農地を元に戻す事はとても困難である。

7. 「コシヒカリ環 1 号」系だけが唯一の道ではない

「あきたこまち R の問題点はわかったけれども、一方で低カドミウム対策米の必要性はある。どうすればいいのか」と思われるかもしれないが、放射線育種を使わなくても解

決策は存在する。

インドのケララ州で 3000 年前から栽培されていると言われる Pokkali という在来種の稲はケララ州の高い塩分濃度を持つ水田でも生きていくように自然の中で進化した品種である。この Pokkali は「あきたこまち R」では破壊されてしまった OsNramp5 という遺伝子を重複してもっており、高い塩分濃度に対してミネラルの吸収をコントロールする能力を得たと考えられる。同じ遺伝子を重複して持つというのは、環境に対応するための進化の過程でよく見られる自然なプロセスで、この Pokkali はこの遺伝子を重複してもつことによって、マンガンもカドミウムも吸収する。しかし、カドミウムは根の液胞に留まり、種にはあまり行かない特性を持っているため、お米の方はカドミウムが比較的高い地帯であっても安全性を確保できる。

この Pokkali はカドミウムを根に蓄えるので、安全な米を得るだけでなく、収穫後、その根を処分することで、水田のカドミウムを除去することも実現することができる。「あきたこまち R」がほとんどカドミウムを吸収しないので高カドミウム汚染地域でも栽培可能となるが、それに対して、Pokkali は 6 割減ということで、高カドミウム汚染地域ではお米は食用にすることは難しくなるかもしれません。しかし、そのような地域ではやはりカドミウム除去を優先すべきであり、食用の作物を育てる前に、カドミウム低吸収性品種ではなく、カドミウム高吸収性品種を栽培することでファイトレメディエーションによってその場所におけるカドミウム低減をめざすべきではないかと考える。

この Pokkali についてはすでに岡山大学でコシヒカリとの交配を試みて、それに成功しており、この例にならえば、秋田県で Pokkali と「あきたこまち」の交配をすることで、「あきたこまち R」では解決できない難問を解決するカドミウム低吸収性品種を作り出すことができる。インドや日本で長く愛された品種を交配させるものの方が多くの方が安心できる品種になるでしょう。有機農業での利用にも問題はない。新たな問題を作り出す放射線育種に頼る必要はない。

8、結論

あきたこまち R の全量転換は、秋田県、日本にとって取り返しのつかない大問題を引き起こす可能性がある。実施のメリットよりもデメリットが上回る。

一旦延期し、秋田県の地域の地域の有害物質汚染対策政策を今一度再検討する事が必要である。

2-4734 【埼玉県、60代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して強

く反対します。

遺伝子組み換えや農薬なども使わないお米が食べたいです。
体に悪いものを作らないで下さい。

2-4735 【東京都、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

遺伝子を破壊されたお米を食べたくありません。

子供に食べさせたくありません。マンガンを吸収しにくくなったお米を食べた

「風評被害」が起きるから全量転換というのはあまりに乱暴です。

風評被害で農家が苦しむのなら、補助金を出す、国が買い取るなど税金でサポートしてください。

またカドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会で話し合ってください。

2-4736 【岡山県、40代】

放射線を照射して突然変異した米を食べたくない。

表示義務が無いのなら、食べない選択肢がない。

そもそも消費者が、自分の口に入る物を何故選択できないのか？

米が嫌ならパンを食えとでも言うつもりでしょうか？

土壌のカドミウム汚染が深刻化したのなら、汚染前の状態に戻す方向に注力するべきでしょう。

それが出来ないから、こういう事をやっているとは主張するのならば、ジタバタしない事です。

絡まった糸が、余計に絡む事になります。

2-4737 【長野県、70代】

近頃、あきたこまちRの件に関する情報やコメントなどを知るようになりました。

どう考えてもおかしな決定だと感じます。ただでさえ、日本の食品添加物の種類1500以上というのは、不名誉な世界一！

その状況下で、基本のお米まで遺伝子組み換えなどとは言語道断です。

我々の子孫の為にも止めて欲しい！

秋田県議会の不名誉な決定も歴史に残る事でしょう。
自然界は調和を目指しています！そこに、
人間の目先の利害を持ち込む事は、やめませんか？

2-4738 【大阪府、40代】

こんにちは

あきたこまち米の危機を感じて意見を申し上げます。私は、普段よりあきたこまち米をおいしくいただいています。消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。また、一度決定されてしまうと、他のぶらんど米にまで影響が出てしまうこと、すでに計画があることを知っています。即刻踏みとどまっていただくべきです。米自体今後どうなっていくのか、人体への影響も分からないまま推し進めることは、大変危険であると思います。ある一部の秋田県の畑がつかえなくとも、その地域だけを使用しなければ良いことだと思うのですが、どうしてこのような流れになってしまったのか、どこからの圧力をお受けになったのかもわかりませんが、大袈裟かなのかも知れませんが、国民の命に関わる事態になる可能性を今一度お考えください。微力ではありますが、黙ってはいられません。これまで通りの、安全で美味しい美味しいあきたこまちを食べさせてください。たくさん買いますので。どうかおねがいします。お力とお知恵をお貸してください。

2-4739 【東京都、50代】

放射線米に反対します。

理由→

遺伝子組み換えが安全かどうか不明、
カドミウム率の高低は土地によって違う、

なにより

今まで問題がない「自然なもの」を壊す必要がない！

どこからの命令ですか？

今さえよければいいのですか？

周りまわって自分達、自分達の子どもの影響あると考えないのですか？

2-4740 【静岡県、60代】

私はあきたこまちをアマゾンで買っています。美味しいお米ですし、ネーミングもかわいらしいので好きです。そのあきたこまちの種子に放射線をかけ放射線育成米にするそうですが、絶対にやめてほしいと思います。カドミウムを吸わないという理由だそうですが、あきたこまちを生産している農家の田圃にカドミウムが大量にあるとは思えません。むしろ放射線をかけることに怖さを感じます。海外では健康的な食に関してかなり敏感ですから、日本のお米の評判を落とすことになると思います。あきたこまちに風評被害が出てしまい、海外はもちろん、買うことを控えるでしょうが、同じように日本国民もあきたこまちRを危険と思うのではないのでしょうか。放射線をかけることで、マンガンを吸収する遺伝子を壊すそうです。マンガンは稲の成長にも子供の成長にも必要なものです。農家が稲を育てるのに困窮したり、子供たちが他の国の子供たちよりも貧弱な体格になるのはしのびないです。ましてや、あきたこまちはカドミウムを吸いにくい品種だそうではありませんか。どうか今まで通りのあきたこまちを食べ続けさせてください。

2-4741 【神奈川県、50代】

過去、秋田に数年お世話になっていたことがあります。

高校生になる息子が保育園の頃でした。

今でも息子はあきたこまちが好きです。

秋田県のHPの説明は分かりやすかったし、品種改良の歴史や、お米の系統などは調べることが出来、おおわく納得のいく手はずのものであると感じました。

ただ、どう調べましても、健康面への影響に関する研究に関しては辿り着くことが出来ませんでした。

昨今増えているアレルギーや発達障害に関して、農薬や品種改良などが無関係だと言い切ることが出来るとは思えません。

健康面での影響などの研究があるのでしたら、それも県民や国民に伝えるべきと考えます。

また、もし研究が進んでいないのだとしたら、今すぐにでも始めるべきです。

それらが無いのであれば、まずはそこら辺の整備をしてから、物事を進めるのが筋なのではないのでしょうか？

あきたこまちの問題は、秋田県だけの問題ではないはずです。

広く周知や説明、報告を行うことを求めます。

秋田県議会として、国に提言していくこともしやにいれるべきではないのでしょうか？

2-4742 【北海道、70代】

古来からの自然な製法でお願いいたします。

2-4743 放射線育種由来の食品がどんな健康被害を作ったのか、作らなかったのか、わからない状態のままそれを今後、すべての秋田県民、さらには日本列島住民に安全の確証もなく食べさせることに反対します。

「あきたこまちR」が安全であると言い切る根拠はどこにも存在していないのが現実です。

そのようなお米は絶対に食べませんので放射線育種の生産をぜひ中止していただきたいですね。

作られても絶対に買いませんし食べません。

2-4744 【神奈川県、70代】

漠然とですが、あきたこまちに対して不安感を覚えます。

このまま話が進むのであれば、あきたこまちを食べたくないと思うのは、私だけではないと思います。

少し踏みとどまってはいただけないでしょうか？

2-4745 【神奈川県、80代以上】

日本人にとって大事なお米に、放射線照射などしないで下さい。日本のお米を大事にして

下さい。

あきたこまちRにしたら、私は買えないです。外国の人
も買ってくれません。

もっと慎重に日本の国益を考えて下さい。

2-4746 【秋田市、50代】

反対です。

2-4747 【大阪府、50代】

「あきたこまちR」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。

また、なぜ全量を「あきたこまちR」としてしまうのでしょうか？

選べたら良いのになと思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありませんが、選べないっていうのは気持ち悪いのです。

今もあきたこまち食べてるし好きです。

よくわからないことが一杯で、知らないうちに変わっていくことがなんだか怖いです。

2-4748 【神奈川県、50代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

カドミウム汚染地域での転換は理解できますが、汚染地域以外まで栽培地域を拡大するのは理解に苦しみます。放射線育種による安全性は確立されておらず、マンガンの吸収を阻害する作用もあると聞きます。秋田県のあきたこまちは、「放射線育種という手法を使った品種改良のお米」となれば、消費者は秋田県のあきたこまちは避けるようになるのではないのでしょうか？少なくとも私は購入しません。

秋田という日本有数のお米の生産地には、昔から受け継がれた品種があると思います。それらを守っていくことの方が重要ではないのでしょうか？全量転換は、日本の米文化を潰す愚策になり兼ねません。転換地域を限定するなど、見直しをして頂きたいと存じます。

2-4749 【北海道、50代】

ほんとにすごい時代に生きている私は従来のあきたこまちはずっと頂きたいです。R米は、私も家族にも食べさせたくはありません。宜しくお願い致します。

2-4750 【愛媛県、40代】

汚染地も非汚染地も全てあきたこまちRへ転換するというのは、秋田県のお米に対する不安を感じます。

全量転換より、汚染地の検査体制やカドミウム対策を強化していただきたいです。

あきたこまちは大好きなので、これからも安心して購入・消費したいです

2-4751 【神奈川県、40代】

自然栽培農家と提携しています。

すべての品種が放射線育種後代交配種になることには、抵抗を覚えます。

これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されると聞きました。

自家採取ができない種籾の提供を100%行うと言うことは、農家の自家採取の権利を奪うことになると思います。

今まで通り、あきたこまちは種籾の提供を残してほしいです。

2-4752 【愛知県、50代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

秋田県外でも、販売されている品種ですので、全国的な議論をする必要があると思いま

す。

農水省からの通達を議論もないまま、受け入れないようお願い申し上げます。

2-4753 【東京都、60代】

あきたこまち からのRへの全面切替に反対します。

秋田の農家さんからいつも あきたこまちを取り寄せて頂いております。美味しいからです。

その農家さんから、全面切替の詳しい説明がないまま進んでいる旨伺いました。

R米の稲がこの気候変動の中、生き延びていくか、また人が食べ続けてどうなるのか？疑問が残ったまま、説明も話し合いも丁寧にされずにの切り替えは拙速だと感じます。

どうかもう一度しっかりと説明話し合いをして、本当に大丈夫か検討してほしいです。宜しくお願い致します。

2-4754 【沖縄県、50代】

あきたこまちR反対です。

2-4755 【秋田市、50代】

私は放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全面切り替えすることに反対します。

あきたこまちRは放射線育種米と聞き、その開発の目的が「カドミウムの吸収をさせにくくする」ということだと知りました。

しかし土壌や肥料がカドミウムに汚染されているというのであれば、それらを安全で稲作に適したものに変えていくための別の方法を考えるのがより適切ではないかと思います。

放射線照射による品種の改良という点にも、安全性が果たして本当に担保されているのか数々の疑問があるだけでなく、その表示義務もなく、しかも2025年からは「あきたこまち」を放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換すると知り驚愕し今こうして意見を書いております。

農水省の政策であっても、我々秋田県民だけでなく秋田県産米を愛してくださる日本全国の人たち、海外の人たちが今後も秋田産の米を食べていきたいと思うような安全な米を全国に率先して作っていくのが米どころ秋田県の役目ではないでしょうか？

「あきたこまち」は秋田県が作り、31都道府県で生産される日本を代表するお米であり、農家ではない私にとっても大切なお米です。どうかこの大切な秋田県の宝を守ってください。

2-4756 【大阪府、30代】

からだに害があるお米は食べたくありません。

2-4757 【大阪府、60代】

あきたこまちRに反対します。

日本の安全なお米を守りたいです。

日本の自立した農業を守ってください。

2-4758 【大阪府、70代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-4759 【山形県、50代】

放射線育種や重イオンビーム照射された米は食べたくないです。

あきたこまちRに全量転換してあきたこまちとして販売されて今までのあきたこまちとあきたこまちRが区別つかないようになるのなら秋田産以外のあきたこまちを買うようになるでしょう。

もちろんコシヒカリ環1号も買いません。

カドミウムを吸収しにくい米を作るよりもまずカドミウム汚染対策を考えてください。

カドミウムとともにマンガンも吸収しにくくなるらしいですがそちらのほうが大変なことではないのでしょうか？

カドミウム汚染地域は国の3%に満たないと聞きました。

それでもやらなくちゃいけない事なんのでしょうか。

2-4760 【大仙市、70代】

2年後に「あきたこまち」から「あきたこまちR」へ全量転換するとのニュースを聞いた。

何故、どうして？調べてみたらキーワードは放射線育種米、重イオンビーム、カドミウ

ムのキーワード。汚染地域があればその地域だけ転換すれば良い。地域を隠すためにするのならその地域の生産物を他のものに転換すれば良い。キーワードをみるだけで拒否反応するするのはわたしだけではないだろう。あきたこまちが放射線まみれなどと風評が出たらだれが責任を取るのだろうか。秋田県の米生産者の死活問題だろう。

私は従来の「あきたこまち」を食べ続けたい。無くさないでもらいたい。

2-4761 【東京都、40代】

あきたこまちは、近所のお米屋さんにも置いてありますし、ネットで購入することもあります。

あきたこまちを食する消費者として意見を述べたいと思います。

2025年から、秋田県があきたこまちRを栽培を開始した場合、秋田県のお米の購入はいたしません。

理由はいくつかあるのですが、あきたこまちRは、コシヒカリ環1号のOsNramp5という遺伝子を引き継いでおり、同等の放射線育種米であり、安全性はたしかめられていません。

あきたこまちRは、マンガンを吸う遺伝子が破壊されているため、ごま葉枯病にもなりやすく、農家はマンガンを追加したり、防除のための農薬を使う必要が出てくるのが懸念されます。

もし全量転換した後、問題がでてきて失敗すれば、今のあきたこまちの種籾を作るのに3年かかります。その間、農家や消費者はどうなるのでしょうか。

日本で最初に放射線照射米のコシヒカリ環1号を採用した石川県は、去年の生産が確認できません。

全国でも成功事例がない、放射線照射米を秋田県が全量転換することはとても理解できません。

今はまだ、放射線照射米の問題は一部の人にしか知られてませんが、この問題が多くの人に認識されると全国にたくさんお米の優良な品種がある中で、秋田県のお米は全国の消費者に敬遠されることになると思います。

どうか、従来のあきたこまちをこの先も継続して食べさせてください。

秋田県が進める、あきたこまちRへの全量転換に反対します。

2-4762 【埼玉県、50代】

県外から失礼致します

あきたこまちを普段から頂いておりますが、全量転換になると購入しないです。

そして今後全国に広まると食べれるお米がなくなってしまうので、

秋田からの転換を止めて頂きたいと思います。

宜しくお願い致します。

2-4763 【東京都、50代】

子どもの頃から『あきたこまち』を美味しくいただけてきました。

『あきたこまち』を初めて食べたときの美味しさ、母が新しい品種なんだってと嬉しそうに話していたのを今も覚えています。最近は家族の健康を意識して化学肥料、農薬の有害な影響を避けるため無農薬米、有機農法のものを買うようにしています。今回の『あきたこまちR』として違う育てかたを全量展開をするのは反対です。

土壌環境の事情、県の方針があると思いますが説明をみて、安心と納得して食べようと思えません。世界的にみて、真逆の農法を推進していると、国の活動をみて思いました。

どうか大好きな『あきたこまち』の安心できる美味しさを守り通してください。新しいことばかりが、いいこととは思えません。

2-4764 【愛知県、40代】

「あきたこまち」からの全面切替に反対いたします。

正直なところ、難しいことはわかりません。

ただ、従来の遺伝子を破壊、操作されたものを食べ続けることは身体に何か害はないのでしょうか？

不安の方が大きいです。

従来のおいしい「あきたこまち」をぜひ守っていただけないのでしょうか？

未来の子どもたちのためにもぜひよろしくお願い致します。

2-4765 【東京都、50代】

これまで、「あきたこまち」をの生産にご尽力いただきまして、ありがとうございます。心より感謝申し上げます。

あきたこまちは、学生時代、経済的に不安定な男性とお付き合いしていた時代から、美味しくてリーズナブルなお米として好んでいただけてきた、思い入れの深いお米です。

ですので、まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

従来の「あきたこまち」を食べ続けていきたいです。Rは食べたくありません。

その理由としては、

1. この遺伝子操作を施した稲は、精米後の米のマンガン量を低下させると伺っています。

公的なデータである「食品成分表」で改訂のたびに農作物の栄養価が下がっていることは周知の事実です。

これ以上、農作物の栄養価が下がるような施策を実行するのはやめて下さい。

カドミウムの吸収、精米への含有を減らす効果もある遺伝子操作とも伺いましたが、カドミウムの含有量を減らすという1点のために、大切な栄養素、マンガンを犠牲にするような、危険な転作を固定化するような農政には断固として反対します。

2. カドミウム汚染地域は全体の3%とのことです。土壌からのカドミウム除去をしてくれる作物や、除去の手立てはあるはずですが、低カドミウム米を生産することだけでは、カドミウム汚染は土壌に留まり、汚染された地域の問題は解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

3. 冒頭にも私個人の思い入れを述べさせていただきましたが、「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になっているとのことでした。

その「あきたこまち」を守ってください。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が、この気候危機の中、生き延びる可能性は未知数だと考えます。食物安全保障の観点からも、従来の品種を作り続けることは重要です。

以上です。

ここまでお読みいただき誠にありがとうございました。

どうぞ、「あきたこまち」を愛してやまない、一消費者の意見を、真摯に受け止めてくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2-4766 【茨城県、30代】

あきたこまちRについて

放射線育種について反対です。

食の安全に向けての取り組みだとは思いますが。

それにつきましては、非常に良いことだと思えます。

ですが、改良するのであれば”土”だと考えます。

昨今では、太陽光パネルの設置による土壌汚染の話は沢山耳にします。

可能な限り自然的な手法での農業を推進していただきたく思えます。

2-4767 【千葉県、50代】

放射線育種米、絶対に反対です！！

私達の体は、自分で食べたものでできています。

7グレイで100%人間が死ぬと言われていますが、それよりも遥かに上回る放射線を照射して稲の遺伝子に損傷を与える。

そんな米を食べて、長期的な安全性は確立されているのでしょうか？

土壌や肥料のカドミウム汚染が深刻化しているのであれば、そちらを安全で自然なものに変えていく努力が先なのではないのでしょうか？

表示の義務付けがないのも納得できません。

私は安全・安心な米を食べたいです。

未来ある子どもたちにも食べさせたです。

安全な食物を奪い、不健康にさせようとしているのでしょうか？

2-4768 【東京都、30代】

遺伝子を破壊している放射線育種でのお米を口にしたいとは到底思えません。大人も子どもも安心して口にできる遺伝子操作のされていないお米を食べられることを強く望みます。

2-4769 【岐阜県、30代】

こんにちは、

あきたこまちRの情報を最近知り、違和感があり意見を送らせて頂きます。

このままでは、従来のあきたこまちはなくなるというのが大反対です！

私達の代で、子どもたちや孫、その子孫にも美味しい日本のお米を残していきたいです。

食は国防です。日本の食は米です。

おかしなことをせず、従来のあきたこまちを残して下さい！

2-4770 【大阪府、40代】

あきたこまちRへの全量転換を反対します

従来のあきたこまちのみを購入希望です

従来から進化したものは便利かもしれませんが

その分病気が増えていることにも着目してください

お米は日本の宝です

あきたこまちRへの全量転換を反対します

2-4771 【愛知県、50代】

あきたこまちを購入して毎日美味しく食べています。

このまま、従来のあきたこまちを食べていきたいです。

あきたこまちRは食べたくないです。

どうか従来のあきたこまちを守ってください。

宜しくお願い致します

2-4772 【東京都、50代】

乱筆となってしまい、誠に申し訳ございません。また、ネットから検索したものばかりで間違っている部分もあるかもしれません。現時点で小職のわかっていることを含め、意見を述べさせていただきます。

(1) 放射線育種についてコシヒカリ環1号は「イオンビーム照射による突然変異」という説明となっているのですが、別の言い方をすると、放射線育種となると思います。この技術は、日本以外、中国、ヨーロッパなども研究し、かなり多くの国が、この技術の研究を断念していると聞いています。アメリカでさえ、やめている技術ということになります。なぜ、日本だけ、この技術を進めていくのでしょうか。

(2) 放射線育種の風評被害イオンビーム照射は、強度がある放射線照射ということになりますが、このような処理をした米は、まず、人々に受け入れられるものでしょうか。放射能と放射線は違うとは思いますが、ある程度の遺伝子の破壊はおこるわけで、そのような食料を使おうとする、日本人、外国人は存在するのでしょうか。特に、海外のユーザは、おそらく、非常に敏感に対応すると思います。一度、このイメージがつくと、日本の米は全て、放射線を通してしているのではないかと間違った認識が広まる可能性があり、非常に恐怖を感じます。

(3) カドミウム低減品臭となる米についてカドミウム低減のため、危険な放射線育種を使うよりも、下記リンクのように、カドミウムの蓄積が少ないインドの品種・ポッカリを交配させる方法があると思います。

あきたこまちとポッカリを交配する研究も考えられるのではないかと思います。

<https://www.sanyonews.jp/article/1306256>

(4) 放射線育種による米のカドミウム低減能力について放射線育種によりつくられた米について、カドミウムの低減につき、ネットで検索したところ、テストケース 3000 件中、カドミウム低減が認められたのは3件とほぼ偶然低減したのではないかとするものがありました。この話が本当なのかどうかは、私も調べているところで、実態はわかっていないのですが、低減能力について疑問を感じます。

(5) カドミウム低減対策につき、なぜ全量に対して、放射線育種を導入しようとするのか。県全体でも品種も含め、いろいろな状態の米があると思います。その米は全量、カドミウムが高濃度なのでしょう。全量対応するという考え方は、グローバリスト(国際金融資本)の考え方そのもののように思います。放射線育種を受け入れるというわけではないのですが、全て切り替えるでなく、ケースごとの検討というように、柔軟かつ、繊細なやり方があるのではないのでしょうか。

(6) コシヒカリ環1号の実績について疑問があります。

コシヒカリ環1号を交配し、得られた個体に「あきたこまち」を7回戻し交配することで育成した品種があきたこまちRですが、そもそも、下記リンクの通り、兵庫県では、導入検討しているようですが、導入はされていません。コシヒカリ環1号自体にも製品としての実績はほぼないのではないのでしょうか。

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/documents/kenkai.pdf>

(7)あきたこまちRへの全量切り替えについて令和7年に全量切り替えとお聞きしますが、早すぎるのではないだろうか。上述の通り、技術自体への不信感がありますが、万一、この技術を採用するにしても、動物実験などで影響確認を十分に行う期間を考慮すると、その検証期間は、数十年レベルで確認していく必要があるのではないのでしょうか。

(1) から (6) までの理由からあきたこまちRの全量切り替えにつき、中止を検討していただきたいです。

2-4773 【宮城県、40代】

健康面への影響が気になります。

大丈夫だ、とばかり言うのではなく、明確な根拠を示してください

あきたこまちは、秋田県の問題なだけではないと思います。

もちろん国策なのだろうなとも思います。

ぜひ、早急に議会で決定するのではなく、広く国民へ周知したりし、議論の場を設けてください。

2-4774 【岡山県、40代】

消費者にも生産者にも、ほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題です。日本の食の安全を守る大切な内容です。期間を延長した上で、議論する場を設けて再検討いただきたいです。

今後も、従来の「あきたこまち」を食べたいです。

遺伝子を破壊されされ、吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安です。

ぜひ、在来品種を作り続けてくださるよう、よろしく願いいたします。

2-4775 【香川県、40代】

あきなこまち

いただいています。

美味しいです。

これからも食べたい。
これはほっとけない！！
何やってるんですか
もっと慎重に考えるべき
年寄りの今だけ自分だけよければ精神の
目先だけみた考えとしか思えない
自分の子供、子孫、何代も先の日本の子供達に対して責任とれると思えない行動
もっと全国に意見を聞くべき
お金だけを追わないで
目先だけ見ないで
風評被害は他の方法で解決できるはず
やってはいけない事
その重大性がわかってなさすぎる
反乱起きますよ。
あきたこまち食べない人増えるでしょうね
米離れがすすむ
進ませたいのかな、逆に。
お金の動きを見ましょう
良かれと思って正しいんだと思っておられるのかもしれないけれど
全くの逆方向と思います。
考えなおすべき
立ち止まる勇気を！
おじいちゃん、おばあちゃん
あの時、やらない選択をしてくれてありがとう。と
言われる日がきます。
これは誰が得するんですか
お金を追わないで！

2-4776 【鹿児島県、50代】

鹿児島県在住です
農の力の強い所が折れては後が続かないと思います
農の力がまだあるからこそ、土の力の籠ったお米の提供を続けて欲しいと願います

2-4777 【東京都、40代】

秋田県在住ではありませんが、秋田県が大好きです。

あきたこまちを毎日食べております。

大変恐縮でございますが、意見を提出させていただきます。

「あきたこまちR」への全量転換について、反対です。

せっかく全国に名の知られる「あきたこまち」のブランド価値が下がってしまうと考えております。

私が住んでいる地域では、オーガニックや在来種に対する商品価値が年々高まっております。

新しく品種改良された種類よりも、昔からある種類が大変人気です。

オーガニックショップの棚にも、自然栽培の「あきたこまち」がkgあたり1700円(税込)で飛ぶように売られています。

オーガニック愛好者は、品種改良に対して、負のイメージを強く持っています。

全量切り替えは、「あきたこまち」の築き上げたブランドイメージの棄損に繋がると強く懸念します。

基準値以上の汚染があった場合は、県で買い取り、適切に処分されることを願います。

また、その予算計上の手段として、ふるさと納税やクラウドファンディングを活用されてはいかがでしょうか？

日本全国に「伝統あるあきたこまちを守るために、処分費に対する寄付を募集」と掲げれば、「あきたこまち」さらには「秋田県産農作物」のPRにもなります。

秋田県は汚染物質の除去に関して積極的だと、安心感につながるのではないのでしょうか。

オーガニック愛好者は、安全なイメージのある食材に価値を感じ、多少高くてもそのような商品を購入します。

「あきたこまち」はすでに高いブランド価値を持っていることを、東京でも強く感じています。

自らそれを手放してしまうのはとてももったいなく思います。

素人考えで大変恐縮ですが、「あきたこまち」の大ファンとして意見させていただきました。

また、私の経営する会社では、秋田県出身者が25%を占めています。

秋田県が大好きです。心より応援しております。

2-4778 【神奈川県、40代】

放射線をあてたものではなくて従来のお米を食べたい。安全性は長期的には不明なところ

ろが多い。放射線当てる R の流通やめて欲しいです

あきたこまちと子ども達を守って

2-4779 【広島県、70代】

今世界的に薬品、食品などへの遺伝子組み換えによる害が話題となり、より慎重な取り組みが叫ばれています。このような世界的な動向の中で、日本の食の中心をなす「米」への対応がなされようとしています。直接的な、遺伝子組換種の害に加えて、さらに「種」への遺伝子組換の特許により、今後は農家の自主「種」が認められないという、まさに我が国にとって「害」しか考えられないことが貴県会議で決められようとしています。一見農家の生産性を上げるとか良い面（これも必ずしも生産性が上がるか否かは不透明ですが）だけを伝えての政策としか考えられません。ひとたびこのような亡国的な試みが承認されれば、日本全国がこの悪影響を受けることは明らかです。

是非とも、目も前の一見利益と見える当政策を県議会の慎重な審議と農家への丁寧な説明とともに再考されるようお願い申し上げます。

貴県議会の決議が、日本の農家を壊滅するだけではなく、日本の食生活ひいては日本全体を滅ぼす起点になるかもしれないことをお考え下さるよう重ねてお願い致します。

2-4780 【島根県、30代】

あきたこまち R について

放射線育種米という栽培法があることを初めて知りました。

自然の摂理に沿ってないことと、人間にどれだけ影響を及ぼすかわからないため、反対します。

子どもたちのために、安全な食を選択できる未来に繋げていていただきたいです。

2-4781 【福岡県、40代】

放射線照射したお米食べたくないです!!!

2-4782 【東京都、70代】

放射線育種米への転換は断固反対です。

安全性も不安だし、何より生産者である農家の方々が選択すべきなのに、全量転換を決めてしまうのがおかしい。

農家の方々の賛成があって初めて決められることなはず。

生産者の意見を何より優先させるべき。

消費者としても、選びたくないのに表示義務のない放射線育種米と知らずに食べてしまうかもしれないのがとても不安で不満に思う。

放射線育種米を作りたいなら、堂々と表示するよう義務にするべき。

2-4783 【大阪府、40代】

しっかりとした安全性の確認もなく、またそれをこれから消費する国民にそのことをしっかりと周知もしていないものは食べたくない。

どうしても放射線育種米を使いたいなら食べたい人と食べたくない人の選択ができるようにしてほしい。

何のためにお米を作っているのかしっかりと考え直してほしい。

最近はこんなことばかりで本当にうんざりしています。

2-4784 【兵庫県、60代】

日本古来の食文化、お米がかわってしまいます。

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

未来の子ども達を守るためにも、よろしく願いいたします。

2-4785 【茨城県、50代】

今までのあきたこまちが食べたい。あきたこまちRは食べたくない。Rになったら買わないと思う。

考え直していただきたい。

2-4786 【兵庫県、50代】

お米の転換、反対です。

安心安全な食生活を送るために、なぜ転換をするのか!!

これが!全国にも広がって行ってしまうきっかけにもなりかねない。最初が肝心だから、ここでとどまって、辞めるべきだ。

2-4787 【兵庫県、70代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 消費者にとって「あきたこまちR」が安全なのか情報公開がされていません。以前はなかった「お米アレルギー」の原因は行き過ぎた品種改良の結果に由来しているという指摘もあります。「あきたこまちR」について、タンパク質（アミノ酸の組成）やでんぷん質の変化の有無などの情報をわかりやすく開示してください。消費者への情報がないなかでの全面切り替えは時期尚早だと思います。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4788 【大阪府、50代】

秋田県の「あきたこまち」全量を放射線育種米に転換することで、米どころ秋田のお米が消費者にとって安心できないお米になることが非常に残念です。「あきたこまちR」は、ガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームによる育種で、その安全性を裏付けるデータや実験は存在していません。岡山大学資源植物科学研究所の馬建鋒教授らのグループは、放射線を使わない低カドミウム集積米の育成に成功し、その論文により2023年4月に地球の持続性に関する研究を奨励する国際的な表彰「第1回 Frontiers Planet Prize」を受賞しました。「あきたこまちR」は植物の生育に必須のマンガンを吸収しにくいですが、馬教授らが開発したこの米は収量・食味に影響なくカドミウム集積が大きく低下することのこと。カドミウム低吸収米としてこの米を採用すれば、秋田県のお米に対する消費者の不信を招かず、支持を得られると考えます。放射線育種米「あきたこまちR」への転換見直しを強く要望します。

2-4789 【神奈川県、50代】

県議会への意見

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

毎日あきたこまちを頂いてます。

従来の

「あきたこまち」を守ってください。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

身体に入れるの

どんな食料も従来の品種を作り続けることこそが、人の身体と心を健康にすることだと思います。

生きていくことにこれは大変大事なことです。

国民への情報がそれほどだいたいの状態で全量転換を決めてしまったことを知りました。

テレビは取り上げないので、国民は知らないのは明らかです。

期間を延期して、もっと議論し県議会で話し合ってください。

2-4790 【宮城県、40代】

あきたこまちRをあきたこまちとして流通させること、全量切り替えの方針に疑問を感じています。

農家さんたちへの説明などはあったのでしょうか？

友人が秋田であきたこまちを作付けしています。そしてとても困惑しています。

彼らへの説明を丁寧にしてあげてほしいです。

自然の法に則った良い行いであればあるほど、みんなが納得して進めると思います。

どうぞよろしくお願ひします。

2-4791 【大阪府、50代】

絶対反対です

2-4792 【神奈川県、40代】

秋田県外の者ですが、日本の食料の安全について懸念しておりまして、意見を送らせていただきます。

「あきたこまち」からRへの全量転換に反対します。

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまっていて良いのでしょうか？

カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できないと聞いております。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲が、この厳しい気候の中で本当に生き残っていくのでしょうか？

また人間の遺伝子に悪影響はないのでしょうか？

従来品種を守って頂きたいです。原種が一番強く、育てやすいと聞いております。

よろしくお願ひいたします。

2-4793 【東京都、50代】

反対です。

県外のものですが、あきたこまちを好んで多く購入し食しています。

ゲノム編集されたものは、長期的にどのような影響が出るか不明なところも多いと聞きま

す。

全量ではなく、せめて一部から試験的に確認しながら進めていくのはできないでしょうか？

もし全量があきたこまちRになったら、影響が不安なので購入したくありませんし、他にも勧めません。ご検討をお願いします。

2-4794 【神奈川県、50代】

カドミウム汚染が問題なのであれば、汚染された土壌を除染するのが本来すべき事であり、作物側に放射線を当てて改変するという解決策は、筋違いに感じられます。

風評被害を懸念しての全量転換ということですが、消費者の選択の自由を無くしてしまうことは、逆に、何か誤魔化そう、有耶無耶にしておいてしまおうとしているのではないかと疑心暗鬼に繋がってしまうのではないのでしょうか。選択の自由は残していただきたいです。

2-4795 【福島県、60代】

あきたこまちを食べたい

2-4796 【愛知県、30代】

全量転換には反対します。

食品への科学技術適用は慎重に行うべきだと考えています。

何か問題が起きてあきたこまちRへの不評が広がってしまったら、秋田県のお米はどうなるのでしょうか。

格安で飲食店や海外へ卸しますか？

そうしたくない方々もいるでしょうし、

いきなりの全量転換はリスクが大きいのではと思います。

消費者側としてもそういったお米は体への影響や環境への影響がわからないのもありしばらく様子見しておきたいですし、農家さんの的にもどちらを生産するか選べた方が良いのではと思います。

2-4797 【愛知県、40代】

放射線育種米に変えないでほしい

今まで受け継いできた品種でよい

2-4798 【京都府、60代】

放射線育種のお米生産に反対です。
よろしく願いいたします。

2-4799 【福島県、60代】

東日本大震災で放射能の恐ろしさを身をもって体験し、
このような事には反対です。子供や子孫に安心、安全なもの
の食べてほしいです。

2-4800 【福岡県、60代】

放射能で突然変異を引き起こさせて作ったお米では、安全性は疑問です。消費者にも
生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延
期の上、議論する場を設けるべきです。これからの日本の未来のためにも、よろしく願
いいたします。

2-4801 【兵庫県、40代】

あきたこまち R になったら絶対買いません！

2-4802 【北海道、60代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。
R は、食べたくありません！
カドミウム汚染は、低カドミウム米だけでは、
解決できません。
風力発電や太陽光パネルも老朽化により、
土壌汚染すると、分かっています。
きちんと調査をして、根本の原因を
しっかり見極めて、
子ども達に安心安全なお米を作って
下さい。
宜しく願い致します。
「あきたこまち」から、全面切り替えに
断固反対致します。

2-4803 【神奈川県、50代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

その理由：

- ・今の「あきたこまち」が大好きです。

なぜステキなブランドの「あきたこまち」を守り続けられないのですか？

- ・放射線を浴びた遺伝子は破壊されます。

自然ではありません。自然に栽培した品種を残して下さい。

- ・従来の「あきたこまち」を食べたいです。

放射線を浴びたRは食べたくありません。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で、議会だけで全量転換を決めてしまったことは大問題です。期間を延期の上、議論の場を設けるべきです。

2-4804 【熊本県、70代】

大切な食生活の中の「お米」に生命を人為的に改変する技術、遺伝子組み換えをどうか技術を採用されない様をお願い致します。なにとぞ考え直していただき今までの様に、美味しい

お米を作って頂きますように。宜しく願い申し上げます。

2-4805 【東京都、40代】

あきたこまちRへの全量転換、

令和7年度に「あきたこまち」から全面切替へ、反対します。

2-4806 【秋田市、40代】

あきたこまちRについて理解するのが難しいです。

普通に理解する事が難しい事が、何の説明もなく行われていく事に違和感があります。

県民の理解をきちんと得てからがいいのではないのでしょうか。

子どもの頃から今まで、ずっと変わらず大好きだったお米が、急に「放射線を当てたお米に切り替わります」と

言われると、正直、不信感と不快感が出てきてしまいます。
秋田県民が、大好きな土地のお米を、もう好きではなくなってしまうのは悲しいです。
率直な意見で申し訳ございません。
きっと同じことを感じる方も多いと思いますのでお伝えさせていただきました。
どうぞ宜しくお願い致します。

2-4807 【福岡県、40代】

秋田のお米は美味しかったです。
今まで、どうやってお米を育ててきましたか？
放射線照射しないと、お米は育ちませんでしたか？
今まで作ってきた美味しいお米は、どうやって作ってきましたか？
よく考えてください。
何をしようとしてますか？
お米って、土と水と空気と微生物と太陽があったら、美味しいお米が出来たのではないですか？
プライドをもってください。
責任は、意志は持っていますか？
放射線が何か、わかっていますか？
なんのために、それをしようとしてますか？
全量転換する必要性は？
全農家がそれを受け入れてるんですか？
美味しかった秋田のお米は、日本からなくなってもいいんですか？
古来から続くお米どころを、守らなくていいんですか？
そんなんで、ご先祖様に顔向け出来ますか？
大事なものはなんでしょう。
よく考えてください。
私は、あきたこまちRには反対です。
絶対食べないし、買いません。

2-4808 【東京都、40代】

東京から失礼します。
あきたこまちの放射能育種米への転換について意見があります。
遺伝子に放射線をあてるという技術であきたこまちを秋田県で全量転換されるとの情報
を得ました。

カドミウムの不安があるとのことですか、マンガン不足でミネラル不足にもなります。まず遺伝子操作をすることが不自然で数年後数十年後のこどもや環境の影響はまだ未知数です。秋田県民が人体実験することになるのはよいのでしょうか。全量は時期尚早です。転換をやめ、地域の人や消費者の意見をまずは聞いてから検討くださいますようお願いいたします。

2-4809 【大阪府、50代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

いつも美味しいお米を生産してくださってありがとうございます。安全で尚且つ美味しいあきたこまちは素晴らしいお米だと思います。長い長い時間をかけて守り育てて下さったお米をぜひそのまま残していただきたいです。今の日本は実験場と化してしまっている事に子供達の未来が暗雲が立ち込めてしまっている事に恐怖を感じています。日本と同じ境遇のイタリアは食は守ると立ち上がっていました。日本も出来るはずです。あきたこまちを守ることは間違いなく日本を守ることに繋がっているものと確信しています。どうぞ県議の皆様踏みとどまってあきたまちは日本を守って下さい。

うちはお米が大好きです。3食ご飯です。今後も安心して食べられるお米をお願い致します。

県議の皆様もご自愛下さいませ。遠く離れた土地から吉報をおまちしております。

2-4810 【神奈川県、50代】

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。食べ物に致死量以上の放射線を当てることによる影響、それは即時のものばかりとは限りません。あきたこまちは秋田の名産ではありますが、私達日本人の大切な主食です。十分な情報もシェアされないままにこのような事態になるのは不安しかありません。

2-4811 【大阪府、60代】

国民が何もわからないと思って自由がままですね
バカ西するな

2-4812 【東京都、50代】

放射線育種米に反対します。

カドミウム汚染（土壌の3%）が問題にもかかわらず、
なぜ、米の全てを放射線育種米に変える必要があるのでしょうか。
まずは汚染された3%の土壌改良を考えるべきではないでしょうか。

また、放射線育種米に置き換わった場合、表示義務付けがないため従来のお米と識別することができないと聞きました。
消費者として、日本国民として非常に憂慮しております。

2-4813 【静岡県、50代】

私は静岡県民ですが、秋田県のあきたこまちを毎日美味しくいただいています。

あきたこまちRへ全量転換され、知らない内に放射線米を今後食べさせられるのかと思うとゾッとします。なぜ、消費者の声に耳を傾けていただけないのでしょうか？

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4814 【富山県、40代】

米どころ秋田の名前に傷が付きます。放射線照射されたお米を、消費者も黙って買うわけにはいきません。あきたこまちRになってしまったら、不買運動起きると思います。ですから、今までのあきたこまちでも充分美味しい、素晴らしいお米のはずですから人にどんな悪い影響が起こるかなんて未知の放射線照射米に切り替えることをおやめください。

2-4815 【北海道、50代】

なぜ今全てのあきたこまちを変更するのでしょうか？専門家から危険性やから疑問が出ている段階での変更は口にするものとしては不安しか残りません。今後、あきたこまちRにするなら買いません。もっと全国的にも、意見を聞くべきです。

2-4816 【東京都、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由として

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-4817 【東京都、60代】

人体に悪影響を与える可能性がある放射線を使用して遺伝子組み換えをしたお米に最初から全量変更する方針との事ですが、将来人の体にどんな影響があるか解らないのに怖いことです。

大豆の遺伝子組み換えに付いても危険性を言われているのに日本人の主食であるお米に

そんな危険性があつては成らないと思います。

あきたこまちが好きで購入していますので是非遺伝子組み換えのお米に全量転換はしないで頂きたいです。宜し

くお願いいたします。

2-4818 【北秋田市、50代】

当管内は、県の指導に基づき、出穂前後3週間の湛水管理（干ばつで水不足時はその限りではない）を徹底しているにもかかわらず、基準値を超えるカドミウム米が毎年多く生産されている。（4年産：1,639.5俵）それに伴い、全ての出荷ロットのカドミウム分析を義務付けていることから、それに係る労力、人件費、分析助成金はもとより、生産者にも労力、水利費、分析負担金、そして何より、精神的負担が掛かっている。

この度、長年の研究、取り組み成果で、交配の繰り返しによってカドミウム低吸収米である「あきたこまちR」が誕生し、県の奨励品種に採用になったことの説明を受け、早速、営農座談会等で生産者へ説明する機会があり、生産者からは安どの声を多く聞くことになった。生産者（県民）の負担が減り、何より安全で安心なお米を生産、提供出来ることに喜びを感じているようだ。巷では放射線育種されたお米の安全性について騒がれているが、この問題は解決しており、安全性には何の問題もない。（放射線が残っている事はない）この「あきたこまちR」への開発に携わった関係者の方々へ、改めて感謝申し上げたい。ありがとうございました。

2-4819 【福岡県、40代】

不自然なものを口にする世の中を次世代に渡したくありません。

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

2-4820 【群馬県、60代】

放射線育種の遺伝子組み換え米は食べたくありません

従来のあきたこまちが安心、安全です 日本人の健康の為

にも転換してほしくありません

2-4821 【東京都、50代】

あきたこまちR・他、放射線米の生産に反対します。

遺伝子を組み換えたお米は体には入れたくないですし、購入もしません。

今般の放射線米へ切り替えを機に日本の米文化が消滅するきっかけとなります。

日本人であるなら古代から引き継がれた日本の食文化を守ってください。

2-4822 【熊本県、50代】

県議会への意見書

こんなにも食の安全が叫ばれてる中、

「もしあきたこまちR」を導入するのであれば
秋田県のお米どころか秋田で生産された農産物も
買いたくありません。

「こんなにも大切な日本人の生きる源である
お米の安全性を軽んじる行為をしようのであれば
他の農産物にも何か変な事をしてるのではないか」と勘繰ってしまいます。
秋田の全ての農産物の信頼性がなくなると思います。

この「あきたこまちR」は長期的な人体への影響はわかっておらず
食べ続けた人達が人体実験することになるのだと思います。

2-4823 【宮城県、30代】

県外在住ですが、秋田県の実家で作ったお米を毎日食べています。

放射線育種米など食べたくありません。

メリットよりもデメリットが上回ります。

反対です！

2-4824 【東京都、60代】

あきたこまちrへの全面切替に反対いたします。

食品添加物の多さ、水道水の含有農薬基準の緩和、口にするものへの信頼度がどんどん
失われており、その中で今度はお米に放射線照射と？

今、この国で健康を考えたら選択に頭を悩ますことばかりです。

カドミウム米より放射線米を選びたいとは思いません。

美味しく不安なくあきたこまちを食べ続けられるよう、どうか秋田県議会の前向きなご
検討をお願い申し上げます。

2-4825 【東京都、30代】

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本

を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

安全なお米を作ってください農家さんに感謝をしております。

日本人として安全なお米を食べ続けることができることを望みます。

議会で再度検討、反対意見を取り上げていただけるようよろしくお願いいたします。

2-4826 【神奈川県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。

その「あきたこまち」を守ってください。

- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。

Rは食べたくありません。

- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

よろしくお願ひします！

2-4827 【千葉県、60代】

亡夫の故郷である秋田県のお米を食べ続けたいので、不安のある放射線育種米になってしまったら、買うことが出来なくなりますので、放射線育種米に反対致します。

2-4828 【東京都、40代】

放射線の体内への危険性があるので、従来の生産法のままで維持していただきたいです。

2-4829 【北海道、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4830 【北海道、40代】

恐ろしくて食べられません。

この先の社会を支えていく子どもたちの人体に悪影響が起ころかもしれないものを食べさせるわけにはいきません。

人の手を無理に加えたもので良いものはありません。

自然の中に暮らす限り、本来あるものを食べるということが生きるということだと考えております。

日本の大事な財産をこれ以上破壊しないでください。

2-4831 【東京都、40代】

不自然な食べ物が世の中に拡まるのは 悲しいです。主食のお米が不自然な食べ物になんて。

自然と調和した形に回帰していきますように。

2-4832 【大阪府、50代】

こんにちは。

秋田県が提供しているすべての品種が放射線育種後代交配種に代えられるというのは本当ですか？

そんなことしたらもう秋田県の米は買えなくなってしまいます。

そんなことする県の食べ物は食べたいと思いません。

ふるさと納税も秋田県のもの選ぶのはやめようと思えます。

放射線育種米反対です。

食べ物は国民の命です。

賢明なご判断をお願いいたします。

よろしく申し上げます。

2-4833 【埼玉県、40代】

不自然に思える、あきたこまちRを食べる事は無いでしょう。

撤回のほどよろしくをお願いいたします。

2-4834 【兵庫県、50代】

あきたこまちの放射線育種米への全量転換に反対します。

遺伝子の破壊は今後の健康被害の可能性があるのであります。

2-4835 【茨城県、70代】

おかしいです 放射線米など食べたくない とても危険です 従来のお米が一番です
県議会の皆様しっかりして下さい

日本人が潰されます

2-4836 【大仙市、40代】

あきたこまちRに転換反対です

従来通りの「あきたこまち」を食べたいです。

これまで築き上げたブランド米です。

全量転換する前に、風評被害回避のための努力をするべきだと思います。

2-4837 【滋賀県、50代】

秋田県はこの「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することを決定したそうですが、農水省はどんどんと放射線育種後代交配種を増やす計画にあると聞きました。

遺伝子組み換えにしても、それが人体にどのように影響しているかはいまだにわかっていません。「放射線育種米」は「稲に放射線を放射して、突然変異を引き起こさせて作ったお米」だそうです、実用化する前にその安全性をしっかりと確認して公表すべきです。

食への安全性が問われているこの頃ですので、この話を知れば、もう秋田の米は買わないという人も出てくるでしょう。私は「放射線育種米」など食べたくありません。自然のお米がいいです。

表示の義務づけがないので、流通され、未知の悪影響があった場合、もう取り返しがつきません。秋田県がまず慎重になり、検討していただくことで、他地域でも慎重に検討する流れになってほしいと思います。秋田県が率先して日本のお米を守る県になっていただけたらと思います。

よろしくご検討をお願いいたします。

2-4838 【静岡県、70代】

秋田県議の皆様、あきたこまちRへの全量転換に大反対いたします。

皆様の判断が、全日本国民の生命をおびやかします。

信頼されている秋田のお米が、軽蔑のお米になるのが悲しくてなりません。

人口も減っている今、カドミウム汚染の田んぼで米をつくる必要がありますか。

秋田県民の気骨を全国に示していただきたいです。

2-4839 【北海道、40代】

人体への悪影響が懸念されます。

デメリットをもっと調べて理解すべきです。

全面切替、一般作付開始に反対します。

日本の古代米を守るべきです。

2-4840 【静岡県、50代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由として

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31 都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-4841 【愛知県、30代】

あきたこまち R の栽培に反対します。放射線育種後代交配種なんて、聞いただけでとても恐ろしいです。自然の栽培に手を加えられたものなんて恐ろしくて食べられません。放射線を当てられたお米なんて食べたくありません。きちんと県民や国民、農家の方々に説明もなく、危険な栽培への移行は断固として反対します。絶対にやめてください。日本の伝統を守ってください。

2-4842 【岩手県、50代】

放射線種の商品化は人間の長期的な安全を確かめるまで商品化するべきではないうるち米もち米も栽培していますが…このことで米離れになるのでは？と危惧しており

ます 日本人の食の安全を守ってください

おねがいたします

2-4843 【埼玉県、60代】

安全性に危惧があります。

拙速な導入、ましてや全量などもってのほかです。

科学的な担保を求めます

是非立ち止まっていたきたいと思います。

よろしく願いたします

2-4844 【千葉県、50代】

令和7年度に「あきたこまち」から全面切替となり、一般作付が開始されるが、このことをどう考えるか。

大反対です。

秋田県がこの「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に全量転換することにより、「安全な米」を日本の国民一同、日本の住民が食べることが困難になる方向性に向かいます。

表示もなく、危ない米を流通させるのは、「テロ」に近いです。

現状の品種で十分です。

放射線育種は、安全性が確認されていませんし、その安全性を確認するには、長大な時

間と多大な労力が必要です。

人体や健康や次世代に対して危険であると思います。

人体実験か、人口削減か、日本人を対象とした民族絶滅を図るのか、といった疑わしい事項には取り組まず、また積極的な回避が必要であると考えます。

放射線育種あきたこまちRは市場に一切出さないでください。

全量のみならず、部分的な転換もしてはならないと思います。

放射線育種をやめてください。

2-4845 【福井県、50代】

放射能で汚染されたお米をなぜ作らなくてはいけないのですか！！未来の子供達のための日本を守らずしていつ守るのですか？！そんなお米を作るのであれば、私は二度と買いません！私の友達、家族には絶対に買わせません。身体を悪くすると分かっているのに何故汚染するのですか！NETでもその、汚染された意味合いをお伝えして、食べてはいけないことを伝え続けます。ブランドのお米、あきたこまちがここまで落ちてしまうのか！他県にいながら残念です！

放射能とは、癌を始め、様々な病気を誘発させますよ！！残念極まりないことです。しかも、皆様方が県会議員のときに起こすとは、未来永劫、秋田県の恥になりますよ。あのときの議員さんか！と、そんな名を残すために議員になったのですか！誰かから買収されたのですか？！子孫まで笑い者になります。日本の本物のリーダーに成ってください。

2-4846 【滋賀県、50代】

あきたこまちRへの全量転換について、秋田県議会にお伝えしたい意見です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。以下に挙げさせていただく理由から、「あきたこまちR」への全面切替に反対します。

- ・ 遺伝子を破壊され、マンガンを吸収しにくくなった稲が、今年の厳夏に世界中で見られているような気候危機の中で生き延びられるかには不安材料が大きく、全量転換はリスクが高すぎます。従来品種を作り続けることが大事です。

- ・ 今回の全量転換の理由となっているカドミウム汚染が残る地域は全国でもたった3%。重要なのはカドミウム汚染地をなくすことであり、汚染地域に対し、国が徹底調査と補償を行うことです。今回のあきたこまちRへの全量転換は、「米にさえ入らなければいい」という問題の矮小化の片棒を担ぐものとなってしまいます。低カドミウム米の栽培だけでは、地域のカドミウム汚染はそのまま残り、さらに下水汚泥肥料などによって、カドミウム汚

染が高まる可能性すら指摘されています。

- ・従来の「あきたこまち」を食べたいです。私の周りでも、あきたこまちを長年食べてきたファンが多く、「放射線育種を行なわないで」「遺伝子の鎖の破壊が行われたあきたこまちは不安で食べたくない」「あきたこまちブランド自体をもう買わない」という人は多いです。

- ・これまで世界で行われてきたガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっており、施設は閉鎖されています。しかも、今回使われているのは従来のガンマ線ではなく、はるかに強いエネルギーを集中的にあてる重イオンビームで、その安全性を裏付けるデータや実験は存在していません。加えて、ガンマ線照射された種の米「ばかりを」食べるようになった国はこれまで存在しません。いわば、臨床実験の行われていない薬のようなものです。日本民族の今後に大きく関わる問題です。拙速にすすめていい事案ではないと考えます。

これだけの大事を、消費者にも生産者にも情報が行き渡らない中で全量転換を決めてしまうことは、それ自体が大問題です。秋田県だけが先行して行うのは時期尚早です。農水省と農水省関係の学者・研究者の意見を鵜呑みにするのではなく、様々な専門家や生産者からの意見を聴いて、どうぞ議論の場を広げて下さい。なぜ世界ではガンマ線照射された種が広がらなかったのかには、理由があるはずです。検証して下さい。

- ・加えて、おそらく多くの生産者が知らないままになっている問題があります。放射線育種によって作られた「コシヒカリ環1号」やその後代交配種である「あきたこまちR」は、OsNramp5 という遺伝子が破壊されることで、生物の成長にとって欠かせないマンガンも吸収しにくくなっています。そのためこの品種は、ごま葉枯病になりやすいです（農水省も確認済み）。マンガンが豊富でない水田では、余計にマンガンを足してやらなければならなくなります。肥料や燃料費の高騰と人出不足に苦しむ生産者が、さらに重い負担を強いられます。このことを周知せずに全量転換を決めたのは、生産者さんたちに対してフェアではありません。周知の上、もう一度本当に必要な転換なのか、議論して下さい。

- ・カドミウム汚染は、低カドミウム米だけでは全く解決できません。低カドミウム米の施策の広がり、カドミウム汚染に苦しんできた地域への救済問題の矮小化に繋がり、政府や農水省の責任を回避させる手助けになります。同じ日本の国民として、カドミウムに苦しんできた地域の人々の助けにならない施策に手を貸さないで下さい。

- ・後々、日本国内外で上記のような健康被害や経済・人手不足の負担が起こった場合、この大転換を議論を尽くさず拙速に全国一番に行った、という意味で、秋田県議会は歴史に負の名前を残すことになりかねません。ただでさえ大きく減少している日本国の人々の健康は、良質な食べ物と環境で守られなければなりません。偏りのない幅広い専門家や生産者・関心の深い消費者を含めての再議論と決断を、どうぞよろしく願いいたします。

従来の「あきたこまち」は、日本国内外の人々に愛されてきた素晴らしいお米です。あきたこまちを生み出し広げてきた秋田県の皆さま、あきたこまちと日本の食を、どうぞ守ってください。

2-4847 【宮城県、40代】

「あきたこまちR」の使用、全量転換に反対です。

理由は、主に次のようなものです。よろしくおねがいたします。

1 放射線育種、特にイオンビーム使用は、遺伝子DNAの2本鎖を一挙に切断するので、従来のガンマ線育種より強烈であり、安全性は確証されていない。戻し交配だけでは、未知の物質、隠れた形質が除去されるという保証にはならない。

2 自然突然変異と人為突然変異（放射線育種による）は峻別すべきである。安易な同一視は科学的ではない。本来、自然界にはない高線量の電離放射線を使う、食品への放射線育種は行うべきではない。ましてや、主食のコメ（稲）に対する品種改良技術として使用すべきではない。これは、品種改良ではなく、改変、改悪である。

3 食の安全は、人類の長いあいだにわたる食文化により形成されたものである。放射線の発見、その利用という「核」利用を食べものに及ぼすことは、自然の摂理から逸脱するものであり、本来守るべき食の安全、安心、食と農の文化に反する。秋田県のように自然環境にめぐまれた豊かな米作地帯のおいしいコメどころという地域イメージをこそ、守るべきである。

4 主食のコメに対して、そうした遺伝子改変を起こした登録品種に全面転換していくという、2018年改訂の「コメ中のカドミウム低減のための実施方針」（農水省消費・安全局）の方針そのものが、そもそも間違った方向性を示したものである。しかも、全面転換を正当な裏付け・根拠がないまま説いている。例えば、カドミウム低減データでは試験栽培農地のカドミウム汚染程度の数値が公表されていない。秋田県は、自治権を発動して再考し「風評被害」などの理由で、全面的に全量転換することを直ちにやめるべきである。

5 「風評被害」と言うのであれば、「秋田県のあきたこまち」は「R」であるとして、避ける事態が起こるやもしれず、それこそ農家にとっても、秋田県産業、とりわけ稲作にとっても“風評”がそれにとどまらず、「実害」になる恐れが強い。県は、そのあたりのところまで考慮に入れて、転換を中止すべきである。

6 新品種で対応したいのであれば、岡山大学馬建鋒（ま・けんぼう）教授が2022年8月22日に同大学プレスリリースで発表した、インド古来のPokkaliから育種した遺伝子カドニウム／マンガンに関わるOsNRamp5が（「R」品種のように欠失したのではなく）重複している品種の可能性こそを探るべきである。高濃度汚染地域などで共同の栽培試験等を行い、こちらに切り替えるべきである。

7 6のOsNRamp5重複品種を使用する場合も、全量切り替えではなく、カドミウム高濃

度汚染地域のみでの使用とし、こうした登録品種、自家採種がむずかしい品種に全面転換すべきではない。

以上、よろしくご検討のほど、おねがいたします。

2-4848 【秋田市、30代】

放射線照射米を食べ続けるのは、遺伝子組み換え食品を食べること同様恐ろしいことだと思います。日本だけガン、アレルギー、突然死が先進国の中で右肩上がりなのを、食の問題を語らずには解決できません。照射米の表示義務がないことへも消費者への不親切さがとても感じられます。未来の子どもたちのため、これ以上の健康被害を出さないためにも、県民国民への広く情報提供と同意を得てから実施すべきだと思います。放射線照射米への全面切り替えに断固として反対します。

2-4849 【愛知県、50代】

絶対に反対です

なぜにそんなお米に転換されるのか？

秋田の農家さんにメリットがありますか？

私も含め、秋田のお米が購入できなくなります。

絶対にやめてください

2-4850 【秋田市、20代】

私はこれまで通りの製法で作った「あきたこまち」が食べたいです。

もともと秋田県ではカドミウム汚染指定地域は全体の約2%、カドミウム汚染が確認された米もその内の0.4%と非常に少ないです。カドミウム汚染米がごく一部の地域の、それも数%の割合しかないのに「あきたこまちR」への全面切替はゲノム編集の長期安全性が確認されていない現状から考えても、あまりに横暴ではないのでしょうか。そもそも国内産米のカドミウム汚染米はどれも基準値以下のはずです。少ない危険性のために、更に大きな危険性が潜んでいる方向に切り替えるのは得策ではないように思えます。

また、「あきたこまちR」はゲノム編集されたお米であるにも関わらず、表示義務がないためにそれを農家も消費者も知らないまま食べるのは恐ろしいです。仮にクローン病やアレルギーなどの健康被害が出た場合、誰が責任を取るのでしょうか。現時点で私の周りでも、カドミウム汚染米の危険性を知る人は誰もいません。私はたまたま知人から教えてもらって知りました。現在、全面切替以外の他の選択肢がない状況ですが、仮に他の選択肢ができて後になってから「全面切替を知らなかった人たちに健康被害が出たのは仕方ない」で済まされる問題ではありません。

更に、世界の有機農業界でも放射線米の販売は禁止されています。全面切替により市場に出回る米が全て放射線米になれば、農水省が有機米として日本での販売を許しても世界は認めないのではないのでしょうか。これにより、国内消費だけでなく、世界への輸出が減れば外貨が稼げなくなり、秋田県のみならず日本が貧困国になる危険性があります。

食の安全・経済への影響を考へても、「あきたこまちR」への全面切替は考へ直して頂きたいです。そもそも県民への周知が十分でない状況で、カドミウム米に全面切替を推し進める事も疑問に思います。更に、「これまで通りのあきたこまちが食べたい」という人たちへの選択の道が無いのは、「あきたこまちR」を強制されているのと同じではないのでしょうか。

ぜひとも全面切替はやめていただきたいです。何卒よろしくお願ひいたします。

2-4851 【東京都、40代】

放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」へ変わったらもう購入しません。他の品種でも放射線育種後代交配種へ変更するお米はもう購入しません。すべてにおいて規制やルールを施行するのは米農家への廃業に繋がります。また安全なお米を農作物を農家に作らせないのは、秋田県議会は何かとの癒着があるとしか思えません。放射線育種後代交配種への変更を反対し、不買します。

2-4852 【由利本荘市、40代】

当然、いの一に秋田県がやることではない、時期尚早だと考へます。

カドミウム汚染対策、それが一番の問題なのですか？土壌汚染対策はそれほど不可能なことなのですか？土壌汚染対策の方が先だと思うのですが・・・。

元々人間に悪影響を及ぼす放射線によって人為的に遺伝子操作をしてそれでできたものを食べて何が起きてくるのかわかるのは10年後20年後であると聞いています。

けれど、何が起きてても直接的な因果関係はわからないだろうしわかったところで手遅れになることは明白です。

これほど医療が進歩しても病人が減らない、病気になる原因がわからないことが証明しているではないですか。

リスクもはっきりしないうちに、というよりリスクがわかったとしても大々的に公表もせず密かにことを進めることに反対だし、将来を生きる人たちに対して無責任なので日本で一番最初に秋田県がやらないでほしい。

どうしてもやらないといけないことなのですか？本当にそれしかないのですか？それが正しいとどうして言えるのですか？風評被害を恐れるのに。

このままだまって進めていってしまつてはただのモルモットのように秋田県民として悲

しすぎます。

どうか、どうか、秋田県を守る方法をこんなことではなくもっと世界に目を向けてより沢山のその道のスペシャリストの方々の意見を聞き検討して頂きたいと切に願います。

それでも一人でも不安を感じることに舵を切ろうとしたならば勇気を持って疑問をぶつけ徹底的に議論をして頂きたいしそれが県民を裏切らない対応であると信じます。

2-4853 【埼玉県、40代】

絶対的に転換は取りやめていただきたいです。

日本の大切な伝統的なお米。

日本が世界に誇る米ブランドが、汚されようとしているとしか思えない。

カドミウムを吸収しない米に切り替えることのメリットなどよりも、はるかに大きなデメリットとリスクが明らかに予想できます。

カドミウムが吸収できないような品種改良に伴い、マンガンも吸収できない米になることが

実験で明らかになっています。

マンガンは受胎に大切なミネラルです。これを人間が吸収できないことが何を指すか。

そのほかにもミネラルを吸収できない作物をあえて、政策主導で国民に摂らせるということは、

国民を不健康にし、人口削減に加担しているにほかなりません。

そういった闇の力に屈して、大した議論も正当な手順も踏まずに、水面下で強制的にこういったことを決めるということ自体が大問題だと、行政が強く認識し、

国がおかしな政策を言いつけようものなら、地方自治のチカラでこれは阻止していただきたい。

阻止する義務があると思います。それが県民の為の県の行政としてのありかたです。

他県の間人ですが、そもそも日本ブランドのあきたこまちをその生産県がおかしなことにしようとしている点

に腹立たしく、強く意見させていただきます。

2-4854 【埼玉県、70代】

カドミウム除去を名ばかりに、マンガンを減らし、流産、人口削減に繋がる放射育種法に反対します。

2-4855 【埼玉県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

理由といたしまして、

・不自然に手を加えた米を食べたくありません。

そのお米を10年20年食べ続けた場合の身体への影響はまだ分かりません。子どもにも食べさせたくありません。

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

関連情報

あきたこまちRにももの申す！

<https://project.inyaku.net/archives/9357>

どうぞよろしくお願ひいたします。

2-4856 【東京都、70代】

許せない

2-4857 【滋賀県、30代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

2-4858 【愛媛県、50代】

秋田県出身で県外で長らく生活していますが、秋田県産のこまちが一番おいしいとずっと食べ続けて応援してきました。

「あきたこまちR」という放射線育種米に変えていこうというニュースに、憤りを感じます。

安全性がかなり疑わしい、遺伝子組み換えによる栄養素の破壊、カドミウム汚染にこっそりすり替え・・・

このような米を、県議の子供や孫たちに、平気で食べさせることができますか？他人なら関係ないのでしょか？

全くもって、今回のワクチン接種被害と同じ構造ではないですか？

秋田は日本の米どころ。消費者が安心して口にできるお米作りを望みますし、できないなら不買しますし、秋田の日本の米作りのいよいよ終焉ですね。

2-4859 【奈良県、40代】

なぜ全量転換するのですか？自家採種も許さないなど、なぜそんな傲慢なやり方をされるのですか？この政策を推し進めているかたは、こどもや孫に誇りを持って自分の仕事内容を言えますか？全国に向けてこういう事を秋田県ではやりますとテレビで顔と名前を出して是非発表されてください。

2-4860 【東京都、50代】

妻が秋田出身なのであきたこまちを選んだり、親戚の方が送ってくださります。

この素晴らしいお米「あきたこまち」が100年先の子どもたちも安心して食べられるように

真剣に考えて頂けると嬉しいです。

低カドミウム米と解決方法いかななものでしょうか？

むしろカドミウム残さない方針に振り切らないとならないと思います。

大好きな県、秋田の汚点にならぬようよろしくお願いします！

2-4861 【茨城県、50代】

今年、みつひかりが契約していた農家に種籾に問題があったため販売出来ず、農家は種籾を買えなくなり、しかもセットで契約の農薬などだけ買わされ農家はひどいダメージを受けました。まず、県内一種類に全量転換など近年の異常な天候や種籾の供給元の事故など考えればありえません。問題が発生した時全滅します。多種類の米ならばそれぞれの特徴で強い環境弱い環境があり補完できますが、一度のダメージで全滅しかねない農業政策など無能の極みです。本当に農家の事を考えていますか？

そして放射線育種米のデメリットはまだ、確認されていない未知のものです。問題が確認された時全量転換では秋田県のお米全てが流通出来なくなり、農家は死活問題です。全量転換をぜひ考え直していただきたい。お願いいたします。

2-4862 【宮崎県、50代】

絶対に反対です。

高校生の頃から実母の勧めで「あきたこまち」を食べてきました。

美味しく頂いていました。

高校の時「魁星旗剣道大会」で秋田県を訪れた時もお米が美味しくて楽しみでした。

そんな米所を消し去るような決断をしないでください。
放射線によって作り変えられたお米を誰が喜んで食べますか？
秋田県の議員さんのお子さん、お孫さんに食べさせられますか？
秋田県の米を買われなくなり、秋田県の農家さんはどうなりますか？
もっともっとよく考えてください。
秋田県のお米の美味しさへの誇りを捨てないでください。
今一度、この提案に関して考え直してください。
お願いします。

2-4863 【宮城県、50代】

自然には存在しない食物は口にしたくありません。どうか一人の人間として自分の子供に食べさせられるものを後世に残してください。取り返しのつかないことになる前にもう一度考えてください、お願いいたします。

2-4864 【愛媛県、60代】

秋田県はこの「あきたこまち」を2025年から放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に全量転換することを決定したと聞きました。「あきたこまち」だけでなく、他の秋田県が提供しているすべての品種が放射線育種後代交配種に代えられようとしており、また、これは秋田県に限られず、日本全ての都道府県でやることを農水省は計画しており、このままでは秋田県のお米のほとんどが放射線育種米になってしまうということ。そして、これらには遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されるということで、日本のお米はすべて自家採種禁止となってしまうということ。

この放射線育種の目的は人体に有害なカドミウムを吸収しにくいお米を作ることだと聞きました。ある遺伝子が放射線で壊されカドミウムをほとんど吸収しなくなったお米ができたと聞きました。しかし、壊していい遺伝子などなく、この壊された遺伝子には実際には稲の成長にも子どもの成育にも重要なマンガンを吸収する上で役立っている遺伝子だということ。それが壊されるためにマンガンを吸収しにくいお米になっており、ごま葉枯病などの病気になりやすいことがわかっていますし、ミネラル不足のお米になることも不安材料だということ。

カドミウム汚染地域は全体の3%未満ですが、汚染地域だけでなく、すべての水田で同じお米を作るべきという方針が作られたそうです。汚染地域だけで作れば「風評被害」が生まれるからだということ。でもこの「あきたこまちR」や「コシヒカリ環1号」はカドミウムをほとんど吸わないので、地域のカドミウム汚染を減らすことには役に立たないということ。また、すべての農家にマンガン不足にならないようにマンガンを追加するという新たな負担が課されることになるという。

これは日本の農と食に多大な影響を与えざるをえません。ですので、秋田県が突出して転換を進めてしまえば、追従する動きが必ず出てくるでしょう。その意味でも秋田県の動きをいったん止めて、慎重な検討をしていただけませんか。

一旦このような問題のある放射線育種のお米を作ってしまう、問題が出て来てから全部処分しようとしてもそれはもう不可能です。

どうかよろしく願いいたします。

2-4865 【静岡県、30代】

今まで、あきたこまちを購入しておりましたが、もう購入できなくなります。日本の安全なお米を守ってください！！

2-4866 【長野県、60代】

私は日本のお米を放射線育種後代交配種のあきたこまちRに変えることに強く反対します。

2-4867 【大阪府、70代】

あきたこまちをいつも頂いている者です。

今回あきたこまちが放射線育成米に変わるかもしれないと知って驚いています。

古来から食を発展させてはきましたが、何も放射線まで使い不安な気持ちにさせることではないと思います。不買運動をしても他の日本人が買うことになれば健康被害の心配は無くなりません。もう少し日本の農業を大切にしていきたいと思います。

2-4868 【佐賀県、30代】

0歳と4歳、子育て中です。

義実家は農家です。

日本のおいしいお米を代表する秋田県だからこそ、食の安全について、今一度慎重にご判断いただきたいです。

2-4869 【静岡県、50代】

近年「あきたこまち」の玄米もスーパーで購入して食べており、美味しいお米だと思っている「あきたこまち」のファンの1人として意見をさせていただきます。私自身も農業法人に勤めており米づくりにも携わっておりますが、秋田県の友人より、秋田県が品種「あきたこまち」の作付けを全量「あきたこまちR」に変換する方針を聞き、大変驚いております。

すとともに、農家ですのでいろいろ調べまして、かなり問題がある決定で、秋田県民にとってもそうですが、日本国民全体にとっても、大きな問題であると考え。意見させていただきます。

ドキュメンタリー映画「食の安全を守る人々」でも登場されている分子生物学者の河田昌東さんの講演を6月3日にオンラインで聞きましたが、「あきたこまちR」は、自然な「コシヒカリ」の品種を重イオンビーム（放射線）で一部の遺伝子を破壊、欠損させた「コシヒカリ環1号」をもとに、戻し交配、後代交配を繰り返して、その欠陥遺伝子を受け継ぐ形で開発されているときいています。「コシヒカリ環1号」やそれを各地のコメ主要銘柄とかけあわせて各都道府県で開発されている「あきたこまちR」などの品種は、その遺伝子を破壊することでカドミウムを吸収しないという特性はありますが、同時に人体にとっても必須で重要となるマンガンが吸収できなくなるという欠陥遺伝子品種です。

マンガンは不足すると家畜でも不妊になるそうです。もちろん人間にとっても必須ミネラルです。つまりこの栄養素が不足するコメというのは欠陥品種です。それを補うために各農家がマンガン含有のたい肥もあらたに購入しなくてはいけなくなるのでしょうか。これもおかしな話です。

河田昌東さんも説明されていましたが、一遺伝子の役割には1つの機能しかないわけではないようです。1つの遺伝子が様々な機能をかけもちしています。それを破壊することのリスクも今日の科学では十分解明できていません。1つの遺伝子を破壊することで他にも様々な自然の米の機能が損なわれている可能性もあります。一方で河田昌東さんによれば、岡山大の馬教授が研究し開発、紹介しているインド ケララ州で3千年にわたり栽培されているPOKKALIというコメの品種では、コシヒカリなど日本のコメとの交配にもうまくいっているそうです。重イオンビームでコシヒカリ環1号では破壊した遺伝子を、逆にPokkaliでは進化の過程でその遺伝子を自然は2重にダブらせて遺伝子を進化させています。このPOKKALIという品種は、カドミウムは根に吸収するが実（もみ）まではいかない。マンガンもしっかり吸収するという特性があるそうです。この品種を栽培すればカドミウム汚染地区で稲を栽培し、カドミウムを含んだ根の部分を水田から取り除く取り組みを行えば水田のカドミウム汚染もきれいになっていきます。しかし「あきたこまちR」の栽培では水田の土壌汚染の改善、公害対策、土地改良は進みません。

もともとカドミウム汚染は、汚染元の鉱山鉱業が公害対策を怠り、公害企業の責任を国が放置してきたことが問題だったので、本来国が対処しなければならない問題です。しかしその汚染が放置され、その尻拭いを都道府県側や農家に押し付けているという構造が大きな問題ではないかと思えます。

あきたこまちRなど政府、農林水産省が進めている低カドミウム米対策自体に大きな問題があり、そこから修正が必要なのだと思います。秋田県だけでなく各都府県の主要銘柄と遺伝子を欠損させた「コシヒカリ環1号」とをかけあわせた不自然な米の品種を既に2

00種も開発済のようで。政府が秋田県だけでなく全国のコメを欠陥品種に変えていこうという方針が国民にとって大問題だと思います。秋田県がその先鋒にさせられている構造なのだと思います。

秋田県自体も、今回は板ばさみなので、大変なご苦労だと思います。しかし政府が決めておりにきた政策自体が県民や日本国民にとって県の利益、県民の利益を損ねる道理が通らない場合には、やはり県と県民の利益を守るために、県議会が問題自体の全体像を明らかにし、推進に待ったをかけ、本当にその施策が秋田県の住民、農家にとってそのまま実施してよいものなのかをしっかりと議論しなければならないのではと思います。

遺伝子を放射線で破壊して育種した品種はたとえ日本政府が有機同等、オーガニックと認める基準をつくったとしてもヨーロッパなど海外ではオーガニックと受け入れられることはないと思います。ということは「あきたこまちR」に全量変換してしまうと、今後、「あきたこまちR」を主に栽培する秋田の農家のコメが世界基準のオーガニックと認められる可能性すら閉ざしてしまうことになりかねません。

また「あきたこまち」は日本を代表する、日本が誇るべき美味しいお米ですので、それが、放射線による遺伝子欠損品種になってしまうことは、多くのあきたこまちを愛する日本国民にとっても大変悲しいことだと思います。

さらにカドミウム対策では、政府は下水汚泥の有効利用と称してカドミウムにも汚染されている下水汚泥肥料をリン酸カリを多く含むからと田畑に入れて行こうという政策も推進しています。影響はないレベルだと宣伝されていますが、田畑のカドミウム含有量が増えていくことにつながります。さらに日本稲作研究所の印鑰智哉さんも指摘していますが、先行して、下水汚泥を畑に投入した米国では、下水汚泥にはフッ素化合物PFASが含まれているので、取り返しのつかない農地汚染を引き起こし、州によっては、下水汚泥肥料の使用を禁止する州もでてきたと聞いております。こうした本末転倒のカドミウム汚染対策には先祖代々秋田の人たちが受け継いできた大切な農地、その土壌を汚染から守るためにも県議会としてもチェックしていく必要があるのではないのでしょうか。

「あきたこまちR」への全量転換という方針について、先祖代々、秋田県が米作りで自然な品種を栽培して築いてきたコメづくり農業県として信頼のあきたブランド、そしてその結晶である「あきたこまち」ブランドも貶めることになりかねませんので、心ある県議会議員の皆様、どうかこの問題の全体像を県議会でもしっかりとチェックされ、方針の見直しを含め検討いただきますよう、切にお願いいたします。

2-4870 【大阪府、40代】

【県議会への意見】

全量転換をストップしてください。

私は食物アレルギーでアナフィラシーショックの経験があります。そのアレルギーを無

農薬のお米・野菜に切り替えて、治すことができました。風邪をひくこともめったになく、病気にならないので病院に行かずかかりつけ医もひ必要ありません。ミネラル不足が病気・体調不良の大きな原因と訴えている科学者がいます。食物からミネラルを減らすことは、日本人の健康に大きく影響します。子供の育成・発達も同様です。

農家をどうか守って下さい。

私は大地震を経験していますが、そのような時に1番重要なのは食べ物です。

スマホや車があっても、生き続けることはできません。

高齢ながらも一生懸命に暑い中も農作業して作って下さってる農家をどうか保護してください。

自家採取ができないようにすることで、農家にメリットはあるのでしょうか？

ガソリンや資材が高騰している中、それはデメリットにまたなってしまうでしょう。

どうか日本の未来のためにも、今一度お考え直し下さい。

宜しくお願い致します。

2-4871 【岐阜県、30代】

「あきたこまち」からの全面切り替えに反対します！

私は岐阜県在住ですが、以前からお米は「あきたこまち」を選んで食べています。

あきたこまちはとても美味しいお米だと思います！

Rのような放射線で遺伝子を破壊されたお米は、はたして安全なのかとても不安です。

秋田県の一部地域のカドミウム汚染は、低カドミウム米で解決できるわけではないですし、

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなったRの稲が、この気候変動に中、問題なく成育できるのか？

また遺伝子を破壊されたお米を食べて、私たちの健康に問題はないのか？

と心配になります。

もし全量転換したら、私はあきたこまちRは選ばないと思います。

従来なあきたこまちな品種を作り続けてください！

2-4872 【長野県、30代】

ただただ止めるべきという意見しかありません。

考えなくてもわかること。

地球にも人間にも動物にも全てによくありません。

やめてください。

2-4873 【神奈川県、50代】

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

2-4874 【新潟県、40代】

あきたこまち」から全面切替に反対します。

「あきたこまち」は日本中で愛され31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。実際に、石川県では放射線育苗の「コシヒカリ環1号」はうまくいっていません。

従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。安全の根拠となるデータがない米を子ども達には食べさせたくありません。消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けていただきたい。カドミウム汚染地域の農家は被害者で、企業と国策として進めた国が補償するべきもの。カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。秋田県から全国に放射線育苗米が広がってしまうことも非常に心配です。

2-4875 【群馬県、20代未満】

あれだけ放射線の危険を全国民に知れ渡っているのに、どうして全面的に転換するという案が出るのでしょうか？安全でなくても安全と謳って秋田から全国的にこのようなことが広がるとすると、健康被害など沢山出ると思います。子どもたちが口にするものがこのような危ないものになってしまうのは辛いです。「あきたこまちR」への全量転換に断固として反対です。

2-4876 【千葉県、50代】

ご意見失礼致します。

「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換を反対します。

せめて再検討の余地は有るかと公開されている情報見て思っております。

カドミウムより、放射線照射の方が長期的に見て問題有りそうな気するのですが、直ちに影響無いと言うだけで転換図るので有れば、消費者として不安です。

また、これまで通り気候変動に耐えられるのかも情報読む限り見えて来ないので、その長期的な記録も足りてないのではと思います。

自然界の放射線ならともかく、人工放射線に良いイメージ有りません。秋田県を皮切りに何れは全国でも転換の見通しな様ですので慎重に協議して頂きたいと思いご意見送らせて頂きました。

どうか短期的安易な理由で転換に乗らず、長期的な未来見据えての議論をお願いします

2-4877 【大阪府、50代】

私はあきたこまちのお米が大好きです

あきたこまちに放射線をあてて遺伝子変異をさせる

あきたこまちRの全量転換をしないでください

お願いします

そんな歪な米を今まで私達は食べた事がないのです

本当にやめて下さい

お願いします

2-4878 【石川県、40代】

県外から失礼します。

SNSを通じてあきたこまちの放射線育苗種のことを知りましたので、投稿させていただきました。

結論から申しますと、「あきたこまちR」への転換は踏みとどまっていたきたいと強く思っています。

メリットのために開発されたものかもしれませんが、その結果でできたものは、メリットよりも、長期間に渡るデメリットが上回るものだと思うからです。

例えば、種を採集できないことで、食料安全保障に関して脆弱になるであろうこと。

これは、安全保障の観点以外でも、特許を取得していることなどからも農業に携わる方々の自主性、やりがいを奪う可能性があり、地域の農業活動に長期的に与える影響が大きいと感じています。

例えば、ある種の重金属を吸収しなくなったと同時に、子どもの健全な育成のために必要な栄養素も吸収されないこと。そうすると、その栄養素を補うための措置が新たに必要となること。

これらのことだけでも、転換は踏みとどまるに十分な理由があると思います。

安心して暮らせる地域の先駆けとして、どうぞご検討をお願いいたします。

2-4879 【大阪府、50代】

消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

絶対反対。

2-4880 【埼玉県、60代】

品種改良の方法にはいろいろあると思いますが、放射線照射により遺伝子変異を起こす方法で改良した「あきたこまちR」は導入しないでください。放射線が遺伝子変異を起こすことは周知のことです。その照射が、都合よく1遺伝子にのみ変異を起こすはずがありません。変異された「米」を常食し、人間の体内に入ってから栄養機序が、古来からの米のそれと同じであるか、誰も、何も、検証されていません。そんな、不確かな食べ物を、しかも県内で全量栽培へ進むなど、ありえません。議会のみなさまも実験台です。いわんや、子どもに実験をして、何を得たいのでしょうか？

秋田県は子供の教育に熱心で、子どもたちの学力も高いとうかがっています。これからの子どもたちを育てていくために「有機栽培食品」は大変効果が高いことがわかっています。有機農業をすすめていく点でも、この品種が使われることは「有機」と認められなくなる可能性があります。秋田県が有機農業を目指すことにも期待したい。

「あきたこまちR」の全量転換は反対します。

2-4881 【千葉県、50代】

何故切り替えるのか全く理解出来ません！

従来の貴重で美味しい秋田こまちを残すべきです！

遺伝子操作された米は、私達や子供達への将来的は未知数です！

遺伝子組み換え等という、安全性に疑問の残る（しかも高い確率で！！）ものは買いません！！

日本人の主食、基本であるお米であり、しかも美味しく素晴らしいブランドである秋田こまちを台無しにする政策はおかしく、狂っているとしか思えません！！

2-4882 【東京都、60代】

放射線育種米など食べたくありません

遺伝子を放射線照射で変性された異常な育種は形は米のようなものでも実態は何か別のものになっていることは確実であり、

すでに遺伝子組み換え種もが問題になっていますが、あきたこまちRも同じことになると思われます。将来の食の安全に禍根を残すこの案には絶対反対します。少なくとも、個人的に今後あきたこまちの米は買わないし、売れなくなるでしょう。

2-4883 【熊本県、30代】

なぜ、強制するのでしょうか？選択権はないのでしょうか？
どうして、大人が子どもたちの選択肢を減らしていくのでしょうか？
環境が壊れても地球はなくなりません。いなくなるのは人類だけです。

2-4884 【東京都、50代】

管理栄養士として働いています。
食の安全は、栄養バランス以上に深刻な影響を人体や環境に与えると考えています。
秋田県は日本の重要な米どころであり、そこで穫れるすべての品種が放射線育種後代交配種になってしまうとのこと。全てを変えるというのは違和感を感じます。
そして、遺伝子特許が取られており、自家採種もすべて禁止されるということは、食の多様性に反する行為ではないでしょうか？
栄養士として国民にもっと食の安全、安定確保へ深い関心を持つように啓発していきたいと感じます。
安全性については、慎重に検討し、判りやすいデータで示して頂きたいです。

2-4885 【長野県、50代】

これは後ろに、アメリカがいるのでは？という案件です。日本政府が言っている日本
政府は
アメリカの子分なので、アメリカの[日本人の人口を減らせ]という命令には基本として
逆らえな
い。なぜアメリカの提案と思うかという、アメリカ人のビル・ゲイツはこれとそっくり
同じ
ことをアフリカでかつてしたからです。 [より凶作に強い小麦を作る]と言って遺
伝子組換え
の小麦を作り、それ以外撒くのを禁止。しかも自家採種禁止にして、毎年種米を農家に
買わせ、

それだけでも莫大な利益を得る。それは生命に危険を及ぼし得る未知の食物でありそれを取る

人には栄養的に不能であるだけでなく、未知の危険にさらす。天が作ったものではないのだから

…。結局、そのアフリカの土地は饑饉に陥り経済的に破壊され、なにより遺伝子組み換え種の

完全な排除が困難になってしまった。意図的に起こされた大破壊だ。

カドミウムを減らすなら、米を完全に精米せず、もっと繊維質を残して口に入っても排泄させる等の工夫から試すべきだ。

今まであつたぐらいのカドミウム減らすというのなら幼児の予防接種に保存料として添加されてる

水銀をせめて欧米なみに減らすべきだ。近年日本人に急増している発達障害の原因といわれている。

2-4886 【東京都、30代】

せめて、放射線育種されたものから育ったお米かどうかを消費者が知り、選択できる余地を残してほしいです。

そして、長い目で見て米農家の方たちの負担が少なく、また、望んでいる方向へ改革していったことを一消費者として願います。

2-4887 【広島県、60代】

あきたこまち R への転換は反対です

秋田の農家さんから無農薬米を送って頂いていた時期もあり、

冷めても美味しいあきたこまち米のファンです

農家さんたちが苦勞して守って来られた

国土に合った従来種を大切に残して下さいませよう

お願い致します。

2-4888 【北海道、70代】

何十年にも渡り、現代生物学の DNA エンジニアリングを使って米国で生み出された新種の可能性があります。

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまち R」に変えることに対して強く反対します。

2-4889 【愛知県、30代】

私は、「あきたこまち」から全面切替に反対します。

放射線育種後代交配種への切り替えは絶対にしないでください。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。

その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。

・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば

日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で

全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。

カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4890 【神奈川県、40代】

私は、これからも従来のあきたこまちを食べたいと思っています。Rは購入したくありません。

理由は、遺伝子を放射線で破壊して作られる放射線育種米を体内に取り入れたくないからです。

今後、農家にも放射線育種の有無は知らされない、また、消費者にもその旨の商品表示がなされない形で流通する、と理解していますが、そうなると、消費者として、放射線育種の米を避ける、ということが不可能です。

これは食品表示法違反ではないのでしょうか。

また、食料自給率の低下を国の課題と考え、自給率を高めていこうというフェーズにおいて、この施策は多大な悪影響ではないのでしょうか？

遺伝子を破壊した品種は、マンガンを吸収しにくくなっており、ごま葉枯病などの病気になりやすく、また、破壊した遺伝子は稲の成長に役立っている遺伝子だと聞いています。

遺伝子を破壊した品種は、現在進行形で、どんどん酷くなっている異常気象に耐えられ

るでしょうか。

さまざまな観点から、情報を精査し、慎重に議論し検討しないまま、全量転換という大胆な決断がなぜできるのでしょうか。消費者にも生産者にもほとんど情報がないなかで、全量転換を決定したことは、問題だと考えます。

是非、日本の農と食の未来のために、国や県のロードマップを県議会でも質していただきたいです。

2-4891 【神奈川県、60代】

人が死ぬ 放射線量の数十倍の放射線を放射して、
遺伝子の突然変異を起こさせる、と聞きました。

安全性について とても不安です。

日本のゲノム編集に対する規制はアメリカや
欧州に比べて、ゆるいとのこと。

日本人が実験台になっている、という話も聞きました。

また他の作物との交雑も心配です。

交雑により作物が脆弱になります。

そのために また更に化学肥料や農薬を使うこと
になるのではないのでしょうか。

カドミウムの吸収を抑えると、他の健康に良い
ミネラルの吸収も抑えられてしまいます。

カドミウム問題を 安全性が不安な ゲノム編集の
放射線米で解決するのは本末転倒だと思います。

お米は大事な日本人の主食です。

どのような経緯で、また圧力があるのか、
知りませんが、日本人の大切なお米を
守って、日本人の健康を守ってほしいです。

あきたこまち R 断固として反対します。

日本の代表する米どころ 秋田県として
もっとお米を大事にしてほしいです。

2-4892 【東京都、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
 - ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
 - ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
 - ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
 - ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4893 【東京都、40代】

秋田県と言ったらあきたこまちです。

我が家も今までおいしく頂いてきました。

そのブランド米、あきたこまちをわざわざ放射線育種後代交配種に転換するのには反対です。

カドミウム汚染による風評被害も何も、放射線を当てる方がよっぽどイメージダウンです。

毎日食べるお米となると、レントゲン被爆などとは全く話が異なります。

申し訳ありませんが、正直食べたくはありません。

そもそも「あきたこまちR」はカドミウムをほとんど吸わないそうですね。

今までうまくいっていた米作りにわざわざ放射線を当てる必要はないのではないですか？

自家採種禁止で食料難をどう乗り切るのでしょうか。

放射線育種の有無は農家さんにも知らされないとのこと。

転換された場合は、転換しない産地のお米を買わせていただきます。

そして何よりこんなに大事なことが、大して話題になっていないことが大問題であり、国民皆で考えることなのに周知が足りていないと思います。

多くが矛盾だらけのように思えます。

どうか秋田県ご自身のために、農家さんや消費者のために、「あきたこまち」のために、もう一度ご検討をよろしくお願い致します。

2-4894 【新潟県、50代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるの
か不安があります。従来品種を作り続けることが大事だと思います。

消費者にも生産者にも、ほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問
題だと思います。期間を延期し、議論する場を設けるべきです。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を
代表するお米になったのです。

Rではなく従来品種の「あきたこまち」を…

「あきたこまち」を守ってください。

2-4895 【岩手県、50代】

あきたこまちR米の、長期的な人体への影響がどうなのかとても不安です。安全性に欠
けていて、不安があります。農家さんの負担も今以上となれば、百害あって一利なしでは
ないでしょうか

。今一度、考え直して頂きたいです。

2-4896 【神奈川県、60代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本
を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びる
か不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。

・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があ
り、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。

・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問
題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さ
ないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

以上、OK シードプロジェクトさん意見に全面的に賛成するので、引用文を載せさせていただきました。

2-4897 【兵庫県、40代】

あきたこまちRはカドミウムを吸収しにくくすることですが、他の微量元素も吸収しにくくなり、栄養価が低下する恐れがあると聞いております。また、もともと海のもの食べてきた海洋民族である日本人は、カドミウムの摂取許容量が高いとも聞きます。急いで全量転換するのはなぜなのか、疑問に思います。遺伝子を壊したり形を変えたりすることに抵抗がある人は少なくないと思いますが、なぜか議論もなく遺伝子組み換え食品をいつのまにか食べさせられている現状があります。本来は十分に議論がなされた上で、わかりやすく表示がされたものを消費者が選べるというのが筋ですが、そうなっていません。日本人の主食である米の作付け転換は慎重であるべきです。全量転換にはもちろん反対ですが、部分的な転換であってもそのうちなし崩しになる恐れがあります。あきたこまちRの作付け転換に反対します。

2-4898 【長野県、60代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種
のあきたこまちRに変える事に反対します。

2-4899 【東京都、40代】

遺伝子破壊された食べ物は未知のものであるが、長期間に渡る検証結果などをみてからまず検討するというのが当たり前の流れ。欧州の基準が厳しいのに反し、日本が率先して人体実験をしているとしか思えない。その先鋒となるのは断じて反対する。万一、このまま推進して、その後悪いことが判明した場合、取り返しがつかない。

2-4900 【神奈川県、20代】

県議会への意見

あきたこまちRへ変えることは大反対です。

安全性も分からない、

人が死ぬ何倍もの放射線を当てたお米を食べたくありません。

あきたこまちは買わなきゃいいやとも思いましたが、

風によってその種がまかれてしまって古来種と受粉してしまう可能性もあると

いうことで、絶対に育てて欲しくないと思いました。

カドニウムが危険？だから吸収しにくいから良い？

そしたら他のミネラルはどうなるんでしょうか。

そのお米には栄養があるのでしょうか。

私は買いたいと思いませんし、
家族にも、周りにも買うのを勧めません。
もう一度考え直してほしいです。

2-4901 【滋賀県、50代】

「私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します。

現代生物学を勉強していないと、この種の米が「単なる放射線によって生み出された新種」のように感じるかも知れません。

しかしながら、それとは異なり、何十年にも渡り、現代生物学のDNAエンジニアリングを使って米国で生み出された新種の可能性があります。

この種には多くの遺伝子組換えが施されている可能性があり、

(あ) F1種子であること、

(い) 不妊遺伝子や様々なDNA変異が施されている、

等々の有害な遺伝子変化が秘密裏に行われている可能性があります。

「あきたこまちR」に変える前に、この種でできたお米を、マウスに与えて安全性を確認したデータを県民、及び、日本国民に公表すべきです。

上記不妊遺伝子やSV40癌誘発遺伝子が組込まれている場合、風評被害では無く、完全な毒物米となります。

それでも、秋田県は、「あきたこまちR」を推進する予定なののでしょうか？

2-4902 【埼玉県、40代】

あきたこまちRの導入に反対です。

安全性が確保されているとは思えません。埼玉県民ですが、秋田県で導入されてしまった場合は全国的に広がる問題に発展すると思います。

2-4903 【大阪府、60代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。60何年もの間私たち夫婦は国産白米や玄米をほぼ毎食食べてきましたが、イタイタイ病になんかなりませんでしたし、親族、友人、知人の誰もなっていない。放射線照射による遺伝子の書き換えをすると、私なりに調査した結果、人間の健康に悪影響を及ぼすという学者、科学者の意見が沢山出てきました。

政府や企業から献金や研究費などもらっていない人たちです。日本は世界に誇れる米を作っています。健康被害がでたら国は責任を取らなければなりません。また一度遺伝子をいじってしまうと、もう元には戻せません。世界では遺伝子組換えは健康への影響があるとして禁止されています。どうかやめてください。

2-4904 【東京都、30代】

今までの米が良いです。放射線育種は絶対に買いませんし友人にも家族にも気をつけるよう警告します。

どうか在来種を守ってください。

カドミウムの土壌汚染の改良で解決してください。

遺伝子破壊により予期せぬことは必ず起きますし、多様な種が存続することこそが食を守ることになります。

2-4905 【兵庫県、50代】

あきたこまちは、今まで通り安全に食べたいです。

あきたこまちRへの転換を反対します！

2-4906 【大阪府、50代】

「あきたこまちR」への全量転換なんて必要なんですか？

今までのあきたこまちで十分美味しいのに

放射線育種米なんて食べたくないです！

反対です！よろしくお願いしますm(._.)m

2-4907 【石川県、70代】

これを聞いてとても残念に思いました。石川県も米どころだけど、石川県で放射線当てたお米でてきたら即買いません。青森りんごの会の中で、秋田のお米も扱っているの、食べたことがあります。あきたこまちとても美味しいのだけど、放射線当てたのは食べたくないですね。秋田で作るお米不買運動にかかって売れなくなってしまうと思います。

自分の首を絞めるようで、農家さんが可哀想です。

2-4908 【愛知県、50代】

遺伝子操作していない自然なままのあきたこまちを護って欲しい。遺伝子操作された米なら買わないです。よろしくお願いします。

2-4909 【千葉県、40代】

お米が好きな一人として、あきたこまちからあきたこまちRへの切替に反対します。理由は人為的に遺伝子操作された稲の危険性を否定できないからです。このお米を食べた人が被った健康被害は秋田県が補償してくれるのでしょうか。

日本でお米は毎日たべます。他の野菜に比べても極端に摂取量が多いです。(5人家族で1ヶ月で小松菜を20kg食べる家族は居ませんが、お米20kgは普通に消費します)蓄積する毒性(危険性)については特にしっかりと検証して議論すべき、命に係わる問題だと考えております。

2-4910 【大阪府、30代】

県外からの意見となり恐れ入ります。

私は「あきたこまち」から「あきたこまちR」への全量転換に反対いたします。

反対理由は下記となります。

・遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候変動が起こっていくであろう未来へ

生き残っていくか不安です。従来品種を作り続けることが大事だと思います。

・風評被害が起きる懸念があるからということなら全国一斉にやるのが普通だと思います。

それを秋田県だけで行なうのは時期尚早であり、実験に利用されているとしか思えません。

・カドミウム汚染は低カドミウム米を作れば解決ということにはなりません。

カドミウムで汚染された地域の浄化、根底から見直すことが大事ではないでしょうか。

・ガンマ線照射による放射線育種は世界ではほぼ終わっており、施設は閉鎖されています。

これがなぜなのか調べた上で実施されるのでしょうか。

・今回照射されているのはガンマ線ではなく重イオンビームだと調べて分かりました。

安全性は不明でデータや実験は存在しないみたいですが、本当にこのまま勧めていいのでしょうか。

(新型コロナワクチンにおいても国は安全性が確立されていないものを国民に提供し続けているため、安全性不明のまま進める行為が信用出来ません。)

・農水省では放射線育種も有機認証できるとしているが

EUでは種苗に放射線をかけることはNGとしているため、EUや世界で放射線育種が認められることはないと思います。

海外での評価にも影響するのではないのでしょうか。

・有機米を購入する人は安全・環境にたいする取り組みに賛同し購入しています。

その気持を脅かすようなことはしてほしくないです。

・国民はモルモットではありません。放射線育種米を食べて人間の体がどうなるかわからない以上

簡単に全量転換させるなどやめていただきたいです。

・放射線育種米を作るのであればまずはその安全性を議員様方が自ら積極的に取り入れ5年後、10年後、20年後の体の変化をデータとして取っていただきたいです。

遺伝子組換え米を作る前に、カドミウム汚染地域での汚染調査・被害者の救済、汚染しない対策を

国や県としては考えるべきだと思います。根本を解決せず安全性不明の事業を推し進める事に反対します。

世界では遺伝子組換え作物・ゲノム編集の食べ物に警鐘を鳴らす論文もたくさんあります。

どうか自己保身や農水省や政府の圧力に屈せず、秋田県民・国民のための政治を行なってください。

よろしくお願い申し上げます。

2-4911 【神奈川県、40代】

全量転換への反対と、表示を行って欲しいです。

2-4912 【秋田市、40代】

テーマ(2)

日本人の魂とも言える食の根幹である米を遺伝子操作し

狂ったものを食べさせようとする悪しき行政を許す訳にはいかない

人間としての魂や良心残っているなら今すぐ止めるべき。

毒を混ぜ人口削減するのはいい加減やめなさい。

皆、気づいている。

2-4913 【山形県、50代】

絶対に反対です。

次世代のことを少しは考えておられるのでしょうか。

2-4914 【熊本県、30代】

同じ米所の県として意見させてください。

全量転換はおかしくないですか？

お米農家の方だけでなく、酒蔵までダメージ負うのでは？

少数の推進派だけで進めないようお願いします。

2-4915 【兵庫県、50代】

今までのあきたこまちを食べさせて下さい。

せめて50年100年等、世代単位で遺伝子組み換えの影響を見て頂きたいです。

よろしくお願いします。

2-4916 【東京都、50代】

今気候も大きく変化し、これからどういう状況になるかわからない。多種多様な植物、動物

が混在している日本なのに、全量転換は、もっとデータをとり、本当に全量転換することが、7代先までのことを考えても良いとなってからにして欲しいです。

選択肢はたくさんある方がいい。日本社会は、今民主主義ではなく、経済効率主義になっているような気がしています。

秋田県は、水も豊富できれいで、たくさんの野菜、果物がある。全てが関係して豊かな県となっている印象です。食べ物の安全性をしっかりと守ってくれる県として、もう少し時間をかけ、試験を続けていただけてから進めていただきたいと思います。あとから全量転換は間違いだったとなっても、全量にしてしまったらやり直しが効かないですよ。

ぜひ、見直しをお願いします。

2-4917 【岩手県、40代】

危機感をもち意見させていただきます。

この意見が届くかどうかわかりませんが、効力もあるのか分かりません。

しかし、たくさんの方々の健康被害に直結すること、年単位でとんでもない影響が出ることとなります。

警笛を鳴らしている方、たくさんいらっしゃいます。

どうか、やめていただきたい。

未来を考え、英断をお願いいたします。

2-4918 【潟上市、30代】

なぜいきなり全量転換なのか？ 確実なる危険性を証明するのも難しいのと同時に、確実なる安全性の証明も難しいと思います。あきたこまちRが従来にあきたこまちより安全で

美味しいという明確なものが無いにも関わらず、全量転換はいささか強引すぎではないでしょうか？また、メディアに報道することなく(したのか分からないですが)、一部の食に敏感な方たちが拡散してやっと分かるような状況は、民意を無視しているかのように感じられます。せめて全量転換にいきなり舵を切るのではなく、選択の自由があっても良いのではないのでしょうか。それとも、皆があきたこまちRは選ばないであろうからこっそり切り替えてしまおうということでしょうか？秋田が決断のスタートであるならば、しっかりと周知し選択の機会を上げるべきだと思います。

個人的には放射線を当てたお米は食べたくないし、子供にも食べさせたくないですね。

2-4919 【兵庫県、30代】

反対です。

「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。

2-4920 【愛知県、60代】

秋田県議会 あきたこまちR 担当者様

県外の者ですが、近所のお米屋さんから購入しているあきたこまちを長年食べてきました。美味しいお米を作って下さっている農家さんには大変感謝しております。

日本人の主食であるお米は、全国民にとってかけがえのない大切な命の糧です。

放射線米ではなく、今まで通りのあきたこまちのブランド、品質を守って頂きたく存じます。

どうかよろしく願い申し上げます。

2-4921 【埼玉県、50代】

毎日、「あきたこまち」を美味しく食べています。

しかし、放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」になったら、購入したくありません。

全国の「あきたこまち」愛好家も放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」になったら、「あきたこまちR」は購入しないでしょう。そうなれば、秋田県の農家も秋田県自身も困窮することとなるでしょう。

ただちに、従来型の「あきたこまち」の全面的な廃止を停止したほうがいいです。
放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」は、誰も買わなくなります。
私たち全国の「あきたこまち」愛好家が求めているのは、従来「あきたこまち」です。
従来「あきたこまち」の栽培を存続するよう、強く全国の「あきたこまち」愛好家と
共に要望します。

2-4922 【広島県、30代】

従来「あきたこまち」の品種を残すべきだと強く強く思います。
残してください。

2-4923 【愛知県、40代】

慣れ親しんだ安心安全なお米をたべたいです
無農薬栽培のものとかを意識して購入しているのに
放射線をあてて 自然ではなく不自然な状態で育てたお米を食べたくはありません
全てそうしてしまったら消費者が選択する自由もなくなってしまいます
コオロギとかもそうですが 食べたくないものを食べさせるような改革はやめてほしい
です

2-4924 【大阪府、60代】

他府県在住ですが、SNSで情報を知り、秋田県だけの問題ではないと思いますので
意見を寄せたいと思います。
遺伝子組み換え食品の導入には反対です。
それを県の方針として行うことの問題の大きさを認識してください。
作物の育成に関して根本的に異なった視点もあります。
是非あらためて考えてください。
http://www.jnhfa.com/about_farming/index.html

2-4925 【熊本県、80代以上】

大切なお米です。お米の遺伝子組み換えで身体にマイナス面が
生じないでしょうか。美味しく頂くことを望みます。

2-4926 【東京都、30代】

秋田県の誇る「あきたこまち」。それが、今、岐路にあると知りました。遺伝子に手を加えることが、後々どのようなことになるのか？それも検証できないうちに手を加えるというのは、いかがなものでしょうか？100%安全だと誰が保証できるのでしょうか？後世のことで自分たちには関係ないからどうでも良いのでしょうか？子や孫世代のことはどうなってもよいと？

大豆製品などを買う際、「遺伝子組み換えでない」という表示を確認した上で購入する消費者は多いと思います。「あきたこまち」は美味しく、好きなお米のひとつです。でも、「あきたこまち」が安心して食べられないかも？となれば、残念ですが、もう手に取ろうとは思いませんし、周りの人にもお勧めできません。むしろ、大丈夫？と注意を促すでしょう。

食の安心、安全は、生きるための基本です。

議会を担う皆様は、むしろ最前線に立って、それを守るお立場ではないでしょうか？

どうぞ、賢明なご判断を切に願います！！

2-4927 【東京都、50代】

秋田県議会の皆様、

あきたこまちRへの全面切替に反対いたします。

私は従来のおきたこまちが食べたいです。あきたこまちRは食べたくありません。

何故なら、カドミウムの問題より、放射線照射で遺伝子を破壊されたお米が起す健康被害の方が心配だからです。十分な時間をかけて安全性は確認されたのでしょうか。カドミウム汚染は確かに問題かもしれませんが、お米だけで解決できる問題ではないと思います。日本人にとって大事なお米を破壊する前に、カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも勉強及び議論して下さい。

日本人にとってお米は毎日の主食であり、また古来より大切にしてきた食べ物です。

そのような大切なお米に対して、消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で放射線米に全量転換を決めてしまうなど言語道断です。このような大事な問題は十分な時間を取って、様々な専門家を入れてしっかりと議論する場を設けるべきです。また、この問題は秋田県だけに留まらず、全国に広がってしまう可能性があります。販売の際に放射線米と識別できる記載もしないようですし、また、このような遺伝子組み換え種は近隣の田んぼで栽培されている従来種へも悪影響を与えてしまいます。繰り替えしになりますが、私は放射線米を食べたくありませんので、放射線米を食べたくない人の権利も守って下さい。どうぞよろしく願いいたします。

2-4928 【島根県、30代】

「あきたこまちR」への全量転換について反対します。
従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。

2-4929 【東京都、50代】

いつもコープのあきたこまちを食べております。
遺伝子組み換えになったら二度と買って食べようとは思いません。
誰のために報酬を貰い仕事をしているのか考えてください。

2-4930 【東京都、60代】

せっかくの あきたこまち 大切な 日本の米 あきたこまちを そのまま存続させてください。放射線育種後代交配種なんて 食べたくありません。 そんな細工しないで下さい。

私たちは代々 自然なものを頂き命を繋いで生きてきました。 ところが、便利の名のもとに加工食品。腐るからと保存料。色がきれいに見えるからと着色料。粗悪な素材でも美味しく感じさせようと 様々な食品添加物。

そういうものは本来食品ではありません。食品でないのもを食べて体にいいはずがありません。

日本の米だけは 自然なものを食べさせてください。保存や流通のその他の為に手を加えたりしないでください。

放射線なんて 反対です。 あきたこまちR なんて食べたくありません。 あきたこまちの ふるさと秋田がこれを守らないでどうするんですか？ せっかく作ってきたブランドが台無しです。

農家自家採取も 禁止反対 米は日本人の命 だれのものでもありません。 勝手な事はお止め下さい。

2-4931 【大阪府、40代】

安全性が皆無です。
自分の大切な人(子や孫)に自信をもって
残せるものですか？
どうかご英断ください。

2-4932 【岡山県、60代】

従来のおきたこまちをぜひ残してください。

お米は日本人の魂とも言える大切なものです。

なにとぞ全量転換だけはやめてください。

おきたこまちを愛するひとりとして、心からお願いします。

2-4933 【埼玉県、30代】

放射線育種米を継続して食べた場合の健康被害が不明である点。

広くこの事実を包み隠さず伝えた上での導入であるのか？県民の何%が知りうるのか。

また、秋田だけではない全国の問題でもあることを広く周知する必要があると思います。

カドミウムに関して、放射線育種米という解決策が最も優れているということであれば、他の選択肢を削除した理由についても教えていただきたいです。

インドのケララ州で3000年前から栽培されていると言われる Pokkali という在来種の稲はケララ州の高い塩分濃度を持つ水田でも生きていくように自然の中で進化した品種です。

カドミウムは根の液胞に留まり、種にはあまり行かない特性を持っているため、お米の方はカドミウムが比較的高い地帯であっても安全性を確保できます。

土地のカドミウム汚染を野放しにせず回収することも可能です。

この在来種であれば、有機認証も問題なく取れます。

効率の良い選択肢をすることが自治体にも求められていると思います。

ゼロベースでの選択肢の洗い出しと評価を求めます。

2-4934 【美郷町、50代】

1. 国が育成したとありますが。近年国が主導する政策・事業については一度も「丁寧」な説明が行われないうまま強行されることが多く、後々に大問題を引き起こしても責任転嫁をして逃れるか、司法で長年にわたる争いで逃げ切るか、いずれも逃げる形で無責任な対応をして決着させています。健康上の被害だけでなく、農業への支障が出たときに、県は責任をとりますか？

2. カドミウムによる風評被害とありましたが、そのような地域が秋田県内に存在するのでしょうか？過去に横手市増田の西成瀬の地域でそのような案件があったと聞きましたが、今でもそのような状況なのでしょうか？その地域でとれるカドミウム汚染の対策として出された案件でしょうか？

3. 導入スケジュールが急すぎないでしょうか？

上記3点の疑問により、あきたこまちRの導入を先送りするよう求めたいと思っています。

2-4935 【神奈川県、30代】

なぜ東北大震災の時にあれだけ、人体への影響を懸念していた放射能を放射させたお米をつくるのか

意味がわかりません。

大好きな秋田が、お米が誇れなくなります。

とても悲しいです。

一体目的はなんでしょうか。

2-4936 【栃木県、40代】

「あきたこまちR」への全量転換を次の理由により反対します。

- ・放射線育種による食の安全性への懸念があるため
- ・全量転換する必要性が乏しいため
- ・日本の全てのお米の品種が放射線育種米に変えられてしまう先行事例となり得るため
- ・種苗価格の上昇が懸念されるため
- ・自家増殖が規制されるため
- ・耐病性への懸念があるため
- ・食糧危機の呼び水となる懸念があるため

2-4937 【新潟県、40代】

放射線米やめてほしい。

将来の安全性は確認されていませんよね。

私達の未来になにか影響が出たら助けてくれるのでしょうか？

2-4938 【高知県、50代】

放射線育種交配種に不安があります。お米は、主食です。安心して食べれるお米をこれからも食べたいです。なので、あきたこまちRに反対です。

2-4939 【兵庫県、30代】

安全な秋田のお米を食べ続けたいです。放射線育種米のあきたこまちRへの転換は反対です。

転換したらもう秋田のお米は食せないです。

どうかよろしく申し上げます。

2-4940 【東京都、40代】

本当に、この施策が適切かどうかよくご検討していただきたい。

今の世代だけでなく、こども、孫、さらにその先の世代にとり、本当に安全で健康に問題がないものでしょうか？

こうしたお米を食べ続ける事で、何がおこるのか、検証されているのでしょうか。

遺伝子への影響が生じた場合、だれがどう責任をとるのか、実行されるなら明確にしてください。

一つの県で、開始されたら、なし崩し的に全国的に広がるのを懸念します。

初める責任は、重いと思います。

あきたこまちは秋田の美味しいお米で、親しんできましたが、もう、秋田のお米は食べたくありません。

2-4941 【岡山県、40代】

秋田県議会 様

秋田から遠く離れて暮らしているものです。長い間あきたこまちを食べてきました。秋田といえば米どころ、秋田といえば、あきたこまちで、どんなに全国に新種のお米がでてきても、変わらず大好きなお米です。

そのあきたこまちが、放射線育種後代交配種に代えられようとしてしていると聞き、驚きと悲しみでいっぱいです。

日本の米農家の方々の大変さと努力には本当に頭が下がります。昨今の気候の厳しさ、日本における自然災害の頻度を鑑みると、農業に関わる方々のご尽力に感謝するばかりです。そのおかげでおいしいあきたこまちを毎日いただくことができています。

県議会の皆様におかれましても、秋田県の農業を大事にされご尽力いただいていることと思います。心から感謝申し上げます。

あきたこまちを放射線育種米へ変更することは危険なことだと思います。放射線をあてて遺伝子を破壊するということがいいことだと思えません。また、特許のあるお米へ変更することで、今後、農家が自家採取米を育てていけなくなるということも危険だと思います。あきたこまちは日本を代表するお米です。そのあきたこまちが、日本のお米を破壊していく方向へ進む代表となるのは悲しすぎます。

いち消費者からしますと、放射線育種米でできたお米は怖いです。食べようとは思いません。

私は農家ではありませんが、自分が育てた作物の種をつないでいくということが、どれだけ大切なことかということはいくわかります。日本のお米は日本人の命で日本人の心で

す。どうか、日本人の命と心であるあきたこまちに放射線をあてて遺伝子を壊していくようなことをしないでください。お願いします。

日本人の命であるお米を根幹から壊してしまう放射線育種米への変更をどうぞ考え直してくださるようお願い申し上げます。

秋田県議会の皆様が、日本を代表する、日本の誇りである あきたこまちを大事に大切に考えて、放射線育種米へ変更しないことを心よりお願い申し上げます。

大好きなあきたこまちを、これからも安心してここ岡山県でも買い続けられる未来を守ってください。お願いいたします。

2-4942 【埼玉県、60代】

あきたこまちRへの全量転換は、今後のことを考慮しない大変危険な行いです。気象変動の影響を大きく受ける事態に直面してる我々人類にとっては、種子の多様性を守ることは、不測の事態に備えるセーフティネットです。秋田県の「あきたこまちR」への全量転換は、それにまったく逆行する行為で、自らの生命を危険にさらす行為です。秋田県が思慮深い行為に立ち返り、「あきたこまちR」への全量転換を取り止め、こうした危険な行為が全国に波及しないことを願います。

2-4943 【秋田市、50代】

あきたこまちRについて、消費者にほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまうことは、大きな問題です。

これでは県民不在の政策になってしまいます。

きちんと情報を開示し県民の声を聴いてください。

まずは、丁寧な説明をし、議論する場を設け、消費者が納得した上で決定すべきと思います。

そのための期間を作るようお願いいたします。

2-4944 【東京都、40代】

遺伝子組み換えが身体に及ぼす影響をこれだけ危険だと言われている中、

世間にほぼ認知されずに決定してしまう事にまず不信感を覚えます。

誰がそんなお米を食べたいのでしょうか？

日本のお米を壊してしまう事に何も思わない政治に関わる人達が本当に日本人なのかも疑問に思えます。

あきたこまちR絶対に反対です。

2-4945 【東京都、50代】

放射線育種後代交配種に反対します。

健康への影響がわからないものを安易に取り入れないでください。

日本の食を守ってください。

宜しく願いいたします。\$

2-4946 【香川県、60代】

秋田小町のお米はとても美味しいと思います。

どうぞこの美味しいお米を私達日本人が安心して健康に役立つお米であります様に願っています。

どうぞその所をようくご検討ください。

食の安全を願っております。

よろしく願い致します。

2-4947 【愛知県、40代】

私は秋田県民ではありませんが、各地のお米を食べます。もちろん、あきたこまちもです。

農家さんの負担を減らし、カドミウムを吸収しない米を作るという取り組み自体はとても素晴らしいと思いますが、放射線照射によって作られるといった点には賛成できません。戦争で核爆弾により、多くの犠牲者が出た放射線を当てた米が安心して安全だとは思えないからです。遺伝子を傷つけた食べ物が本当に人間にとって好ましいでしょうか。人体への影響は絶対はないと言い切れるでしょうか。

米は日本人の主食です。あきたこまちは日本人ならみんな食べたことがあり、好きなお米です。そのあきたこまちを全て放射線育種米に変えてしまうのは如何なものかと思えます。中には、それならあきたこまちは買うのをやめよう…といった人も出て来ると思えます。それでは新たな取り組みも、農家さんの努力も本末転倒になってしまいませんか？

どうかみんなが安心して安全に食べられるお米作りに取り組んでいただきますよう、秋田県議会の皆様をお願い申し上げます。

2-4948 【京都府、70代】

秋田県産のあきたこまちを選んで購入してきましたが、あきたこまちRに転換されるようでしたら、健康面への安全性を考えて、残念ですが今後は購入を控えることとなります。

2-4949 【石川県、40代】

放射線育種米は辞めていただきたいです。あきたこまちを守ってほしいです。

2-4950 【京都府、30代】

放射線育種後代交配種は絶対に反対です。

東北の震災の際、

放射線を浴びた農作物を避けていたのに

わざわざ放射線を使うことに理解出来ません。

またそんなお米だということの表示義務がない、

消費者が分からないといことも有りえません。

どうか見直して頂きたいです。

2-4951 【岡山県、20代】

放射線のかかってないあきたこまちが食べたいです。

2-4952 【宮城県、40代】

秋田で産まれてずっとあきたこまちを食べてきました。結婚し宮城に住んでいる今も実家で育てているあきたこまちを食べ、宮城でもあきたこまちを選んで買っています。

人口減少で作り手が少なくなっている状況もあり、そして私も県外に出ているので、勝手なことをと

思われるとも思いますが、これまでのあきたこまちを作り続けて欲しいです。あきたこまちRになったら買えません。子供たちにも心配で食べさせられません。どういった影響があるのかわからない状況で全てがRになってしまったら、人にも環境にも影響が出てからでは遅いです。

美味しい米どころ、水もきれいで、自然豊かで、そんなあきたが大好きです。

ずっと秋田のこれまでのあきたこまちを食べ続けたいです。

あきたこまち、これからも買い続けます。秋田県産のものもこれまでよりもっと買います。応援しています。

なので、どうか全量転換しないでください。

2-4953 【東京都、60代】

お米の放射線育種米に反対します。

日本の未来、子どもたちのためにも

よろしく願います。

2-4954 【千葉県、60代】

あきたこまちRは食べません
遺伝子操作や、
この方針に反対です

2-4955 【千葉県、20代】

放射線で変異させたお米なんて、食べたくないです。特に自分の大切な人には食べさせたくないです。そういったものと区別するために、表示をお願いします！

2-4956 【岩手県、30代】

未来ある子供達に放射線を浴びたお米を食べさせ続けて行くこと
良くないと思います。中長期的に検証、議論すべきだと思います。

2-4957 【東京都、50代】

掲題の件について全量転換を説明する際に、
放射線育種米であることは説明していないことに、
大変な危惧をしております。
どうか、県議会で改めて本件を取り上げて頂き、
正しい情報を詳らかにして県民をはじめ国民に知らしめて
いただけないでしょうか？
何卒よろしく願いいたします。

2-4958 【神奈川県、40代】

なぜ今までのあきたこまちを作り続けないのでしょうか？
今のままで充分美味しいので、余計な事はしないで下さい。
普通のお米が食べたいです。

2-4959 【東京都、60代】

「あきたこまちR」への全量転換についての秋田県議会への意見
県は自然界にも放射線が注いでおり、だから安全だとしているそうですが、通らない論法と思います。

自然界に存在する微量の放射線と、遺伝子の変異を無理矢理に起こさせるような、人間の致死量をはるかに凌駕するレベルの強烈な放射線とは全く同日には論ぜられないのではないのでしょうか？また、当品種には遺伝子組み換えの技術が使われているそうですが、こ

れも人間に安全無害とは決して言い切れないものなのに、その説明が十分にはなされていない、消費者の危惧を払拭出来ていないとも聞きます。加えて、カドミウム吸収を防ぐ手立てとしての放射線照射との事ですが、カドミウム汚染された土壌は全国の3%と聞きます。3%の「風評被害」を救うために全国の消費者が危険に晒されかねない不合理が際立ちます。3%の土壌への救済は別の努力によってなされるべきです。同じく大きな問題であるのは、こうして品種「改良」された新種が、表示義務を課される事もなく、これまでのブランドと見分けのつかないまま、「あきたこまち」も「あきたこまちR」も同じものとして消費者の選ぶ権利を奪った形で全国市場に広められてしまう危険性です。県議会はこうしたあまりにも国民の健康、消費者の安全を置き去りにした動きを十二分にチェックして下さることを切に望みます。

2-4960 【奈良県、40代】

危険なので、絶対にやめてください。

安全性をしっかりと確認してからにしてください。

2-4961 【秋田市、40代】

私は生産者ではないので消費者としての意見になります。

難しいことはよく理解できていませんが、現状我々が食卓でいただけるあきたこまちを選ぶという選択肢を残して欲しいと思っています。知識がない我々のような消費者にもわかりやすい説明をしていただいた上で、あきたこまちを買いたいのか、作りたいのか、またはあきたこまちRを買いたいのか、作りたいのかの選択肢を残していただきたいです。

2-4962 【愛知県、60代】

「あきたこまちR」の使用、全量転換に反対です。

理由は、主に次のようなものです。よろしくおねがいたします。

そもそも、カドミウムを吸収しない米の育種よりも、カドミウムで汚染されないことや方法を考えるべきである。

1 放射線育種、特にイオンビーム使用は、遺伝子DNAの2本鎖を一挙に切断するので、従来のガンマ線育種より強烈であり、安全性は

確証されていない。戻し交配だけでは、未知の物質、隠れた形質が除去されるという保証にはならない。

2 自然突然変異と人為突然変異（放射線育種による）は峻別すべきである。安易な同一視は科学的ではない。本来、自然界にはない

高線量の電離放射線を使う、食品への放射線育種は行うべきではない。ましてや、主食

のコメ（稲）に対する品種改良技術として使用

すべきではない。これは、品種改良ではなく、改変、改悪である。

3 食の安全は、人類の長いあいだにわたる食文化により形成されたものである。放射線の発見、その利用という「核」利用を食べも

のに及ぼすことは、自然の摂理から逸脱するものであり、本来守るべき食の安全、安心、食と農の文化に反する。秋田県のように自然

環境にめぐまれた豊かな米作地帯のおいしいコメどころという地域イメージをこそ、守るべきである。

4 主食のコメに対して、そうした遺伝子改変を起こした登録品種に全面転換していくという、2018年改訂の「コメ中のカドミウム低

減のための実施方針」（農水省消費・安全局）の方針そのものが、そもそも間違った方向性を示したものである。しかも、全面転換を

正当な裏付け・根拠がないまま説いている。例えば、カドミウム低減データでは試験栽培農地のカドミウム汚染程度の数値が公表され

ていない。

秋田県は、自治権を発動して再考し、「風評被害」などの理由で、全面的に全量転換することを直ちにやめるべきである。

5 「風評被害」と言うのであれば、「秋田県のあきたこまち」は「R」であるとして、避ける事態が起こるやもしれず、それこそ農家

にとっても、秋田県産業、とりわけ稲作にとっても“風評”がそれにとどまらず、「実害」になる恐れが強い。県は、そのあたりのと

ころまで考慮に入れて、転換を中止すべきである。

6 新品種で対応したいのであれば、岡山大学馬建鋒（ま・けんぼう）教授が2022年8月22日に同大学プレスリリースで発表した、イン

ド古来の Pokkali から育種した遺伝子カドニウム／マンガンに関わる OsNRamp5 が（「R」品種のように欠失したのではなく）重複してい

る品種の可能性こそを探るべきである。高濃度汚染地域などで共同の栽培試験等を行い、こちらに切り替えるべきである。

7 6の OsNRamp5 重複品種を使用する場合も、全量切り替えではなく、カドミウム高濃度汚染地域のみでの使用とし、こうした登録品種

、自家採種がむずかしい品種に全面転換すべきではない。

2-4963 【愛媛県、30代】

「あきたこまち」から全面切替に反対します。

まず単純に意図的に遺伝子がいじくられた食品を食べたくありません。

また、農家のと食料自給の問題を考えると遺伝子特許が取られ、自家採種もすべて禁止される品種に全面転換することは反対します。

2-4964 【湯沢市、60代】

県民の皆さんがほとんど知らないまま全量転換を決定したことが理解できかねます。ただちにオープンな人たちでもう一度議論すべきです

2-4965 【東京都、30代】

従来のおきたこまちを食べて今現在まで育ってきました。
また自分の子どもたちにも食べさせています。
操作などせず、従来のおきたこまちで十分なのです。
なんでもかんでも変えようとししないでください。

2-4966 【大阪府、50代】

秋田小町、秋田のお米、日本のお米を守ってほしいです、
Rは絶対に買わない！！
未来の子供達のことをお考え下さい！！

2-4967 【東京都、30代】

あきたこまち R への全量転換について、意見・質問を送らせていただきます。

●【全量転換決定】に至った経緯を教えてください。

●今まで私たちが食べてきた従来のおきたこまちに、微量でもカドミウムが含まれているのは理解しています。含まれるカドミウムが理由で、重大な健康被害などがあつた、または今後可能性が高いのでしょうか？

●遺伝子に突然変異を起こすためには、自然界で発生する放射線より大きなエネルギーが必要だと聞きました。自然界と同等と考えるのは無理があるのでしょうか？

また、HP には「安全です」と記載されていますが、何か実験を行って「安全」を確立できたのか、その辺りを教えてください。

●2025 年以降、従来のおきたこまちの種籾が一切購入・栽培できなくなる理由は何ですか？

従来のあきたこまち、あきたこまちRは別物だと思うので、農家の方や消費者にも選択肢があっても良いと思います。

●あきたこまちRに全量転換した場合、あきたこまちの評価は落ちませんか？
購入する人が減るのではないかと心配しています。

以上です。

私は秋田県民の身体と心の健康を心から願っています。

ご回答お願いいたします。

〇〇〇〇〇

2-4968 【沖縄県、60代】

『あきたこまちR』は安全面は保証されているのでしょうか？
安全性が明らかにならないと、今後『あきたこまち』は買えないです。

2-4969 【京都府、70代】

元来の日本のお米を純粹に残していきたい。

2-4970 【山梨県、60代】

私は放射線育種後交配種の使用決定に反対です。
放射線育種後交配種は子供の発達に必要なマンガンを吸収しにくいお米と聞きました。
ミネラル不足のお米になることが不安です。私は飲食店を経営していて、
白米はあきたこまちを40年来使用しています。以前はあきたこまち母の会から
米を取り寄せておりました。
今は孫もおります、どうか子供達の未来のために、もう一度議論をお願いします。
あきたこまちRへの全量転換に反対です！

2-4971 【東京都、70代】

縄文時代からの私たちのご先祖様方が、私たち末裔が困ることのない様に、
守り残してくださっている日本人の食料源、この大切な命をつなぐお米です。
操作組み替えされたお米で、日本人を奇形にさらし、命を奪い日本を絶滅に追い込む魂
胆ですか？

これを推進する方々は、日本人の魂をも持ち合わせず、ご先祖様方にお世話になり育て
て頂いた御恩を仇でお返しになるつもりですか？

お天道様はみていらっしやいますよ！

魂の終末は救われませんね！自業自得となるでしょう！

私は、この素晴らしい日本を、末裔に引き渡して死にたいのです！

2-4972 【宮崎県、40代】

まずは「あきたこまち」から全面切替に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来の品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来の「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があり、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4973 【由利本荘市、40代】

放射線育種米は食べたくありません。

どうか 子供達の為にもやめて欲しいです。

2-4974 【埼玉県、30代】

放射線は人体に害なのに、なぜ日本人の主食である米に照射するのですか？

安全性も確かではない、将来どんな影響が出るかもわからないものを検討もなく進めないでください。

中身もわからないワクチンと一緒にすよね？

そこまでして日本人を減らしたいですか？

こんな事をして、誰が喜びますか？

今だけ金だけ自分だけの為に、こんな事をして楽しいですか？

2-4975 【仙北市、60代】

放射線で遺伝子破壊した米が安全だと云うことに強く疑問を感じます。

数値的なこともオープンに知らせるべきです。

何よりも窮屈なことは、全量切り替えで農家にも消費者にも選択肢がないことです。

今一つ立ち止まり、これからの故郷、秋田の未来を考えるようではありませんか。

このまま、あきたこまちRに進むことに反対いたします。

2-4976 【埼玉県、30代】

2025年から放射線育種後代交配種の

「あきたこまちR」に全量転換に反対です。

従来の「あきたこまち」でお願いします。

放射線育種後代交配種なんて食べたくないです。

こどもたちにも食べさせたくないです。

2-4977 【京都府、40代】

放射線育種の人体への影響を考えると、恐ろしいです。

転換廃止して下さい。

国民のため、よろしくお願いします。

2-4978 【大仙市、40代】

人が死んでしまう何倍もの量の放射線を浴びせたお米を、自分の子どもには食べさせられません。安心、安全と根拠のないことを知事が笑顔で推奨しないでください。未来ある子どもたち、秋田の宝である子どもたちの未来に危険が及ぶ可能性のあるものを無責任に推奨しないでください。自分の子ども、孫に人体に影響のあるかもしれないものを食べさせられますか?給食に使用するなんなんでもってのほかです。そういうところで秋田を有名にしなくていいと思います。

2-4979 【北秋田市、60代】

あきたこまちRは、放射線照射による人為的遺伝子操作になると思います。今、日本中

から多くの反対の声が届いています。X（旧 Twitter）で検索してみてください。あきたこまち R に転換されたら誰も食べないですよ。県民の私も食べません。安全なお米だからおいしく食べられるのです。カドミウムの件も調べましたが、小坂鉦山周辺など汚染地域は限られているはず。なぜ、全てのあきたこまちを変えるのですか？あきたこまちは秋田県民の主食なのに、なぜ品種を変えなければならないのですか？農水省の指示ですか？農水省から支援金が支給されるなど利権が絡んでいるのですか？国の指示と県民の健康のどちらが大事ですか？今一度考え直してください。勝手に切り替える前に、県民の声や全国のあきたこまちファンの皆さんの意見を反映してください。国民の声を聴いてください。

2-4980 【東京都、40代】

いつも美味しいお米をありがとうございます。
秋田県在住ではありませんが
あきたこまちを購入している
消費者として、お送りさせていただきます。
今回導入される技術は、未来への影響や保証が
まだ実証できない部分があると思います。
なので、今まで購入の際に抱いていた信頼と
同等ではなくなるので
今までは継続購入してましたが
全面的に変わってしまった場合、
他ブランドに変えるきっかけになりそうです。
同じように考える消費者は
他にもいると思います。
秋田の生産者さんを支えるためにも
あきたこまちのような
美味しいお米ランキングなどで
いつも上位にきてるお米ではなく
まずは作付割合が小さい
ブランドでテスト販売し
消費者の反応、売れ行きを
みながら導入の検討を
頂くことはできませんでしょうか
また稲にカドミウムが
吸収されなくなったときの土壌汚染、
土壌や地下水、海、魚などへの

影響も危惧しています。
農林水産省の資料をみたところ
植物浄化や土壌洗浄などの別の
カドミウム軽減の方法もあるようでしたので、
別の方法を実施して
頂くことを希望します。

【参考資料】

コメ中のカドミウム低減のための実施指針
消費・安全局
平成 23 年 8 月策定、平成 30 年 1 月改訂
農林水産省

https://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/kome/k_cd/2_taisaku/attach/pdf/01_tec-11.pdf

2-4981 【埼玉県、40代】

あきたこまち R への全量転換に反対です。

理由

県外ですがあきたこまちが大好きです。秋田県の方々が大変なご苦勞をされて現在に至る品種をいとも簡単に放射線で改良することに違和感しかありませんし、そうなるのであればもう食べたいとは思いません。そもそも生産者にも消費者にも情報があまりにも少ない中で全量転換を決めてしまうことにも問題があると思います。あきたこまちは秋田県議会しかも守れません、絶対にまもってください。あきたこまちに携わった全ての方々のために。どうかお願いします！

2-4982 【大阪府、40代】

大阪府のものですが

秋田のお米、美味しくて大好きです

七世代先まで安心して食べられるお米を守ってやりたいし

農家の方にもそこを誇りにまっすぐお仕事できるような方向で

秋田県の議員さんにも今一度考えてもらえたらと思います

「あきたこまち R」を「あきたこまち」と言って流通させることには違和感を感じます。また、全量を「あきたこまち R」としてしまうのではなく、生産者が選べたら良いのにな

と思います。

なんでもかんでも反対だ！というわけではありません。

あきたこまちが好きだし、誇りに思っている友だちも多くいます。

ただ、最終決定をする前に、詳しい説明会や対話が出来る機会を作っていただけたら嬉しいですよ

2-4983 【神奈川県、50代】

カドミウムが危険ということで放射線を当てる

た米を栽培すると言うのは、さらに人体を危険にさらす事になるのではと心配になります。

2-4984 【京都府、40代】

放射線で品種改良した品種を元にして以上、従来品種との戻し交配をしたところで、「放射線育種ではない」というのはただの欺瞞です。そんな嘘をつくのであれば、もう二度と秋田のお米は買いません。さようなら

2-4985 【東京都、60代】

・美味しいお米である事と同時に安心安全が最優先です

・消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。

・カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。カドミウムを未来に残さないための国や県のロードマップを県議会でも質してください。

2-4986 【湯沢市、60代】

放射線育種米の安全性について疑問があります。もう一度議論していただき、それを県民のみなさんに公開し多くの賛成を得てから決定してほしいです。

2-4987 【大阪府、30代】

このままでは全てのお米がダメになる。水も土地も何もかも奪われ続ける日本が米まで奪われたら本当に日本が終わってしまいます。あなたたちにだって誇りがあるでしょう。愛する人たちがいるでしょう。自分たちの世代が良ければそれでいいんですか？自分たちが逃げ切れればそれで勝ちですか？

まだ見ぬ子や孫の悲しむ姿が思い浮かびませんか？

秋田県の人たちは忍耐強く黙々と困難に立ち向かってきた県民性の方々のはずだ。県外の私たちは秋田県の方々をリスペクトしている。あなたたちの作ってくださった安全でおいしいお米のおかげで日本人は生きてこられたんだ。

わたしたちをガッカリさせないでください。あなたたちはそんな簡単に魂を売る人たちではないはずだ。

秋田の方々がここで踏ん張って守ってくれなければ日本全体に悪影響を及ぼすことになる。

放射線育種米であることをしっかりと説明し、県議会で十分話し合ってください。

米を、秋田を、日本を守りましょう。

2-4988 【和歌山県、40代】

日本には欠かせないお米の安全を守っていただきたいと思います。

あきたこまちは

誰もが知っているブランド米です。

稲の遺伝子を傷つけるということは反対です。

有機農業を2050年までに25%にするということに

反しています。今だけ金だけ自分だけ。

今後、後戻りできなくなります。

よろしくお願いします。

2-4989 【大阪府、20代未満】

農業従事者の減少・高齢化傾向、異常気象等による不作などの課題を抱えながら、日本全体の食糧供給を担保し維持していくためには、放射能に頼るということも選択の1つとして視野に入れられていくことの全てを否定することは出来ません。

しかし、本当にその農作方法が「全量」転換すべきなのかという所には、カドミウムなどの土壌に課題を抱える土地が全体の3%に留まることなどを考慮すると、疑問に思います。

また、これから日本の土壌と食を引き継いでゆく小さな子供達が安心して、100年時代と言われる人生を生きていく上で「安心」を保証できるのかも不安です。

風評被害による不利益や不都合を理由に、不都合をうやむやにしたり、不確実な「安心」を掲げようとするならば、むしろ、リスクや不都合を明瞭に示した上で、堂々と「あきたこまちR」の銘柄を表示し、我々消費者が何を食べて生きていくか「選択する権利」だけは保証して頂きたいと考えました。我々消費者の1人1人の選択が投票や思いとして、作り手に届き反映される相互作用が本来発揮されるべきだと考えます。

2-4990 【岡山県、50代】

あきたこまちをそのまま残してください。

2-4991 【埼玉県、40代】

放射線米への全量転換は、おやめください。岩手県出身ですが、真面目な秋田県民がこんな判断をするとは、びっくりです。冷静にもう一度考えてください。生き物が相手の農業は、簡単に取り返しができません。

2-4992 【京都府、50代】

あきたこまちRについての反対意見。

放射能の健康に対する害について、かなり懸念しています。

。

私の知る限りでは、健康にとって良い影響は一つもなく、甲状腺機能低下に始まり、さまざまな健康被害が起こることが、予想されます。

実際に、放射線に暴露する職業の方には、自己免疫疾患を患う方が多い。

日本の食の要である米は、そのような手をかけることをしないでください。

これからの日本を支える子どもたちが、それを食べ続けることで、日本の未来を支えることができなくなるのではなりません。

この意見を読まれる方は、ご家族やご親族に、この米を食べることを勧めることができますか？

どうぞ宜しくお願いします。

2-4993 【広島県、30代】

私は日本のお米が放射線育種後代交配種の「あきたこまちR」に変えることに対して強く反対します！

2-4994 【埼玉県、60代】

あきたこまちRへの全量転換に反対致します。

ワクチンと同じで、実施されて国民がこの米を食べる事による弊害を事前に予想できるのでしょうか？

本当に安全だと言い切れるのでしょうか？

医薬品の副作用と同じで、この米を食べる事によりマンガン不足になり、マンガンを補給する為に何かの策が取られ、またその副作用により政策が取られと、延々と対症療法が

とられていくように思います。

結局は利権が絡んでいるのではないですか？

それでなくても肥料と農薬を使う事で米や野菜の栄養素が激減し、食品添加物により人体に毒素が溜まり日本人の身体はボロボロにされていると思います。

まだ更に国民を苦しめたいのでしょうか？

推進する人は何かしらの恩恵を受けるかも知れませんが、それも目の前の一時期だけ。

今だけ金だけ自分だけの思考によるものではないですか？

本当に日本人の健康と日本の将来を見据えての政策でしょうか？

実施されて弊害が起こっても誰も責任取らないのは目に見えています。

議員の方々にはご自身の良心に尋ねて、本当に必要な事なのか、もう一度考えて頂きたいと願います。

2-4995 【静岡県、30代】

秋田県内でカドミウムに汚染されている農地はどのくらいあるのでしょうか？

放射線育種米に全面切り替えする必要性が理解できません。

人為的に強い放射線を当てて作られた放射線育種米は健康被害を及ぼすのではないですか？

怖くて食べれません。子供たちに食べてほしくないです。

2-4996 【由利本荘市、20代未満】

僕は小学生ですがこのお米をずっと

食べたらどうなるのか不安です。

今までの秋田こまちが食べたいので

お願いします。

2-4997 【東京都、50代】

放射能米なんて絶対絶対絶対止めて下さい！

あきたこまちもコシヒカリも守って下さい！

放射線をかけたりしないで下さい！

2-4998 【千葉県、40代】

あきたこまちRへの全量転換に反対します。

あきたこまちRは、カドミウムを減らすためだけに、放射能を使って遺伝子を壊した品種に変えると伺いました。

まず、自然でないものを生み出す事に反対ですし、不自然に壊された遺伝子のお米は、絶対に食べたくありません。健康被害が出る可能性があるかも知れませんし、その品種が今後もしっかりと種を作れるかどうか、また多少の気候変動が起きた時にしっかりと育つのかも分かりません。

そして、特許があるため自家採取不可という、危険ルールがセットであると聞きました。「食を支配すれば、その国の民をコントロールできる」と言ったキッシンジャーというアメリカ人をご存知でしょうか。イラクはアメリカとの戦争で負けた事でグローバルアグリビジネスを行う巨大企業の進出を許し、結果として伝統的農業を失い、永遠にアメリカの企業から種を買い続けなければならなくなりました。

先人が繋いできた大事な食物の種を手放す事などもってのほかですし、不安のある遺伝子破壊品種に全て切り替える事で自家採取を禁止されたら、益々日本人が奴隷のようにされてしまいます。

秋田で始まれば全国に広がり、日本で伝統的な米を今後一切食べられなくなる恐れがあります。

秋田県での全量転換は絶対にやめていただきますよう、賢明な判断をされる事を強く願っております。

よろしくお願いたします。

2-4999 【神奈川県、50代】

※放射線育種後代交配種「あきたこまちR」への
全面切替に反対します。

- ・放射線を浴び続けた交配種が人間の遺伝子にどれだけの悪影響を及ぼすか実験して確認されたのでしょうか。
 - ・この交配種されたお米はこの決定を下した議員家族も食べるのではないですか？何も知らないで食べた人たちだけではなく、議員家族も子孫を残していけなくなると考えたことはありませんか？
- 従来「あきたこまち」を食べていきたいです。
あきたこまちRやコシヒカリ環1号は絶対に食べたくありません。
- ・この交配種を種籾とし、自家採種することを禁止するのはどんな意図があるのですか？

なぜ禁止する必要があるのでしょうか？
日本の美味しいお米、「あきたこまち」を
大切に守って下さい。

2-5000 【神奈川県、50代】

「あきたこまちR」への全量転換に反対します。

その理由としては

- ・「あきたこまち」は秋田県が作り出し、日本中で愛され、31都道府県で生産される日本を代表するお米になりました。その「あきたこまち」を守ってください。
- ・ 遺伝子を破壊されマンガンを吸収しにくくなった稲がこの気候危機の中、生き延びるか不安であり、従来品種を作り続けることが大事です。
- ・ 従来「あきたこまち」を食べたいです。Rは食べたくありません。
- ・ 「風評被害」が起きるから全量転換というのであれば日本全国で一斉にやる必要があります、秋田県だけが先行するというのは拙速で、時期尚早です。
- ・ 消費者にも生産者にもほとんど情報がない中で全量転換を決めてしまったことは大問題で、期間を延期の上、議論する場を設けるべきです。
- ・ カドミウム汚染は低カドミウム米だけでは解決できません。